取扱説明書

NTTFAX P-752LC

L.モード 対応

ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ 対応

「NTTFAX P-752LC」

技術基準適合認定品
G3-〈P752M〉-FAX

Ni-MH ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

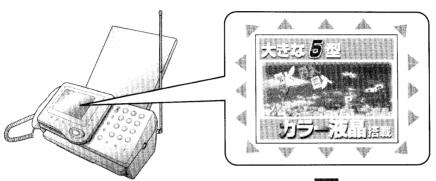
このたびは、NTTFAX P-752LC をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

● お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。

お知らせ

このファクシミリは『デモモード』を搭載しています

●受話器を本体に置いた状態で、電話機コードを接続せずに電源コードを電源コンセントに接続すると、親機の液晶画面が『デモモード』になります。

(注) 受話器を上げたりボタン操作をすると、いったん『デモモード』は出なくなりますが、しばらく放置しておくと、また『デモモード』に戻ります。

●『デモモード』を表示しなくするには、電話機コードを接続し、回線種別の設定が終わるまでしばらくお待ちください。（自動的に回線種別を設定後、画面が通常の日付・時刻の表示になります）

(注) 電話機コードをつないだ後、『デモモード』が一周すると、自動的に回線種別の設定を行います（最大約1分間程度かかります）。正しく自動設定ができなかった場合は、取扱説明書P.1-19「●回線種別選択と表示されたときは」の説明に従って、回線設定の操作を行ってください。

※取扱説明書P.1-18の手順に従って、電話機コードを接続してから電源コードをつなぎ、回線種別を設定したときは、『デモモード』は表示しません。

TCADZ3335SCZZ

もくじ

1章　ご使用の前に

2章　電話

3章　コピー

4章　ファクス

5章　留守番電話

6章　便利な機能

7章 Lモード

8章 ナンバー・ディスプレイ

9章　こまったときは

10章　ご参考に

安全に正しくお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷した場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

マーク	説明
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機が不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

注意
本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本商品は、お買い求め時には、国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所等（またはお買い求めになった販売店）へご相談ください。
- 支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますのでご相談ください。
- 電話網と本商品の間に、アダプタ（ナンバー・ディスプレイアダプタ、ターミナルアダプタなど）が接続された場合や停電時端子に接続した場合、接続される通信機器によっては電話網の仕様と完全に一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- この取扱説明書の説明用画面の内容（サイト（番組）やメッセージの内容、URLなど）は架空のものです。実際とは異なる場合がありますのでご了承下さい。
- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページから本商品に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 本商品に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ）やBookmarkなどの登録内容は、電源が切れても本商品に内蔵のリチウム電池で保存されています。しかし、本商品の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所等（またはお買い求めになった販売店）へお申しつけください。

・米国特許第4,558,302号および対応外国特許に基づくライセンスを取得しております。

⚠危険

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
  - ・火の中や水の中に投入したり、加熱しない
  - ・直接はんだ付けしない
  - ・赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない
  - ・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない
  - ・外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない
  - ・水や海水につけたり、ぬらさない
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから当社のサービス取扱所へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- インクリボンの交換や原稿づまり、お手入れなどで、操作パネルを開けたときに、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。異物を落とした場合は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて、取り除いてご使用ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くすることなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

⚠警告

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を付けてください。(アース線は、付属していません。アース線をご用意のうえ接続してください。)
  - ・アース線が取り付けられるところは次の部分です。
    - ▷ 電源コンセントのアース端子
    - ▷ 銅片などを65cm以上地中に埋めたもの
    - ▷ 接地工事(第D種)が行われている接地端子
  - ・次のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。
    - ▷ ガス管
    - ▷ 避雷針
    - ▷ 水道管や蛇口
    - ▷ 電話専用アース線
- AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器は、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

- ぬれた手で電源プラグや電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグや電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いて点検・清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。
  - ・電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
  - ・使用を制限された場所では使用しないでください。

    例:医療用電子機器など
- 航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源をお切りください。電子機器や医療用機器に悪影響を与え、事故の原因となることがあります。
- 子機をねじったり、重いものを乗せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・けが・やけどの原因となることがあります。
- 電源アダプタは、付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタをコンセントに差し込んでおくと振動でゆるみ、すきまができる場合があります。そのすきまにピンなどが入り込むと短絡して、火災・感電の原因となることがあります。コンセントと電源アダプタの間にすきまができていないか、定期的に点検してください。

⚠警告

- 点検・清掃（お手入れ）は、必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜いて(記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから)始めてください。また、水滴がついたときは、乾いた布でふき取ってください。感電・やけどの原因となることがあります。
- 歩行中に子機を絶対に操作しない（見ない）でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

⚠注意

お使いになる前に　設置環境

- 直射日光の当たるところや、暖房設備、ボイラーなどのために著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 親機の背面部には通風孔がありますので、必ず壁から5cm以上離してください。通風孔をふさぐと親機の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 親機のまわりには物を置かないでください。原稿づまりや記録紙づまりの原因となることがあります。
- 本商品の底面部は、放熱のため温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に放置しないでください。カーペットが変色したり、火災の原因となることがあります。
- 本商品の底面部にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に子機の充電器を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けがの原因となることがあります。
- 寒い場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。誤動作の原因となることがあります。

⚠注意

お使いのとき

- 電源プラグや電源アダプタを抜くときは、必ず電源プラグまたは電源アダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 長期不在時は、安全のため必ず電源プラグや電源アダプタをコンセントから抜いてください。また、子機の電池パックも取り出してください。
- 記録紙の交換や原稿づまりなどで、操作パネルなどを開けるときには、突起物にご注意ください。引っかけてけがの原因となることがあります。
- 充電器の端子の上にピンなどの金属類を置かないでください。発熱したり、やけどや故障の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
- 小さなお子様が原稿挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 小さなお子様が電池パックの交換を行わないようご注意ください。
- ハンドコピーは、落としたり、ぶつけたりしないでください。ガラスやミラーが割れてけがの原因となります。

STOP お願い

置き場所について

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 温度が急激に変化する場所、冷え切った部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となることがあります。
- 高温、多湿、低温の場所には置かないでください。いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

  温度　5～35℃　　湿度　30～85%

  ・温度が35℃のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度30℃以下でご使用ください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
  ・電波が飛びにくくなります。
- 以下のようなところには置かないでください。
  ・クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接当たる場所
  ・ほこりや振動が多い場所
  ・換気の悪い場所
  ・揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- 自動車やオートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコンなど）。
  ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  ・放送局や無線局などが近く雑音が大きいときは、親機の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは子機が使用できないことがあります。

お願い

- 本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
  このような現象が本商品の影響によると思われましたら、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
  - ・本商品をテレビなどから遠ざける。
  - ・本商品またはテレビなどの向きを変える。
- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
  - ・親機と子機間の内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。
- 本商品を2セット以上お使いになるときは、お互いの距離をとって設置してください。電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。
  - ・接続などの準備のあと、親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。
  - ・子機では、操作をする前に、電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。
- 本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、右図のような設置スペースを確保してください。

お願い

- 本商品は右図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

取り扱いについて

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品の上に重い物をのせたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- コネクタに異物を差し込んだり、端子面を触らないでください。故障の原因となることがあります。
- 通信やコピーなどの動作中に、電源プラグを抜いたり、本商品の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 電源プラグや電源アダプタを抜いたままにしないでください。
  - ・ファクスを送受信や電話をかけることができません。
  - ・子機やハンドコピーが充電できません。
  - ・留守番機能が使用できません。
- 子機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP お願い

記録紙について

- 記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTTFAX P-752LC用記録紙以外はご使用にならないでください。
- 直射日光に当てない、また、窓際に置かないようにしてください。変色の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所には置かないでください。変色の原因となることがあります。
- 硬いものでこすらないでください。変色、発色の原因となることがあります。
- 薬品・油などを付けないでください。変色、記録消えの原因となることがあります。
- 粘着テープ、のり、接着剤などを付けないでください。変色の原因となることがあります。
- 青焼紙と重ねて保管しないでください。変色の原因となることがあります。

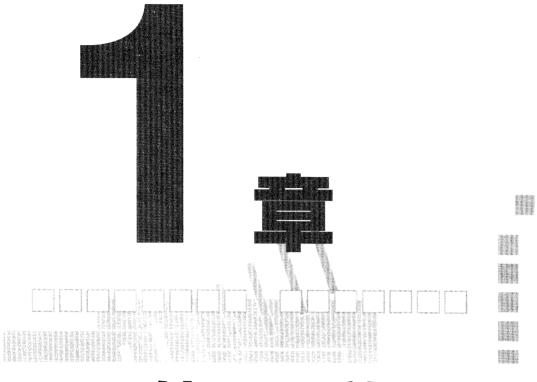
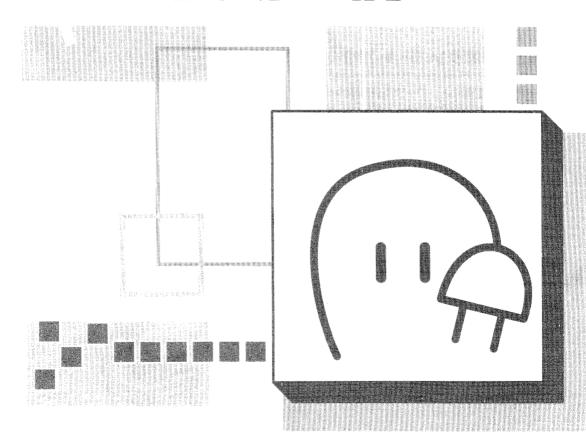
その他

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 法律によりコピーが禁止されているものもあります。コピーの禁止についてをよくお読みのうえ、ご使用ください。(P.3-4)

STOP お願い

- 本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
  - ・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
  - ・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
  - ・受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
  - ・子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
- スピーカーホンでお話しのとき、以下の点にご注意してください。
  - ・マイクの前には、ものなどを置かないでください。
    また、マイクとの距離は約50cm以内を目安としてお話しください。
  - ・マイクを手でおおわないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
- キャッチホンサービスをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
  - ・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
  - ・また上記の場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。
  - ・キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
  - ・通話中にキャッチホンが入ってきたときは、必ずキャッチボタンを押して切り替えてください。他の方法ではうまく切り替わらないことがあります。

1章 ご使用の前に

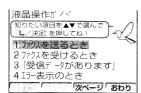
特長

大きな５型カラー液晶画面

大きな画面に文字も大きく表示します。カラー液晶なので見やすくなりました。
※カラーでファクスを送受信したり、コピーやプリントすることはできません。

見てからプリント機能

メモリー受信したファクスの内容を画面に表示したり（P.4-19～4-23）、ハンドコピーに記録したデータを表示（P.3-17）することができます。
※最初は「見てからプリント」ではなく、直接記録紙にプリントする設定になっています。「受信プリント」や「ハンドコピープリント」の設定を「見てからプリント」にするとお使いになれます。（P.4-27～4-28）

操作ガイドボタン（P.1-17）

このボタンを押すと、ファクス送受信やエラーが起こったときの操作方法などを表示します。液晶画面に表示されるガイドに従って、実際にファクスを送ることもできます。

16和音着信／保留メロディー

親機には、あらかじめ美しい16和音の着信メロディー（３曲）と保留メロディー（１曲）を内蔵しています。
Ｌモードサイト（番組）からお好みの曲（16和音）をダウンロードして親機の着信音にすることもできます。（３曲）

スピーカーホン（P.2-4～2-5、2-8～2-9）

親機の受話器を置いたままで、また子機を充電器に置いたままで、相手の方とお話ができます。

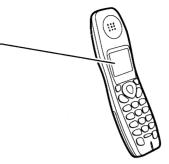
コードレスハンドコピー（ハンドスキャナ）（P.3-8～3-19）

ノートなどのとじ込み原稿も切り取らずにコピーできます。コードレスなので親機から離れた場所でも使うことができます。

漢字表示液晶ディスプレイ付子機

漢字表示の液晶ディスプレイで電話番号や名前を表示。子機の操作でファクスの送受信をすることもできます。

3 和音着信メロディー

子機には、あらかじめ 4 曲の 3 和音メロディーを内蔵しています。

L モードのメール送受信機能

L モードサービスご利用時、子機でもメールの送受信ができます。

L モードサービス対応（P.7-2〜7-75）

簡単な操作で、暮らしに役立つ情報を検索して見ることができます。
また、パソコンや携帯電話などとメールのやりとりもできます。
当社との加入契約と、月額基本料が必要です。（有料）

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応（P.8-2〜8-27）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、電話帳に登録している相手先からの電話は、名前を表示したり、呼出音を変えたりすることができます。
当社との契約が必要です。（有料）

※ 本商品の親機には、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。

取扱説明書の見かた

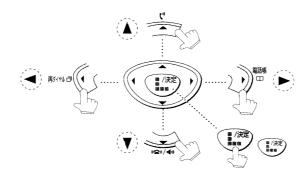
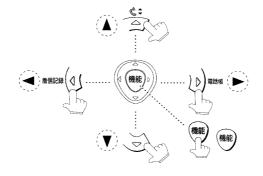
インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。
タイトル
ページの操作や項目を表していています。
機能説明
機能の内容をイラストなどで説明しています。
電話帳や再ダイヤルでファクスを送る
電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳ボタンを押したあと、マルチファンクションキーの上下で相手の方を選んでファクスを送ることができます。親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分、また1人につき2つの番号を登録できます。(P.2-12~2-14、2-19~2-20)
親機の電話帳でファクスを送る
受話器を置いたまま操作します。
1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向きにセット
2 を押して画質を選ぶ (P.3-5)
3 を押してから、 または で相手の方を選ぶ
4 電話番号を選んだあと、 を押す
途中でやめるとき
停止ボタンを押す
●送信する面を下にしてセットします。(一度に5枚まで)
●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。
●ディスプレイで相手の方を確かめます。
●最初は第1番号を選んでいます。 を押すと第2番号を選ぶことができます。
●自動的に送信を始めます。
電子電話帳
池田 悟
原稿セットしました
補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。
操作手順
基本的な操作を説明しています。
■「通信エラーがありました。」と聞こえたら (P.9-21)
お知らせ
● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号(発信元番号)ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。(必要に応じて相手の方に確認してください。)
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。
4-8
追加説明
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

操作手順でのボタンやマークの意味

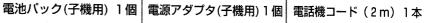
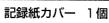
取扱説明書内では次のように表記しています。

■ 画質 ○ はソフトボタン（P.1-12）です。ソフトボタンは操作によってボタン名が切り替わります。操作するときは○の部分を押してください。

■ ◀・▶・▲・▼ はマルチファンクションキーの4方向（左・右・上・下）を押す操作を示しています。 /決定 は親機のL/決定ボタン、機能 は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

例：親機の場合

例：子機の場合

付属品の確認

付属品の確認

親機 (ファクシミリ本体) 1台	受話器(ハンドセット) (受話器コード含む) 1個	子機 (コードレス電話機) 1台	充電器(子機用) 1台
電池カバー(子機用) 1個	電池パック(子機用) 1個	電源アダプタ(子機用) 1個	電話機コード(2m) 1本
	 (白色)		
電池パック (ハンドコピー用) 1個	記録紙カバー 1個	記録紙カセット 1個	子機壁掛け用ネジ(2個)

カートリッジ付インクリボン 1個(10m)

- ●カートリッジ付インクリボンはあらかじめ親機にセットされています。
- ●あらかじめセットされているインクリボンは、テスト用ですので、別売品に比べて長さが短くなっています。
- ●インクリボンがなくなったら、カートリッジごと廃棄し、別売のカートリッジ付インクリボンに交換してください。

記録紙(A4普通紙)・・・・・・・・・・10枚
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・1部
取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・1冊
かんたん操作ガイド・・・・・・・・・・1部
子機FAX受信シール・・・・・・・・・・1枚
読み取り調整シート・・・・・・・・・・・1枚
デモモードのお知らせ・・・・・・・・・・1枚
NTT通信機器お取扱相談センタシール・・1枚

ご使用の前に知っていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

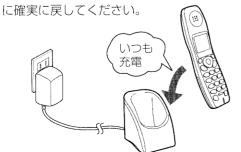
この商品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

子機について

■ **使用範囲を確かめる**

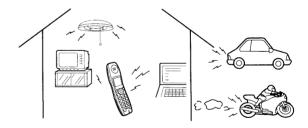
子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。（P.2-30～2-31）

■ **子機はいつも充電器に戻しておく**

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ **親機と子機の間に障害物のある場所で使わない**

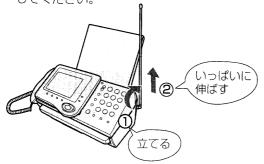
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ **雑音の入ることがあります**

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。

■ **“傍受”にご注意ください**

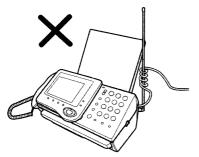
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の呼出音は、遅れて鳴ります**

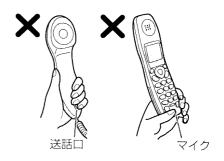
電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器の電源アダプタケーブルをアンテナに巻き付けないでください。着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **取り扱いについて**

ご近所でコードレス電話機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **子機や充電器を設置するときは**

親機（ファクシミリ本体）や他の増設（付属）子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

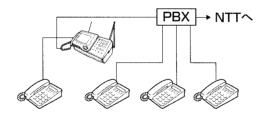
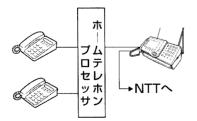
接続について

■ ブランチ式（並列）に接続しない

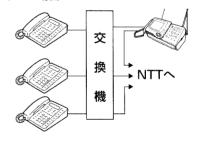
● 下図のように、一つの電話回線を2つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき電送速度が遅くなることがあります。

■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへの接続について

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどへ接続する場合は工事が必要です。
● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサに接続した場合は、Lモードサービス、ナンバー・ディスプレイサービスはご利用になれません。サービス利用設定のナンバー・ディスプレイを「しない」に設定してお使いください。（P.8-3）
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることはできません。

構内交換機(PBX)の場合

ホームテレホンプロセッサの場合

● **ホームテレホンプロセッサとは**

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

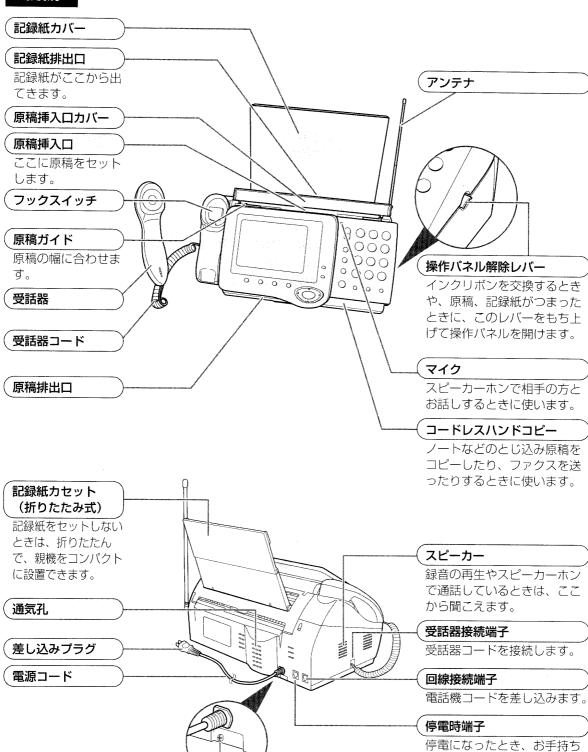
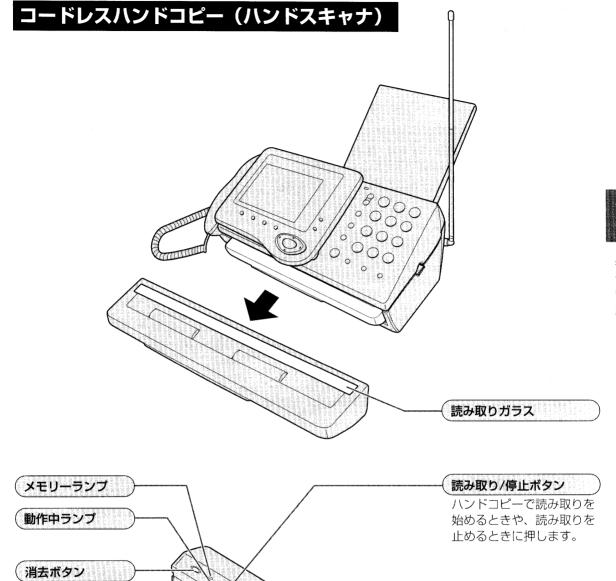
ビジネスホンの場合

● **ビジネスホンとは**

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

各部の名前とはたらき

親機

コードレスハンドコピー（ハンドスキャナ）

読み取り/停止ボタン
ハンドコピーで読み取りを始めるときや、読み取りを止めるときに押します。

消去ボタン
ハンドコピーで読み取ったデータを消去するときに使います。

ハンドコピー（ハンドスキャナ）用電池カバー

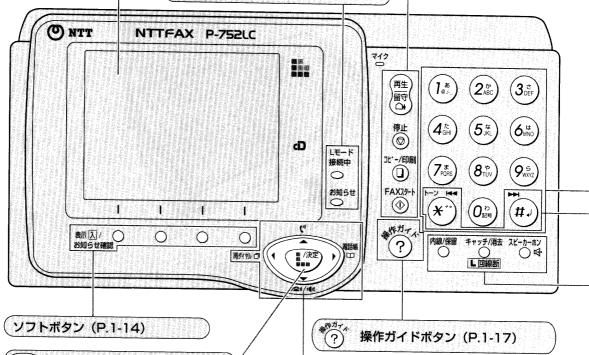
読取画質スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの画質を選びます。（文字／写真）

操作パネル

Lモード接続中 「Lモード」に接続している間、緑色のランプが点灯しています。

お知らせ 「受信データがあります」やエラーメッセージが待機画面に表示されると、赤色のランプが点灯してお知らせします。

カラー液晶ディスプレイ（P.1-14）

ソフトボタン（P.1-14）

L／決定ボタン（P.7-2〜7-75）

「Lモード」へ接続するときに使います。また、選択や入力した内容の決定に使います。

操作ガイドボタン（P.1-17）

このボタンを押すとファクスの送受信など基本的な操作方法やエラー解除の方法などを表示します。

マルチファンクションキー

登録や設定項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。ディスプレイに表示した画像をスクロールさせるときにも使います。

また、押す方向によって次の機能を兼用しています。

- ▲は、（音量）（P.1-26）
  受話音量を変えるときに使います。
- ▼は、（音量）（P.1-26）
  呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。
- ◀は、再ダイヤル／ポーズ（P.2-14,2-28,4-9）
  同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。
  また、電話番号の登録で、待ち時間を入れるときに使います。
- ▶は、電話帳（P.2-17,4-8）
  電話帳で相手の方に電話をかけるときに使います。

再生ボタン（P.5-5）
録音内容を再生するときに使います。

留守ボタン（表示ランプ兼用）（P.5-2,5-4）
外出時、留守番電話にするときに使います。

停止ボタン
操作や送信を途中で止めるときに使います。
「Lモード」をご利用時には、「Lモード」を終了して回線を切断するときに使います。

コピー／印刷ボタン（P.3-6,4-24）
原稿をコピーするときに使います。
また、見てからプリント機能で表示させた画面をプリントするときにも使います。

FAXスタートボタン
ファクスを送るときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン
電話をかけるときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。

⏮戻し／トーンボタン（P.5-2,5-5,6-18）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。
＊、＃ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

⏭送りボタン（P.5-5）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

内線／保留ボタン（P.2-11,2-30）
子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

キャッチ／消去 L回線断 ボタン（P.5-7,6-19）
録音内容を消したりするときに使います。また、キャッチホンサービスを利用するときも使います。
「Lモード」をご利用時には、画面表示をそのままにして回線を切断するときに使います。

スピーカーホンボタン（P.2-4,2-8,4-4）
受話器を使わずにお話しするときやファクスを送るときに使います。

ディスプレイ

待機画面（通話や操作などをしていないとき）では下記のように表示します。
ディスプレイは、待機画面になってから約4分間、点灯していますが、その後消灯します。

設定状態表示エリア

メモリー受信
ファクスをいったんメモリーで受け、受信が終了してからプリントする設定のときに表示します。
また、すぐに記録紙にプリントするように設定すると、「 **記録紙受信** 」と表示します。メモリーで受け、画面で見てからプリントする設定のときは、「 **見てからプリント** 」と表示します。

普通字　濃く
原稿の文字の大きさや濃さ、写真などにあわせて画質を設定します。（P.3-5）

呼出音切
呼出音を鳴らさない設定にしているときに表示します。

日付・時間表示エリア
日付・時刻を表示します。

メモリー表示エリア

（留守録音件数表示）
留守録やメモ録音している件数を表示します。

（受信メール件数表示）
「Lモード」のサービス利用時に保存されている受信メールの件数を表示します。

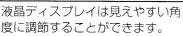
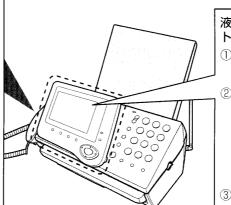
（メモリー受信件数表示）
ファクスをメモリー受信している件数を表示します。

キャラクター表示エリア
お買い求め時は「アニメーション」を表示しています。
「Lモード」を利用してダウンロードしたデータ（P.6-2～6-3）を表示することができます。

エラー／メッセージ表示エリア
「通信エラー」「原稿がつまってます」などのエラー表示や「受信データがあります」などのメッセージを表示します。

ソフトボタン表示エリア／ソフトボタン
操作に必要なボタンの名称がディスプレイに表示されますので、表示の下の ○ を押します。（表示部分を押しても動作しません。）

ディスプレイが消灯しているときは、これらのボタンを押すとディスプレイが点灯し、待機画面になります。
お知らせ○ が点灯しているときはこれらのボタンを押してメッセージを確認してください。

液晶ディスプレイは見えやすい角度に調節することができます。

※液晶ディスプレイの角度を調節するときは、ゆっくりと調節できる範囲で動かしてください。速く動かしたり、調節できる範囲以上に起こそうとしたりすると、故障の原因になります。

液晶ディスプレイのコントラストを調整することができます。
①登録ボタンを押したあと、(5)(1)と押す
②◀または▶で調整する

詳細設定
液晶濃度調整
淡い ■■■■■ 濃い
画質　　　取消

③停止を押す

子機

マルチファンクションキー
電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。
●▲▼ は、音量
(P.1-27)
お話し中に、受話音量を変えるときに使います。
●◀ は、（着信記録）
(P.8-7,8-9,8-11)
ナンバー・ディスプレイサービスをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。
●▶ は、（電話帳）
(P.2-19,2-23〜2-24)
電話帳に登録するときなどに使います。

機能（ファクス）ボタン
(P.4-5,4-15,6-8〜6-9)
登録操作や、ファクスを送受信するときに使います。

文字切替／キャッチボタン
(P.1-42〜1-43,6-19)
文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。

切ボタン（表示ランプ兼用）
通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

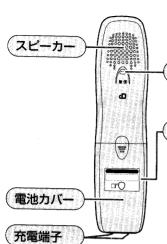
（再ダイヤル）ボタン
(P.2-20,2-29)
もう一度、電話をかけ直すときに使います。
また、電話帳の登録で、待ち時間（ポーズ）が必要なときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）
(P.2-3,2-7)
外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

スピーカーホン／発信ボタン（表示ランプ兼用）
子機を置いたまま、ダイヤルするときに使います。

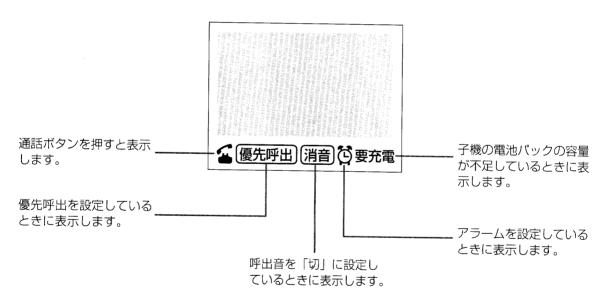
（音量）ボタン
(P.1-27)
呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。

ダイヤルボタン（表示ランプ）兼用
5（戻し）ボタン（P.5-6）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。
6（送り）ボタン（P.5-6）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。
9（早聞き）ボタン（P.5-6）
録音内容を早く聞くときに使います。（1.5倍速）
トーンボタン（P.6-18）
ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。
また、文字入力するときに「゛」や「゜」を入力するときに使います。

保留／内線/クリアボタン
(P.1-42,2-11,2-31)
通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。
また、入力した文字を消すときにも使います。

着信ランプ
着信があったときに点滅します。

子機FAX受信シール
子機の操作でファクスを受ける（P.4-15）または送る時にすぐ操作がわかるように、電池カバーの所などに貼り付けてください。

ミゾ
充電器のコードを入れます。

充電端子

液晶ディスプレイ

■ **液晶ディスプレイのコントラストを調整するときは（P.6-9）**

操作ガイドボタンについて

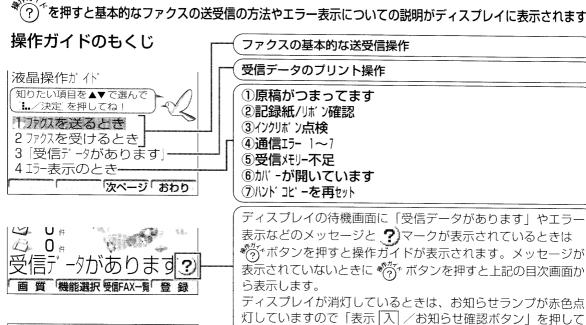
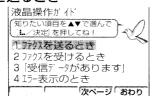
操作ガイド ? を押すと基本的なファクスの送受信の方法やエラー表示についての説明がディスプレイに表示されます。

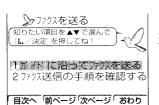
操作ガイドのもくじ

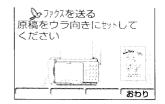
ディスプレイの待機画面に「受信データがあります」やエラー表示などのメッセージと ? マークが表示されているときは操作ガイド ? ボタンを押すと操作ガイドが表示されます。メッセージが表示されていないときに操作ガイド ? ボタンを押すと上記の目次画面から表示します。
ディスプレイが消灯しているときは、お知らせランプが赤色点灯していますので「表示 入 ／お知らせ確認ボタン」を押して内容を確認してから操作ガイド ? ボタンを押してください。

見てからプリント

登録 ?

登録操作中などでも ? マークが表示されているときは操作ガイド ? ボタンを押すと操作ガイドを表示できます

(例) 操作ガイドに沿ってファクスを送るとき

操作ガイド ? を押す ➡

▲ または ▼ で「ファクスを送るとき」を選び、次ページ を押す ➡

「1 ガイドに沿ってファクスを送る」を選び、次ページ を押す ➡

もう1度 次ページ を押す ➡

原稿をセットする ➡

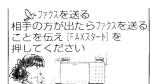
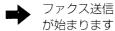
受話器を取る ➡

相手のファクス番号をダイヤルする ➡

ダイヤル後、次ページ を押す ➡

を押す

ファクス送信が始まります

お知らせ

● 操作ガイドを表示しているときは子機で電話をかけることはできません。

親機を接続する

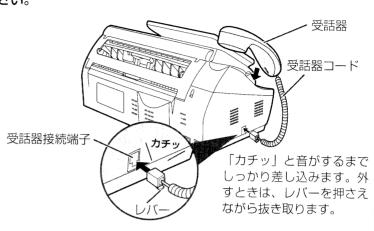
親機を接続する

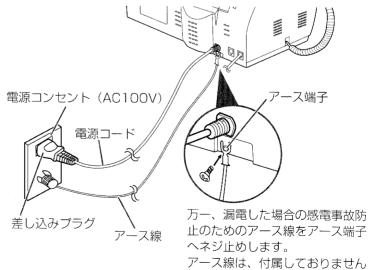
必ず手順の番号順に接続してください。

1 受話器と受話器コードを接続する

「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。外すときは、レバーを押さえながら抜き取ります。

2 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話機コンセントに差し込む

●コンセントのタイプについて

電話機コードを接続する前に差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ場合、親機の液晶画面が「デモモード」になります。電話機コードを接続し、回線種別が設定されると、通常の日付・時刻の表示になります。

3 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線をアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

4 電話回線が自動的に設定される

●10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。

●回線種別とは…

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（いずれの回線を利用しているかは、当社との契約によります。）

●「回線種別選択」と表示されたときは

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときは(1)～(3)で回線を選んでください。

20PPS	▶ (1)
トーン（プッシュホン）	▶ (2)
10PPS	▶ (3)

●回線種別を変える（合わせる）ときは

①登録ボタンを押したあと、(1)(4)と押す
②(1)～(3)で回線を選ぶ

20PPS	▶ (1)
トーン（プッシュホン）	▶ (2)
10PPS	▶ (3)

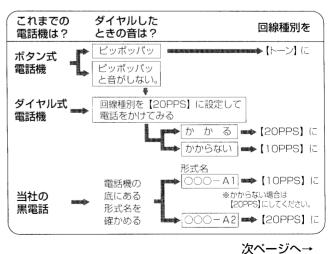
(4)を押すと20PPSまたは、トーン（プッシュホン）回線を利用しているときは自動的に設定されて待機画面に戻ります。ただし、10PPS回線を利用しているときでも「20PPS」に設定されます。電話がかけられないときは「10PPS」に設定してください。

③停止ボタンを押す

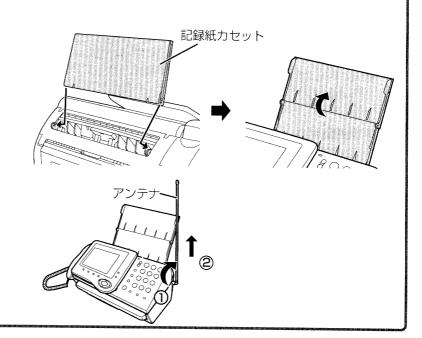
●回線の種類がわからないときは

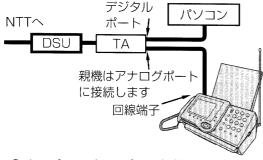
回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、当社最寄りの支店、営業所にお問い合わせください。

次ページへ→

ご使用の前に　親機を接続する

→つづき

5 記録紙カセットを取り付ける
向きに注意して、図のように取り付けてください。

6 アンテナを立てて伸ばす
アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

■ ISDN回線をご利用のときは

インターネットやパソコン通信にISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプタ（TA）を用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、当社へ申し込みが必要です。

- ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタを使用してください。
- ターミナルアダプタとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプタによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプタの説明書をご覧ください。
- 本商品の回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください。
- 「Lモード」をご利用になるときは、「Lモード」に対応したターミナルアダプタ（TA）をご使用ください。

お知らせ

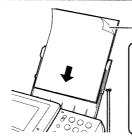
- 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
- 電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。
- ISDN回線をご利用のときは、TAによっては、電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。大きすぎる場合は、設定を変更してください。（P.10-6）

記録紙をセットする

1度に30枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙は、指定の記録紙をお使いください。(P.10-2)
指定品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、薄くプリントされることがあります。

記録紙をセットする

1 プリントする面をウラ向きにし、記録紙カセットにセットする（一度に30枚まで）

普通紙をよくさばいて紙の先端をそろえてからセットしてください。
さばかずに紙の先端をそろえずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。

2 記録紙カバーを取り付ける

●記録紙カセットが壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。
このようなときは、親機の設置位置を少し前に寄せてください。

記録紙を取り出す

1 記録紙カバーを取り外す

記録紙カバー

2 記録紙を取り出す

■ **記録紙を追加するときは**

いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙の追加をしないでください。

お知らせ

- しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。
- 長期間、記録紙カセットに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

子機を充電する

充電器を電源アダプタと接続して電源コンセント（AC100V）に差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

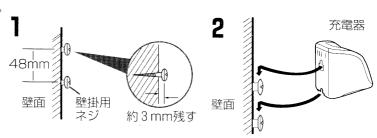
1 充電器に電源アダプタを接続する

2 電源アダプタをコンセントに差し込む

子機を壁に掛けて使う

付属の壁掛け用ネジを使います。

1 付属の壁掛け用ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける

2 充電器を取り付ける

●壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。
●電源アダプタのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。

48 mm

壁掛用取り付け寸法

お知らせ

- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
- 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（P.9-5）
- 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。

電池パックの寿命

- 電池パックにも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約1年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときは新しい別売の電池パックに交換してください。

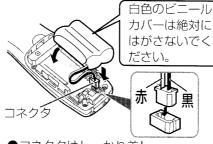
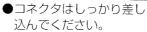
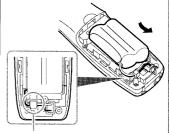
通話時間について

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

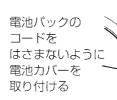
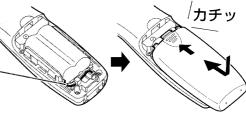
- 通話状態で**約 6 時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。
- スピーカーホン通話（P.2-5、2-9）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

子機を充電する

1 電池パックのコネクタを接続して電池パックを入れる

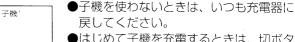
●コネクタはしっかり差し込んでください。

●電池パックのコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 電池カバーを取り付ける

電池パックのコードをはさまないように電池カバーを取り付ける

3 子機を充電器に置く

ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。

はじめてお使いになるときは、切ボタンが点灯してから
10時間以上充電
してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに“**子機1**”が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- ディスプレイに表示される“**子機1**”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。（P.2-30、2-32）

お知らせ

- 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、電池パックのコネクタを外しておくことをおすすめします。

コードレスハンドコピーを充電する

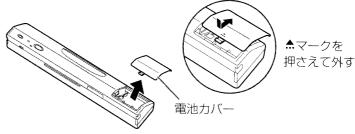
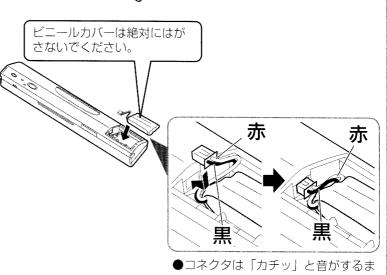
はじめてお使いになるときは、
必ず6時間以上充電してください。

使用時間について

いっぱいに充電した状態（6時間以上）で連続して使用できる時間は
約1.5時間です。
また、動作待機時間は約3時間です。（周囲温度約25℃でお使いになった場合の目安の時間です。使用条件によって使用時間は異なります。）
充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警告音が鳴り、5分後に電源が切れて、読み取ったデータが消えてしまいます。読み取ったあと、早めにハンドコピーを親機に取り付けてください。

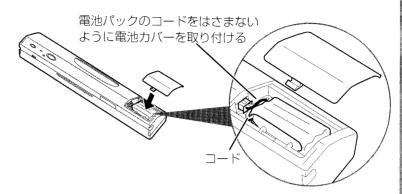
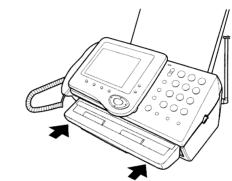
コードレスハンドコピーを充電する

1 ハンドコピーの中央を押さえて引き出す
（P.3-10）

2 ハンドコピーの電池カバーを取り外す

3 電池パックを入れてコネクタを接続する

●コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

次ページへ→

→つづき

4 電池カバーを取り付ける

5 ガラス面を上にして ハンドコピーを親機に 取り付ける

(P.3-10)

はじめてお使いになるときは
6時間以上充電してください。

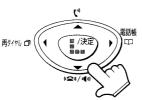
親機に取り付けるだけで充電が始まります。

- ハンドコピーを使わないときは、いつも親機に戻してください。
- 充電中はハンドコピーがあたたかくなる場合がありますが、異常ではありません。

呼出音量や受話音量、スピーカーの音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

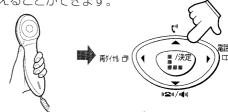
 （音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。
（音を聞きながら設定してください。音は現在設定されている呼出音で鳴ります。）

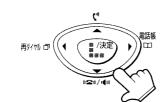
親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

（音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。

親機の呼出音を鳴らさないようにするときは

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの点灯でわかります。

受話器を置いた状態で

（音量）を3秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

● 「切」にしているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

親機のスピーカー音量を変える

スピーカーホンで話しているときや、録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさ、また、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさを変えることができます。

スピーカーホン **を押し、**

「ツー」という音が聞こえているときに

（音量）を押す

※ボタンを押すたびに5段階に設定できます。

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量切替　P.9-2）**

■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音　P.4-28）**

子機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を押す

はじめは「大」になっています。
小⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。）

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは △を押す
小さくするときは ▽を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷特大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

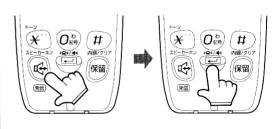
子機の呼出音を鳴らさないようにするには

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を2秒以上（ピー音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイに［消音］が表示されます。
再び呼出音を鳴らすときは（音量）ボタンを押します。
●［消音］に設定しているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

スピーカーホン
を押し、

「ツー」という音が聞こえているときに
（音量）を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量切替 P.9-2）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量切替 P.9-2）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音出力 P.6-9）**

呼出音の種類を変える

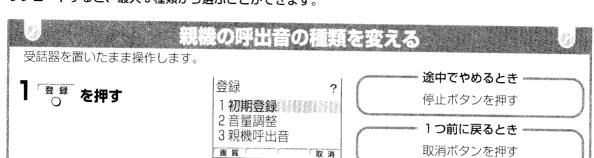
電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ 6 種類のメロディーが内蔵されています。また、「Lモード（3種類）」からダウンロードすると、最大 9 種類から選ぶことができます。

親機の呼出音の種類を変える

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 ▲ または ▼ で「親機呼出音」を選び、機能/決定 を押す

親機呼出音 ?
1 呼出回数
2 親機呼出音切替
画質 取消

3 ▲ または ▼ で「親機呼出音切替」を選び、機能/決定 を押す

親機呼出音切替 ?
1 電話ベル音
2 鳥の声
3 電子音
画質 取消

4 ▲ または ▼ で呼出音を選び、機能/決定 を押す

親機呼出音切替 ?
4 TOYS SYMPHONY
5 トルコ行進曲
6 華麗なる大円舞曲
画質 取消

5 停止 を押す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

●はじめは（お買い求め時は）電話ベル音に設定されています。

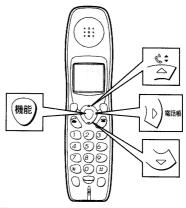
固定メロディー	1	電話ベル音
	2	鳥の声
	3	電子音
	4	TOYS SYMPHONY
	5	トルコ行進曲
	6	華麗なる大円舞曲
「Lモード」からのダウンロード	7	ダウンロードメロディ 1
	8	ダウンロードメロディ 2
	9	ダウンロードメロディ 3

■ **相手によって呼出音を変えるには（P.8-15～8-18）**

■ **設定した親機の呼出音を確認したいときは（親機の呼出音量を変える P.1-26）**

お知らせ

- 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。
- 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときは、「電話ベル音」になります。

子機の呼出音はあらかじめ9種類のメロディーが内蔵されています。

子機の呼出音の種類を変える

1 （機能）を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

途中でやめるとき
切ボタンを押す

2 （▲）または（▼）で「着信音色」を選び、（▷電話帳）を押す

着信音色
◆：音色選択

[機能] 決定

3 （▲）または（▼）で呼出音の種類を選び、（機能）を押す

着信音色

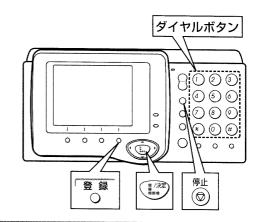
設定しました

- 選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。
- 子機の呼出音は次の中から選ぶことができます。
  「プルルル　プルルル」
  「ポロロロ　ポロロロ」
  「ショートメロディー①」
  「ショートメロディー②」
  「ショートメロディー③」
  「眠りの森の美女」
  「春の歌」
  「トルコ行進曲」
  「森のくまさん」

お知らせ

- 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。

日付と時刻を合わせる

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントします。また、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。
（親機の日付・時刻は、お買い求め時にあらかじめ設定されています。）

親機の日付と時刻を合わせる

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 「初期登録」を選び、 [/決定] を押す

初期登録 ?
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
画質 取消

3 [/決定] を押す

日付・時刻
日付 01-11-03
画質 取消

4 ダイヤルボタンで日付を入れる

例：0 1 1 1 0 3
2001年 11月 3日

日付を修正しないときは、[/決定] を押して手順5へ

日付・時刻
時刻 15:00
画質 取消

5 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後3時 00分

日付・時刻
11- 3 SAT 15:00
[L/決定] で決定
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

- 数字を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。
- 西暦年を入れるときは下2桁を入れます。

【年入力】
2001年 ⇒ 01
〜
2092年 ⇒ 92

次ページへ→

→つづき

6 （登録/決定）を押す

初期登録

登録しました

画質　　取消

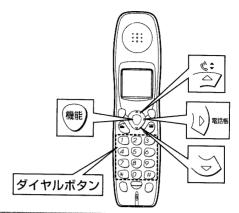
7 停止 を押す

● 0 秒から時計がスタートします。

お知らせ

● 時刻表示は、目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）

● 日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年はディスプレイには表示されませんが、送信したファクスにはプリントされます。

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。（親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。）

子機の時刻を合わせる

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （▲）**または**（▼）**で「システム設定」を選び、**（▷）電話帳**を押す**

▶時計登録
使用者表示
登録初期化
◀戻る　選択▶

3 **「時計登録」を選び、**（▷）電話帳**を押す**

時計登録
00:00
[機能] 決定

途中でやめるとき

切ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

4 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。
例：1 5 0 0
午後3時　0 0分

時計登録
15：00
［機能］決定

● 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
例：0 9 0 8
午前9時　8分

● 数字を入れまちがえたときは、▶ または ◀ でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

5 機能 を押す

時計登録
15：00

● 「ピー」と鳴ったあと待機画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

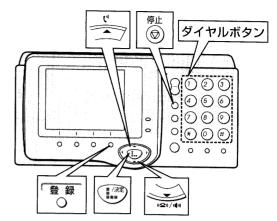
■ 「ピピピピ」と鳴ったときは

時刻として入力できる範囲を越えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

● 電池パックのコネクタが外れたり、電池パックの容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
● 操作の途中で2分以上何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する

ファクスを送るとき、あなたの電話番号や名前を相手の方に伝えるために登録します。登録した番号や名前は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

あなたの電話番号を登録する

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 「初期登録」を選び、/決定を押す

初期登録 ?
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
画質 取消

3 ▲または▼で「発信元番号」を選び、/決定を押す

発信元番号 ?
1 登録
2 クリア
画質 取消

4 「登録」を選び、/決定を押す

発信元番号

NO. =
FAX NO. セットください
画質 取消

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき

取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

5 電話番号を入れる（最大20ケタ）

発信元番号
NO.=0312345678
最後に［L/決定］で決定
画質　取消

●番号を入れまちがえたときは取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。
●スペース（空白）を入れるときは (#) を押します。
プラス（＋）を入れるときは (＊) を押します。

6 (/決定) を押す

初期登録
登録しました
画質　取消

7 停止 (◎) を押す

■ **登録した電話番号を消すときは**

① 手順4で (▲) または (▼) で「クリア」を選び、(/決定) を押す
② もう一度 (/決定) を押す
③ 停止ボタンを押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

あなたの名前を登録する

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 「初期登録」を選び、/決定 を押す

初期登録 ?
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
画質 取消

3 ▲ または ▼ で「発信元名」を選び、/決定 を押す

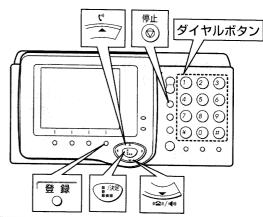
発信元名 ?
1 登録
2 クリア
画質 取消

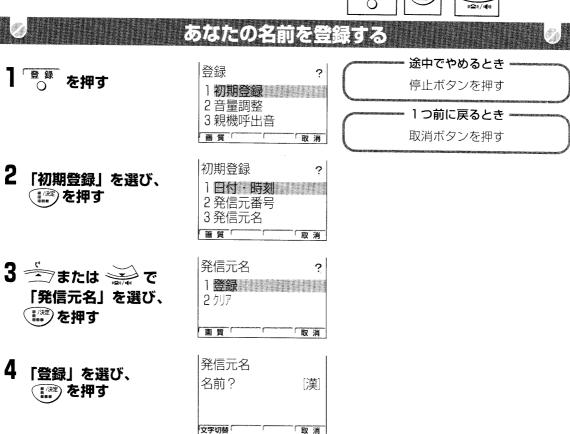
4 「登録」を選び、/決定 を押す

発信元名
名前？ [漢]
文字切替 取消

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき

取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

5 **名前を入れる（最大全角12文字／半角24文字）**
（P.1-38〜1-41）

6 （登録/決定）**を押す**

初期登録

登録しました

画質　　取消

7 停止 **を押す**

■ 登録した名前を消すときは

① 手順4で ▲ または ▼ で「クリア」を選び、（登録/決定）を押す
② もう一度（登録/決定）を押す
③ 停止ボタンを押す

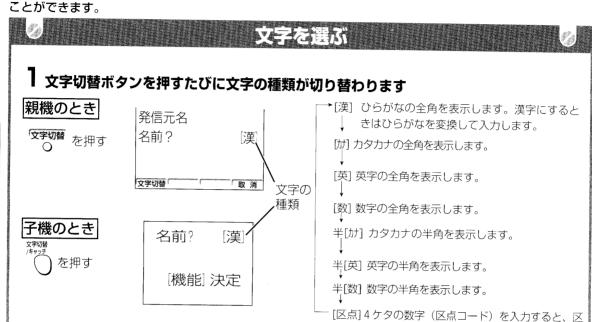
■ 登録した名前を変えるときは

一度消してから、もう一度登録します。

文字入力のしかた

電話帳に名前を登録するときなど、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。
（P.2-12,2-19等）
文字切替ボタンを使うと入力する文字の種類を替えることができます。

文字を選ぶ

1 文字切替ボタンを押すたびに文字の種類が切り替わります

2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選びます（P.1-39、1-42）

[漢]（ひらがな）モード

ダイヤルボタンの押された回数により、文字入力一覧表（P.1-39、1-42）のひらがなが全角表示されます。漢字にするときは、ひらがなを変換して入力します。（P.1-40、1-43）

（例）1 を押した場合
押すたびに表示される文字が切り替わります。
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

[カナ]、[英]、半[カナ]、半[英] モード

ダイヤルボタンの押された回数により、文字入力一覧表（P.1-39、1-42）の文字が全角または半角で入力できます。

[数]、半[数] モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

[区点] モード

区点コード一覧表（P.10-8～10-19）を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。

（例）区点コード：4567の「翼」を入れる

■親機　文字入力一覧表

入力モード / 入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな [漢]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]	カタカナ(※1) 半[ｶﾅ]	英字(※2) 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 あ @./-_	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@．／ー＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@./-_	1	(P.10-8 〜 10-19)
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABC abc	2	ｶｷｸｹｺ	abc ABC	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEF def	3	ｻｼｽｾｿ	def DEF	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI ghi	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	ghi GHI	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL jkl	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl JKL	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO mno	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno MNO	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRS pqrs	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs PQRS	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	tuv TUV	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz WXYZ	9	
0 わ 記号	わをんー □(スペース) 。、	ワヲンー □(スペース) 。、	，：！？＆ ／（）［］ □(スペース)	0	ﾜｦﾝｰ □(スペース)	※3	0	
＊ トーン	濁点/半濁点		無効	＊	濁点/半濁点	※5	＊	無効
#	※4			#	※4		#	※4
再ダイヤル/電話帳（左右）	カーソル左右移動							
上下ボタン	かな漢字変換	メール本文入力中、カーソル上下移動						
変換	かな漢字変換	無効（非表示）						
取消	カーソル上の1文字を消去							
文字切替	文字の種類の切り替え							

(※1)：半角カタカナは、電話帳の登録時や発信元名、「Ｌモード」で使えます。
(※2)：電話帳や発信元名の登録時は、小文字は使えません。
(※3)：電話帳の登録時と発信元名登録時は、, : ! ? & / ( ) [ ] □（半角スペース）の順に表示されます。
メールの宛先や題名、本文入力中は、
˜, : ; ! ? & ¥ $ % + = ¦ " ' ^ ( ) < > [ ] { } @./-_□（半角スペース）の順に表示されます。
(※4)：Ｌモードサービスの送信メールの本文入力時のみ ↵（改行）します。
(※5)：定型文が入力できます。（「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」等を選んだあと （決定） ボタンを押して入力します。）

「池田」と入力するときは次のように入力します。

親機で文字入力する（例）

1 [文字切替] で文字の種類を選ぶ（P.1-38）

●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、［漢］になっています。

2 (1) を2回押す

●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 (2) を4回押す

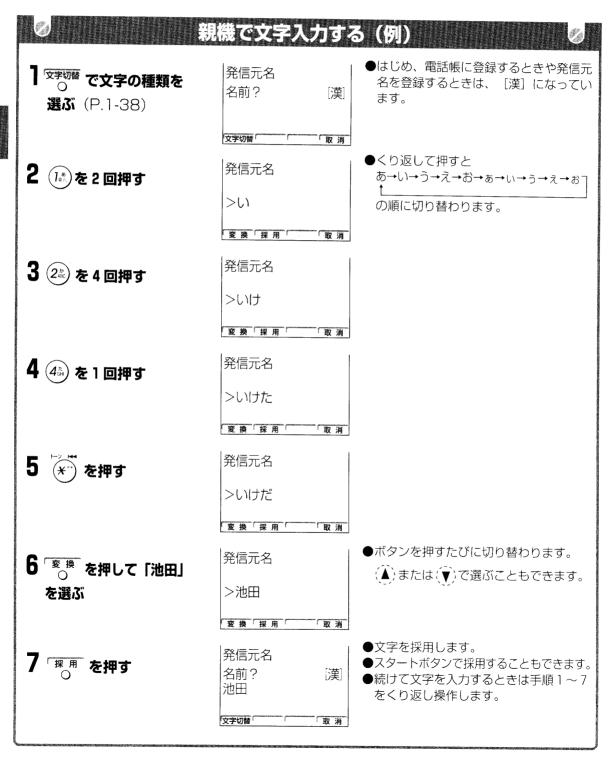
4 (4) を1回押す

5 (＊) を押す

6 [変換] を押して「池田」を選ぶ

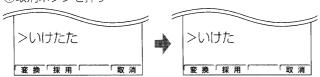
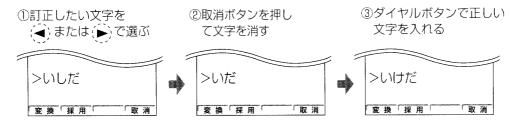
●ボタンを押すたびに切り替わります。
(▲) または (▼) で選ぶこともできます。

7 [採用] を押す

●文字を採用します。
●スタートボタンで採用することもできます。
●続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。

親機の文字入力について

■ 文字を消すには

カーソルの１つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）

①取消ボタンを押す

■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ

②取消ボタンを押して文字を消す

③ダイヤルボタンで正しい文字を入れる

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

（例）「あい」を入れる

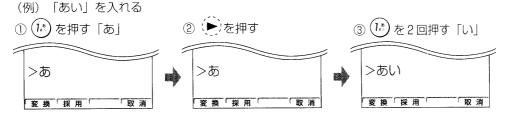
① 1 を押す「あ」

② ▶ を押す

③ 1 を２回押す「い」

■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

①濁点や半濁点をつけたい文字を入れる

② ＊ を押す（くり返し押すと（゛）と（゜）が切り替わります。）

■ スペースを入力するときは

▶ を必要な分だけ押します。１回押せば半角分のスペースが入ります。

（［漢］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから ▶ を必要な分だけ押してください。）

■ 改行するときは（「Ｌモード」でメールの本文を作成中のみ）

＃ を押す

（［漢］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから ＃ を押してください。）

■子機　文字入力一覧表

入力モード／入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな [漢]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]	カタカナ(※4) 半[ｶﾅ]	英字(※1) 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 あ @.-_	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . ／ー＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@ . / - _	1	(P.10-8 〜 10-19)
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	abc ABC	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	def DEF	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	ghi GHI	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl JKL	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno MNO	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs PQRS	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	tuv TUV	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz WXYZ	9	
0 わ 記号	わをんー □(スペース) 。、	ワヲンー □(スペース) 。、	，：！？＆ （）［］□ (スペース)	0	ﾜｦﾝｰ □(スペース)	, : ! ? & ( ) [ ] □ (スペース) (※3)	0	
トーン ＊	濁点／半濁点		無効	＊	濁点／半濁点	※2	＊	無効
＃	無効			＃	無効		＃	無効
着信記録 ◁ ／ ▷ 電話帳	カーソル左右移動							
△ ／ ▽	かな漢字変換	無効						
内線/クリア 保留	カーソル上の１文字を消去							
内線/クリア 保留 を2秒以上押す。	全文字消去							
文字切替/キャッチ	入力モード変換							

(※1)：電話帳の登録時は、小文字は使えません。
(※2)：メールの宛先リスト登録時のみ定型文が入力できます。（「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」等を選んだあと (機能) ボタンを押して入力します。）
(※3)：メールの宛先や題名、本文入力中は、
~, : ; ! ? & ¥ $ % + = | " ' ^ ( ) < > [ ] { } □（半角スペース）の順に表示されます。
(※4)：メールの宛先／題名／本文入力時は、半[ｶﾅ]は使えません。

子機で文字入力する（例）

1 文字切替/キャッチ で文字の種類を選ぶ
(P.1-38)

名前?　[漢]
[機能] 決定

●はじめ、電話帳に登録するときや子機使用者表示を登録するときは［漢］になっています。使用する目的によって異なります。

2 1 を2回押す

>い
◆変換

●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 2 を4回押す

>いけ
◆変換

●同じボタンを使って入力する文字（例：「あ」と「え」、「わ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 4 を1回押す

>いけた
◆変換

●▶ を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

5 トーン ＊ を押す

>いけだ
◆変換

6 ▲ または ▼ で「池田」を選ぶ

>池田
◆変換　007

7 機能 を押す

名前　[漢]
池田
[機能] 決定

●文字を採用します。
●続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。

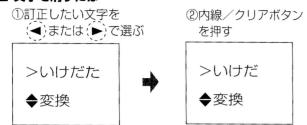
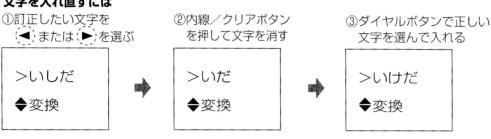
■ **変換を取り消すときは**
保留ボタンを押します。

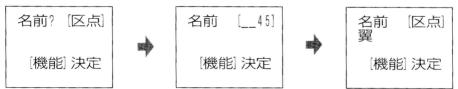
子機の文字入力について

■ 文字を消すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ　②内線／クリアボタンを押す

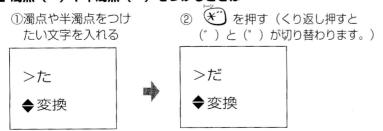
■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ を選ぶ　②内線／クリアボタンを押して文字を消す　③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる

■ 区点コードで文字を入れるときは

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで４ケタの数字を入れます。（P.10-8～10-19）
（例）区点コード：4567の「翼」を入れる

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

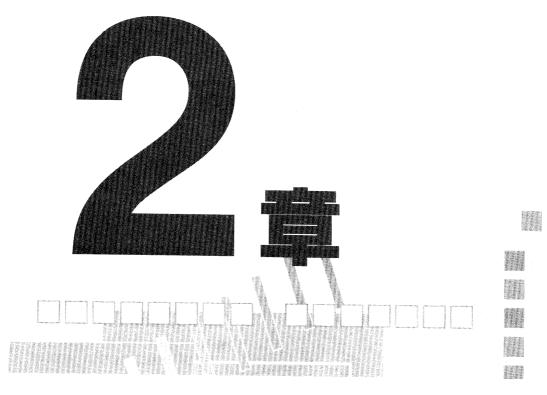
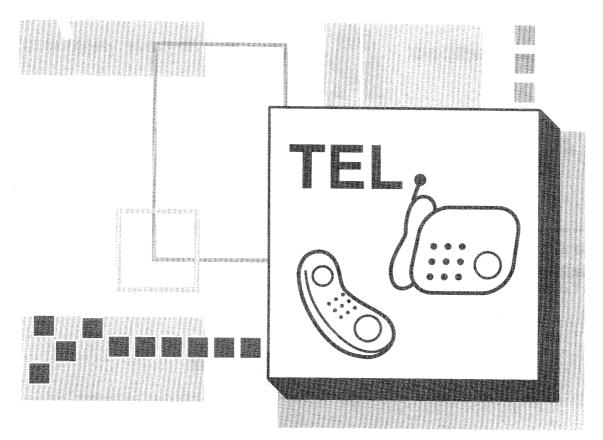
（例）「あい」を入れる
① 1 を押す「あ」　② ▶ を押す　③ 1 を２回押す「い」

■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

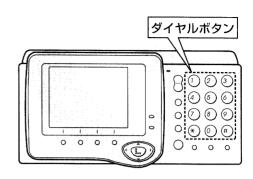
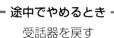
①濁点や半濁点をつけたい文字を入れる　② ✻ を押す（くり返し押すと（゛）と（゜）が切り替わります。）

■ スペースを入力するときは

▶ を必要な分だけ押します。１回押せば半角分のスペースが入ります。
（［漢］モードのときは機能ボタンを押して、文字を採用してから ▶ を必要な分だけ押してください。）

電話

TEL

電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

親機で電話をかける

1 受話器を取る

●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。（P.2-4）

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

0312345678
画質 機能選択 登録

●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら **受話器を戻す**

■ **電話がかからないときは（P.9-10）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（P.4-26）を「なし」にします。（ファクス受信時、親機で通話中のときはスタートボタンを、子機で通話中のときは機能ボタンを押します。）

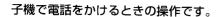
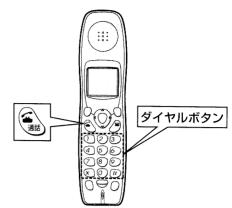
お知らせ

● 相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合はダイヤル終了後、呼出音が聞こえ始めるまでの時間が長くなることがあります。

子機で電話をかけるときの操作です。

子機で電話をかける

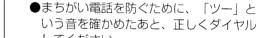
1 充電器から取って
(通話)を押す

電話番号?

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●通話ボタンが点灯します。
●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。（P.2-5）

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678

●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0312345678
0:30
<通話中>

4 通話が終わったら
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
●通話時間の表示は、約5秒後に消えます。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは**
(P.9-26)

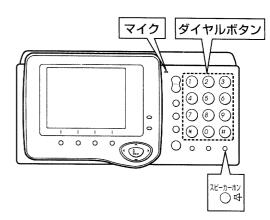
■ **番号を確かめてから電話をかけるときは**

① 通話ボタンを消灯させた状態でダイヤルする（ディスプレイで番号を確かめる）
② 通話ボタンを押す
③ 相手の方とお話しする
④ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押す）

お知らせ

● ご使用の環境や電波の状態によっては子機から電話がかからないことがあります。親機に近づくなど、少し場所を移動してみてください。

受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）

受話器や子機を持たずに、相手の方とお話しができます。（スピーカーホン通話）

受話器を置いたまま電話をかける

1 スピーカーホン ◯ **を押す**

スピーカーホンダイヤル
画質　機能選択　登録

途中でやめるとき
スピーカーホンボタンを押す

●天気予報などを聞くときは、２回目の「ピッ」と鳴るまでスピーカーホンボタンを（２秒以上）押し続けます。受話専用になり音声が聞き取りやすくなります。（受話専用のときはこちらの声は相手の方には聞こえません。）

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678
画質　機能選択　登録

●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**

●マイクから約50cmの範囲内でお話しください。
●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら
スピーカーホン ◯ **を押す**

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（P.1-26）**

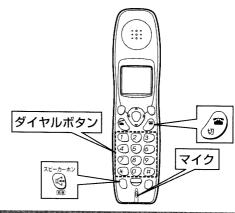
■ **電話がかからないときは（P.9-10）**

お知らせ

● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、受話器を取ってお話しください。
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手の方からの電話がつながったときは、こちらの声が相手の方に聞こえないときがあります。
こんなときは、受話器を取ってお話しください。

受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話をかける

1 スピーカーホン（発信）**を押す**

電話番号？

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●ダイヤルボタンが約５秒間点灯します。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678

●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cmの範囲内でお話しください。
●通話中は電話番号と通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら

切を押す

●電話番号と通話時間（目安）は約５秒後に消えます。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは** **（P.9-26）**

■ **相手の声が聞こえにくいときは** **（P.1-27）**

■ **電話番号を確認して電話をかけるときは**
① ダイヤルする(番号を確かめる)
② スピーカーホンボタンを押す（相手が出たらお話しします。）
③ 通話が終わったら、切ボタンを押す

お知らせ

● 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えられます。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）
● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないことがあります。
こんなときは、子機を取ってお話しください。

電話を受ける

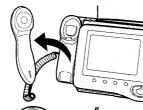
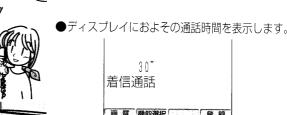
親機で電話を受けるときの操作です。

親機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 相手の方とお話しする

●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-26）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（P.4-26）を「なし」にします。（ファクス受信時、親機で通話中のときはFAXスタートボタンを、子機で通話中のときは機能ボタンを押します。）

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイの契約をすると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（P.8-2～8-27）

子機で電話を受けるときの操作です。

電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。

子機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。（P.6-8）
- 通話ボタンが点灯します。

2 相手の方とお話しする

- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約5秒後に消えます。

■ **呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは**
呼出音が鳴っているときに切ボタンを押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときはもとの設定している呼出音が鳴ります。

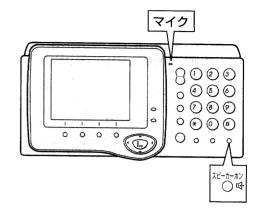
■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-27）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは（P.2-6）**

お知らせ

- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイの契約をすると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（P.8-2～8-27）

受話器や子機を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）

親機の受話器や子機を持たずに、電話を受けて、相手の方とお話しすることができます。（スピーカーホン通話）

受話器を置いたまま電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら

スピーカーホン **を押す**

5"
着信通話
画質 機能選択 登録

2 **マイクに向かって相手の方とお話しする**

- マイクから約50cmの範囲内でお話しください。
- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら

スピーカーホン **を押す**

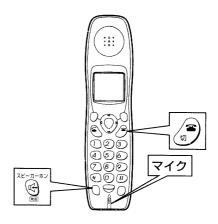
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（P.1-26）**

■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-26）**

お知らせ

- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、受話器を取ってお話しください。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに電話がかかってきたときは、親機のスピーカーホンボタンを押してもスピーカーホン通話できません。子機または受話器を取ってお話しください。

受話器や子機を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら

を押す

●ダイヤルボタンが約５秒間点灯します。
●通話中は通話時間（目安）を表示します。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 マイクに向かって相手の方とお話しする

●マイクから約50cmの範囲内でお話しください。

3 通話が終わったら

を押す

●通話時間（目安）の表示は、約５秒後に消えます。

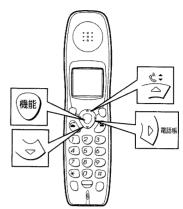
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（P.1-27）**

■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-27）**

お知らせ

● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）
● 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、子機だけに呼出音が鳴ります。

優先呼出を設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （機能）**を押す**

▶用件再生 優先呼出 着信音色 ◀終了　選択▶

2 （▲）**または**（▼）**で「優先呼出」を選び、**（▷電話帳）**を押す**

優先呼出 設定しました ［優先呼出］

● 「ピー」と鳴り、ディスプレイに［優先呼出］と表示されて、優先呼出が設定されます。

■ 優先呼出を解除するときは

ディスプレイに［優先呼出］が表示されているときに、手順1～2の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの［優先呼出］が、消えます。

優先呼出 解除しました

優先呼出の表示が消えます

➡

（例）

子機1 15:00

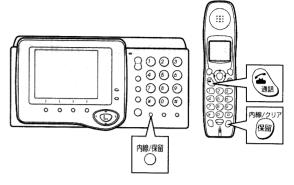
お知らせ

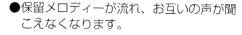
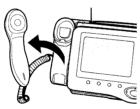
- 他の電話機と並列に接続しているとき、並列接続されている電話機の呼出音は、電話がかかってくると鳴ります。
- 設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、1台のみです。
  子機を増設しているときで、すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「設定できません」と表示され優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の電池パックを交換すると［優先呼出］の表示は消えますが優先呼出は、設定されたままになります。［優先呼出］を表示させるときは、もう一度設定しなおしてください。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。
（曲名：「カノン」）

親機で通話中にお待たせする

1 通話中に

内線/保留 ○ **を押して、受話器を戻す**

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは
受話器を取る

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
●受話器を戻さなかったときは、もう一度、保留ボタンを押すと、再び通話できます。
●保留中にスピーカーホンボタンを押しても、スピーカーホン通話に戻ることはできません。

子機で通話中にお待たせする

1 通話中に

内線/クリア **を押す**

0312345678
0:30
<保留>

●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
●通話ボタンが点滅します。

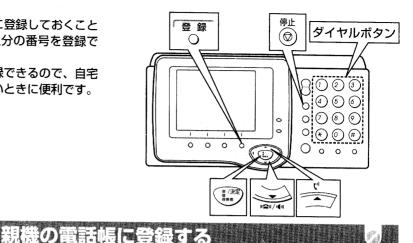
2 再び通話するときは

 または 内線/クリア **を押す**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送　P.2-34）

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。
また、１人につき２つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。

親機の電話帳に登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 **を押す**

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 または で**「電子電話帳」を選び** 番号/決定 **を押す**

電子電話帳 ?
1 登録
2 転送
画質 取消

3 「登録」を選び、 番号/決定 **を押す**

電子電話帳
名前？ [漢]
文字切替 取消

4 名前を入れる（最大全角10文字/半角20文字）
（P.1-38～1-41）

電子電話帳
名前？ [漢]
池田 悟
文字切替 取消

5 番号/決定 **を押す**

電子電話帳
読み？ 半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ
文字切替 取消

6 「読み」が正しければ 番号/決定 **を押す**

電子電話帳
電話番号？(第1番号)
NO. =
相手NO. ｾｯﾄください
取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

- 名前の入力を省略するときは、番号/決定 を押して手順７に進みます。
名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。（20ケタまで）
また、メールアドレスのみ登録すると名前のところにメールアドレスが表示されます。
- 「読み」に変更があれば修正します。（P.1-38～1-41）
「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
- 名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

次ページへ→

→つづき

7 電話番号（第1番号）を入れる（最大32ケタ）

電子電話帳
電話番号?（第1番号）
NO.=0312345678
最後に［L/決定］で決定
取消

●番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押すと、1つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（P.8-2）や着信鳴り分けをさせるとき（P.8-15〜8-17）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。
●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（P.8-2）や着信鳴り分け（P.8-15〜8-17）が働かなくなります。

8 （/決定）を押す

電子電話帳
電話番号?（第2番号）
NO.=
相手NO.セットください
取消

●第2番号の入力は省略できます。
省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

9 電話番号（第2番号）を入れる（最大32ケタ）

電子電話帳
電話番号?（第2番号）
NO.=09012345678
最後に［L/決定］で決定
取消

10 （/決定）を押す

電子電話帳
メール宛先？　半［英］
文字切替　取消

11 メールの宛先を入れる（最大半角50文字）

電子電話帳
メール宛先？　半［英］
0312345678@xx.yy.zz.
ne.jp
文字切替　取消

●メールの宛先の入力は省略できます。
省略するときは手順12に進んでください。
●メールをご利用時に使用します。
（P.7-16）
●文字の入力モードが半［英］のとき（＊）を押すとよく利用する定型文が表示されます。

（＊）を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」等

12 （/決定）を押す

電子電話帳
池田 悟
登録しました
文字切替　取消

●続けて登録するときは手順4〜12をくり返し行ってください。

13 停止（◎）を押す

■ 登録した内容を確認するときは

電話番号リストをプリントします。

① 機能選択ボタンを押す

② (▲) または (▼) で「電話番号リスト」を選ぶ

③ (決定) を押す

■ 電話帳の内容を消すときは

① 電話帳ボタンを押す

② (▲) または (▼) で消去したい相手の方を選んだあと、キャッチ/消去 ○ L回線断 を押す

③ もう一度、キャッチ/消去 ○ L回線断 を押す

④ 停止ボタンを押す

■ 電話帳の内容をすべて消去するには (P.10-4)

■ 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは (P.2-25)

■ ポーズについて

1回目に ⧉(再ダイヤル)ボタンを押すと、約4秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、2回目以降から約2秒間の待ち時間ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときや、海外の電話番号を登録するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには(-)ハイフンで表示されます。

お知らせ

● 親機の電話帳には、あらかじめ次の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストをプリントして、確かめてください。

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

親機に登録した名前や番号を修正する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 電話帳 を押す

2 ▲ または ▼ で
修正する相手の方を選ぶ

電子電話帳 ?
池田 悟
0312345678
09012345678
画質 | | | 登録

3 登録 を押す

電子電話帳
名前？ [漢]
池田 悟
文字切替 | | | 取消

4 名前を入れ直す
(P.1-38〜1-41)

電子電話帳
名前？ [漢]
池田 さとし
文字切替 | | | 取消

●名前を修正しないときは手順5に進んでください。

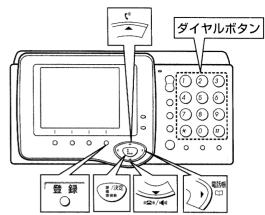
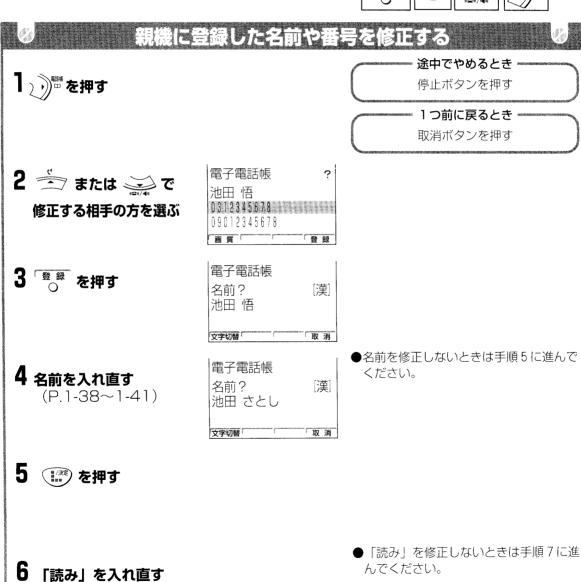
5 /決定 を押す

6 「読み」を入れ直す
(P.1-38〜1-41)

●「読み」を修正しないときは手順7に進んでください。

次ページへ→

→つづき

7 [L/決定] **を押す**

電子電話帳
電話番号？(第1番号)
NO.=0312345678
最後に[L/決定]で決定
取消

8 電話番号（第1番号）を入れ直す

電子電話帳
電話番号？(第1番号)
NO.=0387654321
最後に[L/決定]で決定
取消

●取消ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●第1番号を修正しないときは手順9に進んでください。

9 [L/決定] **を押す**

電子電話帳
電話番号？(第2番号)
NO.=09012345678
最後に[L/決定]で決定
取消

10 電話番号（第2番号）を入れ直す

電子電話帳
電話番号？(第2番号)
NO.=09087654321
最後に[L/決定]で決定
取消

●第2番号を修正しないときは手順11に進んでください。

11 [L/決定] **を押す**

12 メールの宛先を入れ直す

電子電話帳
ﾒｰﾙ宛先？　　半[英]
0312345678@xx.yy.zz.
ne.jp
文字切替　取消

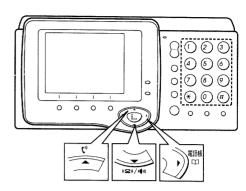
●メールの宛先を修正しないときは手順13に進んでください。

13 [L/決定] **を押す**

池田 さとし
登録しました
画質　取消

●待機画面に戻ります。

親機の電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。

親機の電話帳で電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳ボタンを押してから、▲ または ▼ で相手の方を選ぶ

電子電話帳 ?
池田 悟
0312345678
09012345678
画質 登録

途中でやめるとき
・相手の方を選んでいるときは停止ボタンを押す
・通話中は受話器を戻す
・スピーカーホン通話のときはスピーカーホンボタンを押す

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

2 電話番号を選んだあと、受話器を取る

池田 悟
09012345678
画質 機能選択 登録

●最初は第１番号を選んでいます。▶を押すと第２番号を選ぶことができます。
●受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら **受話器を戻す**

●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときは、スピーカーホンボタンを押します。

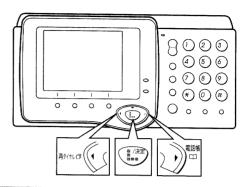
■ 受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは

① 受話器を取る（受話器を置いたまま電話をかけるときは、スピーカーホンボタンを押す）
② 電話帳ボタンを押したあと、▲ または ▼ で相手の方を選ぶ
③ ▶ で電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ
④ 通話/決定 を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押す）

■ 184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは

左記の①のあとに、「184」や「186」などをダイヤルして、②～⑥の操作を行います。
（「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②～⑥の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑥の操作を行ってください。）

親機の電話帳で電話をかける

名前の頭文字を選んで、相手の方を電話帳から選ぶことができます。

親機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

1 電話帳ボタン **を2回押す**

電子電話帳検索
あかさたなはまやらわ
英　数　記
取 消

途中でやめるとき

- ・相手の方を選んでいるときは停止ボタンを押す
- ・通話中は受話器を戻す
- ・スピーカーホン通話のときはスピーカーホンボタンを押す

2 再ダイヤルボタン **または** 電話帳ボタン **で相手の方の名前の頭文字を選んで** 決定ボタン **を押す**

電子電話帳　?
池田 悟
0312345678
09012345678
画 質　登 録

●選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。
●探す相手の方が選ばれていないときは、(▲)または(▼)で選びます。

3 電話番号を選んだあと、受話器を取る

池田 悟
09012345678
文字切替　機能選択　登 録

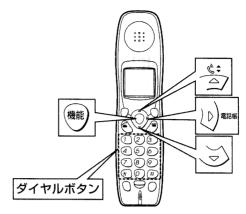
●最初は第1番号を選んでいます。(▶)を押すと第2番号を選ぶことができます。
●受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

4 相手の方とお話しする

5 通話が終わったら
受話器を戻す

●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときは、スピーカーホンボタンを押します。

子機の電話帳に登録する

子機１台につき最大100人分の番号を登録できます。
また、１人につき２つの番号を登録できます。

子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 電話帳 **を押す**

▶電話帳検索
電話帳登録
◀終了　選択▶

2 ▲ **または** ▼ **で「電話帳登録」を選んだあと、**
電話帳 **を押す**

名前？　[漢]
[機能] 決定

3 名前を入れる（最大全角６文字/半角12文字）
（P.1-38、1-42～1-44）

名前　[漢]
池田 悟
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順６に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。（12ケタまで）

4 機能 **を押す**

読み　半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
[機能] 決定

5 「読み」が正しければ
機能 **を押す**

池田 悟
第1番号？
[機能] 決定

●「読み」に変更があれば修正します。（P.1-38、1-42～1-44）
「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。

次ページへ→

→つづき

6 電話番号（第1番号）を入れる（最大16ケタ）

池田 悟
0312345678
[機能] 決定

●第1番号の入力は省略できません。
●番号を入れまちがえたときはクリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。
●クリアボタンを2秒以上押すと、すべての番号が消えます。
●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（P.8-2）や着信鳴り分けさせるとき（P.8-15、8-18）は、電話帳に番号を登録するときに、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（P.8-2）や着信鳴り分け（P.8-15、8-18）が働かなくなります。

7 (機能) を押す

池田 悟
第2番号？
[機能] 決定

8 電話番号（第2番号）を入れる（最大16ケタ）

池田 悟
09012345678
[機能] 決定

●第2番号を省略するときは手順9へ進みます。

9 (機能) を押す

池田 悟
登録しました
残り：95

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。
●続けて登録するときは手順1～9をくり返し行ってください。

■ 子機の電話帳の内容を消すときは

①(▲)または(▼)で相手の方を選んだあと、機能ボタンを押す

②(▲)または(▼)で「消去」を選んだあと、機能ボタンを2回押す

「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ ポーズについて

1回目に□（再ダイヤル）ボタンを押すと、約4秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、2回目以降から約2秒間の待ち時間ができます。
ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときや、海外の電話番号を登録するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
ディスプレイには（_）アンダーバーで表示されます。

■ 子機の電話帳の内容を親機にも登録するときは（P.2-27）

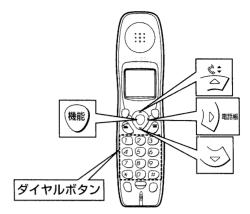
お知らせ

● 子機の電話帳には、あらかじめ次の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

子機に登録した名前や番号を修正する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 ▲ または ▽ で相手の方を選んだあと、(機能) を押す

▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳変更
消去
◀戻る　選択▶

2 ▲ または ▽ で「電話帳変更」を選び、▷電話帳 を押す

名前　[漢]
池田 悟
[機能] 決定

3 名前を入れ直す
（P.1-38、1-42～1-44）

名前　[漢]
池田 さとし
[機能] 決定

●名前を修正しないときは手順 4 に進みます。

4 (機能) を押す

読み　半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼｻﾄｼ
[機能] 決定

5 「読み」を入れ直す

読み　半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ
[機能] 決定

●読みを修正しないときは手順 6 に進みます。

6 (機能) を押す

池田 さとし
0312345678
[機能] 決定

次ページへ→

→つづき

7 電話番号（第１番号）を入れ直す

池田 さとし
0387654321
[機能] 決定

●クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●クリアボタンを２秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。
●第１番号を修正しないときは手順８に進みます。

8 (機能) を押す

池田 さとし
09012345678
[機能] 決定

9 電話番号（第２番号）を入れ直す

池田 さとし
09087654321
[機能] 決定

●第２番号を修正しないときは手順10に進みます。

10 (機能) を押す

池田 さとし
登録しました
残り：45

お知らせ

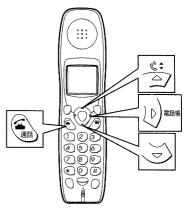
● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号（第１番号）が名前として登録されています。

子機の電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順に並べられています。

子機の電話帳で電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （▲）または（▼）で相手の方を選ぶ

途中でやめるとき
切ボタンを押す

- （▼）を押すと最初の方を表示します。
- （▲）を押すと最後の方を表示します。

2 電話番号を選んだあと、**を押す**

池田 さとし
09012345678

- 最初は第１番号を選んでいます。
  （▶）を押すと第２番号を選ぶことができます。
- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯し、ダイヤルを始めます。

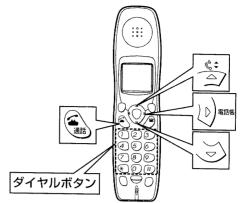
3 相手の方とお話しする

4 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは（特番ダイヤル）

① （▲）または（▼）で相手の方を選ぶ
② （▶）で電話番号（第１番号または第２番号）を選んだあと、機能ボタンを押す
③ （▲）または（▼）で「特番ダイヤル」を選んだあと、（▶）を押す
④ 「184」や「186」などをダイヤルする
⑤ 通話ボタンを押す（子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。）
⑥ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押します。）

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

子機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 〔電話帳〕 **を 2 回押す**

読み？ 半［カナ］
◆：検索

2 相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する
（例）「い」で探す：
〔1〕 **を 2 回押す**

読み　半［カナ］
イ
◆：検索

- 入力した文字から始まる相手の方を表示します。
- 該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

3 〔△〕 **または** 〔▽〕 **で相手の方を選ぶ**

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了　第2▶

4 電話番号を選んだあと、 〔通話〕 **を押す**

池田 悟
09012345678

- 最初は第 1 番号を選んでいます。〔▶〕を押すと第 2 番号を選ぶことができます。
- 相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

5 相手の方とお話しする

6 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

電話帳の内容を転送する

親機で登録した電話帳を、子機に転送することができます。
転送すると親機の電話帳の内容が子機に追加されます。

親機の電話帳の内容をすべて転送する

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 ▲ または ▼ で「電子電話帳」を選び、/決定 を押す

電子電話帳 ?
1 登録
2 転送
画質 取消

3 ▲ または ▼ で「転送」を選び、/決定 を押す

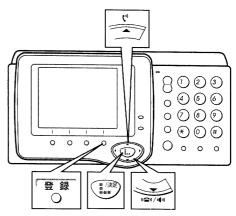
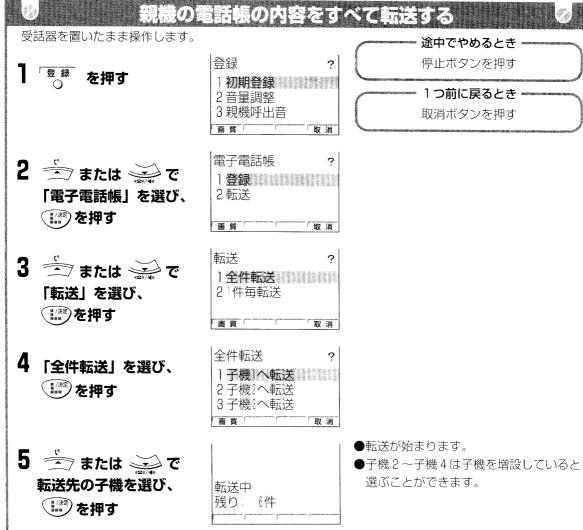
転送 ?
1 全件転送
2 1件毎転送
画質 取消

4 「全件転送」を選び、/決定 を押す

全件転送 ?
1 子機1へ転送
2 子機2へ転送
3 子機3へ転送
画質 取消

5 ▲ または ▼ で転送先の子機を選び、/決定 を押す

転送中
残り: 6件

- 転送が始まります。
- 子機2～子機4は子機を増設していると選ぶことができます。

■ **親機の電話帳の内容を1件ずつ転送するときは**

①手順4で「1件毎転送」を選び（決定）を押す

②（▲）または（▼）で転送したい相手の方を選んだあと、（決定）を押す

③（▲）または（▼）で転送先の子機を選び（決定）を押す

第1番号か第2番号のどちらかが17ケタ以上の番号で登録している相手の方は転送できません。（メールアドレスのみの方も転送できません。）

■ **全角7文字（半角13文字）以上の名前で登録している相手の方を子機に転送するときは**

全角6文字（半角12文字）分までが転送されます。

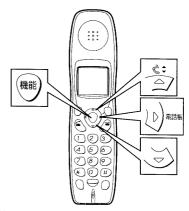
■ **「転送できないデータがあります　操作を続けますか」と表示したときは**

この表示は、17ケタ以上の電話番号が登録してあるときやメール宛先のみが登録されているときに表示されます。（決定）を押すとその相手の方以外を転送します。

お知らせ

- お買い求め時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報）を転送することはできません。
- 登録できる件数は100件です。100件を超えた電話帳の内容は転送できません。
- 子機と同じ名前、同じ電話番号で登録している相手の方は転送されません。
- 転送しても子機に登録されていた電話帳の内容は消えません。
- メールの宛先は転送されません。

電話帳の内容を転送する

子機で登録した電話帳を、親機に転送することができます。
転送すると子機の電話帳の内容が親機に追加されます。

子機の電話帳の内容をすべて転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

途中でやめるとき
切ボタンを押す

2 （▲）または（▼）で「電話帳転送」を選んだあと、（▷ 電話帳）を押す

転送する？

［機能］決定

3 （機能）を押す

電話帳転送

完了しました

- 通話ボタンが点滅します。
- 「ピー」と鳴ったあと、左の表示が約30秒間表示されます。（切ボタンを押すと消えます。）

■ 子機の電話帳の内容を1件ずつ転送するときは

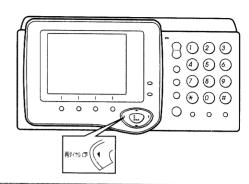
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

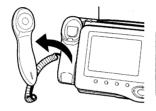
① （▲）または（▼）で転送したい相手の方を選んだあと、機能ボタンを押す
② （▲）または（▼）で「電話帳転送」を選んだあと、（▶）を押す
③ 機能ボタンを押す

お知らせ

- 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 登録できる件数は100件までです。100件を超えた電話帳の内容は転送できません。
- お買い求め時にあらかじめ登録されている電話番号を転送することはできません。
- 親機と同じ名前、同じ電話番号で登録している相手の方は転送されません。
- 転送しても親機に登録されていた電話帳の内容は消えません。
- 子機で登録されているメールの宛先リストは転送されません。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。

親機で電話をかけ直す

1 受話器を取る

途中でやめるとき
受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押して電話をかけ直したときはスピーカーホンボタンを押します。

●受話器を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

2 「ツー」という音が聞こえたら
 を押す

0312345678
画 質 機能選択 登 録

●親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
●最後にかけた相手の方に電話をかけます。

3 通話が終わったら
受話器を戻す

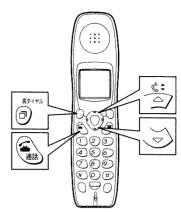
●スピーカーホンボタンを押して電話をかけ直したときは、スピーカーホンボタンを押します。

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは
受話器を置いたまま操作します。
① 再ダイヤルボタンを押す
② キャッチ/消去 L回線断 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ
● 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
● 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

子機では、最大10件記憶されています。

子機で電話をかけ直す

1 再ダイヤル **を押す**

〈再ダ イヤル01〉
0312345678
15：01

2 **または** **で選んだあと、** **を押す**

09087654321

- 子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。
- 子機を置いたままで電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

3 **相手の方とお話しする**

4 通話が終わったら **充電器に戻す**

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① （再ダイヤル）ボタンを押す

② ▲ または ▼ で消去したい再ダイヤルの記憶を選んだあと、▶ を押す

③ ▲ または ▼ で「消去」を選んだあと、▶ を押す

④ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴り、選んだ再ダイヤルの記憶を消去します。）

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 機能ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「再ダイヤル消去」を選んだあと、▶ を押す

③ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴り、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

お知らせ

- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出して、お話しします。

親機から子機を呼び出してお話しする

1 親機

受話器を取って 内線/保留 ◯ を押し、子機の内線番号を押す

（例）子機１のとき

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

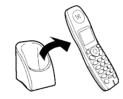
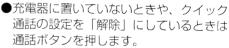
●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 お話し終わったら

親機
受話器を戻す

子機
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

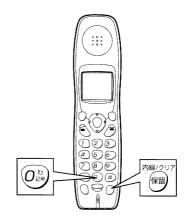
■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

親機と子機それぞれに呼出音が聞こえます。
親機で話すには
① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）
② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）
子機で話すには
① 切ボタンを押す（内線通話が切れます。）
② 通話ボタンを２回押す（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

● 親機のスピーカーホンでの内線通話はできません。
● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

子機から親機を呼び出してお話しします。

子機から親機を呼び出してお話しする

1 子機

子機を充電器から取って

内線/クリア 保留 **を押し、親機の内線番号** 0 **を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

呼出音が鳴ったら

受話器を取る

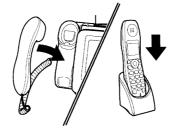
3 親機 子機

お話しする

4 お話し終わったら

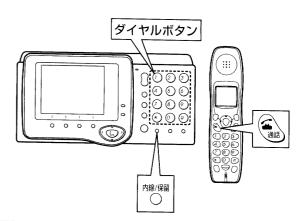
親機

受話器を戻す

子機

充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。

親機から子機へとりつぐ

スピーカーホンで通話しているときは、受話器を取ってください。
スピーカーホン通話中はとりつぎ転送できません。

1 親機

通話中に 内線/保留 を押し、**子機の内線番号を押す**

（例）子機１のとき

- 相手の方には、保留メロディーが流れます。
- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- 子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る

- 通話ボタンが点灯します。
- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて
受話器を戻す

- 受話器を置くと、子機にとりつぎます。

■ **呼び出しても子機が出ないときは**

（操作方法１）

① 保留ボタンを押す（呼び出しをやめて、保留になります。）

② もう一度保留ボタンを押す（相手の方との通話に戻ります。）

（操作方法２）

① 受話器を戻す

② 再度、受話器を取る（相手の方との通話に戻ります。）

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。

子機から親機へとりつぐ

1 子機

通話中に 内線/クリア（保留） **を押し、親機の内線番号 （0 わ 記号）を押す**

●通話ボタンが点滅します。

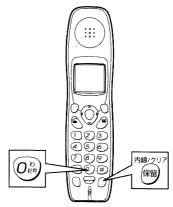
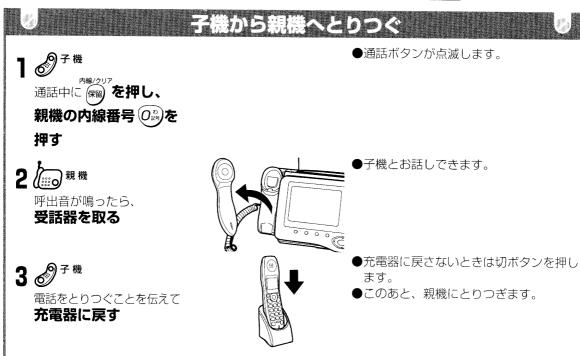
2 親機

呼出音が鳴ったら、
受話器を取る

●子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて
充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●このあと、親機にとりつぎます。

■ **呼び出しても親機が出ないときは**

① 保留ボタンを押す（呼び出しをやめて、保留になります。）
② もう一度保留ボタンを押す（相手の方との通話に戻ります。）

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
子機を増設された時は、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へ

1 親機
通話中に 内線/保留 ○ **を押し、受話器を戻す**

●スピーカーホンで通話しているときでも、ひとり転送できます。

2 子機
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から親機へ

1 子機
子機で通話中に 内線/クリア (保留) **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機
呼出音が鳴ったら
受話器を取る

●相手の方とお話しできます。

子機から子機へ（子機増設時）

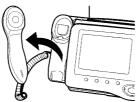
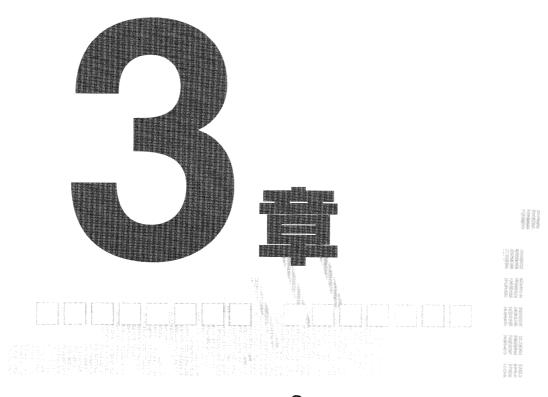
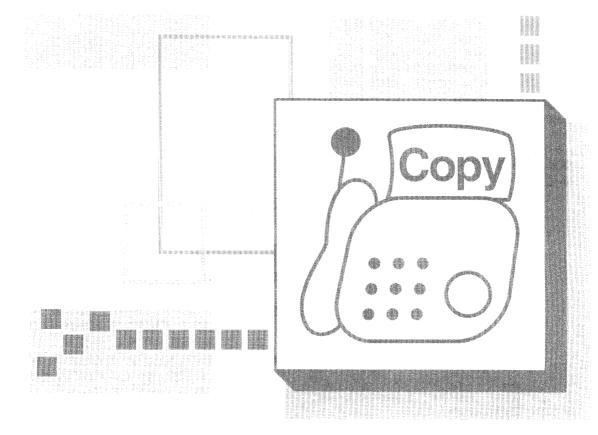
1 子機
子機で通話中に 内線/クリア (保留) **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機
充電器から取って
 を押す

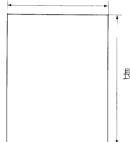
●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

3章

コピー

コピーやファクスをする前に

原稿は、一度に 5 枚までセットできます。

■ セットできる原稿のサイズ

幅 148mm～257mm

長さ 148mm～500mm

厚さ 0.06mm～0.2mm

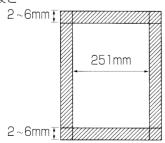
- コピーするときは記録紙がA4サイズなので A4サイズの原稿（210mm×297mm）までしかプリントできません。

〈厚さの目安〉

新聞紙の厚さは約0.05～0.06mmです。
上質紙の厚さは約0.10mmです。
官製はがきの厚さは約0.23mmです。
この取扱説明書の表紙の紙厚は約0.14mmです。
この取扱説明書の本文の紙厚は約0.09mmです。

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- 最大読み取り幅　251mm
- 最大読み取り長　送信原稿長（148～500mm)から上下とも2～6mmを引いた長さ

なお、これより長い原稿を送りたい場合は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。ただし、この場合は、原稿づまりを検出できなくなりますのでご注意ください。

■ 一度に 2 枚以上セットできない原稿

- 長さ364mmを超える原稿
- 厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788×1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

■ 自動縮小機能について

ファクス送信のとき、原稿サイズがB4で、相手側の記録紙がＡ４サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小します。

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーしてからセットしてください。

- サイズが規定より小さすぎるもの（例：写真など）
- フィルム状のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの

お知らせ

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラやガラスの汚れの原因になります。（P.9-3、9-5）
- 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。「原稿や記録紙がつまったときは」を参照して取り出してください。（P.9-6）

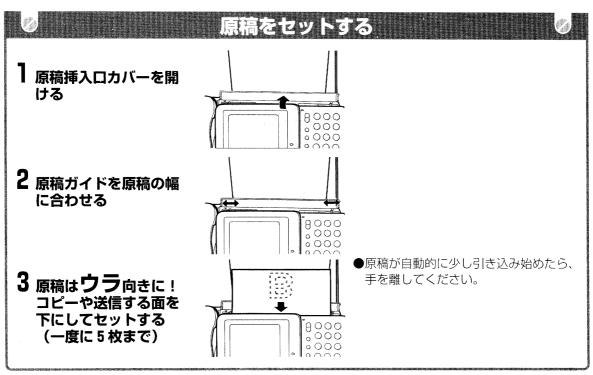
コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に5枚まで）

原稿をセットする

1 原稿挿入口カバーを開ける

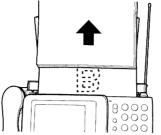
2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

3 原稿はウラ向きに！コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に5枚まで）

●原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ **6枚以上の原稿があるとき**

5枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送られて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

セットした原稿を取り出す（原稿排出）

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

●原稿が１枚だけのときは、そのまま手順２へ進みます。

2 機能選択 を押して、▲ または ▼ で「原稿排出」を選び、登録/決定 を押す

原稿排出中

3 原稿が自動的に排出される

●原稿が排出されないときは （P.9-6）

コピーの禁止について

ファクシミリで原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。また、ハンドコピーを使って原稿を読み取る場合、複製したものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■法律で禁止されているもの

●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）

●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■コピー（複製）する場合に注意を要するもの

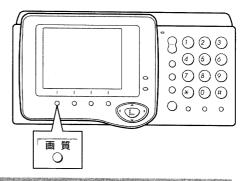
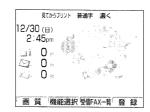
●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■著作権に注意するもの

●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選んでコピーやファクスができます。

画質・濃度を選ぶ

画質 を押すたびに切り替わる

● 1回押すと「普通字」を表示します。画質・濃度を表示中にもう1回押すと切り替わります。

「普通字」→「小さな字」→「精細」→「写真」→「普通字 濃く」→「小さな字 濃く」→「精細 濃く」→「写真 濃く」

一巡すると「濃く」を表示し、濃度が変わります。

「普通字」「普通字 濃く」
●文字が大きくはっきり見えるときに選びます。

「小さな字」「小さな字 濃く」
●文字が小さな字のときに選びます。
（「普通字」の倍の密度で読み取ります。）
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

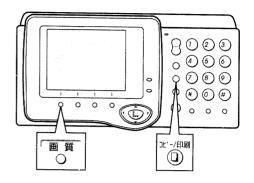
「精細」「精細 濃く」
●細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。
（「普通字」の4倍の密度で読み取ります。）
受信側に「精細」が無いときは、自動的に「小さな字」に切り替わります。

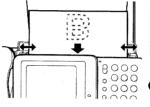
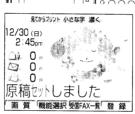
「写真」「写真 濃く」
●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。

お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送ると送信時間が長くかかります。
- コピーをするときは、「普通字」を選んでも、「小さな字」でコピーされます。
- ファクスを送信するときは、自動的に「小さな字」を選んでいます。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「小さな字」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

一度に 5 枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

コピーする

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

途中でやめるとき

停止ボタンを押す
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 画質 を押して画質を選ぶ

3 コピー/印刷 を押す

コピー中（A4）P. 1
画質

●コピーが始まります。

■ **B4サイズの原稿をセットしたときは**

80%に縮小コピーしてください。（P.3-7）
B4幅の原稿を等倍コピーすると端が切れて、A4幅でプリントされます。

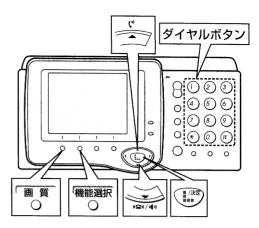
■ **コピーの途中で画質を切り替えるときは**

コピー中に画質ボタンを押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー中の原稿の画質を変えることはできません。）

お知らせ

- コピーボタンは点灯しません。
- 通話中にコピーを始めることはできません。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときは、親機または子機で発信することはできません。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに電話がかかってきたときは、親機のスピーカーホンボタンを押してもスピーカーホン通話できません。子機または受話器を取ってお話しください。
- 一度、画質・濃度を選ぶと、コピーやファクスが終わるまで選んだ画質になります。停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。

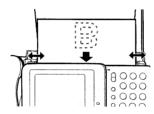
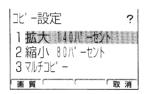
コピーの種類を選んでコピーする

拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚のコピー（マルチコピー）などができます。

コピーの種類を選んでコピーする

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットしたあと、画質を押して画質を選ぶ

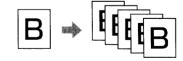
●コピーする面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 機能選択を押し、「コピー設定」を選び、決定を押す

3 ▲または▼でコピーの種類を選び、決定を押す

手順3のときに……

「拡大140パーセント」を選んだとき
140%に拡大してコピーします。

「縮小80パーセント」を選んだとき
80%に縮小してコピーします。

「マルチコピー」を選んだとき
複数枚のコピーをします。
1～5を押して枚数を入力し、最後に決定を押すとコピーします。（最大5枚）

■ **マルチコピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**
取消ボタンを押してもう一度、枚数を入力します。

お知らせ

- メモリー受信したデータがあるときは、拡大／縮小、マルチコピーはできません。
- 拡大・縮小、マルチコピーでは、画像をいったんメモリーに読み込みます。メモリー容量が少なくなって「メモリー残量不足」と表示されたときは、通常の等倍コピーでコピーするかハンドコピーでコピーしてください。

コードレスハンドコピーをお使いになる前に

コードレスハンドコピーを使うと、ノートなどのとじ込み原稿や、セットできない大きさの原稿をコピーできます。また、コードレスなので離れた場所でもコピーできます。
ハンドコピーをお使いになるときは、ハンドコピーを取り外す前に、倍率（0.8、1.0、1.4）、読み取り幅（A4またはB4）をそれぞれ設定します。

読み取り幅を選ぶ

ハンドコピーを親機に取り付けた状態で操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 機能選択 ○ **を押す**

2 （▲）**または**（▼）**で「ハンドコピー」を選び、**（決定）**を押す**

ハンドコピー ?
1 ハンドコピー印刷
2 ハンドコピー消去
3 ハンドコピー画像表示
画質 | | | 取消

3 （▲）**または**（▼）**で「ハンドコピー設定」を選び、**（決定）**を押す**

ハンドコピー設定 ?
1 読み取り幅設定
2 倍率設定
画質 | | | 取消

4 「読み取り幅設定」を選び、（決定）**を押す**

読み取り幅設定 ?
1 A4
2 B4
画質 | | | 取消

5 （▲）**または**（▼）**で読み取り幅を選び、**（決定）**を押す**

- 「A4」は210㎜幅、「B4」は251㎜幅で読み取ります。
- ハンドコピーでファクスを送るとき（P.3-18～3-19）または縮小コピーする（倍率が0.8倍）とき以外は「A4幅」にセットしてください。記録紙がA4サイズなので、A4幅までしかプリントできません。ハンドコピーでファクス送信するときは、A4幅を超えた部分はプリントして確かめることはできませんが、相手の方には送信することができます。

6 停止 ⊚ **を押す**

倍率を選ぶ

ハンドコピーを親機に取り付けた状態で操作します。

1 「読み取り幅を選ぶ」の手順1～3を行う
（P.3-8）

ﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ設定
1 読み取り幅設定
2 倍率設定
画質　取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 または で「倍率設定」を選び、 を押す

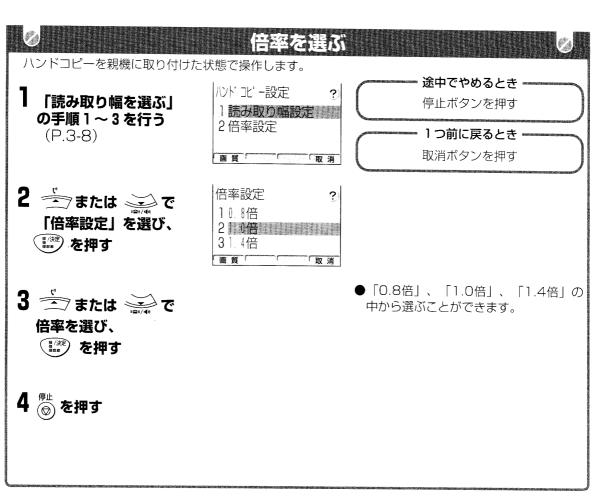
倍率設定
1 0.8倍
2 1.0倍
3 1.4倍
画質　取消

3 または で倍率を選び、 を押す

● 「0.8倍」、「1.0倍」、「1.4倍」の中から選ぶことができます。

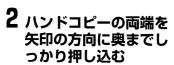
4 停止 を押す

ハンドコピーを親機から取り外す

1 ハンドコピーの真ん中を少し下へ押さえる

2 押さえながらハンドコピーを手前に引き出す

ハンドコピーを親機に取り付ける

1 ハンドコピーのガラス面を必ず上にして親機に戻す

2 ハンドコピーの両端を矢印の方向に奥までしっかり押し込む

■ ハンドコピーが正しく取り付けられなかったときは

- 音声で「ハンドコピーをセットし直してください。」と2回お知らせしたあと、ディスプレイに「ハンドコピーを再セット」と表示されます。正しくセットし直してください。
  操作ガイド(?)を押すと、ハンドコピーのセット方法を確認することができます。
- ハンドコピーが正しく取り付けられていないときは、原稿をセットしたときに、ディスプレイに「ハンドコピー外れています」と表示され、ファクスを送ったりコピーができません。

■ ハンドコピーの電池パック残量について

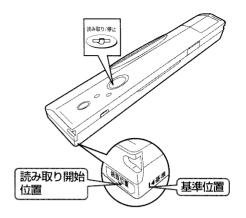
ハンドコピーの電池パック残量がなくなると、「ピピッ、ピピッ」と警告音が鳴ります。ハンドコピーを親機に取り付けて充電してください。
電池パックの残量がなくなると、読み取った内容は全て消えてしまいます。

（**連続動作時間　約1.5時間**
動作待機時間　約3時間）

お知らせ

- 電池パックを交換したときや電池パックの残量が完全になくなったときは、必ず6時間以上充電してください。（充電時間が短いと、ハンドコピーを使用したときに、警報音が鳴らずに突然ハンドコピーが使用できなくなったり、コピーした画像が悪くなることがあります。）
- ハンドコピーを使用しないときは、親機にハンドコピーを取り付けてください。
  親機に取り付けておくと充電されます。

コードレスハンドコピーを使う

ハンドコピーで読み取った内容をプリントするときの操作です。ハンドコピーの取り外しかたや設定のしかたは「コードレスハンドコピーをお使いになる前に」をご覧ください。(P.3-8～3-10)

- ファクスを送る前に、読み取ったデータをプリントして確認する場合は、「ハンドコピープリント」の設定を「すべてプリント」にします。（P.4-28）
- プリントせずに、ファクスを送る場合は「ハンドコピープリント」の設定を「見てからプリント」にします。（P.4-28）

ハンドコピーで読み取ってすぐにプリントする

あらかじめ、ハンドコピーの読み取り幅と倍率を選んでおきます。

1 ハンドコピーを親機から取り外す
（P.3-10）

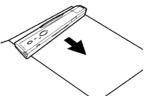
読取幅：A4
倍率　：1.0倍

画質 | 機能選択 | 受信FAX一覧 | 取消

- 親機のディスプレイに設定している読み取り幅と倍率を表示します。

2 読取画質スイッチで読み取り画質を選ぶ

- 文字原稿を読み取るときは、**「文字」**にセットします。
- 写真や濃淡のある原稿を読み取るときは、**「写真」**にセットします。

3 読み取る原稿の左端を読取位置と基準に合わせて、を押す

- 動作中ランプが点灯します。

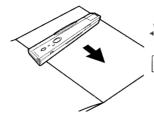
次ページへ→

→つづき

4 矢印の方向に動かす

動作中
緑色点灯
読み取る前は、緑色に点灯しています。

動作中
緑色点滅
読み取り始めると緑色に点滅します。

動作中
緑色点灯
読み取り終わると緑色の点灯に戻ります。

●ハンドコピーを動かすと読み取りを始めます。
ハンドコピーの底を原稿に押し当てるようにして、手前に動かしながら読み取ってください。

動作中
赤色点灯
ハンドコピーを動かす速度が速すぎると「ピー」と鳴って赤色に点灯します。
→もう少しゆっくりと動かしてください。

動作中
消灯
読み取り中にメモリーがいっぱいになると「ピピピピ」と鳴って消灯します。
→これ以上読み取れません。
メモリーに記録されている分をプリントし、不要なメモリーを消去します。

●読み取りを失敗したときは、消去を約2秒間押すとすぐに消去できます。(P.3-14)
●読み取る画質や倍率によって、速度を変えてハンドコピーを動かします。

「文字」にセットして、倍率を「0.8倍」または「1.0倍」にセットしたとき
A4サイズの当社標準原稿（英文字で約700字程度の原稿）を約3秒で読み取るぐらいの速度が目安です。

「写真」または倍率を「1.4倍」にセットしたとき
この速度よりもゆっくりと動かします。

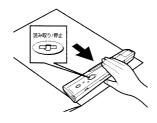
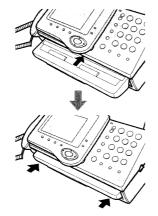
●速すぎると動作中ランプが赤色に点灯して「ピー」音が鳴りますので、もうすこし、ゆっくり動かしてください。遅く動かしても問題ありません。
●読み取り/停止ボタンを押したあと、約30秒間何も操作しないと読み取りが停止します。

アドバイス！
●ハンドコピーをまっすぐに動かしにくいときは、厚手の定規などをハンドコピーの左端に置き、それに添わせて動かすと曲がりにくくなります。

次ページへ→

→つづき

5 読み取りが終わったら

 を押す

このあと、動作中ランプが緑色の速い点滅に変わりメモリーに記録します。

動作中ランプが消灯して、「ピー」と鳴ったら、メモリーへの記録が終了です。

続けて読み取るときは、もう一度手順 2 から操作をしてください。

6 ハンドコピーを親機に取り付ける
(P.3-10)

- 新しく読み取った枚数を表示し、自動的にプリントを開始します。
- 「ハンドコピープリント」(P.4-28)の設定を「見てからプリント」にしているとハンドコピーを親機に取り付けてもプリントを開始しません。プリントするときは「ハンドコピーに記録されているデータをプリントする」(P.3-16)または「ハンドコピーに記録した内容を画面で確認する(見てからプリント機能)」(P.3-17)を操作してください。
- プリントを途中でやめるときは停止ボタンを押します。

■ **A4サイズより長く読み取ったときは**

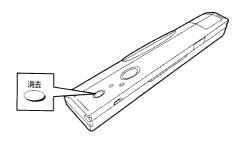
A4サイズを越える部分はプリントしません。「分割コピー」(P.4-28)の設定を「する」にするとA4サイズ以上の部分を 2 枚に分けてプリントするようにできます。

■ **ハンドコピーで読み取ったデータをディスプレイで確認してからプリントしたいときは**

① 「ハンドコピープリント」(P.4-28)の設定を「見てからプリント」にする(ハンドコピーで読み取ったあと、親機に取り付けても、すぐにプリントしなくなります。)
② P.3-11〜3-13の操作をする
③ P.3-17の操作をする
④ 表示中にコピー/印刷ボタンを押す

お知らせ

- 記録紙やインクリボンがないときは、自動的にプリントされません。
  記録紙やインクリボンをセットして、ハンドコピーに記録されているデータをプリントする操作(P.3-16)をしてください。
- ハンドコピーを親機に取り付けたとき「ハンドコピーをセットし直してください。」と音声が流れたら、ハンドコピーを取り付け直してください。ハンドコピーを取り付け直すと「新しいデータがありません」とメッセージが表示されます。
  このときは、新しいデータとして、プリントできませんので、すべてのデータを指定するか、ページ番号を指定してプリントしてください。
- 拡大コピーするときは、基準位置から約15cm程度の幅で、読み取ってください。拡大したあとの大きさがA4サイズを超えるものはプリントした画像が切れてしまいます。
- とじ込み原稿など、中央に段差のある原稿を読み取るときは、ハンドコピーと原稿の間にすきまができないように読み取ってください。すきまがあると読み取り部分が黒くなったり文字がぼやけたりします。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。読み取り面のガラスが汚れます。ガラス面が汚れると、読み取ったデータをプリントしたときに白や黒い線が出る原因となります。

読み取りをやり直したいときなど、読み取ったあとすぐに消去するときの操作です。

読み取ったあとすぐに消去する

ハンドコピーを取り外したままで操作します。

1 消去を約2秒間押す

- 「ピッ」と鳴って、最後に読み取ったデータを1件だけ消去します。
  続けて消去するときは、もう一度 消去 を約2秒間押します。
- すべての読み取ったデータを消去すると「ピピッ」と鳴って、メモリーランプが消灯します。

■ ハンドコピーを親機に取り付けたあと消去するときは

ハンドコピーを親機に取り付けたあと消去したいときは、「ハンドコピーの内容を消去する」（P.3-15）の操作で消去してください。

■ ハンドコピーの記録枚数について

ハンドコピーで読み取った内容は、メモリーに記録されます。記録できる枚数は次の通りです。

記録枚数	約36枚（「文字」で読み取ったとき） ※A4サイズの当社標準原稿（英字で文字が約700字程度の原稿） （「写真」で読み取ったときはA4サイズ約3枚）
記録件数	最大60件
読み取る長さ	最大1m

グラフや表、写真などのある原稿を「文字」で読み取ったときは、記録できる枚数は少なくなります。

■ ハンドコピーのメモリー残量について

ハンドコピーのメモリー残量はメモリーランプの点灯状態でわかります。

ランプの点灯状態	メモリー残量
メモリー 消　灯	メモリーに何も記録されていないとき
メモリー 緑色点灯	メモリーに読み取った内容が記録されているとき
メモリー 緑色点滅（ゆっくりした点滅）	メモリーが残り少なくなっているとき
メモリー 緑色点滅（速い点滅）	メモリーがいっぱいで、これ以上記録できないとき

ハンドコピーを親機に取り付けたあと、消去するときの操作です。

ハンドコピーの内容を消去する

1 機能選択 を押す

2 または で「ハンドコピー」を選び、決定 を押す

ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰ ?
1 ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰ印刷
2 ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰ消去
3 ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰ画像表示
画質　　取消

3 または で「ハンドコピー消去」を選び、決定 を押す

ﾊﾝﾄﾞ ｺﾋﾟｰ消去 ?
1 新しいﾃﾞｰﾀ
2 全てのﾃﾞｰﾀ
3 ﾍﾟｰｼﾞ 指定
画質　　取消

4 または で消去するデータを選ぶ

- **新しく読み取った内容を消去するとき**
  「新しいデータ」を選び 決定 を押す
- **メモリーに残っているすべての内容を消去するとき**
  「全てのデータ」を選び 決定 を押す
- **ページ番号を指定して消去するとき**
  「ページ指定」を選び 決定 を押す→ ページ番号を入力して 決定 を押す → 最後にもう一度 決定 を押す
  （この操作をくり返すと複数のデータを消去できます。）

  （例）1ページ目と2ページ目を消去するとき
  「ページ指定」を選び 決定 を押す ⟶
  → 1 決定 2 決定 最後にもう一度 → 決定 を押す

5 決定 を押す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

- まちがえて入力したときは取消ボタンを押します。
- 新しいデータ※をすべて消去します。
  ※「新しいデータ」とは
  最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータを指します。
- ページ番号がわからないときはP.3-17の操作で確認してください。

お知らせ

- ハンドコピーを親機に取り付けたとき「ハンドコピーをセットし直してください。」と音声が流れたら、ハンドコピーを取り付け直してください。ハンドコピーを取り付け直すと「新しいデータありません」とメッセージが表示されます。
  このときは、新しいデータとしての消去はできませんので、全てのデータを指定するか、ページ番号を指定して操作してください。

読み取った内容は消去するまでくり返しプリントすることができます。また、必要なページだけをプリントすることもできます。
プリントする前に画面で確認することができます。
（P.3-17）

ハンドコピーに記録されているデータをプリントする

ハンドコピーを親機に取り付けた状態で操作します。

1 **機能選択 を押す**

2 **または で「ハンドコピー」を選び、決定 を押す**

ハンドコピー ?
1 ハンドコピー印刷
2 ハンドコピー消去
3 ハンドコピー画像表示
画質 取消

3 **「ハンドコピー印刷」を選び、決定 を押す**

ハンドコピー印刷 ?
1 新しいデータ
2 全てのデータ
3 ページ指定
画質 取消

4 **プリントするデータを選ぶ**

- **新しく読み取った内容を消去するとき**
  「新しいデータ」を選び、決定 を押す
- **メモリーに残っているすべての内容を消去するとき**
  「全てのデータ」を選び、決定 を押す
- **ページ番号を指定してプリントするとき**
  「ページ指定」を選び、決定 を押す→
  → ページ番号を入力して 決定 を押す→
  → 最後にもう一度 決定 を押す
  （この操作をくり返すと複数のデータをプリントできます。）

  （例） 1ページ目と2ページ目をプリントするとき
  「ページ指定」を選び、決定 を押す ――→
  → 1 決定 2 決定 最後にもう一度→ 決定 を押す

5 **コピー/印刷 を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

●まちがえたときは取消ボタンを押します。

●新しいデータ※をすべてプリントします。
※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータを指します。

●プリントを開始します。

コピー
コードレスハンドコピーを使う

ハンドコピーで読み取った内容を画面に表示させて、
プリントする前に内容を確認できます。

ハンドコピーに記録した内容を画面で確認する(見てからプリント機能)

この機能を使うときは、あらかじめ「ハンドコピープリント」の設定（P.4-28）を「見てからプリント」にしておきます。

1 ハンドコピーで読み取る
（P.3-11～3-13）

●読み取ったあと、ハンドコピーを親機に取り付けた状態で手順 2 からの操作を行ってください。

2 機能選択 を押す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

3 ▲ または ▼ で「ハンドコピー」を選び、決定 を押す

ハンドコピー ?
1 ハンドコピー印刷
2 ハンドコピー消去
3 ハンドコピー画像表示
画質 取消

4 ▲ または ▼ で「ハンドコピー画像表示」を選び、決定 を押す

ハンドコピー画像表示
全てのデータ 3 枚
NO. =
ダイヤルでセットください
画質 取消

5 表示させたいページ番号を入力する
（例）2

ハンドコピー画像表示
全てのデータ 3 枚
NO. =2
[L/決定] で決定
画質 取消

6 決定 を押す

●記録されているデータを表示します。
●スクロール／拡大／縮小／回転／プリントすることができます。（P.4-22～4-23）

7 確認が終わったら 停止 を押す

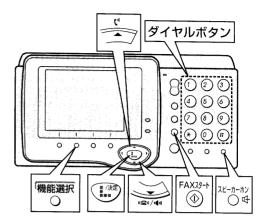
●待機画面に戻ります。

■ **表示しているデータをプリントするときは**
表示中にコピー／印刷ボタンを押すと、表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）

お知らせ
● 読み取り幅を「B4」で読み取っても、データはA4幅までしか表示されません。また長さもA4までしか表示されません。

コードレスハンドコピーでファクスを送る

あらかじめ、ハンドコピーで読み取ったデータをファクス送信するときの操作です。

ハンドコピーでファクスを送る

送りたい原稿をハンドコピーのメモリーに記憶させておいてください。（P.3-11〜3-13）
ハンドコピーを親機に取り付けた状態で操作します。

1 機能選択 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー」を選び、**（/決定）**を押す**

ﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ ?
1 ﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ印刷
2 ﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ消去
3 ﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ画像表示
画質　　取消

3 「ハンドコピー印刷」を選び、（/決定）**を押す**

ﾊﾝﾄﾞｺﾋﾟｰ印刷 ?
1 新しいﾃﾞｰﾀ
2 全てのﾃﾞｰﾀ
3 ﾍﾟｰｼﾞ指定
画質　　取消

途中でやめるとき

送信データを選んでいるときは停止ボタンを押す
通話中は受話器を戻す
●スピーカーホンでダイヤル中のときはスピーカーホンボタンを押します。

1つ前に戻るとき

取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

4 ファクスを送るデータを選ぶ

- **新しく読み取ったデータを送るとき**
  「新しいデータ」を選び、(決定)を押す
- **メモリーに残っているすべてのデータを送るとき**
  「全てのデータ」を選び、(決定)を押す
- **ページ番号を指定して送るとき**
  (1)「ページ指定」を選び、(決定)を押す
  (2) ページ番号を入力し、(決定)を押す
  ((2)の操作をくり返すと複数のページを指定できます。)

  (例) 1ページ目と2ページ目を指定するとき
  ① 「ページ指定」を選ぶ
  ② (1) (決定) と押す(1ページ目を選択)
  ③ (2) (決定) と押す(2ページ目を選択)

  (3) (決定) を押す

●新しいデータ※をすべて送信します。
※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータを指します。

5 受話器を取るか、スピーカーホンを押して

「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●電話帳を使ってダイヤルすることもできます。(P.2-17)
●通話中のときはこの手順をとばして手順6へ。

6 相手の方にファクスを送ることを伝えて

FAXスタート
(◇) を押す

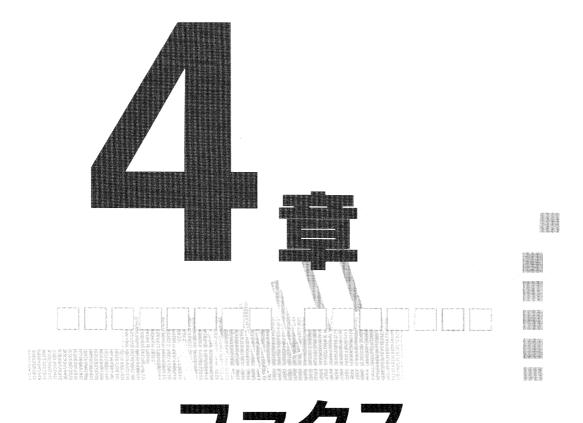
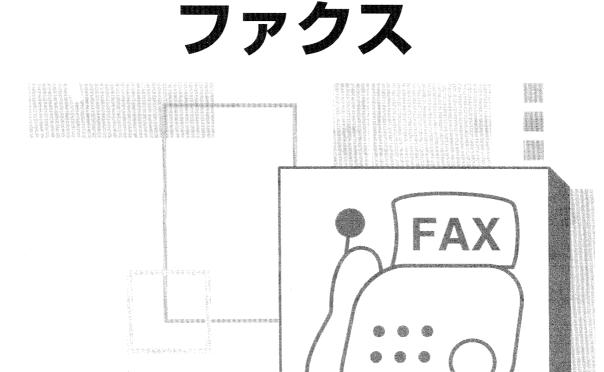
●相手の方とお話しせずにファクスを送りたいときは、電話がつながったらスタートボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。(おまかせ送信 P.4-3)

7 受話器を戻す

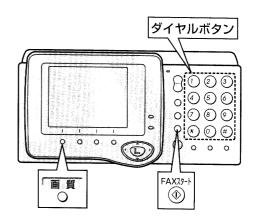
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときは自動的に回線が切れます。

お知らせ

● 見てからプリント機能(P.3-17)の操作でハンドコピーに記録されているデータを表示したままでファクスを送ることはできません。

4章

ファクス

ファクスを送る

ファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に 5 枚までセットできます。

操作ガイド ? を押すとファクス送信の案内が表示されます。

ファクスを送る

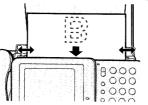
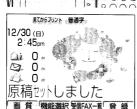
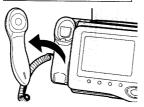
1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット

途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

2 画質 を押して画質を選ぶ
(P.3-5)

●送信する面を下にしてセットします。(一度に 5 枚まで)
●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

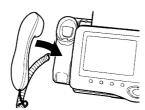
3 受話器を取る

●受話器を置いたままダイヤルするときは、スピーカーホンボタンを押します。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは (P.4-4)

4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

次ページへ→

→つづき

5 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて FAXｽﾀｰﾄ を押す

- 相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
- 相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。P.9-6）

6 **受話器を戻す**

- ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ **6枚以上の原稿があるときは（P.3-3）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（P.9-21）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（P.3-4）**

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

「終了音」（P.4-26）で切り替えます。

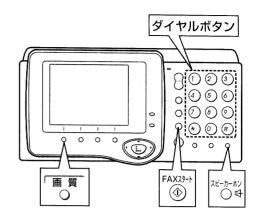
■ **おまかせ送信とは**

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は、相手の方のファクシミリに登録されている番号です。実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。必要に応じて相手の方に確認してください。
- 操作ガイド（P.1-17）に沿ってファクスを送ると、おまかせ送信は、はたらきません。FAXスタートボタンを押して送信してください。
- 相手の方が自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、こちら側には「ピー」音が聞こえます。

相手の方のファクシミリがファクス専用のときやお話ししないで送るときの操作です。

お話ししないでそのままファクスを送る

途中でやめるとき
スピーカーホンボタンを押す

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット

- 送信する面を下にしてセットします。（一度に５枚まで）

2 画質 を押して画質を選ぶ
（P.3-5）

- 画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾝ **を押す**

ｽﾋﾟｰｶｰﾎﾝﾀﾞｲﾔﾙ
画質 機能選択 登録

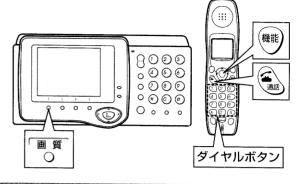
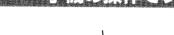
4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

0312345678
画質 機能選択 登録

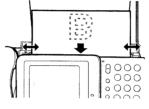
- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

5 電話がつながったら
FAXｽﾀｰﾄ **を押す**

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。P.9-6）
- ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえ、自動的に回線が切れます。

親機に原稿をセットして、子機の操作で送ることもできます。

子機の操作でファクスを送る

1 親機

原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセットしたあと、画質を押して画質を選ぶ（P.3-3、3-5）

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 子機

通話を押す

電話番号？

●通話ボタンが点灯します。

3 子機

「ツー」という音が聞こえたら

ダイヤルする

0312345678

●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

4 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能を押す

●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。

●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 P.4-3）

※回線の状態でおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたら機能ボタンを押してください。

●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。

5 子機

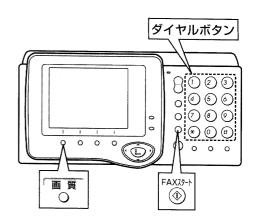
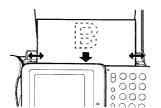
充電器に戻す

ファクス

ファクスを送る

海外へファクスを送る

時差など考えて上手にご利用ください。

海外へファクスを送る

（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**
（P.3-5）

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 受話器を取る

●受話器を置いたままダイヤルするときはスピーカーホンボタンを押します。

4 電話会社の識別番号をダイヤルする

●「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときはダイヤルする必要はありません。

5 010をダイヤルする

次ページへ→

→つづき

6 国番号を入れる

（例）アメリカ
①

XXXX0101
画 質　機能選択　登 録

7 市外局番を入れる

（例）②①②

XXXX0101212
画 質　機能選択　登 録

●最初にくる「0」は必要ありません。

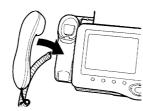
8 ファクス番号をダイヤルする

（例）①②③—④⑤⑥⑦

XXXX01012121234567
画 質　機能選択　登 録

9 電話がつながったら
FAXスタート
を押す

●送信が始まります。
●送信を途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。P.9-6）
●相手の方が電話に出る前にスタートボタンを押すとファクス送信ができないことがあります。

10 受話器を戻す

お知らせ

● 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
● 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳ボタンを押したあと、マルチファンクションキーの上下で相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分、また1人につき2つの番号を登録できます。
(P.2-12～2-14、2-19～2-20)

親機の電話帳でファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 画質 を押して画質を選ぶ
(P.3-5)

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 電話帳 を押してから、▲または▼で相手の方を選ぶ

電子電話帳 ?
池田 悟
0312345678
09012345678
画 質 登 録

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

4 電話番号を選んだあと、FAXｽﾀｰﾄ を押す

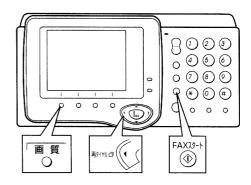
●最初は第1番号を選んでいます。▶を押すと第2番号を選ぶことができます。
●自動的に送信を始めます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら**
(P.9-21)

お知らせ

● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）

相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

親機の再ダイヤルでファクスを送る

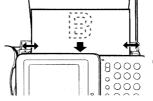
受話器を置いたまま操作します。

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ

原稿をウラ向きにセット

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 画質 を押して画質を選ぶ

（P.3-5）

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 再ダイヤル を押す

●ディスプレイで相手の方の名前（番号）を確認します。

4 FAXスタート を押す

●自動的に送信を始めます。

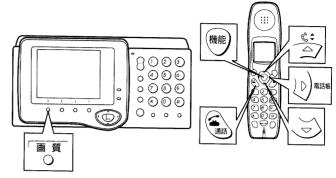
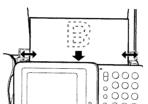
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

■ 受話器を取って再ダイヤルするときは

① 受話器を取る
② 「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押す
③ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら）FAXスタートボタンを押す
④ 受話器を戻す

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは

受話器を置いたまま操作します
① 再ダイヤルボタンを押す
② キャッチ/消去 回線断 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去される

親機にセットした原稿を、子機の電話帳や再ダイヤルを使ってファクスを送信できます。

子機の電話帳でファクスを送る

1 親機

原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ、

原稿をウラ向きにセットしたあと、

 を押して画質を選ぶ

(P.3-5)

●送信する面を下にしてセットします。(一度に5枚まで)

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

2 子機

または で相手の方を選ぶ

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了 第2▶

3 子機

電話番号を選んだあと、

を押す

●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。
●最初は第1番号を選んでいます。
(▶) で第2番号を選ぶことができます。

4 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

 を押す

●送信が始まります。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。(おまかせ送信 P.4-3)

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、もう一回機能ボタンを押してください。

5 子機

充電器に戻す

子機の再ダイヤルでファクスを送る

1

原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ、

原稿をウラ向きにセットしたあと、

画質 **を押して画質を選ぶ**（P.3-5）

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

2 子機

再ダイヤル **を押す**

〈再ダ イヤル01〉
0312345678
00:01

3 子機

または　で相手の方を選んだあと、

通話 **を押す**

0312345678

●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。

4

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 P.4-3）

5 子機

充電器に戻す

■ 子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① （再ダイヤル）ボタンを押す

② ▲ または ▼ で消去したい再ダイヤルの記憶を選んだあと、▶ を押す

③ ▲ または ▼ で「消去」を選んだあと、▶ を押す

④ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴ったあと、選んだ再ダイヤルの記憶を消去します。）

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 機能ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「再ダイヤル消去」を選んだあと、▶ を押す

③ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機で再ダイヤルできるのは、32ケタまでです。

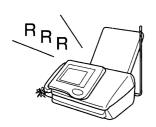
ファクスの受けかた

ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。

在宅モード（家にいるとき）

 が消灯している状態です。

■在宅モード時の操作（P.4-14）

●ご購入時、呼出音の回数は「無制限」になっています。

電話に出るまで
呼出音が
鳴り続ける

（呼出音の回数
：無制限）

電話に出る

相手がファクスのとき

FAXスタート を押して受信します。

相手が電話のとき

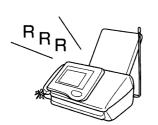
引き続きお話しします。

一定の呼出音が鳴った（1～25回）あと、ファクス受信に切り替えることもできます。（P.4-16）

●ファクス専用としてお使いになるとき

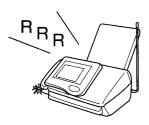
呼出音が1回鳴る

相手がファクスのとき

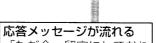
自動的に受信します。

ファクス専用で使われるときは、呼出音の回数を1回に設定します。（P.4-17～4-18）
この設定にすると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になりますので、相手の方とお話しできません。

留守モード（留守にするとき）

が点灯している状態です。

■留守モード時の動作（P.5-2）

設定した回数の
呼出音が鳴る

（呼出音の回数
：4回）
※呼出音の回数は
変更できます。（P.5-10）

応答メッセージが流れる
「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件を…」

相手がファクスのとき

相手がスタートボタンを押すと自動的に受信します。

相手が電話のとき

通常の留守番電話の動作になります。

もしもし
山田です。…

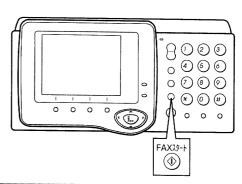
送られてきた原稿は、プリントするとき、縦方向に約93%に縮小します。

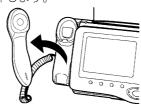
ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方の電話番号をプリントするため、縦方向に約93%に縮小されます。縮小しないでプリントしたいときは、P.4-27の「**受信縮小率**」の設定を「等倍」にします。
※但し、「等倍」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、厳密に1対1にならない場合があります。

ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。

を押すとファクス受信の案内が表示されます。

電話に出てからファクスを受ける（在宅モード時）

原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 ファクスに切り替えること
を相手の方に伝えて
FAXｽﾀｰﾄ **を押す**

●受信が始まります。
●受話器を取るだけで自動着信することもあります。（おまかせ受信）

3 受話器を戻す

●ファクス受信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ おまかせ受信について

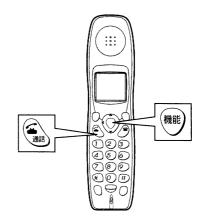
電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。
（「おまかせ受信」を解除するには P.4-26）

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたらFAXスタートボタン（子機使用中のときは機能ボタン）を押してください。

■ 呼出音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えることもできます。（P.4-16～4-18）

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴ったあと、ファクス受信に切り替わります。ただし、在宅モードでファクス受信されることが多いときや、すぐに電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「在宅モード時のコール回数」を6回以下に設定してください。
7回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が送信の操作（スタートボタンを押す）をしたときだけファクス受信できます。

子機の操作でファクスを受ける

親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

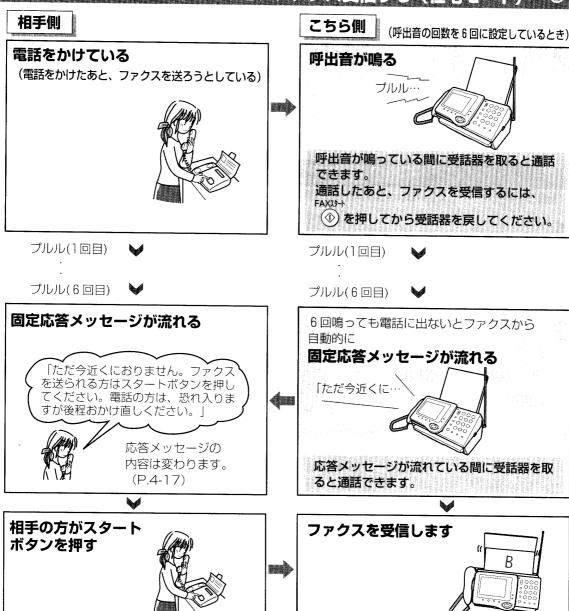
2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
（機能）**を押して、充電器に戻す**

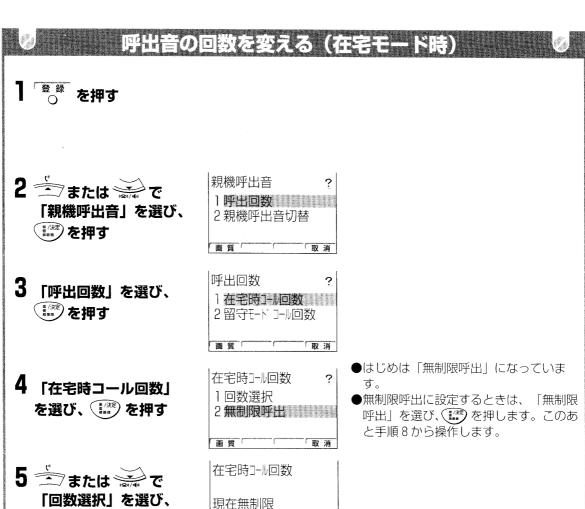
●親機に原稿をセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

お知らせ

● キャッチホンサービスをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
● コピー中や受信メモリーをプリントしているときに電話がかかってきたときは、親機のスピーカーホンボタンを押してもスピーカーホン通話できません。子機または受話器を取ってお話しください。また、ファクスを受けることもできません。
● 相手の方がファクスを自動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから親機のFAXスタートボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。

呼出音の回数を設定（P.4-17〜4-18）すると、一定の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

一定の呼出音が鳴ったあと、ファクス受信する（在宅モード）

お知らせ

- 相手の方が自動送信や、固定メッセージが流れる前にスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わりません。
- 在宅モードでファクス受信されることが多いときや、すぐに電話に出ないでファクスを受けたいときは、「在宅モード時コール回数」を6回以下に設定してください。（P.4-17〜4-18）
- 固定メッセージが流れている間に停電時端子に接続した電話機の受話器を取っても通話できません。
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（P.5-2〜5-3）

■ **固定応答メッセージの内容は変わります。**

受信できないとき（インクリボン、受信メモリーがないときなど）	「ただ今近くにおりません。恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」

→つづき

6 呼出音の回数を入力する（01～25回）

（例）０６回 (0) (6)

在宅時コール回数
在宅時コール：　06回
[L/決定] で決定
画質　取消

7 (L/決定) を押す

呼出回数
06 回にしました
画質　取消

8 停止 を押す

■ 呼出音のメロディを変えるときは（P.1-28）

お知らせ

● 親機の停電時端子に他の電話機を接続されたとき、固定応答メッセージが流れている間に接続した電話機の受話器を取っても通話できません。（応答メッセージも止まりません。）

受信した内容を画面で見る（見てからプリント機能）

ファクスをメモリー受信にすると、受信内容を画面に表示して確認することができます。

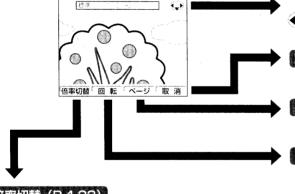
見てからプリント機能を使うときは、あらかじめ次の設定をしてください。（P.4-26〜4-27）
・「メモリー受信」→「する」
・「受信プリント」→「見てからプリント」

メモリー受信とは
送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったんファクシミリのメモリーに記録することです。

見てからプリント機能とは

1 ファクスを受信したことが表示され、お知らせランプが点灯します

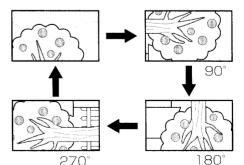
2 受信FAX一覧 を押し、「FAX受信リスト」を表示する

3 または で表示したいファクスを選び、決定 を押す

：たて方向にスクロールできることを示しています。

：よこ方向にスクロールできることを示しています。

取消
：１つ前の画面にもどします。

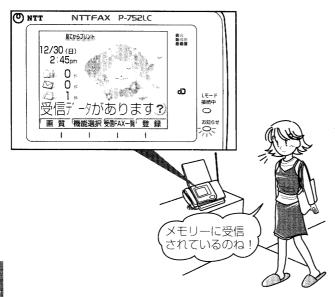
ページ（P.4-23）
：次のページを表示します。

回転（P.4-23）
：押すたびに表示を90°ずつ右回転させます。

倍率切替（P.4-23）
：押すたびに拡大／縮小表示されます。

印刷（P.4-24）
：画面にファクスが表示されているときに、コピー/印刷 を押します。

データの消去（P.4-25）
：「FAX受信リスト」で、消去したいファクスを選び、キャッチ/消去（L回線断）を２回押します。

■ **親機のディスプレイに「受信データがあります」と表示しているときは**

送られてきたファクスがメモリーに残っています。記録紙にプリントするか、または受信データを消すと表示が消えます。（P.4-24～4-25）

■ **メモリー受信枚数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で一度に約22枚までメモリー受信できます。（受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。）

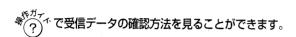
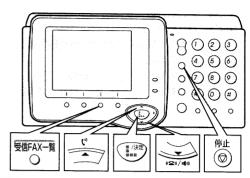
■ **メモリーがいっぱいになったときは（「メモリー受信」の設定が「自動」のとき）**

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになり、メモリーを使わない受信モードに自動的に切り替わります。再送されたときなどは、メモリーに記録せずに記録紙にプリントします。（切り替わったあとは、メモリー受信したデータを消去して再度「メモリー受信」の設定を「自動」または「する」に設定するまで、メモリー受信しません。）

お知らせ

● 「メモリー受信」の設定（P.4-26）を「しない」にすると、ファクスを受信したときに受信した内容によっては、記録紙の途中で分断されてプリントすることがあります。
また、通信速度がメモリー受信のときよりも遅くなることがあります。

受信した内容を画面で見る（見てからプリント機能）

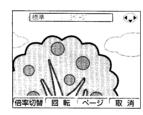
「見てからプリント」機能を使ってファクスをメモリー受信すると受信内容を画面に表示して確認することができます。

メモリー受信したデータを表示する（見てからプリント機能）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 「受信データがあります」と表示される

2 受信FAX一覧 を押す

- FAX受信リストが表示されます。
- 8件目以降は（▲）または（▼）でカーソルを移動して表示させます。

3 または で表示したい受信データを選び、を押す

- メモリー受信したデータを表示します。
- 表示している受信データをスクロール／拡大／縮小／回転／ページ切替／プリント／消去することができます。（P.4-22～4-23）

4 停止 を押す

- 待機画面に戻ります。

■ FAX受信リストについて

未確認の受信データを「未」と表示します。

受信した日付と時刻

受信した枚数

- ナンバーディスプレイ利用時には相手の方の番号を表示します。
- 電話帳に登録しているときは名前を表示します。

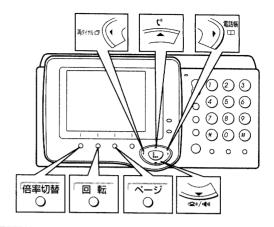
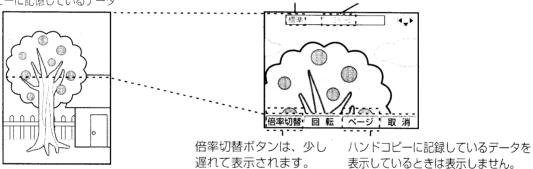
■ 「受信データがありません」と表示したときは

メモリー受信されているデータはありません。

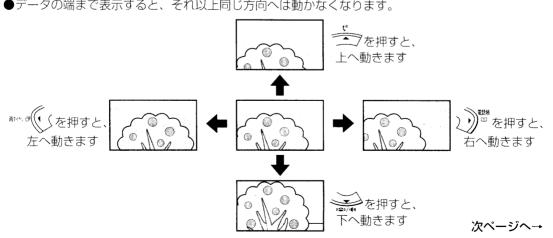
お知らせ

- 「メモリー受信」の設定（P.4-26）を「しない」にしている（待機画面に「記録紙受信」と表示している）ときは、この機能を使うことはできません。
- A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。
- メモリー受信したデータによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

メモリー受信した内容をディスプレイに表示することができます。（P.4-21）
また、ハンドコピーで読み取ったデータを表示することができます。（P.3-17）
表示しているデータを上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

表示したデータを操作する

（例）メモリー受信したり、ハンドコピーで読み取ったデータは、下記のように表示されます。
（受信内容が、複数ページあるときは、1ページ目を表示します。）

■表示しているデータを上下左右に動かす（スクロールする）

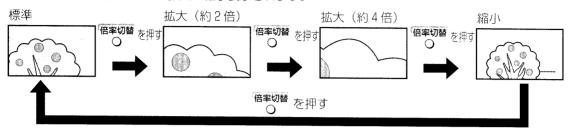
●データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

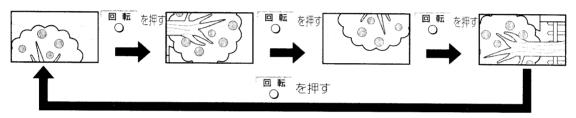
次ページへ→

お知らせ

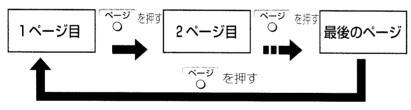
● 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
● 倍率切替ボタンが表示される前に回転やスクロールすると、少し遅れて表示することがあります。

→つづき

■表示しているデータを拡大／縮小する

倍率切替ボタンを押すたびに拡大／縮小表示されます。

■表示しているデータを回転する

回転ボタンを押すたびに右回り（時計回りに）90度ずつ回転します。

■ページを変える

複数ページをメモリー受信しているデータのときは、ページボタンを押すたびに次のページを表示します。
※ハンドコピーで読みとったページを表示しているときに、ページを変えることはできません。

●最後のページを表示しているときにページボタンを押すと1ページ目に戻ります。

■表示しているページをプリントする

表示中に コピー/印刷 を押す

表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）
※複数ページのときは、プリントしたページのみメモリーから削除されます。

■表示しているページを消去する

表示中に キャッチ/消去 回線断 を2回押す

※複数ページのときは、表示していたページのみメモリーから削除されます。

■ メモリー受信を1件ずつ消去するときは
（P.4-25）

お知らせ

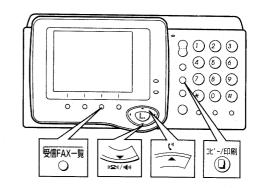
- 拡大／縮小表示中にコピーボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。「受信プリント」の設定が「すべてプリント」のときと「見てからプリント」のときで操作が異なります。（P.4-27）

■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出して（P.9-7）から、インクリボンを交換（P.9-8～9-9）してください。

「すべてプリント」に設定しているとき

次の手順でプリントします

1 コピー/印刷 **を押す**

メモリー枚数 1枚
記録紙をセットして
[コピー/印刷] で印刷
画質 取消

ディスプレイにメモリー受信している枚数が表示されます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 記録紙やインクリボンをセットして
コピー/印刷 **を押す**

●すべての受信データをプリントし始めます。プリントした内容は、メモリーから消えます。

「見てからプリント」に設定しているとき（1件ごとにプリントする）

1 受信FAX一覧 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●FAX受信リストが表示されます。（P.4-21）

●8件目以降は ▲ または ▼ を押して表示させます。

2 ▲ または ▼ で プリントしたい受信データを選んだあと、コピー/印刷 を押す

●プリントを開始します。プリントした受信データはメモリーから消えます。

■ **1ページずつプリントするときは（「見てからプリント」に設定時）**

① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）

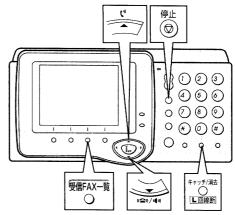
② ▲ または ▼ でプリントしたい受信データを選んだあと、決定 を押す（選んだ受信データの1ページ目を表示します。）

③ ページボタンを押してプリントしたいページのみを表示させる

④ コピー/印刷ボタンを押す（表示していたページをプリントします。プリントしたページは、メモリーから消えます。）

メモリー受信したファクスを消去する

メモリー受信した内容を記録紙にプリントしないで、FAX受信リストから選んで消去することができます。

この機能を使うときは、あらかじめ「受信プリント」の設定（P.4-27）を「見てからプリント」にしておきます。

メモリー受信したデータを1件消去する（「見てからプリント」に設定時）

1 受信FAX一覧 **を押す**

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

●FAX受信リストが表示されます。（P.4-21）

●8件目以降は▲または▼を押して表示させます。

2 ▲ **または** ▼ **で消去したい受信データを選んだあと、** キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

もう一度押すと
選択中の受信FAXデータ
を消去します
取 消

3 もう一度 キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

消去しました
取 消

●選んだ受信データが消去されます。

4 停止 **を押す**

●他に受信データがないときは待機画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。

■ **1ページずつ消去するときは**

① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）

② ▲ または ▼ で消去したい受信データを選んだあと、（決定）を押す（選んだ受信データの1ページ目を表示します。）

③ ページボタンを押して消去したいページを表示させる

④ キャッチ/消去 L回線断 を2回押す（表示していたページを消去します。）

⑤ 停止ボタンを押す（他に受信データがないときは、自動的に待機画面に戻ります。）

コピーやファクスをもっと便利に使う

コピーやファクスをもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

親機で設定します

途中でやめるとき　停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき　取消ボタンを押す

お買い求め時は　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
おまかせ受信 相手の方が自動送信でファクスを送られてきたとき、受話器（子機）を取ると自動的にファクス受信に切り替えます。（停電時端子に接続した電話機ではこの機能は働きません。） ・**あり** 電話に出たとき、「ポー・ポー・ポー…」というファクスの自動送信音が、聞こえると自動的にファクス受信します。 ・**なし** 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえても自動的にファクス受信に切り替わりません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶「**おまかせ受信**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
終了音 コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音の種類を選びます。 ・**鳥の声** 「鳥の声」でお知らせします。 ・**アラーム音** 「ピー音」でお知らせします。 ・**なし** 終了音を鳴らしません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**終了音**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：鳥の声 2：アラーム音 3：なし から選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
メモリー受信 いったんメモリーで受信します。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。 ・**する** メモリーで受信します。 ・**しない** 直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。 ・**自動** メモリー受信中にメモリーがいっぱいになると次に受信するときに、メモリー受信しないで直接記録紙にプリントします。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**メモリー受信**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：する 2：しない 3：自動 から選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止

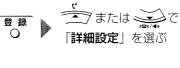
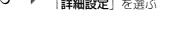
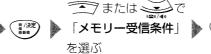
ファクス

親機で設定します

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

お買い求め時は　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
受信プリント メモリー受信した内容を、すぐにプリントしてデータを消去する、またはプリントしないでメモリーに残すかどうかを設定できます。 ※この設定は、「メモリー受信」の設定を「しない」にしているときは、はたらきません。 ・**すべてプリント** メモリーで受信したあと、インクリボン、記録紙がセットされているときは、自動的にプリントして、プリントしたデータは消去します。また、記録紙やインクリボンがなくなったときは、メモリーに記録しています。 ・**見てからプリント** メモリーで受信データを保存したままになり、受信内容を画面で確認できます。自動的にプリントしません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で「**受信プリント**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で 1：すべてプリント 2：見てからプリント のどちらかを選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ 停止
受信縮小率 ファクスを受信したときに、自動的に縦方向を約93%に縮小してプリントします。 ・**縮小** 自動的に縦方向を約93%に縮小してプリントします。 ・**等倍** 縦方向に縮小せずに受信します。（相手側の発信元名、電話番号などが記入されるとA4サイズを超えるため、2枚に分かれてプリントされることがあります）	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で「**受信縮小率**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で 1：縮小 2：等倍 のどちらかを選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ 停止
メモリー受信条件 設定した以上のメモリーがないとメモリー受信しません。 ・**4パーセント** 4%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 ・**10パーセント** 10%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 ・**30パーセント** 30%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 ・**50パーセント** 50%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で「**メモリー受信条件**」を選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ または で 1：4パーセント 2：10パーセント 3：30パーセント 4：50パーセント から選ぶ ▶ 機能/決定 ▶ 停止

ファクス

親機で設定します

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

お買い求め時は ＿＿ に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
分割コピー A4より長い原稿をコピーした場合のプリント方法を選びます。（ハンドコピーのプリントも含みます。） ・**する** A4サイズよりも長い原稿をコピーしたときは複数枚に分けてプリントします。 ・**しない** A4サイズを超える部分はプリントしません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**分割コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で 1：する 2：しない のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
キータッチ音 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**あり** 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**なし** 「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**キータッチ音**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
ハンドコピープリント 記録紙やインクリボンをセットしているときは、ハンドコピーを親機に取り付けたときに、新しく読み取ったデータを自動的にプリントすることができます。 ・**すべてプリント** 記録紙とインクリボンがセットされていると、ハンドコピーを親機に取り付けたときに、新しく読み取ったデータを自動的にプリントします。 ・**見てからプリント** ハンドコピーで読み取ったデータはP.3-17の操作でプリントします。	機能選択 ▶ または で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**ハンドコピープリント**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で 1：すべてプリント 2：見てからプリント のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止

親機で設定します

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

お買い求め時は に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
ハンドコピー読み取り幅 ハンドコピーを使って原稿を読み取るときの読み取り幅を選びます。 ・A4 基準からA4幅で読み取ります。 ・B4 基準からB4幅で読み取ります。	機能選択 ▶ または で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**ハンドコピー設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**読み取り幅設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で 1：A4 2：B4 のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
ハンドコピー倍率 ハンドコピーを使って拡大／縮小して読み取るときに選びます。 ・0.8倍 原稿を0.8倍に縮小して読み取ります。 ・1.0倍 原稿を等倍で読み取ります。 ・1.4倍 原稿を1.4倍に拡大して読み取ります。	機能選択 ▶ または で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**ハンドコピー設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**倍率設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で 1：0.8倍 2：1.0倍 3：1.4倍 から選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
ハンドコピー詰め込みプリント A4よりも短い原稿をコピーすると2枚目以後の原稿を詰め込んでプリントします。 ・する A4サイズより短い原稿をコピーすると、2枚目以後の原稿を詰め込んでプリントします。 ・しない A4サイズより短い原稿でも、記録紙1枚にプリントします。	機能選択 ▶ または で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**詰込プリント**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で 1：する 2：しない のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）を利用する

Fネットとは、NTTコミュニケーションズのファクシミリ専用ネットワークです。
Fネットに加入すると、通信をより経済的かつ効率的にするさまざまなサービスがご利用になれます。このサービスを利用するためには、NTTコミュニケーションズとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

一斉同報通信

1回のダイヤル操作で、10か所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。Fネットに事前登録された短縮ダイヤルを利用すれば、一度に最大10000か所までの同報通信が行えます。

再コール・不達通知

相手先がお話し中だった場合、Fネットが2分間隔で5回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。

ファクシミリ案内サービス

レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわるさまざまな情報が簡単に取り出せます。

自動再送信

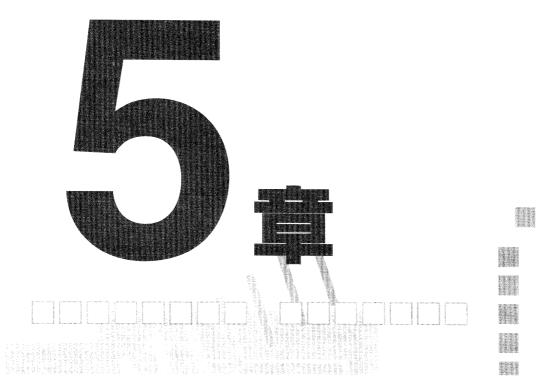
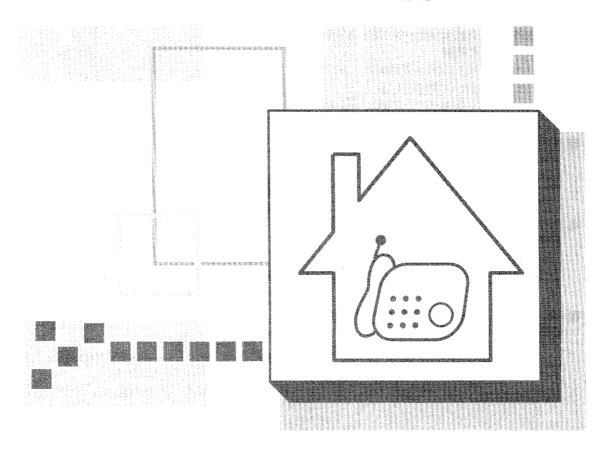
一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

夜間配送指定通信

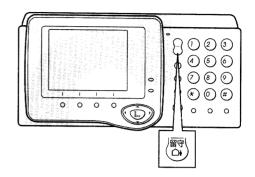
昼間Fネットへ原稿を送信し、夜間の割引時間帯にFネットから相手先への送信をすることができます。

お知らせ

- 電話帳ダイヤルを利用してFネットに対してファクスを送信するときには、Fネットの電話番号の161のあとに必ずポーズ（待ち時間）を2個以上挿入してください。

5章

留守番電話

留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、1件につき最大約3分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間、30件までです。

留守に設定する

1 (留守)を押して点灯させる

消灯　点灯

固定応答メッセージ

●留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます。

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

●録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）を選ぶときは**

① あらかじめ応答メッセージを録音する（P.5-8）
② 留守ボタンを押して点灯させる
③ 応答メッセージが流れている間に (#) を押す

■ **オリジナルメッセージを選んだときは**

いったん留守設定したときに、オリジナルメッセージを選んでおくと、次に留守設定したときも、オリジナルメッセージになります。

■ **オリジナルメッセージから固定メッセージにするときは**

① 留守ボタンを押して点灯させる
② 応答メッセージが流れている間に (＊) を押す

■ **固定メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは2秒に設定されています。1秒または4秒に変更することができます。（P.10-6）

お知らせ

● オリジナルメッセージを選んだときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。
● 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（P.5-7）
● ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
● 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「受信データがあります」と表示されます。（P.4-20）

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボン、受信メモリーがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ただし、リモート操作（P.6-10〜6-13）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは

自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ 留守機能をもっと便利に使いたいときは（P.5-10）

■ 留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは

① 登録ボタンを押す
② ▲または▼で「親機呼出音」を選び、▶を押す
③ ▲または▼で「呼出回数」を選び、▶を押す
④ ▲または▼で「留守モードコール回数」を選び、▶を押す
⑤ ▲または▼で「トールセーバー」を選び、（登録/決定）を押す
⑥ 停止ボタンを押す

■ 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）

① 登録ボタンを押す
② ▲または▼で「親機呼出音」を選び、▶を押す
③ ▲または▼で「呼出回数」を選び、▶を押す
④ ▲または▼で「留守モードコール回数」を選び、▶を押す
⑤ ▲または▼で「回数選択」を選び、（登録/決定）を押す
⑥ ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回〜25回）
⑦ （登録/決定）を押す
⑧ 停止ボタンを押す

着信回数とトールセーバー

留守モードでは着信回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます（P.6-13）。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

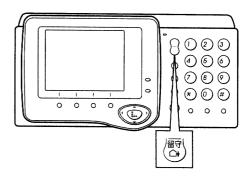
メッセージがあるとき………着信2回
メッセージがないとき………着信5回

着信音が3回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（P.6-12）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

お知らせ

- 増設電話機をお使いのとき、応答メッセージが流れているときや録音が始まってから増設電話機の受話器を上げても通話できません。
- 記録紙や録音容量がないときは、ファクスを受けることや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

録音内容を聞く

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

留守設定を解除して留守録を聞く

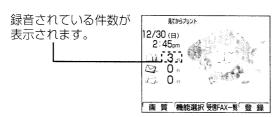
1 (留守)を押す

留守設定中に録音があると点滅しています。

点滅　消灯

録音されている件数が表示されます。

留守設定　留守設定解除

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません

再生を途中でやめるとき

停止ボタンを押す

- 留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。
- 再生中はP.5-5と同じ操作で早聞き、遅聞き、次の録音にとばす、1つ前の録音に戻すことができます。

- 録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。（日時スタンプ）
- 留守設定を解除しなくても、留守録を聞くことができます。（P.5-5）

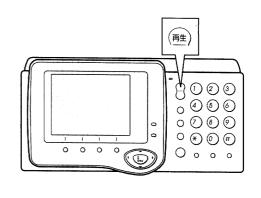
■ 留守ボタンが点滅しているときは

- 留守に設定中に1回点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとで、2回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、在宅時の留守録）があります。
  再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。（P.5-5）
- まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音内容を再生する」（P.5-5）の操作をします。

お知らせ

- 一度聞いた不要な用件は消去してください。消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。

録音内容を再生する

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。
一番古い録音から順番に再生します。

親機で録音内容を再生する

1 （再生） **を押す**

1 件目 再生中

再生を途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約 3 秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定 ▼（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は 1 件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は 1 件目から再生）

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、（#） を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、（再生） を押す（速くなる）
⬇
もう一度、（再生） を押す（遅くなる）
⬇
もう一度、（再生） を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（*） を押す

1 つ前の録音に戻すときは

再生中に、（*） を 2 回続けて押す

今聞いている録音の 1 件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して （*） を押します。（1 回押すごとに 1 件ずつ）

3 秒以上再生したあと、
ボタンを 2 回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに （*） をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

1 つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

子機で録音内容を再生する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) **を 2 回押す**

5：戻し
6：送り
9：早聞き

再生を途中でやめるとき
切ボタンを押す

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約 3 秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定 ▼（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は 1 件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は 1 件目から再生）

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、(6) を押す

早聞きするときは

再生中に、(9) を押す

もとに戻すときは、もう一度、(9) を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、(5) を押す

1 つ前の録音に戻すときは

再生中に、(5) を 2 回続けて押す

今聞いている録音の 1 件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して押します。

3 秒以上再生したあと、ボタンを 2 回続けて押すと ▼（5件目）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに (5) をくり返し押す。

1 つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

呼出音が聞こえ再生が止まります。このあと通話ボタンを押すと通話できます。

録音内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

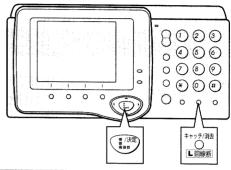
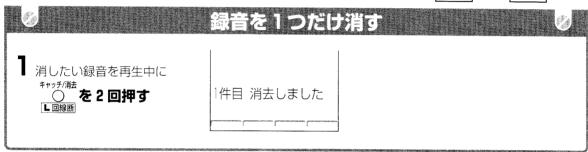
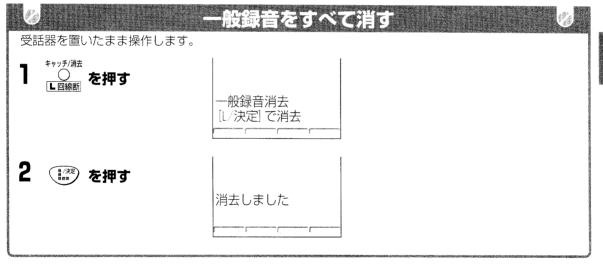
録音を１つだけ消す

1 消したい録音を再生中に **キャッチ/消去 ○ [L 回線断] を２回押す**

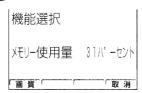
一般録音をすべて消す

受話器を置いたまま操作します。

1 **キャッチ/消去 ○ [L 回線断] を押す**

2 **(/決定) を押す**

■ 親機のメモリーの使用量を確認するときは
（メモリー使用量表示）

① 機能選択ボタンを押す

② (▲)または(▼)で「メモリー使用量表示」を選び、(/決定)を押す

③ 停止ボタンを押すと待機画面に戻る

留守番電話

録音内容を消去する

自分で応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます。また、録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

応答メッセージを録音する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 機能選択 ○ **を押す**

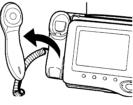
機能選択 ?
1 コピー設定
2 ハンドコピー
3 着信記録
画質 取消

2 ▲ または ▼ で「応答メッセージ」を選び、(セット/決定) を押す

応答メッセージ ?
1 録音
2 クリア
3 再生
画質 取消

3 「録音」を選び、(セット/決定) を押す

オリジナル 録音
受話器をお取り下さい

4 受話器を取る

5 (セット/決定) **を押してから、受話器で応答メッセージを話す**

応答メッセージの例
「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

6 録音が終わったら
停止 ◎ **を押してから、受話器を戻す**

●録音したメッセージを再生します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**
録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージを選ぶときは**
録音した応答メッセージで留守番電話を受けるときは留守設定したときに選ぶ必要があります。
（「自分で録音した応答メッセージを選ぶときは」P.5-2）

お知らせ

● オリジナルを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去したあと応答メッセージを選んでください。

応答メッセージの内容を聞く

1 「応答メッセージを録音する」の手順1～2を行う
（P.5-8）

2 ［▲］または［▼］で「再生」を選び、［決定］を押す

オリジナル 再生中

●再生が始まります。

3 再生が終わったら
待機画面にもどる

応答メッセージを消す

1 「応答メッセージを録音する」の手順1～2を行う
（P.5-8）

2 ［▲］または［▼］で「クリア」を選び、［決定］を押す

オリジナル 消去
[L/決定] で消去

●オリジナルメッセージを消去したときは、自動的に固定応答メッセージになります。

留守機能をもっと便利に使う

留守モードでのコール回数などを設定することができます。

親機で設定します

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

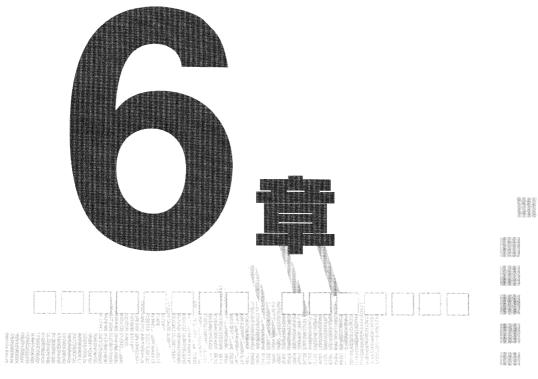
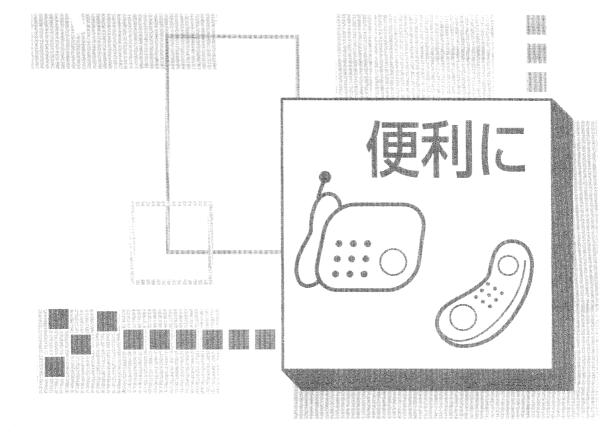
1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

お買い求め時は　　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
暗証番号 外出先からリモート操作するときの暗証番号を設定します。 ・**登録** 暗証番号を登録します。 ・**クリア** 登録した暗証番号を消去します。	登録 ▶ またはで「**詳細設定**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**留守録**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**暗証番号**」を選ぶ ▶ ▶ またはで選ぶ 1：登録 ▶ ▶ ダイヤルボタンで4ケタの暗証番号を入れる ▶ ▶ 停止 2：クリア ▶ ▶ ▶ 停止
お声拝聴 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。 ・**あり** 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。 ・**なし** 留守録設定中でも応答メッセージと相手の方の録音中の声は聞こえません。	登録 ▶ またはで「**詳細設定**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**留守録**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**お声拝聴**」を選ぶ ▶ ▶ またはで 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ ▶ ▶ 停止
留守モード時のコール回数 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を設定します。 留守モード時の呼出音の回数を01回から25回まで設定することができます。	登録 ▶ またはで「**親機呼出音**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**呼出回数**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**留守モードコール回数**」を選ぶ ▶ ▶ またはで「**回数選択**」を選ぶ ▶ ▶ ダイヤルボタンで01—25回を入力（お買い求め時は4回） ▶ ▶ 停止

6章

便利な機能

便利に

親機の待機画面を変える

親機の待機画面は、はじめ「アニメーション」になっていますが、「ガーベラ」、「森林と川」「ダウンロード画像（Lモードからダウンロードした画像）」に変えることができます。
（アニメーション以外は静止画です。）

親機の待機画面を変える

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 ▲または▼で「詳細設定」を選び、決定を押す

詳細設定 ?
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質 取消

3 ▲または▼で「待機画面表示」を選び、決定を押す

待機画面表示 ?
1 アニメーション
2 ダウンロード画像
3 ガーベラ
画質 取消

4 ▲または▼で表示させたい画像を選ぶ

待機画面表示 ?
1 アニメーション
2 ダウンロード画像
3 ガーベラ
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

● 「ダウンロード画像」はあらかじめ待機画面として登録しないと表示されません。（P.7-63～7-64）

アニメーション

ガーベラ

森林と川

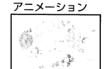
次ページへ→

→つづき

5 （ /決定 ）**を押す**

詳細設定

ガーベラ
に設定しました

画質 | | | 取消

6 停止 **を押す**

●待機画面に表示されます。

■ **登録した画像を消去するときは**

ダウンロード画像を消去することはできません。ダウンロード画像を変更するときは、もう１度待機画面に登録（P.7-63〜7-64）すると書き換えられます。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

親機で通話を録音する

スピーカーホン通話中は受話器を取ってから操作してください。

1 通話中に
機能選択 を押し、▲ または ▼ で「録音」を選び、登録/決定 を押

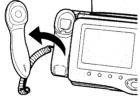
通話録音中
[停止] で終了

●内線通話中やドアホン通話中は、通話録音できません。

2 録音をやめるときは 停止 を押す

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

親機で伝言メモを録音する

1 受話器を取る

2 機能選択 を押し、▲ または ▼ で「録音」を選び、登録/決定 を押したあと、受話器で伝言を話す

3 話し終わったら、停止 を押して受話器を置く

●録音が終わったら、日付／時刻／件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは（P.5-5～5-6）**

■ **録音内容を消去するときは（P.5-7）**

お知らせ

● 子機では通話や伝言メモを録音することはできません。
● ファクスのメモリー受信データなどがあると録音できる時間が少なくなります。
● スピーカーホンで通話録音や伝言メモ録音することはできません。

着信記録や再ダイヤルの番号を電話帳に登録する（子機）

子機では着信記録や再ダイヤルの電話番号を電話帳に
登録することができます。

着信記録や再ダイヤルの番号を電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 着信記録のときは
着信記録 ◁ **を押す**
再ダイヤルのときは
再ダイヤル **を押す**

〈着信記録01〉
09012345678
12月30日 15:01

2 **または** **で 登録する電話番号を選んだあと、▷電話帳を押す**

▶電話帳へ登録
消去
◀戻る　選択▶

3 **または** **で「電話帳へ登録」を選び、▷電話帳を押す**

名前?　[漢]
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは機能ボタンを２回押して手順６へ進みます。

4 **名前を入れ、機能を押す（最大全角６文字、半角12文字）**
(P.1-38,1-42〜1-44)

読み　半 [カナ]
ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
[機能] 決定

5 「読み」が正しければ
機能を２回押す

池田 悟
第2番号?
[機能] 決定

●「読み」に変更があれば修正します。(P.1-38,1-42〜1-44)
●「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。
●第１番号として登録します。

6 **電話番号（第２番号）を入れる（最大16ケタ）**

池田 悟
0387654321
[機能] 決定

●第２番号を省略するときは手順７へ進みます。

7 **機能を押す**

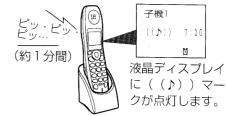
池田 悟
登録しました
残り：92

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

● 親機の再ダイヤルの記憶を子機の電話帳に登録することはできません。

アラームを使う（子機）

子機で、アラームを設定することができます。アラーム音をメロディーに変えることもできます。

アラームを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （機能）**を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （△）**または**（▽）**で「アラーム」を選んだあと、**（▷）電話帳**を押す**

▶アラーム時刻
アラーム設定
アラーム音色
◀戻る　選択▶

3 （△）**または**（▽）**で「アラーム時刻」を選んだあと、**（▷）電話帳**を押す**

アラーム時刻
00:00
[機能] 決定

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）

アラーム時刻
07:00
[機能] 決定

- すでに設定している時刻を変更するときは、（▶）または（◀）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 （機能）**を押す**

アラーム　07:00
設定しました

- ⏰マークが表示されます。

■ アラームの音を途中で止めるときは

アラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、止まります。（クイック通話をしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）

■ アラームを解除／もう一度設定する時は

① 機能ボタンを押す
② （▲）または（▼）で「アラーム」を選んだあと、（▶）を押す
③ （▲）または（▼）で「アラーム設定」を選んだあと、（▶）を押す
④ （▲）または（▼）で「解除」または「設定」を選ぶ
⑤ 機能ボタンを押す

アラーム音を選ぶ

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （△）**または**（▽）**で「アラーム」を選んだあと、**（▷電話帳）**を押す**

▶アラーム時刻
アラーム設定
アラーム音色
◀戻る　選択▶

3 （△）**または**（▽）**で「アラーム音色」を選んだあと、**（▷電話帳）**を押す**

▶通常アラーム
メロディ

[機能] 決定

4 （△）**または**（▽）**でアラーム音（通常アラームまたはメロディ）を選んだあと、**（機能）**を押す**

アラーム音色
メロディ
にしました

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●アラーム音は次の 2 種類の中から選ぶことができます。

通常アラーム	ピッピッピッ…
メロディ	オリジナルメロディ

お知らせ

● 子機の時刻が正しく合っていないと、アラーム設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから、アラームを設定してください。
（「子機の時刻を合わせるには」P.1-32）

● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。

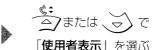
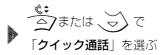
子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録・設定をすることができます。

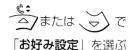
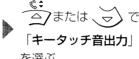
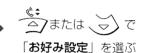
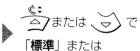
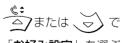
子機で設定します

途中でやめるとき
切ボタンを押す

お買い求め時は　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
使用者表示 子機の待機画面に、使う人の名前を表示することができます。また、子機を置く場所などを登録して利用することもできます。 名前を登録すると、待機画面に表示します。 （例）子機1 悟 1:40 登録した名前を変更するときは、もう一度登録し直します。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ ▶ または で「**システム設定**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**使用者表示**」を選ぶ ▶ ▶ ダイヤルボタンで名前を入力する（全角6文字、半角12文字）（ P.1-38,1-42～1-44） 使用者表示を消すときはクリアボタンを押して登録されているすべての文字を消します。 ▶
登録初期化 子機の登録内容をすべて消してお買い求め時の状態に戻すことができます。 子機の登録内容をすべて消してお買い求め時の状態に戻します。 （子機の電話帳に登録した内容などすべての登録内容が消えてお買い求め時の状態に戻ります。）	通話ボタンを消灯した状態で ▶ ▶ または で「**システム設定**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**登録初期化**」を選ぶ ▶ 初期化する？ 機能 決定 ▶
クイック通話（着信のときのみ） 子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・**設定** 着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・**解除** 子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。	通話ボタンを消灯した状態で ▶ ▶ または で「**お好み設定**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**クイック通話**」を選ぶ ▶ ▶ または で「**解除**」または「**設定**」を選ぶ ▶

途中でやめるとき
切ボタンを押す

お買い求め時は　　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
キータッチ音出力 子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**設定** 子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**解除** 「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。	通話ボタンを消灯した状態で または で「**お好み設定**」を選ぶ または で「**キータッチ音出力**」を選ぶ または で「**解除**」または「**設定**」を選ぶ
待ち受け時間 充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・**標準** 待ち受け時間は約200時間になります。 ・**長時間** 待ち受け時間は約240時間になります。（「長時間」にすると「標準」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。	通話ボタンを消灯した状態で または で「**お好み設定**」を選ぶ または で「**待ち受け時間**」を選ぶ または で「**標準**」または「**長時間**」を選ぶ
液晶ディスプレイ（LCD）のコントラスト調整 ディスプレイのコントラストを調整できます。 ・**▲濃く** コントラストを濃くします。 ・**▼薄く** コントラストを薄くします。 ディスプレイの表示の濃さを16段階で調整できます。	通話ボタンを消灯した状態で または で「**お好み設定**」を選ぶ または で「**LCDコントラスト**」を選ぶ または で調節する

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 ▲ または ▼ で「詳細設定」を選び、決定 を押す

詳細設定
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質 取消

3 ▲ または ▼ で「留守録」を選び、決定 を押す

留守録
1 暗証番号
2 お声拝聴
画質 取消

4 「暗証番号」を選び、決定 を押す

暗証番号
1 登録
2 クリア
画質 取消

5 「登録」を選び、決定 を押す

暗証番号
No.　:　　　（4桁）
4桁セットください
画質 取消

次ページへ→

→つづき

6 暗証番号を入れる（4ケタ）

暗証番号
No.　:1234（4桁）
[L/決定]で決定
画質　取消

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 （/決定）を押す

留守録
登録しました
画質　取消

8 停止 を押す

■ **登録した暗証番号を消すときは**

① 左記の手順5で「クリア」を選ぶ
② （/決定）を2回押す
③ 停止 を押す

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。録音内容は消えません。

外出先から一般録音をリモート操作する

1 **自宅に電話をかける**

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

2 **応答メッセージが聞こえている間に**

[#] を押す

●[#]を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度[#]を押してください。

3 **暗証番号（4ケタ）を押す**

[1][2][3]
[4][5][6]
[7][8][9]
[0]

4 **[#] を押す**

5 音声メッセージを聞いたあと
リモート操作番号を押す

[1][2][3]
[4][5][6]
[7][8][9]
[*][0][#]

（例）録音内容を聞くときは、
[1][#] と押します。

6 リモート操作が終わったら
電話を切る

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

■ 暗証番号を押すときは

● 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」音が聞こえます。手順3からやり直してください。

● 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（2回まちがえると電話は切れます。）

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。

留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

留守設定 ▼（3件目と4件目の間）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が2回（新しい録音がないときは5回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。P.5-3）

■ トールセーバー機能の使いかた

呼出音が2回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。3回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

● 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。（P.10-29〜10-30）

● 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

● 操作は1分以内に行ってください。（1分以上あけると電話が切れます。）

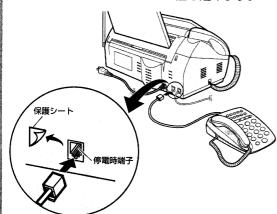
● ファクシミリが在宅モードで「在宅時コール回数」を「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

電話機を増設する

お手持ちの電話機を停電時端子に接続することができます。
停電時端子に接続される電話機は停電のときに使えるように、電源を使わない電話機を接続することをおすすめします。

増設電話を接続する

1 停電時端子に接続する

●保護シートをはがし、電話機の接続コードを、親機の停電時端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

増設電話機で電話をかける

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら**ダイヤルする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

増設電話機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら**受話器を取ってお話しする**

●通話が終わったら受話器を戻します。

お知らせ

- 親機と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 停電時端子には、電話機を1台しか接続できません。また、コードレス電話機は接続できません。
- 増設した電話機で受けたあとファクスに切り替えることはできません。
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。

子機を増設する（増設子機）

子機は付属の子機以外に、もう3台加えて最大4台まで使うことができます。
ご購入の際は、本商品をお買い求めになった販売店にお申し付けください。

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

付属の子機	増設した子機
子機番号 ①	子機番号 ② ③ ④

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

子機を増設してお使いの時は、子機から子機へメッセージを伝えることができます。

子機から子機へメッセージを伝える

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 子機

子機を充電器から取って

を押す

2 子機

子機の内線番号を押す

●通話ボタンが点滅します。
●他の子機の方が電話に出るまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点滅します。

4 子機

他の子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

●他の子機の声は聞こえません。

5 他の子機

メッセージが聞こえる

6 子機

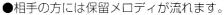
メッセージを話し終わったら

を押す

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

子機から子機へ転送する（ひと声転送）

子機を増設してお使いの時は、子機にかかってきた電話を他の子機へ転送し、ひと声だけメッセージを伝えることができます。

子機から他の子機へ転送する(ひと声転送)(子機を増設したとき)

1 子機

子機で通話中に

 を押す

2 子機

子機の内線番号を押す

●相手の方には保留メロディが流れます。
●他の子機の方が電話に出るまで「ププププ・・・・」と鳴ります。

3 他の子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

4 子機

電話を転送することを伝えて（約10秒以内に）
子機を充電器に戻す

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●他の子機の声はこちら側には聞こえません。
●この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

5 他の子機

 を押す

または **を押す**

●外の相手の方と通話できます。

■ **他の子機が出ないときは**

保留ボタンを押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと保留ボタンまたは通話ボタンを押すと外の相手の方との通話に戻ります。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

プッシュホンサービスを使う（ダイヤル回線ご利用時）

1 親機 **受話器を取る**

または

 子機 通話 **を押す**

- 受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 親機

 トーン **を押す**

または

 子機

 トーン **を押す**

- このあとアナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

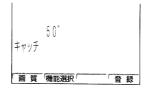
■ トーン信号とは

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、トーンボタンを押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンサービス（通話中着信サービス）は当社が行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。キャッチホンを利用するには当社との契約が必要です。ご希望の方は、局番なしの116番または当社の営業所等へお申し込みください。

親機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

●キャッチホン・ディスプレイサービス（P.8-24〜8-27）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度 キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

子機でキャッチホンサービスを使う

1 通話中に呼出音が聞こえたら 文字切替/キャッチ **を押す**

0312345678

●キャッチホン・ディスプレイサービス（P.8-24〜8-27）を契約しているときは、相手の方の電話番号と名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度 文字切替/キャッチ **を押す**

お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すと「電話番号？」と表示されて、キャッチボタンや保留ボタンが使えなくなります。
- ファクス送受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。また、この場合電話がかかってきたことは、こちら側ではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡサービスを利用すると、受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくは当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイサービスを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（P.8-24〜8-27）

キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったことをお知らせする（メッセージ到着お知らせサービス）

キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったら…

メッセージ到着お知らせサービスを利用すると、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージが、メッセージセンタに入ると、親機のディスプレイに「メッセージあり1」と表示します。（メッセージ有り通知）
メッセージ有り通知の着信履歴は「センタ1　M1」と表示されます。この場合、キャッチホンⅡやマジックボックス（センタ1）に音声メッセージ（M1）が入ったことを意味しています。

お知らせ

- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「する」になっていることを確認してください。（P.8-3）メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていなくても利用することができます。
- 通話中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- メッセージ有り通知を表示中に停電し、その後復旧してもメッセージの表示は戻りません。
- メッセージ到着お知らせサービスで146をダイヤルし、メッセージを聞いた後、そのメッセージを削除してもメッセージ有りの表示は消えません。メッセージ有りの表示は、メッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- マジックボックスやキャッチホンⅡ、メッセージ到着お知らせサービスは、当社との契約が必要です。詳しくは局番なしの116番または、当社の営業所等へお問い合わせください。

ドアホンを接続して使う

ターミナルボックスやドアホン、テレビドアホンユニットを取り付けると、親機や子機でドアホン通話することができます。
また、テレビドアホンを接続すると、相手の方をドアホンモニタで確認することができます。
ドアホンの取り付け工事について、詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

親機で話すときは

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信1」または、「ドアホン着信2」と表示している間（30秒以内）に
受話器を取って通話する

●親機のスピーカーホンボタンを押してもドアホン通話することはできません。

2 通話が終わったら
受話器を戻す

子機で話すときは

1 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

 を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら

 を押す

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン１とドアホン２からの呼出音は鳴り方が違います。

親機	ドアホン１	ピン ポン
	ドアホン２	ピン ポン ピン ポン
子機	ドアホン１	ピロ ピロ ピロ ピロ　ピロ ピロ ピロ ピロ
	ドアホン２	ピロ ピロ　ピロ ピロ　ピロ ピロ

お知らせ

● ターミナルボックスは、テレビドアホンを接続する場合、シャープ（株）製DZ-T30-Wを、ドアホンのみを接続する場合は、シャープ（株）製DZ-T20-WHをお使いください。

● テレビドアホンはシャープ（株）製DZ-MH70をお使いください。

● ドアホンは当社のE-ドアホンS、E-ドアホンDをお使いください。

● 停電時端子に電話機が接続されていても電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）

● 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。

● ドアホン通話の保留はできません。

● 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。

● ファクス送受信中や増設電話機で通話中のときは、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。

● ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。

● ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら
一度受話器を戻してから、受話器を取る

●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
内線/保留 ○ を押す

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/保留 ○ を押す

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは
(1) を押す
ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて２回聞こえたときは
(2) を押す

● **(1) または (2)（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
一度受話器を戻してから、受話器を取る

●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の呼出音が聞こえたら

 を押して、通話を押す

●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
●通話ボタンをを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア 保留 **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

 を２回押す

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

1 を押す

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と続けて２回聞こえたときは

2 を押す

● **1 または 2（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。**

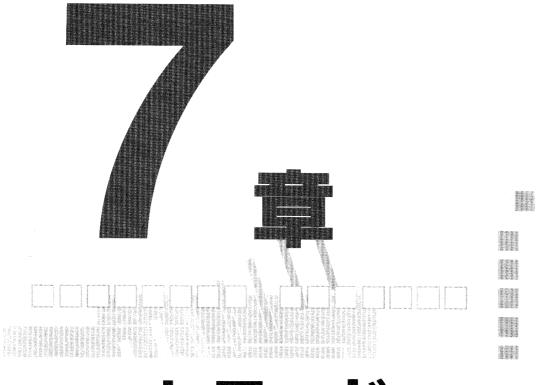
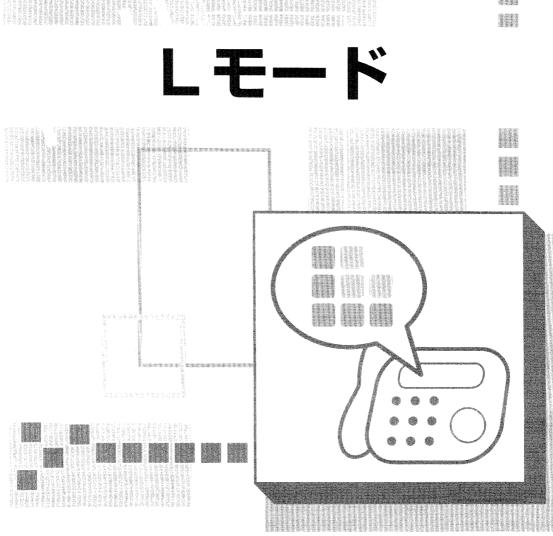
子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

切を押して、子機にドアホンの呼出音が聞こえたら通話を押す

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。

7章

Lモード

Ｌモードサービスについて

Ｌモードって何？

Ｌモードサービスとは、本商品を利用して、ブラウザサービスや、メールサービスをご利用いただけるサービスです。
Ｌモードサービスを利用するには当社との契約が必要です。尚、契約と同時に月額使用料が必要となります。

Ｌモードサービスのしくみ

Ｌモード利用者

情報検索（ブラウザ）サービス（P.7-47～7-73）

情報検索（ブラウザ）サービス

Ｌモードのトップメニューからメインメニューを選択すると、Ｌモードゲートウェイに接続されメインメニューが表示されます。メインメニューからお好きなコンテンツを選んでご覧になることができます。各コンテンツではコンテンツ・プロバイダが提供する各種サイト（番組）を利用することができます。

メールサービス（P.7-7～7-46）

メールサービス

Ｌモードサービスを契約すると、Ｌモード利用者どうしはもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのやりとりもできます。メールの送受信は、Ｌモードゲートウェイを介して行います。Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。メールアドレスは、Ｌモードサービスご契約時「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」に設定されますが、お客様の電話番号部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

お知らせ

- 本商品からＬモードゲートウェイへ接続するときは、発番号（お客様の電話番号）を通知しないと接続できません。詳しくは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- ブラウザサービスを利用するには、アクセスポイント電話番号（センター番号）が必要です。「はじめてＬモードサービスを利用する」の操作を行い、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得してください。(P.7-4)
- Ｌモードゲートウェイと通信中はブラウザマークが点灯し通信料金がかかります。(P.7-6)
- 当社の都合により、Ｌモードサービスの内容の一部を変更させていただくことがあります。

Ｌモードを利用するには？

1 当社へ申し込みをする。

利用される場合は必ず当社へ利用契約を行ってください。

Ｌモードの利用開始日は、登録手続きが必要なため当社が申込書を受領した数日後からとなります。ご利用開始日などの詳細は**局番なしの116番まで**お問い合わせください。

付属の「Ｌモードサービス申込書」に必要事項を記入します。

切手を貼らずにポストへ投函。

数日後、Ｌモードの使用説明書が届けられます。（申し込み完了）

2 初期設定をする。

はじめて利用されるときは、まず初めにアクセスポイント電話番号（発番号）の設定をします。（P.7-4）

Ｌモードの利用料金は？

月額使用料…Ｌモードサービスへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。

通　信　料…Ｌモードゲートウェイへ接続中は通信料がかかります。（接続中は、画面に マークが表示され、「Ｌモード接続中」ランプが点灯しています。）

Ｌモードサービスの詳しいお問い合わせは

局番なしの　**116**番へ

アドバイス！

※**「切り忘れ防止タイマー」（P.7-75）**

この機能は、Ｌモードゲートウェイへ接続中に何も操作しなかった時、自動的にＬモードゲートウェイとの接続を切断する機能です。
Ｌモードゲートウェイとの接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「３分」に設定されています。

※**通信料金をかけずにサイト（番組）のページを見る**

インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に キャッチ/消去 Ｌ回線断 を押すと、表示しているページは、そのままでＬモードゲートウェイとの接続を切断することができます。
通信料金をかけずにページを見るときに便利です。

お知らせ

- PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号の先頭に0をつける必要がある通信機器を接続した場合は、Ｌモードサービスをご利用いただけません。

- Ｌモードのサービスの申し込みは、本商品から直接申し込むこともできます。

はじめてＬモードサービスを利用する

Ｌモードサービスをはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号（センター番号）を取得し、親機に登録するための操作を行います。（端末機器自動設定）

Ｌモードサービスの利用設定をする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 (/決定) **を押す**

2 「はい」を選び、(/決定) を押す

- 「いいえ」を選択し、(/決定) を押すと「サービスのご利用には発信者番号の通知が必要です。」が表示されます。「Ｌモード」をご利用になるときは、「はい」が選択されていることを確認し、(/決定) を押してください。
- 自動的に設定センタへ接続され、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得します。

3 「サービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました。」と表示されたら (/決定) を押す

- アクセスポイント電話番号（センター番号）の親機への登録が終了します。

4 「トップメニュー」が表示される

トップメニュー
1 メール
2 メインメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

- Ｌモードのサービスをご利用いただけます。(▲) または (▼) で項目を選んでください。

5 停止 **または** クリア **を押すと、待機画面に戻る**

■ **「センターとの接続に失敗しました。」と表示されたときは**

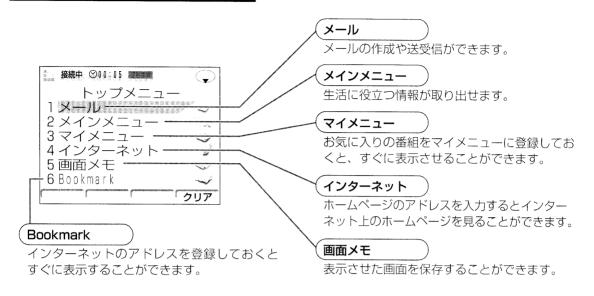
端末機器自動設定がうまく設定できませんでした。もう一度操作をやり直してください。または、登録メニューから設定することもできます。
（「端末機器自動設定」P.7-74）
また、Ｌモードサービスを契約していないときも表示されます。

■ **Ｌモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 回線の状態によっては、まれにＬモードゲートウェイと接続できない場合があります。

Lモードのトップメニュー

用語について

ゲートウェイ：
異なるプロトコルを持つネットワークを相互に接続するための、ハードウェアやソフトウェアのこと。

コンテンツ：
コンピュータで、画像、動画、音声、文章などを組み合わせて、一つの作品として仕上げたもの。

サイト：
サーバが設置された場所のこと。おもにインターネット上のサーバに対して使う。

ダウンロード：
他のコンピュータ上にあるデータを、ネットワークを通じて自分の端末側にコピーすること。

センター：
メールの送受信やブラウザページの閲覧をするために、回線を接続するところ。

タグ：
ファイルの中の特定の場所につけられた印のこと。そのタグを指定することで、その場所へ簡単に移動できる。

Bookmark「ブックマーク」：
wwwなどのオンラインドキュメントにおいて、特定のページ位置を記録したもの。

URL「ユーアールエル」：
Uniform Resource Locator の略。www で使われる、インターネット上の情報にアクセスする方法を示す表記。（インターネットのURLのことをアドレスと呼ぶこともある）
「http://www.○○○.co.jp/△△△/」というように、「プロトコル：//サーバ名/パス名」と記述される。

Lモードやサイトによっては「パスワード」が必要になります。

● 「パスワード」については「Lモードの使用説明書」をご覧ください。

お知らせ

● 停電などで電源が切れるとアクセスポイント電話番号（センター番号）が消去されます。もう一度操作をして登録し直してください。
● 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。
● Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。

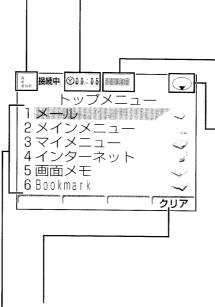
Lモード利用時のディスプレイ表示

「Lモード」利用時は液晶ディスプレイに次の様に表示されます。各メニューやページ等で表示される内容が変わります。

（ブラウザマーク）
Lモードゲートウェイへ接続している間、表示または点滅しています。
表示中は通信料金がかかります。
Lモードゲートウェイとの接続が切れると（ブラウザマーク）は消えます。

Lモードゲートウェイとの接続を終了するときは
停止 を押します。

表示はそのままでLモードゲートウェイとの接続を切断するときは
キャッチ/消去 L回線断 を押します。

メニュー
メニューの項目が表示されます。選ばれている項目が（オレンジ色）のカーソルで表示されます。
項目を表示するには ▲ または ▼ で項目を選んで /決定 を押します。
ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。

クリア
クリア が表示されているときに、クリア を押すと次のように動作します。
- ブラウザサービスを使用しているときは、トップメニューが表示されます。
- メールの操作をしているときは、1つ前の画面が表示されます。

00:05
接続時間の目安を分単位で表示します。

画面の読み込みが終わるまでの目安を目盛りで表示します。

方向表示
サイトを表示しているときや文字入力モードのときに、ページやカーソルの移動が可能な方向が表示されます。
は、画面がスクロールできる方向や選べる項目がある方向を表示します。▲ または ▼ を押して操作してください。
は、1つ前のページに戻る、または1つ先のページに進むことができるときに表示されます。1つ前に戻るときは ◀ を、1つ先に進むときは ▶ を押してください。

お知らせ

- コンテンツによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- コンテンツ提供者のサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。
- 「Lモード」対応のページとは、「Lモード」対応したタグ（ファイル中の特定の場所につけられた印）などで作成されたものです。文字のみのページや、画像（GIF、JPEG形式のみ）も表示できます。
- トップメニューを表示しているとき、Lモードゲートウェイと回線が接続されている場合もあります。回線が接続されている場合は、ブラウザマークが表示されています。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状が異なる場合があります。

メールサービスについて

Ｌモードの利用者同士だけでなく、パソコンや携帯電話をお使いの方とも、メールのやりとりができます。

下記の設定については、Lモードご契約時に提供される「Ｌモードの使用説明書」をご覧ください

- **パスワード設定**
  メールやサイトによっては、パスワードが必要になります。
- **マイアドレス設定**
  メールのメールアドレスは、ご契約時は「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」となっています。
- **メール転送設定**
  メールの転送機能の設定と、その際の転送先アドレスを登録することができます。
- **着信お断りメール設定**
  受信したくない相手の方からのメールに対して、こちら側では受信を拒否していることを伝えるメールを自動的に返信することができます。あらかじめメールを受信したくない相手の方のメールアドレスを登録しておくことが必要です。これにより不要なメールの受信を避けることができます。
- **メールグループ設定**
  同じ内容のメールを複数の相手（グループ）に送るとき便利な機能です。メールグループは10件まで設定でき、各メールグループには49件までの送信先アドレスを登録できます。

■ メールが届いたとき

Lモードゲートウェイに新着メールが届いたら、親機のディスプレイにメッセージを表示してお知らせします（メッセージ有り通知（P.7-22））。新着メールはLモードゲートウェイに一時保管されています。保管された新着メールは、「メールを受信して表示する」（P.7-23）を行い親機に受信します。

- Lモードゲートウェイでのメールの保存件数は最大約200件、保存期間は14日間です。14日間を超えた新着メールは自動的に削除されます。
- 本商品でメールを受信するとLモードゲートウェイに保管されていた新着メールは削除されます。受信したメールは親機に受信メールとして保存されます。

お知らせ

- e-mailからの添付ファイルを受信することはできません。
- Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。

メールを送信する

新規にメールを作成するには、「宛先」「題名」「本文」を入力します。作成したメールは、「Lモード」利用者やインターネットを経由して、e-mailをお使いの方へ送信できます。

メールを送信する

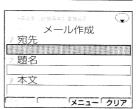
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 （決定）を押す

●トップメニューが表示されます。

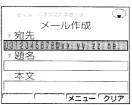
2 （上）または（下）で「メール」を選び、（決定）を押す

メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

3 （上）または（下）で「新規メール作成」を選び、（決定）を押す

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.7-40～7-41,7-45）
送信済メールと未送信メールは、合わせて30件まで保存できます。

4 宛先のテキストボックスを選び、（決定）を押す

●文字の入力画面になります。

5 宛先を入力し、（決定）を押す（宛先は、1件しか入力できません）

●「Lモード利用時に文字を入力する」（P.7-13～7-15）を参照してください。半角で50文字分まで入力できます。改行はできません。
スペースは使用しないでください。

●文字の入力モードが半[英]のとき（＊）を押すとよく利用する定型文が表示されます。

●電話帳から宛先を検索するときは（P.7-16）

6 （下）で題名のテキストボックスを選び、（決定）を押す

7 題名を入力し、（決定）を押す

●「Lモード利用時に文字を入力する」（P.7-13～7-15）を参照してください。全角30文字分（半角60文字）まで入力できます。改行はできません。

次ページへ→

→つづき

8 で本文のテキストボックスを選び、を押す

9 本文を入力し、を押す

- 「Lモード利用時に文字を入力する」（P.7-13～7-15）を参照してください。全角500文字（半角1000文字）まで入力できます。定型文（P.7-19）を挿入することができます。

10 メニュー を押す

11 または で「送信」を選び、を押す

- Lモードゲートウェイに接続して、作成したメールを送信します。
- 「保存」を選んで、を押すと作成したメールが未送信メールとして保存されます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。

12 または で「はい」を選ぶ

13 を押す

- 回線が切断され待機画面に戻ります。

お知らせ

- 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
- Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- 回線が接続されていない状態でメール作成中にかかってきた電話を受けることができます。文字を入力中は、通話を終了すると手順5・7・9の画面に戻ります。手順5・7・9の画面を表示していたときは、通話を終了すると待機画面に戻ります。その場合、入力していた内容は保存されません。
- メール送信中など回線が接続されているときは、電話やファクスを使用できません。
- 回線の状態によっては、Lモードゲートウェイと接続できない場合があります。Lモードゲートウェイと接続できなかった場合は、「センターとの接続に失敗しました。」と表示されます。
- 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

子機で送信メールを作成する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 (機能)を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 (▲)または(▼)で「メール」を選んだあと、(▷)電話帳を押す

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 (▲)または(▼)で「新規メール作成」を選んだあと、(▷)電話帳を押す

宛先？ 半［英］

◆：検索

4 宛先を入力し（最大半角50文字）（P.1-38、1-42～1-44）、(機能)を押す

●半[英]、または半[数]で入力します。
文字の入力モードが半[英]のとき(✻)を押すと宛先に定型文を入れることができます。

●宛先リストに登録した宛先を使うときは、(▲)または(▼)で選んだあと、(▶)を押します。（あらかじめ宛先リストへの登録が必要です。P.7-17～7-18）（選んでいるときは宛先を12文字までしか表示しませんが、(▶)を押すと、すべての文字を表示します。）

5 件名（タイトル）を入力し（最大全角30文字、半角60文字）（P.1-38、1-42～1-44）、(機能)を押す

6 本文を入力し（最大全角125文字、半角250文字）（P.1-38、1-42～1-44）、(機能)を押す

▶保存
定型文挿入
再入力
［機能］決定

●本文作成中に、(改行)（改行）を押すと、改行することができます。ディスプレイ表示では改行されませんが（↵マーク表示のみ）、相手の方に送付される文書では改行されています。
（［漢］モードで入力中は文字を採用してから(改行)（改行）を押します。）
また、(▼)や(▶)を押してカーソルを移動させてから文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

●作成したメールを修正するときは、このあと「再入力」を選び、機能ボタンを押して、手順4からやり直します。

次ページへ→

→つづき

7 **または で「保存」を選んだあと、(機能) を押す**

送信メール
保存しました

●《保存中》と表示したあと、左のディスプレイが表示されて、送信メール一覧にメールが保存されます。
●続けて送信メールを作成するときは、このあと、手順3から操作します。

8 **(切) を押す**

●待機画面に戻ります。

■ 「送信メールいっぱいです」と表示されたときは

すでに送信メールが30件保存されています。
不要な送信メールを消去してから作成してください。
（P.7-36）

■ 本文中に定型文を入れるときは

「子機で送信メールを作成する」の手順6のとき操作します。

①入力した本文中の定型文を入れる箇所に◀または▶でカーソルを移動する
②機能ボタンを押す
③▲または▼で「定型文挿入」を選んだあと、機能ボタンを押す
④▲または▼で定型文を選んだあと、▶を押す

定型文がカーソルの位置に入ります。①～④をくり返して定型文をいくつも挿入することができます。

作成したメールを子機で送信する

1 (機能)を押す

```
▶用件再生
 優先呼出
 着信音色
◀終了　選択▶
```

途中でやめるとき
切ボタンを押す

2 △または▽で「メール」を選んだあと、▷電話帳を押す

```
▶受信メール一覧
 送信メール一覧
 新規メール作成
◀終了　選択▶
```

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 △または▽で「メール送受信」を選んだあと、▷電話帳を押す

4 (機能)を押す

```
<<通信中>>
=✉
```

●送信メール一覧の未送信メールがすべて送信されます。
●メールを送信（メール送受信）すると、センターに受信メールがあるときは同時に受信されます。

お知らせ

● メールを作成中に電話がかかってきたときや1分以上何もしなかったときは、待機画面に戻ります。このとき、作成中のメールは消えてしまいます。

Lモード利用時に文字を入力する

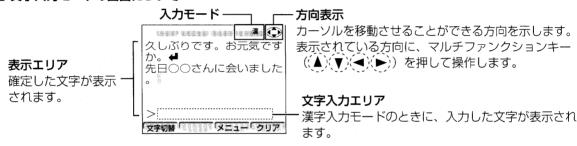
メールの宛先・題名・本文やサイト（番組）のページなどで漢字・カタカナ・英数字・絵文字などを入れることができます。

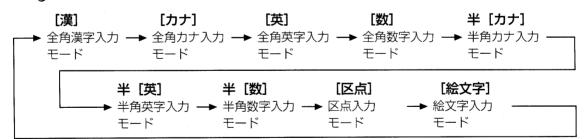
■ 送受信可能文字数

メールで送信／受信できる文字数は次のとおりです。

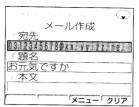
項　目	全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字）の場合	半角文字（英字、数字、カタカナ）の場合
題　名	30文字	60文字
メールアドレス	25文字	50文字
本　文	500文字	1000文字

- 半角カタカナのメールを送信／受信した場合、正しく表示されない場合がありますので、「Lモード」利用者どうしでのメールのやりとり以外には半角カタカナを使用しないでください。
- 本文が全角500文字（半角1000文字）を超えるメールを受信した場合、全角500文字目（または半角1000文字目）からは自動的に削除されます。
- メールアドレスには、絵文字は使用できません。（文字には全角と半角がありますので、入力するときは間違えないように注意してください。）

■ 文字入力モードの画面について

■ 入力モードの切替え

文字切替 を押すごとに、入力モードが切り替わります。

■ 入力できる絵文字

漢字入力モードで文字を入力する

1 または で文字を入力する項目を選ぶ

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●選んだ項目は太線で表示されます。

2 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで文字を入力する

（例）「ひさ」と入力します。

●変換しないときは、を押します。

4 変換 を押して漢字に変換する

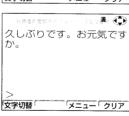
●ボタンを押すたびに切り替わります。
▲または▼で選ぶこともできます。

●反転表示されている文字までが変換されます。
◀または▶で変換したい文字の範囲を調整することができます。

5 変換したい漢字を選んで、採用 を押す

●変換した文字が表示されます。

文字を削除するときは
①▲▼◀▶で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②クリアボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

6 手順3～5を繰り返し行って文章を入力する

7 文章の入力が終わったら、を押す

●文字入力モードが終了して手順1の画面に戻ります。

カナ・英字・数字モードで文字を入力する

1 （上）または（下）で文字を入力する項目を選ぶ

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●選んだ項目は太線で表示されます。

2 （#/決定）を押す

●文字入力モードに切り替わります。

3 文字切替 を数回押して入力モードを選ぶ

選んだ入力モードが画面に表示されます。

●文字の入力モードが半[英]のとき（＊）を押すとよく利用する定型文が表示されます。（＊）を押して、定型文を選んだあと（#/決定）を押します。

4 ダイヤルボタンで文字を入力する

カナ
マイ
文字切替 メニュー クリア

●入力した文字は表示エリアに表示されます。次の文字を入力するか、文字切替ボタンを押すと入力した文字が確定します。

文字を削除するときは
①（▲）（▼）（◀）（▶）で削除したい文字にカーソルを合わせる。
②クリアボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

■ 文字を挿入するときは

（▲）（▼）（◀）（▶）で挿入したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて新しく文字を入力します。

■ 改行するときは

（▲）（▼）（◀）（▶）で改行したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて、ダイヤルボタンで（#）（改行）を押してください。表示エリアには↵が表示されます。

メールの本文入力時のみ入力できます。ただし、数字入力モードや半角数字入力モードのときは「#」が入力されて改行は入力されません。

■ 定型文を挿入するときは

文字入力モードが表示されている状態でメニューボタンを押して定型文を挿入する操作をしてください。（P.7-19）

■ 区点モードで文字を入力するときは

① 手順3で[区点]（区点入力モード）を選ぶ
② ダイヤルボタンで区点コードを入力する
区点コードは、区点コード一覧表（P.10-8～10-19）を参照してください。
③ 入力した区点コードの文字が表示エリアに表示されます。

■ 絵文字モードで文字を入力するときは

① 手順3で［絵文字］（絵文字入力モード）を選ぶ
②（▲）（▼）（◀）（▶）で入力したい絵文字を選ぶ
③（#/決定）を押す
選択した文字が表示エリアに表示されます。

お知らせ

● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

電話帳から宛先を検索する

電話帳に登録してあるメールアドレスを検索して宛先に設定することができます。
電話帳の登録方法は、P.2-12～2-14を参照してください。

電話帳から宛先を検索する

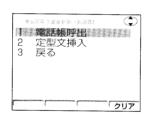
宛先の入力欄が選択された状態で操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 決定を押す

●宛先欄の文字入力モードが表示されます。

2 メニュー を押す

3 「電話帳呼出」を選ぶ

4 決定を押す

●電話帳検索画面が表示されます。

5 または で送信先を選ぶ

6 決定を押す

●宛先入力画面に変わり、選んだ相手の方のメールアドレスが表示されます。

7 決定を押す

●メール作成画面に変わります。宛先が確定されます。

宛先を登録する

よく使う宛先（メールアドレス）をあらかじめ登録しておくと、送信メールを作成するたびに入力する手間がかかりません。
子機では、宛先を「宛先リスト」に直接登録します（最大30件まで）。宛先リストに登録するには、先に電話帳に登録しておく必要があります。
なお、宛先は親機と子機で別々に保存されます。

子機の電話帳に登録する

1 「子機の電話帳に登録する」（P.2-19～2-20）の操作で、電話帳に登録する

宛先を子機の宛先リストに登録／変更する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 (機能) を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 △ または ▽ で「メール」を選んだあと、▷電話帳 を押す

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 △ または ▽ で「宛先リスト」を選んだあと、▷電話帳 を押す

池田 悟

◆:検索
◀戻る　選択▶

●電話帳に登録している相手の方を表示します。

4 △ または ▽ で宛先を登録、または変更する相手の方を選んだあと、▷電話帳 を押す

次ページへ→

→つづき

5 宛先を入力する（最大半角50文字）（P.1-38、1-42〜1-44）

●半[英]、または半[数]で入力します。（全角「漢字、カナ、区点」を入力することもできます。）
●変更するときは、クリアボタンを押して変更する文字を消してから入力し直してください。
●文字の入力モードが半[英]のとき(＊)を押すとよく利用する定型文が表示されます。

6 (機能) を押す

宛先リスト
登録しました
残り：10

●残りの登録可能件数を表示して、宛先リストに宛先が登録されます。

■ **子機の宛先リストを変更するときは**

① 機能ボタンを押す
② (▲) または (▼) で「メール」を選んだあと、(▶) を押す
③ (▲) または (▼) で「宛先リスト」を選んだあと、(▶) を押す
（電話帳に登録している相手の方を表示します。）
④ (▲) または (▼) で宛先を変更する相手の方を選んだあと、(▶) を押す
⑤ (▲) または (▼) で「変更」を選んだあと、(▶) を押す
⑥ 宛先を変更する（最大半角50文字）（P.1-38、1-42〜1-44）
⑦ 機能ボタンを押す

■ **子機の宛先リストを一件ずつ消去するときは**

① 機能ボタンを押す
② (▲) または (▼) で「メール」を選んだあと、(▶) を押す
③ (▲) または (▼) で「宛先リスト」を選んだあと、(▶) を押す
（電話帳に登録している相手の方を表示します。）
④ (▲) または (▼) で宛先を消去する相手の方を選んだあと、(▶) を押す
⑤ (▲) または (▼) で「削除」を選んだあと、(▶) を押す
⑥ 機能ボタンを押す
（選んだ宛先を消去します。）
※ 宛先は消去されますが電話帳に登録した相手の方の名前と電話番号は消去されていません。登録した相手の方の名前と電話番号を消去するときは、P.2-20をご覧ください。

定型文を挿入する

メールの「宛先」「題名」「本文」を入力や編集するときに、定型文を挿入することができます。定型文は、あらかじめ親機には10件、子機には5件（最大10件まで登録できます。）登録されていて、それぞれを編集することもできます。

定型文を挿入する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 文字入力モードに切り替える
（P.7-13～7-15）

>
文字切替 メニュー クリア

2 メニュー を押す

1 定型文挿入
2 戻る
クリア

3 ▲ または ▼ で「定型文挿入」を選び、決定 を押す

定型文一覧
.co.jp
.ne.jp
.or.jp
www.
.com
了解しました。
クリア

4 ▲ または ▼ で挿入したい定型文を選ぶ

定型文一覧
.com
了解しました。
自宅に電話してください。
今日は何時ごろ帰ってきま
昨日はどうもありがとうご
ごめんなさい。待ち合わせ
クリア

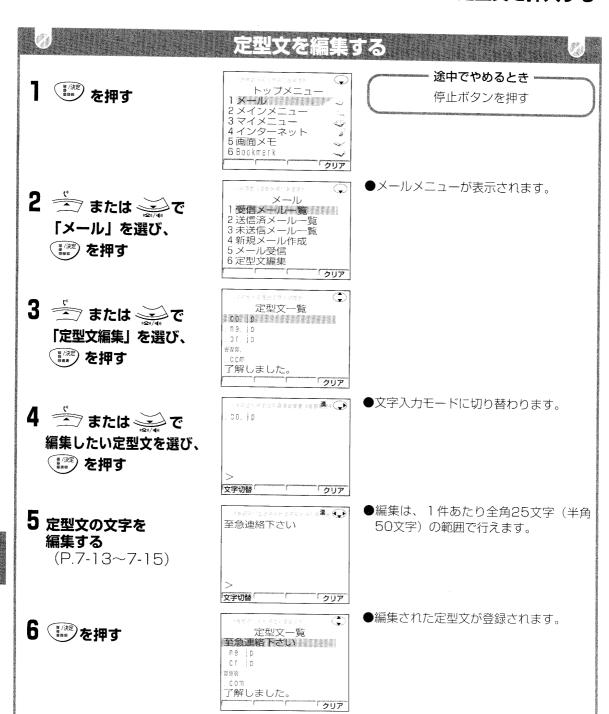
あらかじめ登録されている定型文は
「.co.jp」、「.ne.jp」、「.or.jp」、
「www.」、「.com」、
「了解しました。」、
「自宅に電話してください。」、
「今日は何時ごろ帰ってきますか？」、
「昨日はどうもありがとうございました。」、
「ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。」

5 決定 を押す

自宅に電話してください。
>
文字切替 メニュー クリア

●選択した定型文が表示エリアに表示されます。

お知らせ

- 挿入した後の定型文を編集することができます。
- 定型文を挿入したときに、入力可能な文字数を超えた場合、入力可能な文字数だけ挿入されます。

定型文を編集する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 （決定）を押す

トップメニュー
1 メール
2 メインメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

2 （上）または（下）で「メール」を選び、（決定）を押す

メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

●メールメニューが表示されます。

3 （上）または（下）で「定型文編集」を選び、（決定）を押す

定型文一覧
.co.jp
.ne.jp
.or.jp
www.
.com
了解しました。
クリア

4 （上）または（下）で編集したい定型文を選び、（決定）を押す

.co.jp
>
文字切替 クリア

●文字入力モードに切り替わります。

5 定型文の文字を編集する
(P.7-13～7-15)

至急連絡下さい
>
文字切替 クリア

●編集は、1件あたり全角25文字（半角50文字）の範囲で行えます。

6 （決定）を押す

定型文一覧
至急連絡下さい
.ne.jp
.or.jp
www.
.com
了解しました。
クリア

●編集された定型文が登録されます。

子機の定型文を編集／作成する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （機能）を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （▲）または（▼）で「メール」を選んだあと、（▶電話帳）を押す

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

3 （▲）または（▼）で「定型文編集」を選んだあと、（▶電話帳）を押す

<定型文：01>
了解しました
。

4 （▲）または（▼）で編集する定型文を選び（▶電話帳）を2回押す

新しく追加する定型文の番号を選んだときは、（▶電話帳）を1回押す

定型　　[漢]
自宅に電話し
てください。

5 定型文を編集または作成する（最大全角25文字、半角50文字）
(P.1-38、1-42～1-44)

定型　　[漢]
自宅に電話し
てください。

●編集するときは、クリアボタンを押して文字を消してから入力し直してください。
●（改行）を押しても改行はできません。

6 （機能）を押す

●定型文の編集／作成が終了します。

■ **子機の定型文を削除するときは**

① 機能ボタンを押す
② （▲）または（▼）で「メール」を選んだあと、（▶）を押す
③ （▲）または（▼）で「定型文編集」を選んだあと、（▶）を押す
④ （▲）または（▼）で削除する定型文を選んだあと、（▶）を押す
⑤ （▲）または（▼）で「削除」を選んだあと、（▶）を押す
⑥ 機能ボタンを押す（選んだ定型文を消去します。）

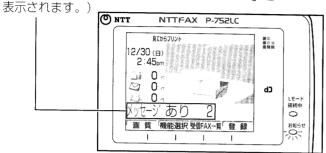
お知らせ

● 子機には、あらかじめ5件の定型文が登録されています。
（定型文番号の06～10には登録されていません。）

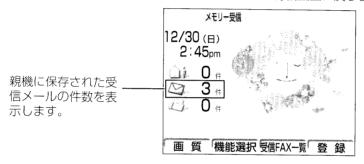
定型文番号	定型文
01	了解しました。
02	自宅に電話してください。
03	今日は何時ごろ帰ってきますか？
04	昨日はどうもありがとうございました。
05	ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。

メールを受信する／表示する

● メッセージ到着お知らせサービス（メッセージ有り通知）を利用すると、Ｌモードゲートウェイに新着メールが蓄積されたときに、ディスプレイに「メッセージあり２」と表示され、お知らせランプが点灯します。

※この表示は、メールが届いていることをお知らせするもので、受信したメールの件数ではありません。（このとき、着信記録を表示すると「センタ　2」と表示されます。）

※新着メールが届くと、メロディでお知らせします。「メッセージ着信音」を「あり」にしてください。（はじめは、「あり」に設定されています。）

①登録ボタンを押す
②▲または▼で「詳細設定」を選び、決定を押す
③▲または▼で「メッセージ着信音」を選び、決定を押す
④「あり」を選んで決定を押す
⑤停止ボタンを押す

● 「メッセージあり２」と表示されたら、「メールを受信して表示する」（P.7-23）の操作で内容を見ることができます。親機に受信メールとして保存すると、待機画面に戻ります。

親機に保存された受信メールの件数を表示します。

お知らせ

● メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「する」になっていることを確認してください。（P.8-3）
● メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていなくても利用することができます。
● 通信中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
● 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
● メッセージ有り通知を表示中に停電し、その後復旧すると「メッセージ有り通知」の表示はしません。
● メッセージ有り通知は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
● 端末機器自動設定（P.7-4、7-74）が正しく設定されていない場合、メッセージ到着お知らせサービスのメッセージが正常に表示されないことがあります。
● 受信メールの本文は全角で500文字（半角1000文字）まで受信できます。
● 受信メール一覧やメールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは▲または▼でスクロールさせて表示してください。
● 保存できる受信メールは30件までです。30件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外のメールが古いものから自動的に削除されます。
● メールを受信したとき、未読メールと保護メールの件数が合わせて30件を超えると「これ以上、メールが保存できません」と表示されます。そのときは、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して不要なメールを消去してください。
● Ｌモードゲートウェイに受信メールが無かったときは、「受信メールがありません。」と表示されます。
● Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
● メールのメッセージ有り通知は、メディア種別は表示されません。

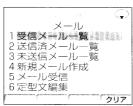
メールを受信して表示する

1 （決定ボタン）**を押す**

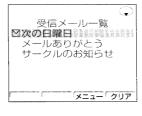
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

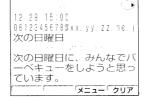
●トップメニューが表示されます。

2 （上ボタン）**または**（下ボタン）**で「メール」を選び、**（決定ボタン）**を押す**

3 （上ボタン）**または**（下ボタン）**で「メール受信」を選び、**（決定ボタン）**を押す**

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したときは、受信メールが一杯で新しいメールを保存できません。（決定ボタン）を押すと受信メールの一覧が表示されますので、不要なメールを削除してください。（P.7-28）
●Lモードゲートウェイに接続し、メールを受信します。
●「センターとの接続に失敗しました」と表示したときは、（決定ボタン）を押すと受信メールの一覧が表示されます。ただし、新しく保存されたメールは表示されません。

4 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ

5 （決定ボタン）**を押す**

●ディスプレイに受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。
●受信メールの識別マークについて
次の識別マークを表示して、メールの状態を表わしています。
✉……………まだ読んでいないメール
□（空白）………すでに読んだメール
🔑…保護（P.7-27）されているメール

6 （決定ボタン）**を押す**

●メールの内容が表示されます。

■ **Lモードゲートウェイと通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **受信メールの内容を印刷するには**
手順6から「ページプリントする」操作（P.7-65）を行ってください。

子機でメール送受信をする

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （機能）**を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （▲）**または**（▼）**で「メール」を選んだあと、**（▶電話帳）**を押す**

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

3 （▲）**または**（▼）**で「メール送受信」を選んだあと、**（▶電話帳）**を押す**

開始する？

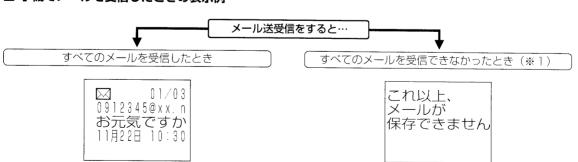
［機能］決定

4 （機能）**を押す**

<<通信中>>
＝✉

5 送受信の結果がディスプレイに表示される

●受信メールがないときは、「受信メールありません」と表示し、待機画面に戻ります。

■ **子機でメールを受信したときの表示例**

（※1）メールを受信できる件数は最大30件です。受信件数がいっぱいのときは、不要なメールを消去（P.7-26）してから、もう一度行ってください。

保存している受信メールを表示する

本商品で受信したメールは受信メールとして保存されています。受信メールの内容を表示するときは受信メール一覧表示画面から行います。

保存している受信メールを表示する

1 (決定)を押す

トップメニュー
1 メール
2 メインメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bookmark
クリア

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 「メール」を選び、(決定)を押す

メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

●メールメニューが表示されます。

3 「受信メール一覧」を選び、(決定)を押す

受信メール一覧
次の日曜日
メールありがとう
サークルのお知らせ
メニュー クリア

●保存されている受信メールの一覧が表示されます。
●受信メールの識別マークについて
次の識別マークを表示して、メールの状態を表わしています。
✉……………まだ読んでいないメール
（空白）………すでに読んだメール
🔑…保護（P.7-27）されているメール

4 (決定)を押す

12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー クリア

●メールの内容が表示されます。

■ **受信メールの内容を印刷するには（P.7-65）**
手順4から「ページプリントする」操作（P.7-65）を行ってください。

お知らせ

● メールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは（▲）または（▼）でスクロールさせて表示してください。
● 受信メールの内容を表示しているときは、（▶）で1つ前の、（◀）で次のメールを表示します。
● 題名のないメールを受信すると、受信メール一覧では何も表示されませんが受信メール1件として保存されています。

子機で受信メールを確認する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 機能 を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 ▲または▼で「メール」を選んだあと、▷電話帳 を押す

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

3 ▲または▼で「受信メール一覧」を選んだあと、▷電話帳 を押す

✉　01/03
abc54321@dem
昨日はありが
12月29日 17:40

●まだ読んでいないメールには✉が表示されます。
●親機の電話帳に登録されている相手の方からのメールを受信したときは、名前を表示します。（親機に全角7文字／半角13文字以上で登録されている名前は、全角6文字／半角12文字分まで表示します。）

4 ▲または▼で確認したいメールを選んだあと、▷電話帳 を押す

件名
昨日はありが
とう

5 内容を確認し、確認が終わったら 切 を押す

●▲または▼を押すと、件名、本文、送信者を切り替えて表示します。（件名がないときは件名は表示されません。また、本文がないときも本文は表示されません。）

■ 子機で受信メールを1件ずつ削除するときは

① 機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「メール」を選んだあと、▶ を押す
③ ▲ または ▼ で「受信メール一覧」を選んだあと、▶ を押す
（受信メールリストを表示します。）
④ ▲ または ▼ で削除するメールを選んだあと、▶ を2回押す
⑤ ▲ または ▼ で「削除」を選んだあと、▶ を押す
⑥ 機能ボタンを押す
（選んだメールを消去します。）

■ 子機で受信メールをすべて消去するときは

① 機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「メール」を選んだあと、▶ を押す
③ ▲ または ▼ で「一括削除」を選んだあと、▶ を押す
④ ▲ または ▼ で「受信メール」を選んだあと、▶ を押す
⑤ 機能ボタンを押す
（受信メール一覧の保護メール以外のメールをすべて消去します。）

お知らせ

● 子機で表示できる文字数は全角で250文字までです。250文字を超えているときは「//」が表示されます。
● 子機では絵文字を表示することはできません。
● 子機では、半角カナ文字を全角カナ文字で表示します。

受信メールを保護する

残しておきたい受信メールを保護しておくと、誤って削除することを避けられます。保護したメールを解除することもできます。

受信メールを保護する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

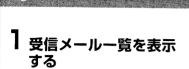
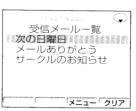
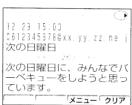
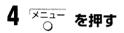
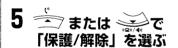
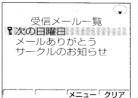
1 **受信メール一覧を表示する**
(P.7-25)

2 ▲ または ▼ で**保護したい受信メールを選ぶ**

3 決定 **を押す**

●メールの内容が表示されます。

4 **を押す**

5 ▲ または ▼ で**「保護/解除」を選ぶ**

6 決定 **を押す**

●選択したメールに保護機能が設定され、受信メール一覧のメール名の先頭に、🔑が表示されます。

✉……………まだ読んでいないメール
□（空白）………すでに読んだメール
🔑………………保護されているメール

■ **保護されているメールを解除するときは**
再度手順1～6の操作を行うと保護が解除されます。

■ **保護されているメールを削除するときは**
① 手順1～4を行う
② ▲ または ▼ で「削除」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ もう一度 決定 を押す

お知らせ

● 保護機能が設定できるのは、すでに読んだメールで15件までです。
● 30件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外のメールが古いものから自動的に削除されます。
● 子機では、保護機能はありません。
親機で保護機能を設定すると子機では、解除や削除はできません。（親機で保護機能が設定されていると🔑と表示されます。）

受信メールを保護する

Lモード

受信メールを削除する

受信メールを選んで削除することができます。保護したメールを削除することもできます。

受信メールを削除する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メール一覧を表示する
（P.7-25）

2 ▲ または ▼ で内容を表示させたいメールを選ぶ

受信メール一覧
次の日曜日
メールありがとう
サークルのお知らせ
メニュー　クリア

3 （決定）を押す

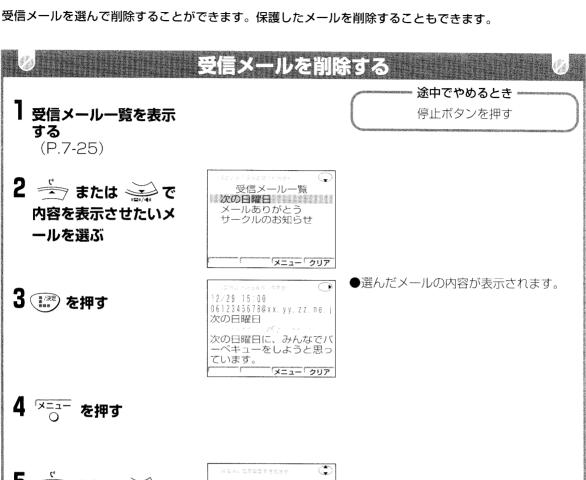
12/29 15:00
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
次の日曜日
次の日曜日に、みんなでバーベキューをしようと思っています。
メニュー　クリア

●選んだメールの内容が表示されます。

4 メニュー を押す

5 ▲ または ▼ で「削除」を選ぶ

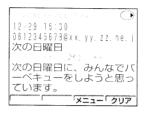
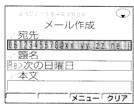
6 （決定）を押す

7 「はい」を選び、（決定）を押す

●削除をやめるときは「いいえ」を押します。

■ 受信メールをすべて削除するときは

① 受信メール一覧を表示する
② メニューボタンを押す
③ ▲ または ▼ で「一括削除」を選んで、（決定）を押す
④ 「はい」を選び、（決定）を押す

メールに返事を出す

メールをもらった相手に返事を出すことができます。（返信メール）
返信メールは、受信メールを利用して相手の方のメールアドレスと題名を自動的に設定しますので、あらためて入力する必要はありません。

メールに返事を出す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.7-25）

2 メニュー を押す

3 または で「返信」を選ぶ

●「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.7-40～7-41、7-45）
送信済メールと未送信メールは合わせて30件まで保存できます。

4 を押す

●返信メール入力画面が表示されます。

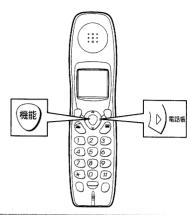
5 本文を入力して、送信する
（P.7-8～7-9）

●返信メールの題名には自動的に「Re>」が付加されます。

■ **Ｌモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 返信メールの宛先や題名を編集することができます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
- Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

子機でメールを返信する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 「子機で受信メールを確認する」（P.7-26）の手順1～4を操作する

2 電話帳 を押す

▶削除
返信
転送
◀戻る　選択▶

3 ▲または▼で「返信」を選んだあと、電話帳 を押す

●返信先の相手の方の宛先が表示されます。
●件名には、「Re:」のあとに送られてきたメールの件名が自動的に入力されています。別の件名にしたいときはクリアボタンで消したあと新しく入力し直してください。

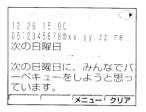
4 「子機で送信メールを作成する」（P.7-10～7-11）の手順4～7を操作する

5 ▲または▼で「メール送受信」を選んだあと、電話帳 を押す

●メールが返信されます。

6 機能 を押す

メールを他の宛先に転送する

受信したメールの内容を他の人に知らせたいときに、受信したメールを転送することができます。
転送は、受信メールの題名と本文が自動的に入力されているので、相手のメールアドレスを設定するだけで送信できます。

メールを他の宛先に転送する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
(P.7-25)

2 メニュー を押す

3 または で「転送」を選ぶ

● 「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。(P.7-40～7-41、7-45)
送信済メールと未送信メールは、合わせて30件まで保存できます。

4 を押す

●メール入力画面が表示されます。

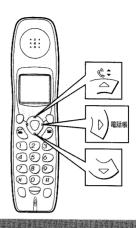
5 宛先を入力して、送信する
(P.7-8～7-9)

●転送するメールの題名には自動的に「Fw>」が付加されます。
●文字の入力モードが半［英］のとき ＊ を押すとよく利用する定型文が表示されます。

＊ を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」等

■ **Lモードゲートウェイと通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● 転送するメールの題名や本文を編集することができます。
● 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
● Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。

子機でメールを転送する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 「子機で受信メールを確認する」（P.7-26）の手順1～4を操作する

2 電話帳 を押す

▶削除
返信
転送
◀戻る　選択▶

3 または で「転送」を選んだあと、電話帳 を押す

4 「子機で送信メールを作成する」（P.7-10～7-11）の手順4～7を操作する

●件名には、「Fw：」のあとに送られてきたメールの件名が自動的に入力されています。別の件名にしたいときはクリアボタンで消したあと新しく入力し直してください。
●本文には、送られてきたメールの本文があらかじめ入力されています。編集するときは、クリアボタンで消したあと新しく入力し直してください。

5 または で「メール送受信」を選んだあと、電話帳を押す

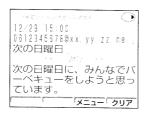
6 機能 を押す

●メールが転送されます。

相手のメールアドレスを電話帳に登録する

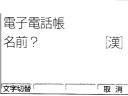
受信メールを利用して、発信者のメールアドレスを電話帳に登録します。その場合、新たに電話帳が追加されます。

相手のメールアドレスを電話帳に登録する

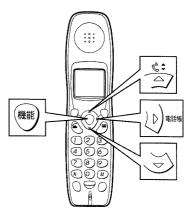
1 アドレスを登録したい受信メールを表示する
（P.7-25）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 メニュー を押す

3 または で「電話帳登録」を選ぶ

4 を押す

- 電話帳登録画面が表示されます。
- 「これ以上登録できません。」と表示されたときは、すでに電話帳に100件登録されていて、新しく登録することができません。を押すと受信メール内容表示に戻ります。不要な電話帳を削除（P.2-14）してからもう一度操作をやり直してください。
- 登録が終わると、受信メールを表示します。

5 電話帳に名前、読み、電話番号を登録する
（P.2-12～2-14）

6 登録が終わったら 停止 を押す

子機で受信したメールの宛先を登録する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 「子機で受信メールを確認する」（P.7-26）の手順1～4を操作する

2 電話帳 を押す

▶削除
返信
転送
◀戻る　選択▶

3 または で「宛先リスト登録」を選んだあと、電話帳 を押す

4 または で登録したい相手の方を選んだあと、電話帳 を押す

●メールの宛先を登録していない相手の方のみ表示されます。

5 機能 を押す

●宛先リストにメールの宛先が登録されます。

送信済メールを表示する

送信したメールは送信済メールとして保存されています。送信済メールの内容を編集して未送信メールとして保存することができます。（P.7-37〜7-38）

送信済メールを表示する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 （決定）を押す

●メールメニューが表示されます。

2 （上）または（下）で「メール」を選び、（決定）を押す

3 （上）または（下）で「送信済メール一覧」を選ぶ

メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

4 （決定）を押す

●保存されている送信済メールの一覧が表示されます。

送信済メール一覧
次のサークル
荷物を送ります
遊びに行きます
メニュー クリア

5 （上）または（下）で表示したいメールを選ぶ

送信済メール一覧
次のサークル
荷物を送ります
遊びに行きます
メニュー クリア

6 （決定）を押す

●選択したメールの内容が表示されます。

10 16 15:30
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
遊びに行きます

次の日曜日にお土産を持って遊びに行きます。久しぶりに会えるのを楽しみにし
メニュー クリア

お知らせ

- 送信済メールの内容を表示しているときは、（▶）で1つ前の、（◀）で次のメールを表示します。
- 送信済メールは未送信メールと合わせて30件まで保存できます。
- 題名を入力せずにメールを送信すると送信メール一覧では何も表示されませんが、送信済メール１件として保存されています。

子機で送信メールを確認する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （機能）**を押す**

2 （▲）**または**（▼）**で「メール」を選んだあと、**（▶ 電話帳）**を押す**

▶受信メール一覧
送信メール一覧
新規メール作成
◀終了　選択▶

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。

3 （▲）**または**（▼）**で「送信メール一覧」を選んだあと、**（▶ 電話帳）**を押す**

✉　01/02
abc54321@dem
昨日はありが
11月10日 16:22

●親機からデータを読み込むため、《データ読込中》と表示します。左の画面を表示するまで少し時間がかかります。
●未送信メールには ✉ が表示されています。

4 （▲）**または**（▼）**でメールを選んだあと、**（▶ 電話帳）**を押す**

件名
昨日はありが
とう

5 内容を確認する

●（▲）または（▼）を押して、件名、本文、宛先を切り替えて表示します。（件名がないとき、件名は表示されません。また、本文がないとき、本文は表示されません。）

6 確認が終わったら
（切）**を押す**

■ 子機で送信メールを１件ずつ消去するときは

① 機能ボタンを押す
② （▲）または（▼）で「メール」を選んだあと、（▶）を押す
③ （▲）または（▼）で「送信メール一覧」を選んだあと、（▶）を押す
（送信メールリストを表示します）
④ （▲）または（▼）で消去するメールを選んだあと、（▶）を２回押す
⑤ （▲）または（▼）で「削除」を選んだあと、（▶）を押す
⑥ 機能ボタンを押す（選んだメールを消去します。）

■ 子機で送信メールをすべて消去するときは

① 機能ボタンを押す
② （▲）または（▼）で「メール」を選んだあと、（▶）を押す
③ （▲）または（▼）で「一括削除」を選んだあと、（▶）を押す
④ （▲）または（▼）で「送信メール」を選んだあと、（▶）を押す
⑤ 機能ボタンを押す
（送信メールをすべて消去します。）

送信済メールを編集する

送信済メールの内容を編集することができます。送信済メールは、内容を編集して未送信メールとして保存することができます。

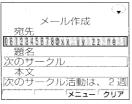
送信済メールを編集する

1 編集したい送信済メールの内容を表示する
（P.7-35）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 メニュー を押す

3 「編集」を選ぶ

4 決定 を押す

●メールの入力画面が表示されます。

5 内容を修正する

①▲または▼で修正する項目を選ぶ
②決定を押す
③文字を修正する
（P.7-13～7-15）
④決定を押す

次ページへ→

→つづき

6 メニュー を押す

7 または で「保存」を選ぶ

●送信するときは、「送信」を選びます。

8 を押す

●未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- 手順4で「これ以上、メールが保存できません」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（P.7-40～7-41、7-45）からもう一度操作をやり直してください。
- 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

子機で送信メールを編集する

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 「子機で送信メールを確認する」（P.7-36）の手順1～4を操作する

●未送信メールには ✉ が表示されています。

2 (機能) を押す

▶編集
消去
◀戻る　選択▶

3 「編集」を選んで、▷ 電話帳 を押す

宛先　半[英]
abc54321@dem

4 「子機で送信メールを作成する」（P.7-10～7-11）の手順4～8を操作する

●文字を修正するときは（P.1-38、1-42～1-44）
●宛先、件名、本文は選んだ送信メールの文字が自動的に入力されています。
変更するときはクリアボタンを押して文字を消してから入れ直してください。

■ **「送信メールいっぱいです」と表示されたときは**
すでに送信メールが30件保存されています。
不要な送信メールを消去してから作成してください。（P.7-36）

送信済メールを削除する

送信済メールを選んで削除することもできます。

送信済メールを削除する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 送信済メール一覧を表示する
(P.7-35)

2 [▲] または [▼] で削除したいメールを選ぶ

3 [決定] を押す

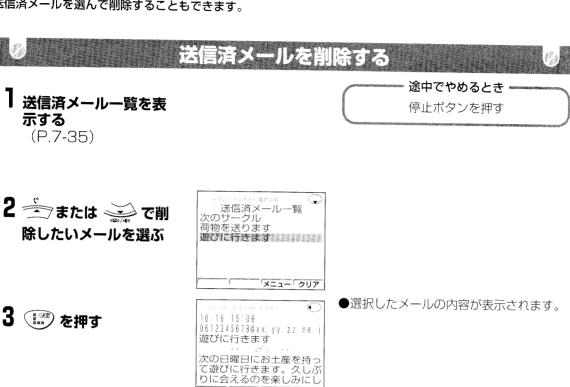
●選択したメールの内容が表示されます。

4 [メニュー] を押す

5 [▲] または [▼] で「削除」を選び、[決定] を押す

次ページへ→

→つづき

6 「はい」を選び、
(決定) を押す

●削除をやめるときは、(▼)を押して「いいえ」を選んでください。

■ **送信済メールをすべて削除するときは**

① 送信済メール一覧を表示する
② メニューボタンを押す
③ 「一括削除」を選んで、(決定) を押す
④ 「はい」を選んで、(決定) を押す
削除をやめるときは、(▼) を押して「いいえ」を選んで、(決定) を押してください。

未送信メールを表示する

メールを作成して保存したり送信できなかったメールを、未送信メールとして保存できます。

未送信メールを表示する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 （決定）**を押す**

トップメニュー
1 メール
2 メインメニュー
3 マイメニュー
4 インターネット
5 画面メモ
6 Bockmark
クリア

2 **「メール」を選び、（決定）を押す**

メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

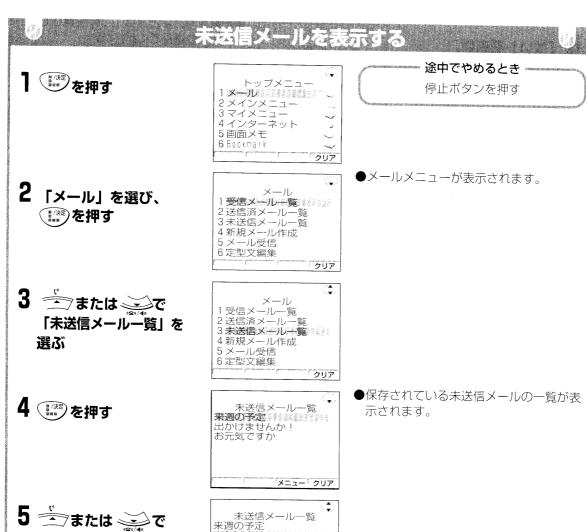
●メールメニューが表示されます。

3 **（上）または（下）で「未送信メール一覧」を選ぶ**

メール
1 受信メール一覧
2 送信済メール一覧
3 未送信メール一覧
4 新規メール作成
5 メール受信
6 定型文編集
クリア

4 （決定）**を押す**

未送信メール一覧
来週の予定
出かけませんか！
お元気ですか
メニュー クリア

●保存されている未送信メールの一覧が表示されます。

5 **（上）または（下）で内容を表示したいメールを選ぶ**

未送信メール一覧
来週の予定
出かけませんか！
お元気ですか
メニュー クリア

6 （決定）**を押す**

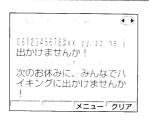
0612345678@xx.yy.zz.ne.j
出かけませんか！
次のお休みに、みんなでハイキングに出かけませんか！
メニュー クリア

●選んだメールの内容が表示されます。
●未送信メールを送信するときは（P.7-43）
●未送信メールの内容を表示しているとき、（▶）で１つ前の、（◀）で次のメールを表示します。

お知らせ

● 未送信メールは送信済メールと合わせて30件まで保存できます。
● 題名を入力せずにメールを保存すると、未送信メール一覧表示では何も表示されませんが未送信メール１件として保存されています。

未送信メールを送信する

1 未送信メールの内容を表示する
（P.7-42）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 メニュー を押す

3 「送信」を選ぶ

4 決定 を押す

5 送信が終わったら「はい」を選ぶ

- 選んだ未送信メールが送信されます。
- 「いいえ」を選んで 決定 を押すと回線が切断されずに未送信メール一覧画面に戻ります。

6 決定 を押す

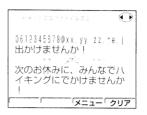
■ **未送信メールを一括して送信するときは**
（P.7-46）

未送信メールを編集する

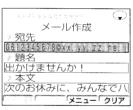
未送信メールの内容を編集して、新しい未送信メール
として保存することができます。

未送信メールを編集する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 編集したい未送信メールの内容を表示する
(P.7-42)

2 メニュー を押す

3 ▲または▼で「編集」を選ぶ

4 （決定）を押す

- メールの入力画面が表示されます。
- 「これ以上、メールが保存できません」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（P.7-40～7-41、7-45）
送信済メールと未送信メールは合わせて30件まで保存できます。
- 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンなど）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

5 内容を修正する

①▲または▼で修正する項目を選ぶ
②（決定）を押す
③文字を修正する
（P.7-13～7-15）
④（決定）を押す

6 メニュー を押す

7 ▲または▼で「保存」を選んで、（決定）を押す

- 新しい未送信メールとして保存されます。編集前のメールもそのまま残ります。
- 「送信」を選んで（決定）を押すとそのまま送信できます。

未送信メールを編集する

Lモード

未送信メールを削除する

未送信メールを選んで削除することができます。

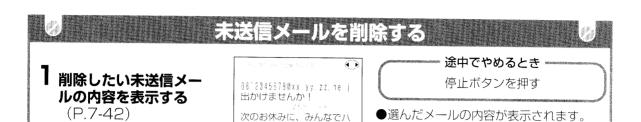
1 削除したい未送信メールの内容を表示する
（P.7-42）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●選んだメールの内容が表示されます。

2 メニュー を押す

3 ▲または▼で「削除」を選び、決定を押す

4 「はい」を選び、決定を押す

●削除をやめるときは、▼を押して「いいえ」を選んでください。

■ **未送信メールをすべて削除するときは**

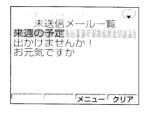
① 未送信メール一覧を表示する
（P.7-42 手順1～4）
② メニューボタンを押す
③ 「一括削除」を選んで、決定を押す
④ 「はい」を選んで、決定を押す
削除をやめるときは、▼を押して「いいえ」を選んで、決定を押してください。

未送信メールを一括送信する

保存されている未送信メールを一度の操作ですべて送信することができます。（一括送信）

未送信メールを一括送信する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 「未送信メール一覧」を表示する
（P.7-42 手順1～4）

2 メニュー を押す

3 または で「一括送信」を選ぶ

4 を押す

- 未送信メールがすべて送信されます。
- Lモードゲートウェイと回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

5 送信が終わったら「はい」を選ぶ

- 「いいえ」を選んで を押すと回線が切断されずに未送信メール一覧画面に戻ります。

6 を押す

■ メールの送信を途中で止めるときは

「接続中」の表示が出ている間に を押してください。送信が中止されて未送信メール一覧に戻ります。そのとき、メール送信が完了したメールは未送信メール一覧から削除されています。

■ Lモードゲートウェイと通信中は

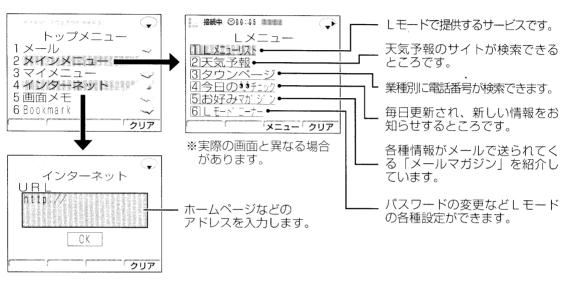
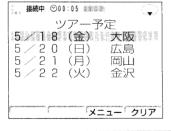
ブラウザマーク（ ）が表示および「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。

ブラウザサービスについて

天気予報やタウン情報など生活に役立つ情報を取り出すことができます。
また、アドレス（URL）を入力するとインターネット上のホームページなども見ることができます。

※実際の画面と異なる場合があります。

●取り出した情報は、そのサイト（番組）を登録したり、ページを保存・印刷することができます。
①**ページやサイトを登録して素早く表示する（P.7-52～7-55）**
②**サイトのページを保存する（P.7-61）**
③**表示したページをプリントする（P.7-65）**

●サイト（番組）から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）こともできます。
①**着信メロディを取り込む（P.7-51）**

サイト（番組）を表示する

サイト（番組）をご覧になるときは、まず目次にあたる「メインメニュー」を表示させせます。「メインメニュー」からお好きな項目を選択していき、サイト（番組）を表示します。

サイト（番組）を表示する

1 （決定）を押す

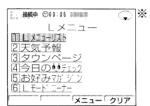
- トップメニューが表示されます。
- 親機の電源がOFFになったり、停電になった時は、再度アクセスポイント電話番号（センター番号）の設定をしてください。（P.7-4）

2 （下）で「メインメニュー」を選び、（決定）を押す

※

3 （上）または（下）でお好きな項目を選ぶ

※

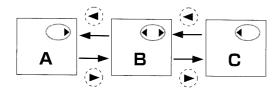
4 （決定）を押す

5 見たいサイトが表示されるまで手順3〜4の操作を繰り返す

- （キャッチ/消去 L回線断）を押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。通信料金をかけずにページ内容を見たいときなどに操作してください。

※実際の画面とは異なることがあります。

■ **1つ前の画面に戻るときは**

が表示されているときは を押してください。

（例）ページをA→B→Cと表示してきた場合

■ **Lモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示して、電話やファクスは使えません。

■ **Lモードゲートウェイとの接続を終了するときは**

停止ボタンを押します。

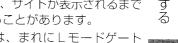
■ **画像データを表示させたくないときは**

画像表示設定で画像データを表示させないようにすることができます。（P.7-74）

■ **表示したページをプリントするには**
（P.7-65）

お知らせ

- 回線の状態によっては、まれにＬモードゲートウェイに接続できない場合があります（「センターとの接続に失敗しました。」が表示されます）。
- 回線の状態によっては、サイトが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。

- 回線の状態によっては、まれにＬモードゲートウェイとの接続が切断されることがあります。
  また、Ｌモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。
  （「センターとの接続が切断されました。」と画面表示され、表示していたブラウザマークが消えます。）
  この場合は、 を押して「センターとの接続が切断されました。」の画面表示を消し、もう一度 を押してＬモードゲートウェイへの接続の操作を始めてください。
- Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- Ｌモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。
- GIF，JPEG形式以外の画像データを表示することはできません。その場合、画像の位置に ☒ を表示します。GIF，JPEG形式の画像データであっても表示できない場合があります。

画面上での操作

画面に表示された選択肢の中から項目を選んで操作する方法は、チェックボックス、ラジオボタン、プルダウンメニューがあります。それぞれ操作方法や選択できる数などが異なります。

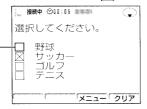
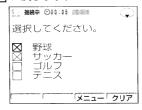
■ チェックボックス付き項目を選択する

チェックボックスは、選択肢の中から複数の項目を選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

①ページ表示中に▲または▼で、選択するチェックボックス（□）に操作対象の選択を移動する

選ばれた枠が太線枠に変わります。
すでに選択されている項目は☒で表示されています。

操作対象の選択がされているときは太線枠で囲まれます。

②（決定）を押す

項目が選択され、□が☒に変わります。
複数の項目を選択できます。
選択を取り消すには、取り消す項目（☒の項目）に操作対象の選択を移動して（決定）ボタンを押します。
☒が□に戻ります。

■ ラジオボタン付き項目を選択する

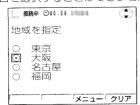
ラジオボタンは、選択肢の中から1つだけ選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

①ページ表示中に▲または▼で、選択するラジオボタン（○）に操作対象の選択を移動する

選ばれたラジオボタンが太線枠で囲まれます。

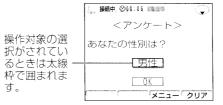
操作対象の選択がされているときは太線枠で囲まれます。

②（決定）を押す

項目が選択され、「大阪」の◯が⊙に変わります。
同時に「東京」の⊙が○に変わります。
複数の項目を選択することはできません。

■ プルダウンメニューから選択する

プルダウンメニューは、選択肢が見えない状態で表示されるメニューです。
ページ内では影付きで表示され、プルダウンメニューを選ぶと、選択肢が一覧表示されます。

①ページ表示中に▲または▼で、操作対象の選択をプルダウンメニュー（男性）に移動する

選ばれた枠が太線に変わります。

②（決定）を押す

選んだプルダウンメニューが一覧表示されます。
一度にすべての選択肢が表示されない場合があります。
その場合は、▲または▼で全選択肢を順に表示できます。

③▲または▼で項目を選ぶ

選んだ項目が反転表示されます。
項目を選ばずに一覧を閉じるには「クリア」を押します。

④（決定）を押す

選んだ項目が確定されます。

お知らせ

- パスワードの入力画面で「□ 保存する」のチェックボックスを▲または▼で選択して（決定）を押すと、入力したパスワードが保存されます。この操作を行っておくと以降のパスワードの認証処理が自動的に行われますので、次回からパスワードを入力する必要がなくなります。

着信メロディを取り込む

Ｌモードゲートウェイに接続して着信メロディサービスを提供している情報サービス提供者から着信メロディをダウンロードすることができます。
3曲までダウンロードできます。

サイト（番組）等から着信メロディを取り込む

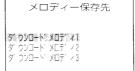
1 着信メロディが掲載されているサイトを表示する
（P.7-48）

2 着信メロディをダウンロードする

●着信メロディのダウンロード方法は各サイトで異なります。

3 ［↑］または［↓］で「保存する」を選ぶ

4 ［決定］を押す

5 ［↑］または［↓］で保存する場所を選ぶ

●ダウンロードメロディ1～3に保存することができます。
すでに着信メロディが保存されているときは、タイトルが表示されています。

6 ［決定］を押す

●すでに保存されている着信メロディを選んだときは、上書き保存されます。

■ **Ｌモードゲートウェイと通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ
● Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。

ページやサイトを登録して素早く表示する

ページやサイトのアドレス（URL）を、短いタイトルをつけてBookmarkに登録しておくことができます。
よく見るページを登録しておくと、Bookmarkを選択するだけで簡単にそのページを表示できます。

サイトをBookmarkに登録する

1 ページを表示中に
メニュー を押す

2 ▲ または ▼ で「Bookmark登録」を選ぶ

3 (決定) を押す

●表示されていたページがBookmarkに登録されます。

■ 登録されているBookmarkを確認するときは

① 待機画面を表示中に (決定) を押す
② ▲ または ▼ で「Bookmark」を選ぶ
③ (決定) を押す
登録したBookmark一覧が表示されます。

■ 登録されているBookmarkを削除するときは

① Bookmarkを確認する操作をする
② ▲ または ▼ で削除したいBookmarkを選ぶ
③ メニューボタンを押す
④ ▲ または ▼ で「削除」を選ぶ
⑤ (決定) を押す
Bookmarkが削除されます。

■ 「これ以上登録できません」と表示されたときは

すでに10件登録されています。新しく登録するときは不要なBookmarkを削除してください。

■ Bookmarkと画面メモ（P.7-61）の違い

Bookmarkからページを表示するときは、Lモードゲートウェイを介して最新の内容を受信し、表示します。画面メモを表示するときは、通信は行われずに保存時の内容がそのまま表示されます。内容の更新が多いページは、Bookmarkに登録すると常に最新の状態を表示できます。

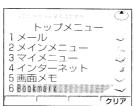
お知らせ

● Bookmarkは最大10件まで登録することができます。
● Bookmarkのタイトルは、全角8文字（半角16文字）まで登録できます。8文字を超えるタイトルの場合、9文字目からは登録されません。
● 登録したBookmarkは停電があっても保存されています。

Bookmarkからサイトを表示する

1 （/決定）を押す

2 ▲または▼で「Bookmark」を選ぶ

3 （/決定）を押す

- Bookmark一覧画面が表示されます。
- Bookmarkのタイトルを編集するには（P.7-54～7-55）

4 ▲または▼で表示したいBookmarkを選ぶ

Bookmark
1 コンサート情報
2 スポーツニュース
3 芸能ニュース
4 気象情報
5 △△情報
メニュー　クリア

5 （/決定）を押す

- Lモードゲートウェイに接続して、Bookmark登録されているページが表示されます。

■ ページ表示中にBookmarkからサイトを表示するには

① ページを表示中にメニューボタンを押す
② ▲または▼で「Bookmark表示」を選ぶ
③ （/決定）を押す
Bookmark一覧画面が表示されます。
④ ▲または▼で表示したいBookmarkを選んで、（/決定）を押す
Bookmark登録されているページが表示されます。

お知らせ

- Bookmark一覧画面で、タイトルの前の番号をダイヤルボタンで入力してサイトを表示させることができます。

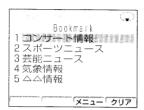
ページやサイトを登録して素早く表示する

Lモード

Bookmarkのタイトルを編集する

1 「Bookmarkからサイトを表示する」操作の手順1～3を行う
(P.7-53)

(P.7-53)

2 または で編集したいBookmarkを選ぶ

3 メニュー を押す

4 または で「タイトル編集」を選ぶ

5 を押す

●タイトル編集画面が表示されます。

6 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

次ページへ→

→つづき

7 新しいタイトルを入れ
（P.7-13～7-15）、
（決定）を押す

8 で「OK」を選ぶ

9 （決定）を押す

●Bookmarkの画面にもどります。

■ **BookmarkのURL（アドレス）を編集するには**

登録されているBookmarkのURL（アドレス）を編集することができます。文字数は最大で、全角250文字（半角500文字）までです。

① 「Bookmarkのタイトルを編集する」操作の手順3までを行う
② ▲ または ▼ で「URL編集」を選んで、（決定）を押す
③ URLのテキストボックスが選択されている状態で（決定）を押す
URL編集画面が表示されます。
④ URLを編集する
文字の訂正や入力はP.7-13～7-15を参照してください。
⑤ （決定）を押す
⑥ ▼ を押して「OK」を選択する
⑦ （決定）を押す

お知らせ

● Bookmarkのタイトルは全角8文字（半角16文字）まで登録できます。8文字を超えるタイトルの場合、9文字目からは登録されません。
● Bookmarkのタイトルを編集しても登録されている順序は変更されません。
● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
● 情報量が多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
● GIF, JPEG形式以外の画像は表示できません。

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。
マイメニューはＬモードゲートウェイに登録されます。
マイメニューの登録については「Ｌモードの使用説明書」をご覧ください。

マイメニューに登録する

1 登録するサイトを表示する
（P.7-48）

2 ▲ または ▼ で「マイメニュー登録」を選ぶ

●サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください。

3 （登録/決定）を押す

●マイメニューにサイトが登録されます。

■ Bookmark（P.7-52）とマイメニューの違い

Bookmarkとマイメニューは、URLのデータを登録する場所が異なります。
Bookmarkのデータは、親機に登録されるのに対し、マイメニューは、Ｌモードゲートウェイに登録されます。

親機のメモリー

Ｌモード
ゲートウェイ

マイメニューからサイトを表示する

1 （/決定）を押す

2 （上）または（下）で「マイメニュー」を選ぶ

3 （/決定）を押す

●登録されているマイメニューが一覧表示されます。

4 （上）または（下）で表示したいマイメニューを選んで（/決定）を押す

●登録されているサイトが表示されます。

■ **マイメニューの登録を解除するときは**
登録したサイトを表示し、「マイメニュー解除」（解約や削除など、サイトにより異なります）を選びます。

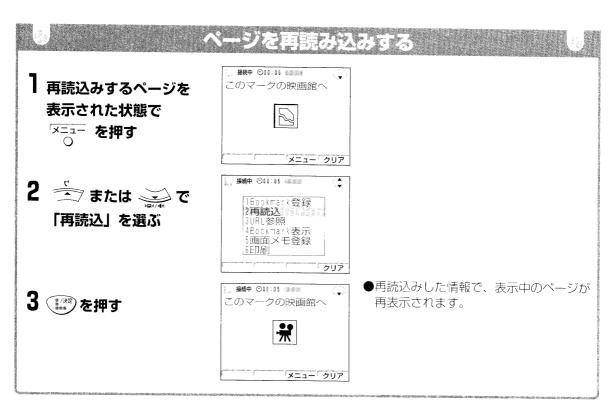
■ **Lモードゲートウェイと通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**
キャッチ/消去（L回線断）を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去（L回線断）を押すとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニュー登録できないサイトもあります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF, JPEG形式以外の画像は表示されません。

ページを再読み込みする

表示中のページの内容を受信し直します。画像が正常に表現できなかったときや、ページの内容を最新のものに更新するときなどに行います。

ページを再読み込みする

1 再読込みするページを表示された状態で メニュー を押す

接続中 00:05
このマークの映画館へ
メニュー クリア

2 ▲ または ▼ で「再読込」を選ぶ

接続中 00:05
1Bookmark登録
2再読込
3URL参照
4Bookmark表示
5画面メモ登録
6印刷
クリア

3 決定 を押す

接続中 00:05
このマークの映画館へ
メニュー クリア

●再読込みした情報で、表示中のページが再表示されます。

■ **Lモードゲートウェイとの接続を終了するときは**

停止ボタンを押します。

■ **Lモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

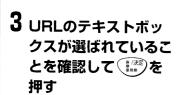
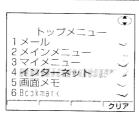
- Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF，JPEG形式以外の画像は表示されません。

URLを入力してページを表示する

ページには「URL」と呼ぶアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなページを表示できます。

URLを入力してページを表示する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 決定ボタンを押し、上ボタンまたは下ボタンで「インターネット」を選ぶ

●トップメニューが表示されます。

2 決定ボタンを押す

●URLのテキストボックスが太線で選ばれていないときは、▲または▼でURLのテキストボックスを選んでください。

3 URLのテキストボックスが選ばれていることを確認して決定ボタンを押す

4 URL（アドレス）を入力する

●文字の入力方法は、P.7-13〜7-15を参照してください。
●入力するときは、大文字と小文字、全角と半角に注意してください。

5 決定ボタンを押す

6 下ボタンを押して「OK」を選ぶ

次ページへ→

→つづき

7 （通/決定）を押す

■ **URL（アドレス）に使用できる文字と文字数は**

URLに使用できる文字は、漢字、全角カナ、全角英字、全角数字、半角カナ、半角英字、半角記号、半角数字、区点です。文字数は最大全角250文字（半角500文字）までです。

■ **表示しているページのURLを確認するには**

① ページを表示中にメニューボタンを押す
② ▲ または ▼ で「URL参照」を選ぶ
③ （通/決定）を押す

■ **Ｌモードゲートウェイとの接続を終了するときは**

停止ボタン を押します。

■ **Ｌモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断 を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 指定できるURLは1回に1つです。
- URLを入力したあと回線接続中に操作を中止するときは、「接続中」または「ページ取得中」と画面表示されている間に （通/決定） を押してください。
- 手順3では「http://」が自動的に入力されています。
- 入力するURLの先頭には必ず「http://」または「https://」を付けてください。「http://」または「https://」がないとページに接続できません。
- Ｌモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなど含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズがオーバーしました。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF，JPEG形式以外の画像は表示されません。

サイトのページを保存する

表示中のサイトのページを「画面メモ」として保存することができます。保存した画面メモはＬモードゲートウェイと接続せずにいつでも表示できますので、たとえば、料理のレシピや乗換案内など、一度表示した画面をあとから利用したいときに便利です。

画面メモを保存する

1 ページを表示中に メニュー を押す

2 ▲ または ▼ で「画面メモ登録」を選ぶ

3 決定 を押す

●すでに画面メモが3件登録されているときは、「画面メモがいっぱいです。」と表示され新しく画面メモを保存できません。

画面メモを表示する

1 待機画面を表示中に 決定 を押し、▲ または ▼ で「画面メモ」を選ぶ

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 決定 を押す

●保存されている画面メモが表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモの登録がありません。」と表示されます。

3 画面メモを見る

●他に登録されている画面メモがあるときは、○▶ が表示されます。▶ を押すと次の画面メモを表示します。◀ を押すと1つ前の画面メモを表示します。

画面メモを削除する

1 削除したい画面メモを表示する
（P.7-61）

このマークの映画館へ

メニュー　クリア

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

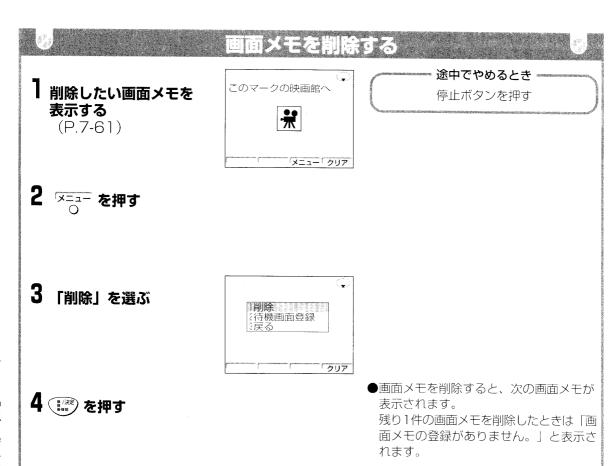
2 メニュー を押す

3 「削除」を選ぶ

1削除
2待機画面登録
3戻る

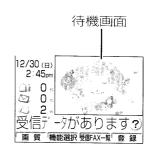
クリア

4 決定 を押す

●画面メモを削除すると、次の画面メモが表示されます。
残り1件の画面メモを削除したときは「画面メモの登録がありません。」と表示されます。

お知らせ

- 画面メモは3件まで保存できます。ただしページの情報量によっては保存できる件数が少なくなることがあります。
- リンク先のあるページも画面メモに保存することができます。画面メモからリンク先を選択すると、Lモードゲートウェイに接続され、リンク先のページが表示されます。
- 画像表示設定（P.7-74）を「表示しない」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（その後画像読込み設定を「表示する」にしてから画面メモを表示させても、画像は表示されません。）
- 画面メモ内からも、PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えます。（P.7-70〜7-73）

画面メモを待機画面に登録する

画面メモ（P.7-61）に保存している画像を待機画面として表示することができます。

画面メモに保存している画像を待機画面に登録する

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

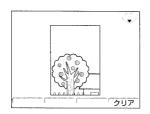
1 待機画面に表示したい画面メモを表示する
（P.7-61）

2 メニュー を押す

3 ▲ または ▼ で「待機画面登録」を選ぶ

4 決定 を押す

●画像データが表示されます。

5 登録したい画像を表示する

●画面表示されていない画像を選択するときは▲または▼を押して表示させてください。

6 決定 を押す

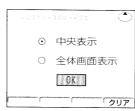
次ページへ→

→つづき

7 画面の表示形式を選ぶ（下記）

● ▲または▼で「中央表示」、「全画面表示」から選択し、（決定）を押してください。

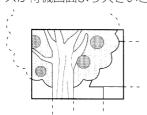
8 「OK」を選んで、（決定）を押す

9 待機画面の設定を「ダウンロード画像」にしてください
（P.6-2〜6-3）

● 「アニメーション」に設定されていると、画面メモに保存しておいた画像が表示されません。

■ 待機画面の表示のされかた

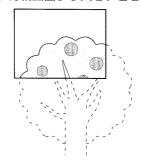
● 中央表示

画像サイズが待機画面より小さいとき

画像サイズが待機画面より大きいとき

選択した画像が待機画面より大きいときは表示できない部分が削除されます。

● 全画面表示

画像サイズが待機画面より小さいとき

画像サイズが待機画面より大きいとき

表示したページをプリントする

受信したメールの内容や、サイトのページを記録紙に印刷することができます。（ページプリント）

● 長いページ（コンテンツ）をプリントするときは、左右に並べてプリントするため経済的です。（メールは左右に並べてプリントできません。）

ページプリントする

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 **印刷したいメールの内容やページを表示する**

2 **メニュー を押し、▽ または △ で「印刷」を選ぶ**

3 **決定 を押す**

●印刷確認画面が表示されます。

4 **△ または ▽ で「はい」を選ぶ**

●印刷をしないときは、「いいえ」を選びます。

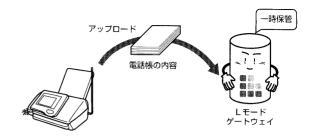
5 **決定 を押す**

●印刷が始まります。

お知らせ

● ページを記録紙に印刷するときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。

電話帳やBookmarkデータをアップロード（送信）する

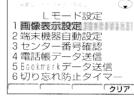
親機に登録されている電話帳やBookmarkの内容をＬモードゲートウェイに送信して一時保管することができます。（データアップロード）「Ｌモード」用端末の買い換えや修理のときに便利です。買い換えや修理後に一時保管したデータをダウンロード（P.7-68）すると引き続き電話帳やBookmarkの登録内容をご利用になれます。

電話帳やBookmarkデータをアップロードする

（例）電話帳データをアップロードする場合

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 待機画面から
登録 を押す

2 ▲ または ▼ で「Ｌモード設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「電話帳データ送信」を選び、決定 を押す

●Bookmarkデータをアップロードするときは ▼ を4回押して「Bookmarkデータ送信」を選択してください。
●「データがありません。」と表示されたときは、アップロードしようとした電話帳またはBookmarkデータが登録されていません。

4 「はい」を選び、決定 を押す

5 送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する

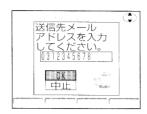
①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
② 決定 を押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する。メールアドレスは“@”より前の部分のみ入力してください

●送信先メールアドレス（お客様の「Ｌモード」のアドレス）は、間違わないように入力してください。
お客様以外の方へ送信されることがあります。

次ページへ→

→つづき

6 入力が終わったら [終/決定] を押す

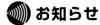
7 [▲] または [▼] で「OK」を選び、[終/決定] を押す

8 Ｌモードゲートウェイに接続され、データがアップロードされる

9 [終/決定] を押す

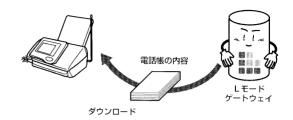
●待機画面に戻ります。

■ **Ｌモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

● Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。

電話帳やBookmarkデータをダウンロード（受信）する

Ｌモードゲートウェイに保存している電話帳やBookmarkデータを、メールを受信する操作を行って親機にダウンロードします。

電話帳やBookmarkデータをダウンロードする

（例）電話帳データをダウンロードする場合

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 メールを受信する操作を行う
（P.7-23）

2 または で「はい」を選んで、を押す

●「いいえ」を選んで を押すと、「削除しますか？」と表示されて受信したデータを削除することができます。

3 コピー元のアドレス（お客様の「Ｌモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアが選択されていることを確認する
② を押す
③お客様の「Ｌモード」のメールアドレスを入力する

●アドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。

4 入力が終わったら
 を押す

次ページへ→

→つづき

5 またはで「OK」を選び、を押す

●自動的にデータをダウンロードします。ダウンロードは、**1回のみ**です。ダウンロードをした後Ｌモードのサーバーに保存していたデータは自動的に削除されます。

6 受信完了のメッセージが表示されたら、またはで「はい」を選ぶ

7 を押す

●受信メール一覧画面に戻ります。

■ **Ｌモードゲートウェイと通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 登録されている電話帳やBookmarkがあった場合、ダウンロードしたデータは追加されます。ただし、電話帳やBookmarkが一杯でダウンロードしたデータが追加できない場合、ダウンロードしたデータは追加されずに、削除されます。
- 受信した電話帳やBookmarkデータは受信メールに保存されません。
- Ｌモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- 電話帳やBookmarkは必ず親機でダウンロード（受信）してください。子機でメール受信すると正しくダウンロードできません。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う

◆ PHONE TO：　メールやサイト、画面メモ内にある、電話番号に簡単に電話をかけることができます。
◆ MAIL TO・FAX TO：メールアドレスにメールを送る（MAIL TO機能）、FAX番号に接続しファクスを受信することができます。
◆ WEB TO：　ページやメールに表示されたURL（アドレス）のページを表示することができます。

PHONE TO, MAIL TO, FAX TO, WEB TO機能が使えるのは、カーソルを移動したときに白黒反転する電話（ファクス）番号やURL（アドレス）のみです。

PHONE TO機能を使う

（例）受信メール内の電話番号に電話をかけます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.7-23）

2 または で画面内の電話番号を選ぶ

3 を押す

●確認画面が表示されます。

4 または で「はい」を選ぶ

●発信する電話番号を確認してから操作してください。

5 を押す

●自動的に電話番号にダイヤルします。

6 相手の方がでたらお話しする
通話が終わったら スピーカーホン を押す

●自動的にスピーカーホン通話になります。受話器を取ってお話しすることもできます。
●受話器を取っているときは受話器を戻します。
●待機画面が表示されます。

お知らせ

● サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合、PHONE TO機能は使えません。
● 電話番号を必ず確認してから発信してください。
● 発信後の通話には通話料金がかかります。

MAIL TO機能を使う

（例）受信メール内のメールアドレスにメールを送信します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.7-23）

2 または で画面内のメールアドレスを選ぶ

3 を押す

●確認画面が表示されます。

4 または で「はい」を選ぶ

●「これ以上、メールが保存できません」と表示されたときは、未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存されていて、新しくメールを作成することができません。を押したあと不要な未送信メールまたは送信済メールを削除（P.7-40〜7-41、7-45）してからもう一度操作をやり直してください。

5 を押す

●メール作成画面が表示されます。

6 メールを作成し送信する
（P.7-8〜7-9）

●メール作成画面が表示されたときは、メールアドレスがすでに入力された状態になっています。
●メールアドレス（宛先）を確認してから送信してください。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う

iモード

お知らせ

● サイトやメールによっては、反転表示されない場合があります。この場合、MAIL TO機能は使えません。

FAX TO機能を使う

（例）受信メール内のファクス番号に接続しファクスを受信します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.7-23）

2 [上] または [下] で画面内のファクス番号が設定されている項目を選ぶ

3 [機能/決定] を押す

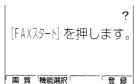
●確認画面が表示されます。

4 [上] または [下] で「はい」を選ぶ

●ファクス受信時は原稿をセットしていない状態で操作してください。
●ファクス番号を確認してから操作してください。

5 [機能/決定] を押す

●ファクス番号へ発信します。

6 相手先につながったことを確かめる

●ファクス受信確認画面が表示されます。

7 FAXｽﾀｰﾄ [◇] を押す

●ファクスを受信します。
●ファクスの受信が終わると待機画面が表示されます。

お知らせ

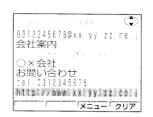
● サイトやメールによっては、反転表示されない場合があります。この場合、FAX TO機能は使えません。
● 電話番号を必ず確認してから発信してください。
● 発信後のファクス受信には通信料金がかかります。

WEB TO機能を使う

（例）受信メール内のURL（アドレス）に接続しページを表示します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信メールを表示する
（P.7-23）

2 ▲または▼で画面内のURL（アドレス）が設定されている項目を選ぶ

3 （決定）を押す

4 ページが表示される

■ **1つ前の画面に戻るときは（P.7-49）**
◀ が表示されているときに、◀ を押してください。

■ **Lモードゲートウェイとの接続を終了させるときは**
停止ボタンを押します。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**
キャッチ/消去 L回線断 を押します。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

■ **Lモードゲートウェイと通信中は**
ブラウザマーク（）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **表示したページを記録紙にプリントするには（P.7-65）**

お知らせ

- サイトやメールによっては、反転表示されない場合があります。この場合、WEB TO機能は使えません。
- Lモードゲートウェイと通信中は通信料金がかかります。
- Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。

Ｌモードを便利に使う

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
クリアボタンを押す

お買い求め時は　　　に設定されています。

設定項目	登録の操作手順
画像表示設定 サイトやメッセージに含まれている画像を読み込まないようにできます。	登録 ▶ で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ で選ぶ ⊙表示する ○表示しない ▶ 決定 ▶ で OK を選ぶ ▶ 決定
端末機器自動設定 Ｌモードサービスをはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号を登録します。	登録 ▶ で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ で「はい」を選ぶ サービス利用時に発信者番号の通知が必要です。通知しますか？ はい いいえ ▶ 決定 サービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました。 OK ▶ 決定
センター番号確認 端末機器自動設定で登録されたアクセスポイント電話番号をディスプレイに表示することができます。アクセスポイント電話番号が登録されていないときは、表示されません。	登録 ▶ で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ 決定

Ｌモードを便利に使う

Ｌモード

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
クリアボタンを押す

お買い求め時は　　　に設定されています。

設定項目	登録の操作手順
電話帳データ送信 ファクスに登録した電話帳の内容を送信することができます。	登録 ▶ で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ 送信先メールアドレスを入力して、電話帳データを送信します。操作方法はP.7-66～7-67をご覧ください。
Bookmarkデータ送信 ファクスに登録したBookmarkのデータを送信することができます。	登録 ▶ で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー ▶ 決定 ▶ 送信先メールアドレスを入力して、Bookmarkデータを送信します。操作方法はP.7-66～7-67をご覧ください。
切り忘れ防止タイマー 回線が接続されたまま何も操作しなかった時に、自動的に回線を切断します。 01分～10分または無監視に設定できます。	登録 ▶ で「Ｌモード設定」を選ぶ ▶ 決定 ▶ で選ぶ 1画像表示設定 2端末機器自動設定 3センター番号確認 4電話帳データ送信 5Bookmarkデータ送信 6切り忘れ防止タイマー 操作中やプリント中のときでも、最後にＬモードゲートウェイにアクセスしてから、設定時間がたつと自動的に回線を切断します。 ▶ 決定 ▶ 決定 ▶ で選ぶ プルダウンメニューで選択 01分～10分 無監視 （3分）（初期値） ▶ 決定 ▶ で OK を選ぶ ▶ 決定

Ｌモードを便利に使う

Ｌモード

8章

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは電話をかけた相手の方の電話番号が受けた方に表示されるサービスです。

このサービスを利用するためには当社とのご契約が必要です。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを「する」に設定してください。（P.8-3）
ナンバー・ディスプレイの設定は、はじめは「する」に設定されています。

電話がかかってくると…

■相手の方の番号を表示します。

■電話帳に登録している相手の方から
電話がかかってきたときは、
電話帳に登録している名前を表示します。

ナンバー・ディスプレイを利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量設定
3 親機呼出音
画質 取消

2 「初期登録」を選び、決定 を押す

初期登録 ?
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
画質 取消

3 または で「サービス利用設定」を選び、決定 を押す

サービス利用設定 ?
1 ナンバーディスプレイ
2 キャッチホンディスプレイ
画質 取消

4 「ナンバーディスプレイ」を選び、決定 を押す

ナンバーディスプレイ ?
1 する
2 しない
画質 取消

●はじめは、「する」になっています。

5 「する」を選び、決定 を押す

サービス利用設定
する
に設定しました
画質 取消

●「する」に設定されます。
●ナンバー・ディスプレイやＬモードサービスを利用しないときは、手順５で「しない」を選び、決定 を押します。

6 停止 を押す

お知らせ

● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへ接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「しない」に設定してください。

● Ｌモードサービスをお使いのときに、ナンバー・ディスプレイの利用設定が「しない」に設定されていると、メールが届いたときのメッセージ有り通知が表示されません。

電話がかかってきたときは

ディスプレイ表示		着信情報
親機	子機	
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 0387654321 画質	0387654321 (((着信)))	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 池田 悟 画質	池田 悟 0312345678 (((着信)))	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときで、電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは名前を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） **電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 非通知 画質	−非通知− (((着信)))	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 表示圏外 画質	−表示圏外− (((着信)))	相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します。
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 公衆電話 画質	−公衆電話− (((着信)))	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 受信ｴﾗｰ 画質	−受信ｴﾗｰ− (((着信)))	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 外線使用中 画質	(((着信)))	呼出音が鳴る前に、相手の電話番号データを受信しています。この表示のときに、電話に出ることはできません。
12/30(日) 2:45pm 0件 0件 0件 161 画質	161 (((着信)))	Ｆネット（鳴動着信：16Hz）でFAX受信したときに表示します。

着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、親機は、電話帳に登録されている方の、子機は、着信の種類に合わせて呼出音の鳴り方を変えてお知らせします。（P.8-15〜8-18）

非通知おことわりを設定したときは

相手の方が番号非通知（「184をダイヤル」または、「通常非通知」（回線ごと非通知））で、電話をかけてくると、こちら側では呼出音が鳴らずにおことわりのメッセージを流すことができます。（P.8-19〜8-20）

公衆おことわりを設定したときは

相手の方が公衆電話から電話をかけてくると、こちら側では呼出音を鳴らさずにおことわりメッセージを流すことができます。（P.8-19、8-21）

お断り番号登録に設定したときは

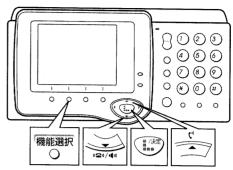
あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに呼出音を鳴らさずに、おことわりのメッセージを流すことができます。（P.8-22〜8-23）

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイサービスを開始後に、サービス利用設定のナンバーディスプレイ（P.8-3）を「しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに短い呼出音が５〜６回鳴り、このときに電話に出ると切れてしまいます。このあと通常の呼出音が鳴ってから、電話に出てください。
- 地域によっては、ナンバー・ディスプレイをご利用の際に、工事が必要になる場合もあります。詳しくは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、在宅モード時のコール回数（P.4-17〜4-18）や、留守モード時のコール回数（P.5-10）を２回以上に設定してください。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。
- 内線通話中やドアホン通話中に電話がかかってきたときは、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイサービスは、当社の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）に接続すると、ナンバー・ディスプレイサービスが使えない場合があります。
- 同じ番号を電話帳に登録するとナンバー・ディスプレイの名前表示（電話帳に登録している相手の方からの名前表示）が正常に動作しないことがあります。
- １本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。

着信記録を表示する

ナンバー・ディスプレイやキャッチホン・ディスプレイ（P.8-24）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示したりできます。20件を越えると古い着信記録から消去されます。

親機で着信記録を表示する

1 機能選択 を押す

機能選択 ?
1 コピー設定
2 ハンドコピー
3 着信記録
画質 取消

着信記録の表示をやめるとき
停止ボタンを押す

2 ▲ または ▼ で「着信記録」を選ぶ

機能選択 ?
1 コピー設定
2 ハンドコピー
3 着信記録
画質 取消

3 決定 を押す

着信記録
池田 悟
<11月15日 3:05PM >
画質 登録

●最後にかかってきた相手の方の番号（電話帳に登録しているときは名前）と日付・時刻を表示します。

4 ▲ または ▼ で選ぶ

着信記録
09087654321
<11月13日 8:15AM >
画質 登録

●▲を押すと1件新しい着信記録を表示します。
●▼を押すと1件古い着信記録を表示します。

■ **親機の着信記録を1つだけ消去するときは**

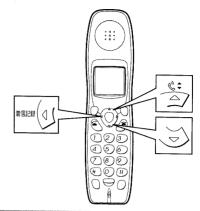
① 機能選択ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「着信記録」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ ▲ または ▼ で、消去する着信記録を選んだあと、キャッチ/消去（L回線断）を押す
⑤ もう一度、キャッチ/消去（L回線断）を押す
（表示中の着信記録が一件、消去されます。）
⑥ 停止ボタンを押す

お知らせ

● 親機の着信記録を一度にすべて消去することはできません。
● 着信記録の番号を親機の電話帳に登録することができます。（P.8-12）

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号や電話帳に登録されている名前をディスプレイに表示することができます。

子機で着信記録を表示する

1 着信記録 ◁ **を押す**

<着信記録01>
池田 悟
0312345678
11月15日 15:05

2 △ **または** ▽ **で選ぶ**

<着信記録08>

09087654321
11月13日 8:15

着信記録の表示をやめるとき
切ボタンを押す

- 最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。電話帳に登録しているときは名前を表示します。
- ▲を押すと１件新しい着信記録を表示します。
- ▼を押すと１件古い着信記録を表示します。

■ 子機の着信記録をすべて消すときは

① 通話ボタンを消灯させた状態で、機能ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「着信記録消去」を選んだあと、▶ を押す

③ 機能ボタンを押す

■ 子機の着信記録を１件だけ消すときは

① 通話ボタンを消灯させた状態で、◀ を押す

② ▲ または ▼ で消去したい相手の方を選んだあと、▶ を押す

③ ▲ または ▼ で「消去」を選んだあと、▶ を押す

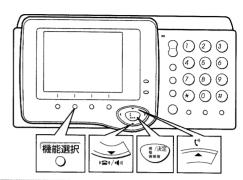
④ 機能ボタンを押す

お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 着信記録の番号を、子機の電話帳に登録することができます。（P.8-14）

着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
21件以上着信すると古い着信記録から順に自動的に消えます。

親機の着信記録を使って電話をかける

1 機能選択 **を押す**

機能選択 ?
1 コピー設定
2 ハンドコピー
3 着信記録
画質 取消

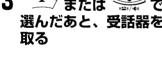
> 途中でやめるとき
> 受話器を戻す
> ●スピーカーホンを押して電話をかけているときは、スピーカーホンボタンを押す

2 ▲ **または** ▼ **で「着信記録」を選び、** 着信/決定 **を押す**

着信記録 ?
池田 悟
<11月15日 3:05PM >
画質 登録

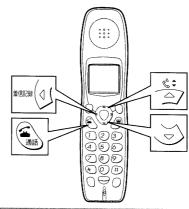
3 ▲ **または** ▼ **で選んだあと、受話器を取る**

- ▼を押すと1件古い着信記録を表示します。
- ▲を押すと1件新しい着信記録を表示します。
- スピーカーホンボタンを押してスピーカーホンで話すことができます。
- スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときはスピーカーホンボタンを押します。

4 通話が終ったら
受話器を戻す

■ 受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは

① 受話器を取る（受話器を置いたまま電話をかけるときは、スピーカーホンボタンを押す）
② 機能選択ボタンを押したあと、▲または▼で「着信記録」を選んで 着信/決定 を押す
③ ▲または▼で選んだあと、着信/決定 を押す
④ 相手の方とお話する
⑤ 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押す）

■ 184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは

左記の①のあとに「184」や「186」などをダイヤルして②～⑤の操作を行います。
（「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②～⑤の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑤の操作を行ってください。）

子機の着信記録を使って電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 着信記録 を押す

<着信記録01>
池田 悟
0312345678
11月15日 15:05

2 または で選んだあと、通話 を押す

<着信記録08>

09087654321
11月13日 8:15

3 通話が終わったら
充電器に戻す

途中でやめるとき
切ボタンを押す

- 最後にかかってきた番号を表示します。電話帳に登録しているときは名前を表示します。
- (▼) を押すと1件古い着信記録を表示します。
- (▲) を押すと1件新しい着信記録を表示します。
- スピーカーホンボタンを押して話すことができます。
- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- スピーカーホンボタンを押して電話をかけた時は、スピーカーホンボタンを押します。

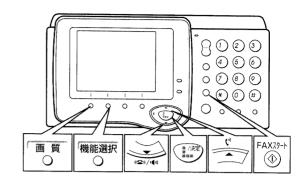
■ 184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは（特番ダイヤル）

① 着信記録ボタンを押す
② (▲) または (▼) で選んだあと、機能ボタンを押す
③ 「特番ダイヤル」を選んだあと、(▶) を押す
④ 「184」や「186」などをダイヤルする
⑤ 通話ボタンを押す（子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。）
⑥ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押します。）

お知らせ

- 発信電話番号情報がない場合や受信エラーなどのときは電話をかけることはできません。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。

着信記録を使ってファクスを送る

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

親機の着信記録を使ってファクスを送る

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 原稿ガイドを合わせて
原稿をウラ向きにセットしたあと、画質を押して画質を選ぶ（P.3-5）

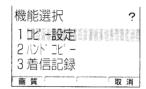
●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 機能選択を押す

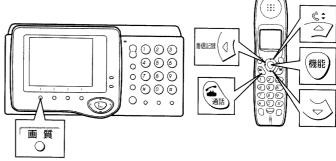
3 ▲または▼で「着信記録」を選ぶ

4 決定を押す

●最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。（電話帳に登録しているときは名前を表示します。）

5 ▲または▼で選んだあと、FAXｽﾀｰﾄを押す

●▼を押すと1件古い着信記録を表示します。
●▲を押すと1件新しい着信記録を表示します。
●このあと、自動的に送信を始めます。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（P.9-21）**

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

子機の着信記録を使ってファクスを送る

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 親機

原稿ガイドを合わせて

原稿をウラ向きにセットしたあと、画質を押し画質を選ぶ （P.3-5）

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 子機

着信記録を押す

<着信記録01>
池田 悟
0312345678
11月15日 15:05

●最後にかかってきた番号を表示します。電話帳に登録している番号のときは、名前を表示します。

3 子機

△または▽で選んだあと、通話を押す

<着信記録08>

09087654321
11月13日 8:15

●▼を押すと1件古い着信記録を表示します。
●▲を押すと1件新しい着信記録を表示します。
●通話ボタンが点灯します。

4 子機

相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

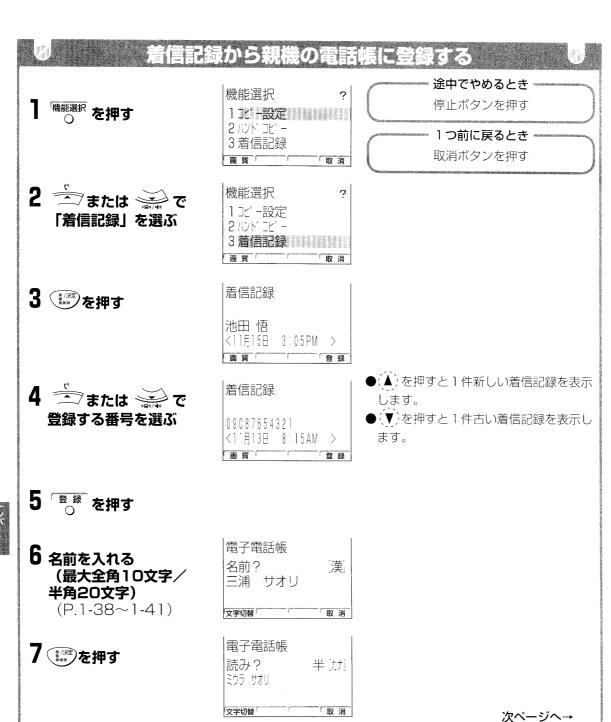
機能を押す

●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら、機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 P.4-3）

5 子機

充電器に戻す

着信記録から親機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を親機の電話帳に登録することができます。

着信記録から親機の電話帳に登録する

1 機能選択 を押す

機能選択 ?
1 コピー設定
2 ハンドコピー
3 着信記録
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 ▲ または ▼ で「着信記録」を選ぶ

機能選択 ?
1 コピー設定
2 ハンドコピー
3 着信記録
画質 取消

3 決定 を押す

着信記録
池田 悟
<11月15日 3:05PM >
画質 登録

4 ▲ または ▼ で登録する番号を選ぶ

着信記録
09087654321
<11月13日 8:15AM >
画質 登録

- ▲ を押すと1件新しい着信記録を表示します。
- ▼ を押すと1件古い着信記録を表示します。

5 登録 を押す

6 名前を入れる（最大全角10文字／半角20文字）
（P.1-38〜1-41）

電子電話帳
名前？ 漢
三浦 サオリ
文字切替 取消

7 決定 を押す

電子電話帳
読み？ 半 カナ
ミウラ サオリ
文字切替 取消

次ページへ→

→つづき

8 「読み」が正しければ

[L/決定]を２回押す

●「読み」に変更があれば、修正します。
●第１番号として登録されます。

9 電話番号（第２番号）を入れて[L/決定]を押す

電子電話帳
電話番号?(第2番号)
NO.=09012345678
最後に[L/決定]で決定
取消

●第２番号の入力は省略できます。
省略するときは、[L/決定]を押して、手順10に進んでください。

10 メールの宛先を入れて[L/決定]を押す

●メールの宛先入力は省略できます。
省略するときは、[L/決定]を押します。

■ **親機の電話帳の内容を消すときは（P.2-14）**

着信記録から子機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を子機の電話帳に登録することができます。

着信記録から子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 着信記録◁ **を押す**

<着信記録01>
池田 悟
0312345678
11月15日 15:05

途中でやめるとき
切ボタンを押す

2 △ **または** ▽ **で登録する番号を選んだあと、** ▷電話帳 **を押す**

▶特番ダイヤル
電話帳へ登録
消去
◀戻る 選択▶

3 △ **または** ▽ **で「電話帳へ登録」を選んだあと、** ▷電話帳 **を押す**

名前? [漢]

[機能] 決定

4 **名前を入れる（最大全角 6 文字／半角12文字）**
（P.1-38、1-42～1-44）

名前 [漢]
三浦 サオリ

[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは機能ボタンを 2 回押して手順 7 へ進みます。

5 （機能） **を押す**

読み 半 [カナ]
ミウラ サオリ

[機能] 決定

6 「読み」が正しければ
（機能） **を 2 回押す**

三浦 サオリ
第2番号?

[機能] 決定

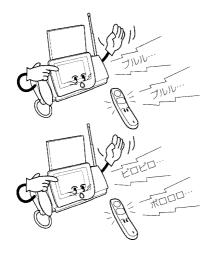
● 「読み」に変更があれば修正します。
● 「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。
●第 1 番号として登録します。

7 **電話番号（第 2 番号）を入れ（最大16ケタ）、**
（機能） **を押す**

●第 2 番号を省略するときは機能ボタンを押します。
● 「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

■ **子機の電話帳の内容を消すときは（P.2-20）**

着信鳴り分け

ナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、親機では、「電話帳に登録されている相手の方」からの着信に合わせて呼出音を変えることができます。子機では、「電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて呼出音を変えることができます。
はじめ、親機は「2：使用しない」に設定されています。子機は「解除」に設定されています。
鳴り分けを使用するときは親機の設定を「1：使用する」に変更してください。

着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき

親機では、P.1-28で設定した呼出音が鳴ります。
子機では、P.1-29で設定した呼出音が鳴ります。

着信鳴り分けを設定した相手の方のとき

親機では、電話帳登録の方のみP.8-17で設定した呼出音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせてP.8-18で設定した呼出音が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 ○ **を押す**

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質　取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 **または** **で「詳細設定」を選び、** **を押す**

詳細設定 ?
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質　取消

3 **または** **で「ナンバーディスプレイ」を選び、** **を押す**

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ?
1 着信鳴り分け
2 電話帳登録呼出音
3 非通知おことわり
画質　取消

4 **または** **で「着信鳴り分け」を選び、** **を押す**

着信鳴り分け ?
1 使用する
2 使用しない
画質　取消

5 **または** **で「使用する」を選び、** **を押す**

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
使用する
に設定しました
画質　取消

- 「使用する」に設定されます。
- 「使用しない」を選び を押すと「親機の着信鳴り分け」を解除します。

6 停止 ◎ **を押す**

お知らせ

- 個人別に呼出音を変えることはできません。

親機の着信鳴り分け時の呼出音を選びます。

親機の鳴り分け時の呼出音を選ぶ

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 ▲ または ▼ で「詳細設定」を選び、決定 を押す

詳細設定 ?
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質 取消

3 ▲ または ▼ で「ナンバーディスプレイ」を選び、決定 を押す

ナンバーディスプレイ ?
1 着信鳴り分け
2 電話帳登録呼出音
3 非通知おことわり
画質 取消

4 ▲ または ▼ で「電話帳登録呼出音」を選び、決定 を押す

電話帳登録呼出音 ?
1 電話ベル音
2 鳥の声
3 電子音
画質 取消

5 ▲ または ▼ で呼出音を選ぶ

電話帳登録呼出音 ?
4 TOYS SYMPHONY
5 トルコ行進曲
6 華麗なる大円舞曲
画質 取消

固定メロディー	1	電話ベル音
	2	鳥の声
	3	電子音
	4	TOYS SYMPHONY
	5	トルコ行進曲
	6	華麗なる大円舞曲
「Lモード」からのダウンロード	7	ダウンロードメロディ1
	8	ダウンロードメロディ2
	9	ダウンロードメロディ3

6 決定 を押す

ナンバーディスプレイ
トルコ行進曲
に設定しました
画質 取消

7 停止 を押す

子機では、「電話帳に登録している方」・「非通知の電話」・「公衆電話」・「表示圏外」の4項目ごとに呼出音を変えることができます。

子機の鳴り分けを設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 (機能) **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 (▲) **または** (▼) **で「着信鳴り分け」を選んだあと、**(▷ 電話帳) **を押す**

▶電話帳
非通知
公衆電話
◀戻る　選択▶

3 (▲) **または** (▼) **で鳴り分けをしたい項目を選んだあと、**(▷ 電話帳) **を押す**

電話帳
◆：音色選択
[機能] 決定

●設定している呼出音が鳴ります。

4 (▲) **または** (▼) **で呼出音を選んだあと、**(機能) **を押す**

着信鳴り分け
電話帳
設定しました

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。
●子機の呼出音は次の中から選ぶことができます。
「プルルル　プルルル」
「ポロロロ　ポロロロ」
「ショートメロディー①」
「ショートメロディー②」
「ショートメロディー③」
「眠りの森の美女」
「春の歌」
「トルコ行進曲」
「森のくまさん」

5 (切) **を押す**

●続けて他の項目を設定するときは手順3～4をくり返し操作します。

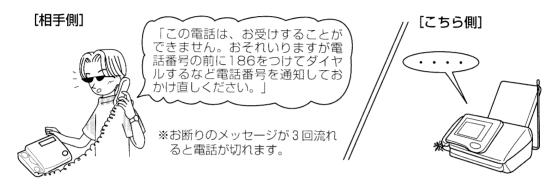
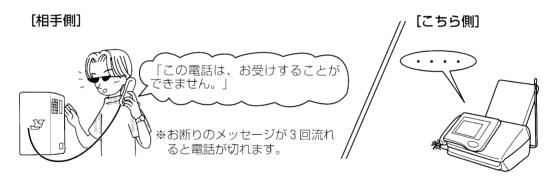
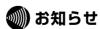
■ **子機の着信鳴り分けを解除するときは**

手順4で、「ピピッ」と鳴るまで(▲)または(▼)を押して、機能ボタンを押します。

● 個人別に鳴り分けを設定することはできません。

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

電話がかかってきたときに、「非通知の電話」、「公衆電話からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すこともできます。こちら側では呼出音は鳴りません。
はじめは「1：使用しない」に設定されています。

「非通知おことわり」のとき

「公衆電話おことわり」のとき

お知らせ

- お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

非通知おことわりを設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録　？
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質　取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 または で「詳細設定」を選び、 を押す

詳細設定　？
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質　取消

3 または で「ナンバーディスプレイ」を選び、 を押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ　？
1 着信鳴り分け
2 電話帳登録呼出音
3 非通知おことわり
画質　取消

4 または で「非通知おことわり」を選び、 を押す

非通知おことわり　？
1 使用しない
2 使用する
画質　取消

5 または で「使用する」を選び、 を押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
使用する
に設定しました
画質　取消

- **「使用しない」**：非通知おことわりを使用しません。
- **「使用する」**：お断りメッセージを流して、電話を切ります。

6 停止 を押す

- お断りメッセージにしたときは相手の方には呼出音が２回鳴ったあと、メッセージが３回流れて電話が切れます。

お知らせ

- お断りメッセージが流れるまでの呼出音は、こちら側では鳴りません。

公衆電話おことわりを設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

登録　?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質　取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 または で「詳細設定」を選び、（/決定）を押す

詳細設定　?
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質　取消

3 または で「ナンバーディスプレイ」を選び、（/決定）を押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ　?
1 着信鳴り分け
2 電話帳登録呼出音
3 非通知おことわり
画質　取消

4 または で「公衆おことわり」を選び、（/決定）を押す

公衆おことわり　?
1 使用しない
2 使用する
画質　取消

5 または で「使用する」を選び、（/決定）を押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
使用する
に設定しました
画質　取消

- **「使用しない」**：公衆電話お断りを使用しません。
- **「使用する」**：お断りメッセージを流して、電話を切ります。

6 停止 を押す

- お断りメッセージにしたときは相手の方には呼出音が2回鳴ったあと、メッセージが3回流れて電話が切れます。

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

登録した番号の相手の方から電話がかかってきたときは、
お断りのメッセージを流したりすることができます。

お断りメッセージを流すようにしたときは

（相手側）

「この電話は、お受けすることができません。」

呼出音が２回鳴り、
メッセージが３回流れたあと、
電話が切れます。

※お断りメッセージが流れるまでの呼出音は、こちら側では鳴りません。

（こちら側）

お断りする番号を登録する

1 登録 を押す

登録 ？
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質　取消

2 ▲ または ▼ で「詳細設定」を選び、決定 を押す

詳細設定 ？
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質　取消

3 ▲ または ▼ で「ナンバーディスプレイ」を選び、決定 を押す

ナンバーディスプレイ ？
1 着信鳴り分け
2 電話帳登録呼出音
3 非通知おことわり
画質　取消

4 ▲ または ▼ で「お断り番号登録」を選び、決定 を押す

お断り番号登録 ？
1 登録
2 クリア
画質　取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

5 「登録」を選び、決定を押す

お断り番号登録
特定　NO.=
00-29 を 入力
画質　取消

6 登録番号（2ケタ）を入れる（00～29）

お断り番号登録
相手NO.セットください
画質　取消

●番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 電話番号を入れる（最大20ケタ）

お断り番号登録
NO.=0312345678
最後に［L/決定］で決定
画質　取消

●電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。

8 決定を押す

お断り番号登録
登録しました
画質　取消

●手順6～8をくり返して、30件の番号を登録できます。

9 停止を押す

■ 登録したお断りの番号を消すときは

① 登録ボタンを押す
② ▲または▼で「詳細設定」を選び、決定を押す
③ ▲または▼で「ナンバーディスプレイ」を選び、決定を押す
④ ▲または▼で「お断り番号登録」を選び、決定を押す
⑤ ▲または▼で「クリア」を選び、決定を押す
⑥ 消去する登録番号（00～29）を入れる
⑦ 決定を押す
（続けて他の登録番号を消すときは、⑥～⑦をくり返す）
⑧ 停止ボタンを押す

■ 登録したお断りの番号をプリントして確かめる

記録紙がセットされていることを確認する
① 機能選択ボタンを押す
② ▲または▼で「お断り番号リスト」を選ぶ
③ 決定を押す（お断り番号のリストが印刷されます。）

お知らせ

● お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

キャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます。

■ **このサービスをご利用の際は、①～③のサービスへの利用契約が必要です。**
① ナンバー・ディスプレイ（有料）
② キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③ キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※ ③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくは当社の営業所等へお問い合わせください。

■ **サービスを契約したあとは、2つの設定をする必要があります。**
・必ずキャッチホン・ディスプレイ（サービス利用設定）を「する」に設定してください。（P.8-25）
また、ナンバー・ディスプレイ（サービス利用設定）が「する」になっていることを確認してください。（P.8-3）

通話中に電話がかかってくると…

■通話中に電話がかかってくると、相手の方の番号を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の番号を表示して、子機には表示しません。

データの受信完了

子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の番号を表示して、親機には表示しません。

データの受信完了

■電話帳に登録している相手の方から通話中に電話がかかってきたときは名前を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の名前を表示して、子機には表示しません。

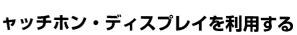
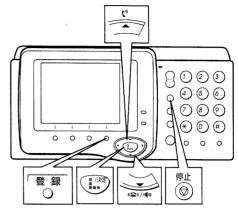
データの受信完了

子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の名前を表示して、親機には表示しません。

データの受信完了

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイサービスで電話を受けたときは、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。（P.8-6～8-7）
● 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。
● 親機・子機の両方で名前を表示するためには、それぞれ両方の電話帳に名前と電話番号を登録してください。

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「する」にしてください。
（はじめは、「しない」に設定されています。）
※ サービスを契約しているのに、利用設定を「しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

キャッチホン・ディスプレイ（番号表示）を利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 **を押す**

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 ▲ **または** ▼ **で「初期登録」を選び、** 決定 **を押す**

初期登録 ?
1 日付・時刻
2 発信元番号
3 発信元名
画質 取消

3 ▲ **または** ▼ **で「サービス利用設定」を選び、** 決定 **を押す**

ｻｰﾋﾞｽ利用設定 ?
1 ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
2 ｷｬｯﾁﾎﾝﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
画質 取消

4 ▲ **または** ▼ **で「キャッチホンディスプレイ」を選び、** 決定 **を押す**

ｷｬｯﾁﾎﾝﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ?
1 する
2 しない
画質 取消

5 ▲ **または** ▼ **で「する」を選び、** 決定 **を押す**

ｻｰﾋﾞｽ利用設定
する
に設定しました
画質 取消

- 「する」に設定されます。
- キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは、手順5で「しない」を選び、決定 を押します。

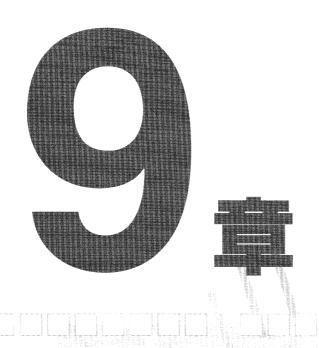
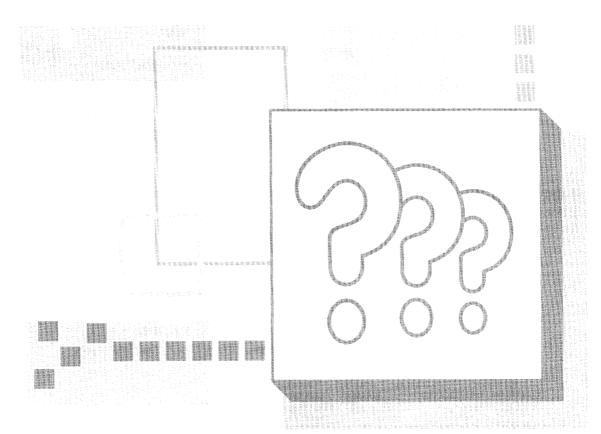
6 停止 **を押す**

通話中に電話がかかってきたときは

ディスプレイ表示		着信情報
親機	子機	
0387654321 画質 機能選択 登録	0387654321 <キャッチホン>	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
池田 悟 0387654321 画質 機能選択 登録	池田 悟 0387654321 <キャッチホン>	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときで、電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは名前を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） **電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
非通知 画質 機能選択 登録	−非通知− <キャッチホン>	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
表示圏外 画質 機能選択 登録	−表示圏外− <キャッチホン>	相手の方がサービスを行っていない地域より電話をかけたときや、サービスの契約条件等により、番号が表示できないとき表示します。
公衆電話 画質 機能選択 登録	−公衆電話− <キャッチホン>	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
受信ｴﾗｰ 画質 機能選択 登録	−受信ｴﾗｰ− <キャッチホン>	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。
161 画質 機能選択 登録	161 <キャッチホン>	Fネット（鳴動着信：16Hz）でFAX受信したときに表示します。

お知らせ

- 地域によっては、キャッチホン・ディスプレイをご利用の際に、工事が必要になる場合もあります。詳しくは、当社の営業所等へお問い合わせください。
- 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中は電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
- キャッチホン・ディスプレイサービスは、他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくは当社の営業所等へお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイの割り込み着信表示は、親機（20秒）／子機（30秒）表示して、通話中表示に戻ります。
- キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
  - ・ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
  - ・キャッチホンⅡサービスを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
  - ・キャッチボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。（ファクス受信するときは、スタートボタンを押してください。）
- 次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
  - ・大きな声で通話しているとき
  - ・周囲が騒がしいとき
  - ・設置場所から当社の交換機まで距離が離れすぎているとき
- 通話中にキャッチホン着信が入ると、約１秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイサービスが使えない場合があります。
- キャッチホン・ディスプレイサービスを契約後に、「しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの呼出音が鳴ります。
- キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知おことわりや公衆電話おことわり、お断り番号着信などは働きません。（相手の方にメッセージは聞こえません。）
- キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は利用設定を「しない」に設定してください。お話中の声で、キャッチホン・ディスプレイがはたらいて、キャッチホン割り込みがないのに通話が途切れてしまうことがあります。
- １本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。

9章

こまったときは

声が聞こえにくいときは

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

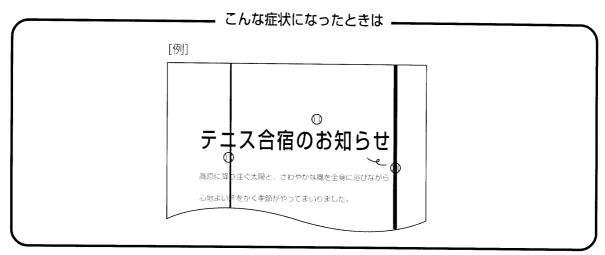
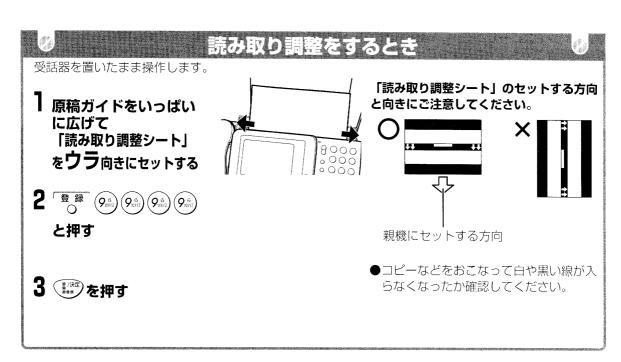
設定項目	登録の操作手順
親機送話音量切替 親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときは	登録 ▶ または で「**音量調整**」を選ぶ ▶ /決定 ▶「**親機送話音量切替**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**大**」を選ぶ ●元にもどすときは「**標準**」を選ぶ ●音量を小さくするときは「**小**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ●続けて「子機送話音量切替」の設定ができます。 ●終了するときは 停止 を押す
子機送話音量切替 子機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときは	登録 ▶ または で「**音量調整**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**子機送話音量切替**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**大**」を選ぶ ●元にもどすときは「**標準**」を選ぶ ●音量を小さくするときは「**小**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ●続けて「子機受話音量切替」の設定ができます。 ●終了するときは 停止 を押す
子機受話音量切替 子機使用中、相手の方の声が聞こえにくいときは	登録 ▶ または で「**音量調整**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**子機受話音量切替**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ または で「**大**」を選ぶ ●元にもどすときは「**標準**」を選ぶ ●音量を小さくするときは「**小**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ 終了するときは 停止 を押す

記録紙に白や黒い線が入るときは

親機やハンドコピーでコピーした記録紙または、送信時、相手の方の受信用紙に白や黒い線が入るときなどは原稿読取部のガラスや原稿送りローラに修正液やインクなどの汚れが付着している可能性があります。
こんなときは、まずガラスと原稿送りローラの汚れをふき取ってください。
それでも、黒線などが消えない場合は、付属の「読み取り調整シート」を使ってください。（P.9-4）

ガラスの清掃

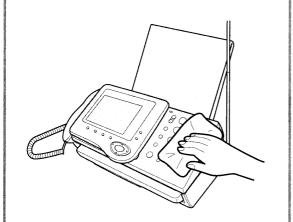
汚れのひどいときや原稿がスリップして正しくセットできないときは、水にひたした布をよくしぼって、ふきとります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

お知らせ

- 読み取り調整シートは捨てないで大切に保管しておいてください。
- 読み取り調整シートは汚したり曲げたりしないでください。
- 読み取り調整シートが汚れたときは、水にひたした布をよくしぼって汚れをふき取ります。
- 読み取り調整シートを使用しても黒線などが消えないときは、局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。
- 読み取り調整は正しく行わないとコピーやファクス送信できなくなることがあります。読み取り調整を行ったあとで「ハンドコピーを再セット」と表示されたときは、もう一度正しい操作で読み取り調整を行ってください。
- 読み取り調整シートを正しく原稿挿入口にセットしたとき全く引き込まれなくても、登録ボタンを押したあと、9 9 9 9 と押して、最後に を押すと読み取り調整が始まります。

お手入れのしかた

親機や子機が汚れたときは、乾いた柔らかい布でふいてください。

親機の清掃

親機は、乾いた柔らかい布でふいてください。

汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

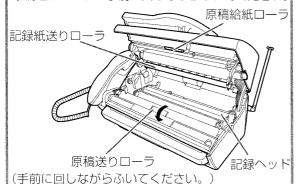
子機、充電器、充電端子の清掃

子機や充電器、充電端子は、乾いた柔らかい布でふいてください。

汗などついた手で、充電端子を触らないようにしてください。充電端子が汚れていると、充電ができなくなることがあります。綿棒や乾いた布でふいてください。

記録ヘッド、記録紙送りローラ、原稿送りローラ、原稿給紙ローラの清掃

記録ヘッド、記録紙送りローラ、原稿給紙ローラ、原稿送りローラは、乾いた柔らかい布でふいてください。
また、ローラの部分は回しながらふいてください。
原稿送りローラは手前に回しながらふいてください。

(手前に回しながらふいてください。)

記録紙送りローラや原稿送りローラ、原稿給紙ローラの汚れがひどいときは、布に水を含ませて、固く絞ってから、ローラの部分を回しながらふき取ってください。(ただし記録ヘッドは水ぶきしないでください。)

■ **汚れが落ちないときは**

- コピーして、まだ汚れているときは、もう一度やり直してください。
- 受信ファクスの汚れが消えないときは、相手側が汚れている場合があります。

お知らせ

- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。
  (変色、変形、変質や故障の原因になります。)
- 汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。ただし記録ヘッドや充電端子は水ぶきしないでください。
- 記録ヘッドは熱くなっている場合があります。電源コードを抜いてよく冷ましてから清掃してください。

原稿や記録紙がつまったときは

原稿がつまったときは、

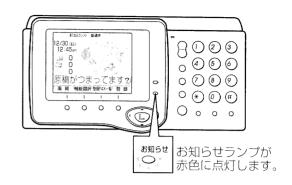
① 機能選択 を押す

② ▲ または ▼ で
「原稿排出」を選ぶ

③ を押す（自動的に原稿が排出されます）

お知らせランプが
赤色に点灯します。

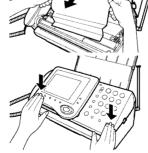
排出されないときは、次の手順で取り除いてください。

操作ガイド ? を押すとエラー表示の案内が表示されます。
（P.1-17）

原稿がつまったときは

記録紙をセットしているときは、記録紙カセットカバーを取り外して、記録紙を取り出してから操作します。
（P.1-21）

1 操作パネル解除レバーを「カチッ」というまで上げる

2 操作パネルを開ける

3 つまった原稿を取り除く

●つまった原稿が途中で破れないよう注意して取り除いてください。

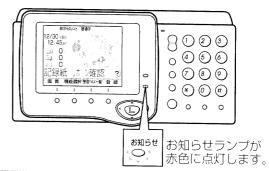
4 原稿が取り除けたら、操作パネルを閉める

記録紙を再セットしてください。（P.1-21）

お知らせ

● 原稿は無理に引っぱると、破れることがあります。また、故障の原因になります。

記録紙がつまったときは次の手順で取り除いてください。
プリントの途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。
そのときはまず記録紙を取り出してから、インクリボンを交換してください。（P.9-8〜9-9）

を押すとエラー表示の案内が表示されます。
（P.1-17）

記録紙がつまったときは

記録紙をセットしているときは、記録紙カセットカバーを取り外して、記録紙を取り出してから操作します。
（P.1-21）

1 操作パネル解除レバーを「カチッ」というまで上げる

2 操作パネルを開ける

3 つまった記録紙を取り出す

4 緑色のギヤを矢印の方向にまわして、インクリボンのたるみを取る

5 操作パネルを閉める

記録紙を再セットしてください。（P.1-21）

お知らせ

- 操作パネルを開けないままでつまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- 記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に取り除いてください。

インクリボンの交換が必要になったときは

インクリボンがなくなったときは交換してください。
インクリボンが、カートリッジと一体型なので交換が簡単です。

操作ガイド(?)を押すと、交換方法の案内（インクリボンの点検）を表示させることができます。（P.1-17）

インクリボンは、必ずカートリッジー体型の当社指定品をお使いください。
ファクシミリ用P形A4インクリボン（4）
インクリボン30mでA4原稿を通常使用で約100枚プリントすることができます。(P.10-2) なお、あらかじめお買い求め時に付属しているインクリボンはテスト用のため、消耗品として別売しているものにくらべて長さが短くなっています。
ご購入の際はNTT-ME/DOパーツサービスセンタまたは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

NTT-MEパーツサービスセンタ
NTT-DOパーツサービスセンタ ：0120-86-8289

インクリボンの交換のしかた

記録紙をセットしているときは
①記録紙カセットカバーを取り外す
②記録紙を取り出す　（P.1-21）

1 操作パネル解除レバーを上げて操作パネルを開ける

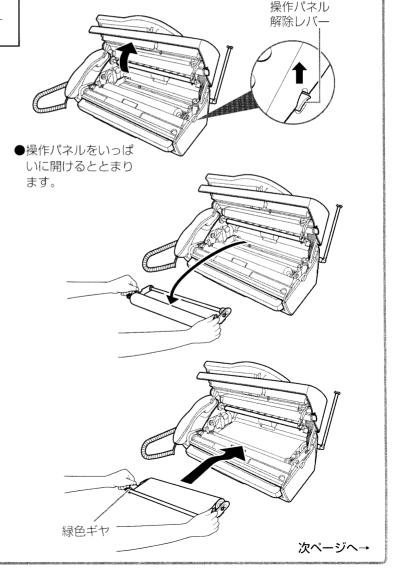
操作パネル
解除レバー

●操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 使用済みのカートリッジ付インクリボンを取り出す

3 新しいカートリッジ付インクリボンを緑色のギヤが左手前になるように取り付ける

緑色ギヤ

次ページへ→

→つづき

4 緑色ギヤを奥へまわしてインクリボンのたるみを取る

●インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。

5 操作パネルを閉める

この部分をしっかり押して閉めてください

●インクリボンがたるんでいるとき「インクリボン点検」と表示されます。
こんなときは、もう一度手順 4 ～ 5 をやり直してください。

記録紙を再セットします
①記録紙カセットに普通紙をセットする
②記録紙カセットカバーを取り付ける（P.1-21）

■ インクリボンを交換したあとに「受信データがあります」と表示しているときは

受信した内容がメモリーに残っていますので、プリントまたは消去してください。（P.4-24～4-25）

■ インクリボンの使用量を確かめるときは

① 機能選択 を押す
② ▲ または ▼ を押して「インクリボン使用量」を選ぶ
③ 決定 を押す
④ ▲ または ▼ で「表示する」を選んで 決定 を押す（使用量を表示します）
▲ または ▼ で「クリア」を選んで 決定 を押すと、使用量が 0 mになります
⑤ 停止ボタンを押す

■ インクリボンの取り扱いについて

● ご使用済みのインクリボンにはコピーや受信したときの内容がフィルム上に白く残っています。コピーや受信した内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り取ってから、お捨てください。
● また、ご使用済みのインクリボンはカートリッジごと「不燃ゴミ」としてお捨てください。インクリボンのフィルムは、地域によっては「燃える」ゴミとして取り扱われている場合もあります。その場合は、インクリボンのフィルムとカートリッジを分けてお捨てください。
・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
・インクリボンの芯およびカートリッジはポリスチレン、ポリアセタール、ポリプロピレンなどでできています。

お知らせ

● インクリボンは必ず当社指定品をお使いください。（P.10-2）当社指定品以外のインクリボンをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。また、カートリッジ付きでないインクリボンなどは、ご使用になれませんのでご注意ください。

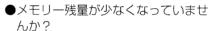
こんなときは（親機）

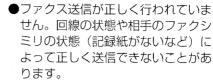
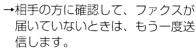
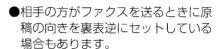
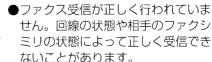
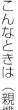
こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
動作しない…		●電話機コードや電源コードがはずれていませんか？ →電話機コード、電源コードをしっかりと接続します。それでも動作しないときは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所等（またはお買い求めになった販売店）へお問い合わせください。	1-18 9-31
液晶画面が…	変わる	●デモモードになっていませんか？ →電話回線の種類を正しく設定します。（自動的にデモモードは止まります。）	1-19
電話を…	かけられない	●電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。	1-18
		●電話回線の種類は正しく設定されていますか？ →正しく設定します。	1-19
		●電源が入っていますか？ →差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。	1-18
		●停電になっていませんか？ →停電のときは電話をかけることはできません。	9-27
		●子機をお使いになっていませんか？ →ご使用が終わってから電話をかけます。	—
	受けられない	●電話線コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。	1-18
		●電源が入っていますか？ →差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。	1-18
		●停電になっていませんか？ →停電のときは電話を受けることはできません。	9-27
		●ナンバー・ディスプレイを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定を「しない」にしていませんか？ →設定を「する」にします。	8-3
		●子機を優先呼出に設定していませんか？ →優先呼出を解除します。	2-10

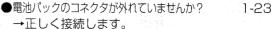
全く動作しないときなど、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
呼出音が…	鳴らない（聞こえにくい）	●呼出音を「切」に設定していませんか？（呼出音が小さすぎませんか？） →呼出音の音量を変えます。	1-26
		●子機を優先呼出に設定していませんか？ →優先呼出を解除します。	2-10
	設定している音とちがう	●ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分けの機能が働いている可能性があります。	8-15～8-17
スピーカー音が…	鳴らない（聞こえにくい）	●音量の設定が小さくなっていませんか？ →適当な大きさに調節します。	1-26
通話中に…	相手の方の声が聞こえにくい	●受話音量が小さすぎませんか？ →受話音量を大きくします。	1-26
	こちら側の声が相手の方に届かない	●受話器の下の穴（マイク）を手でふさいでいませんか？ →ふさがないように正しく持ちます。	1-8
	雑音が入る	●電話機コードと電源コードをいっしょに束ねていませんか？ →できるだけ離して接続します。	1-18
	通話を録音できない	●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →不要なメモリー受信データ、録音を消去します。	4-25、5-7
通話中や保留中に…	突然ファクス受信に切り替わる	●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。 →頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（ファクスを受けるときはスタートボタンを押します。）	4-26
原稿が（を）…	まっすぐに入っていかない	●原稿ガイドは原稿の幅に合わせて調節されていますか？ →原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。	3-3
		●原稿挿入口に紙片などの異物がつまっていませんか？ →紙片などの異物を取り除きます。	－

こんなときは		●原因 →対応	参照ページ
原稿が（を）…	セットできない	●ハンドコピーは正しくセットされていますか？ →ハンドコピーを正しく取り付けます。	3-10
		●「ハンドコピー外れています」と表示されていませんか？ →ハンドコピーを正しく取り付けます。	3-10
		ハンドコピーを正しくセットしても、「ハンドコピー再セット」と表示されているときは、付属の「読み取り調整シート」を使って読み取り調整を行います。	9-4
記録紙が…	よく詰まる（送り込まれない）	●よくさばいてからセットしていますか？ →よくさばいてからセットします。	1-21
		●記録紙を入れすぎていませんか？ →一度にセットできるのは30枚までです。	1-21
		●当社指定品をお使いですか？ →当社指定品をお使いください。	10-2
	白紙で出てくる	●コピーをしているときは、原稿を裏向きにセットしていますか？ →正しくセットしてください。	3-3
		●ファクス受信をしているときは、相手の方が原稿の表裏をまちがえてセットしていませんか？ →相手の方に確認します。	—
コピーすると…	白紙が出てくる	●原稿が表向きにセットされていませんか？ →裏向きにセットします。	3-3
	画像が悪い（白や黒い線が入る）	●記録ヘッドやハンドコピーのガラス面が汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。	9-3、9-5
		汚れをふき取っても黒線などが消えないときは、付属の「読み取り調整シート」を使って読み取り調整を行います。	9-4
		●記録紙やインクリボンは当社の指定品をお使いですか？ →当社の指定品をご使用ください。	10-2

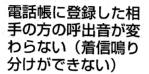
こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
コピーすると…	両端が欠けてプリントされる	●B4原稿を等倍でコピーしていませんか？ →B4原稿をコピーするときは、縮小コピーします。	3-6〜3-7
	上下の部分が欠けてプリントされる	●規定の大きさより幅が小さい原稿（ハガキなど）をコピーしていませんか？ →規定の大きさより幅が小さい原稿はハンドコピーを使ってコピーします。	3-11
	「メモリー残量不足」と表示される	●メモリー残量が少なくなっていませんか？ →メモリー使用量を確認します。	5-7
		●拡大、縮小、マルチコピーでは画像をいったんメモリーに読み込みます。メモリ容量が少なくなって「メモリー残量不足」と表示されます。 →ハンドコピーを使うか、通常の等倍コピーでコピーしてください。	3-6〜3-7
ハンドコピーが（で）…	充電できない	●電池パックのコネクタが外れていませんか？ →電池パックのコネクタを正しく接続します。	1-24〜1-25
	読み取れない	●電池パックのコネクタが外れていませんか？ →電池パックのコネクタを正しく接続します。	1-24〜1-25
		●電池パックの容量が少なくなっていませんか？ →ハンドコピーを充電します。	1-24〜1-25
		●ハンドコピーのメモリーがいっぱいになっていませんか？ →不要なメモリーを消去します。	3-15
	コピーすると上下や左右が逆さまに写る	●ハンドコピーの読み取り方向が逆になっていませんか？ →ハンドコピーに表示されている矢印の方向に動かします。	3-11〜3-13
	ランプが赤色点滅して「ピピッ…ピピッ」と鳴る	●ハンドコピーの電池パックの残量がなくなっています。 →ハンドコピーを親機に取り付けて充電します。	3-10

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ファクスを…	送れない	●電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。	1-18
		●原稿は正しくセットされていますか？ →正しくセットしてください。	3-3
		●ハンドコピーが外れていませんか？ →ハンドコピーを正しくセットします。	3-10
		●相手の方のファクスの記録紙がなくなっていませんか？ →相手の方に確認します。	－
	受けられない	●電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。	1-18
		●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →不要なメモリー受信データ、録音を消去します。	4-25、5-7
		●在宅モード時のコール回数を7回以上でお使いのとき、相手の方が自動送信していませんか？ （相手の方のファクシミリが送信を中止してしまうことがあります。） →在宅モード時のコール回数を6回以下に設定するか、呼出音が鳴っているときに受話器を取ってスタートボタンを押します。	4-17～ 4-18
ファクスを送信したが…	終了音が鳴らない	●終了音を「なし」にしていませんか？ →終了音を「鳥の声」または「アラーム音」にします。	4-26
	相手の方の記録紙に何もプリントされない	●原稿を表向きにセットしていませんか？ →原稿の送る面を裏向きにセットします。	3-3
	相手の方に届いたファクスの画像が悪い	●原稿送りローラやハンドコピーのガラス面が汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。	9-3、 9-5
		汚れをふき取っても黒線などが消えないときは、付属の「読み取り調整シート」を使って読み取り調整を行います。	9-4

こんなときは		●原因 →対応	参照ページ
ファクスを送信したが…	「通信エラー」と表示されている	●ファクス送信が正しく行われていません。回線の状態や相手のファクシミリの状態（記録紙がないなど）によって正しく送信できないことがあります。 →相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。	—
		●キャッチホンサービスをご利用のときでファクス通信中に、他の方から着信がありませんでしたか？ →相手の方に確認して、ファクスが届いていないときは、もう一度送信します。	6-19
ファクスを受信したが…	記録紙に何もプリントされない	●相手の方がファクスを送るときに原稿の向きを裏表逆にセットしている場合もあります。 →相手の方に確認します。	—
		●「受信プリント」の設定を「見てからプリント」にしていませんか？ →メモリー受信しています。P.4-24の手順でプリントできます。	4-27
	ファクスの画像が悪い	●記録紙やインクリボンは当社の指定品をお使いですか？ →当社の指定品をご使用ください。	10-2
		●記録ヘッドや記録紙送りローラは汚れていませんか？ →汚れをふき取ります。	9-5
		●雷が鳴っていませんでしたか？ →回線の状態が悪くなっていることがあります。相手の方に、もう一度送信を依頼します。	—
		●キャッチホンを利用していませんか？（受信中に電話がかかると画像が乱れることがあります。） →相手の方に、もう一度送信を依頼します。	6-19
	「通信エラー」と表示されている	●ファクス受信が正しく行われていません。回線の状態や相手のファクシミリの状態によって正しく受信できないことがあります。 →相手の方に、もう一度送信を依頼します。	—

こんなときは		●原因 →対応	参照ページ
情報サービスを…	受けられない 	●ダイヤル回線を使用しているときで、情報サービスに接続後、トーン（プッシュホン）信号に切り替えましたか？ →情報サービスに接続後、トーン（プッシュホン）信号に切り替えます。	6-18
留守モードに設定しても…	自分で作った応答メッセージが流れない	●応答メッセージの設定が「固定」になっていませんか？ →応答メッセージの設定を確認します。 ●記録紙やインクリボン、録音するためのメモリーがなくなっていませんか？ →記録紙やインクリボンをセットします。 →不要なメモリー受信データ、録音を消去します。	5-2 1-21、9-8～9-9 4-25、5-7
	用件録音できない（用件録音されていない）	●メモリーがいっぱいになっていませんか？ →不要なメモリー受信データ、録音を消去します。	4-25、5-7
	留守モードを解除して再生しても留守ボタンが2回点滅している	●未再生の録音がありませんか？ →未再生の録音を再生します。	5-4～5-6
リモート操作で…	応答メッセージが流れない	●暗証番号を登録していますか？ →暗証番号を登録します。	6-10～6-11
登録操作が…	できない	●操作パネルが開いていませんか？ →操作パネルを正しく閉めます。	—
ディスプレイが消えていて、お知らせランプが点灯している		→表示/お知らせ確認 を押して、ディスプレイの表示を確認します。	9-21～9-22

こんなときは（子機）

こんなときは		●原因 →対応	参照ページ
動作しない…		●電池パックのコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	1-23
		●電池パックの容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。	1-23
電話を…	かけられない／受けられない 	●親機の電源コードや電話機コードは正しく接続されていますか？ →正しく接続します。	1-18
		●停電になっていませんか？ →停電のときは電話をかけることはできません。	9-27
		●別の所で親機や他の子機を使用していませんか？ →使用が終わってから電話をかけます。	—
		●電池パックのコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	1-23
		●電池パックの容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。	1-23
		●親機から離れすぎていませんか？ →電波が届く範囲で使います。	1-7
		●電波が干渉しやすい環境で使っていませんか？ →少し動かしてみるか、場所を少し移動してみます。	—
充電が…	できない	●電源アダプタのコードが充電器から外れていませんか？ →正しく接続します。	1-22
		●子機や充電器の充電端子が汚れていませんか？ →充電端子の汚れをふき取ります。	9-5
		●電池パックのコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	1-23

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
呼出音が…	鳴らない（聞こえにくい）	●呼出音を「切」や「小」に設定していませんか？ →呼出音の音量を変えます。	1-27
		●電池パックのコネクタが外れていませんか？ →正しく接続します。	1-23
		●電池パックの容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。	1-23
		●親機や他の子機、PHS、携帯電話の充電器などと一緒に置いていませんか？ →できるだけ離して設置してください。	1-8
	設定している音とちがう	●ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、着信鳴り分け機能が働いている場合があります。 →着信鳴り分けを解除します。	8-15、8-18
スピーカー音が…	聞こえにくい	●音量の設定が小さくなっていませんか？ →適当な大きさに調節します。	1-27
通話中に…	相手の方の声が聞こえにくい	●受話音量が小さすぎませんか？ →受話音量を大きくします。	1-27
	こちら側の声が相手の方に届かない	●子機の送話口（マイク）を手でふさいでいませんか？ →ふさがないように正しく持ちます。	1-8
	雑音が入る	●親機と子機が離れすぎていませんか？ →雑音が入らない位置で子機を使用します。	1-7
		●親機やPHS、携帯電話の充電器、その他の電気製品の近くで通話していませんか？ →他の電気製品から離れて子機を使用します。	1-8
		●親機のアンテナに電源コードや電話機コードを巻き付けていませんか？ →アンテナから電源コード、電話機コードを取ります。	1-8
通話中や保留中に…	突然ファクス受信に切り替わる	●声などに反応して、まれに、おまかせ受信が働くことがあります。 →頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。（ファクスを受けるときは機能ボタンを押します。）	4-26

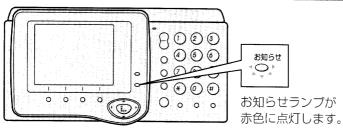
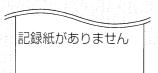
こんなときは（各種サービス）

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
ナンバー・ディスプレイで…	相手の方の電話番号が表示されない	●ナンバー・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。	8-2
		●「サービス利用設定」のナンバー・ディスプレイを「する」にしていますか？ →「する」に設定します。	8-3
	電話帳に登録した相手の方の呼出音が変わらない（着信鳴り分けができない）	●電話帳に登録した番号は市外局番から登録しましたか？ →着信鳴り分け機能をご使用のときは、相手の方の電話番号を市外局番から登録してください。	2-12～2-14 2-19～2-20
キャッチホン・ディスプレイで…	相手の方の電話番号が表示されない	●キャッチホン・ディスプレイサービスの利用契約をされましたか？ →表示させるときは、ナンバー・ディスプレイの契約とキャッチホン・ディスプレイおよび「キャッチホン、キャッチホンII、マジックボックス、ボイスワープ、話中転送」サービスの中から、いずれかの契約が必要です。	8-24
		●「サービス利用設定」のキャッチホン・ディスプレイとナンバー・ディスプレイを「する」にしていますか？ →「する」に設定します。	8-3、8-25
Lモードが…	利用できない	●Lモードサービスの利用契約をされましたか？ →当社との契約が必要です。 →電波障害などで操作できないことがあります。 **「Lモード」サービスの詳細につきましては当社の営業所等へお問い合わせください。**	7-3
		●キャッチホンなどが入りませんでしたか？ →通信が不安定になり、通信回線が切断されることがあります。	7-49

こんなときは		●原因　→対応	参照ページ
Lモードの…	メールの送信・受信ができない 	●送信先のアドレスが正しく合っていますか？ →正しいアドレスを入力します。	7-8
		●「受信メール」がメールでいっぱいになっていませんか？ →必要のないメールは早めに消去します。 「受信メール」に保存できる件数は30件までです。30件を越えるとメールの受信ができなくなります。	7-28

こんなときは（エラー表示／アラーム音）

親機を使っているとき

お知らせランプが
赤色に点灯します。

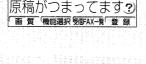
ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ

●記録紙がなくなっていませんか？
　→記録紙をセットします。
●記録紙が正しくセットされていますか？
　→記録紙を正しくセットします。

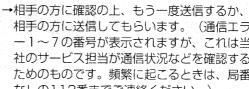
参照ページ：1-21

●メモリー受信したデータがあります。
　→メモリー受信したデータをプリントまたは、消去してください。

参照ページ：4-24～4-25

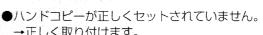
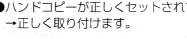
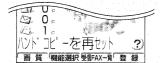
●原稿が途中で止まっています。
　→機能選択ボタンを押し「原稿排出」を選んで（決定）を押します。
　それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します。

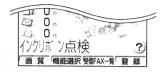
参照ページ：9-6

「通信エラーがありました。」と聞こえる

●回線の状態などで送信や受信ができていないことがあります。
　→相手の方に確認の上、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます。（通信エラー1～7の番号が表示されますが、これは当社のサービス担当が通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、局番なしの113番までご連絡ください。）

参照ページ：—

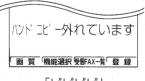
●長時間連続してプリントやコピーをしていませんか？
●真っ黒に印刷されていませんか？
　→記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなります。しばらくお待ちください。

参照ページ：—

●ハンドコピーが正しくセットされていません。
　→正しく取り付けます。

参照ページ：3-10

「ハンドコピーをセットし直してください」と音声が聞こえる

こんなときは（エラー表示／アラーム音）

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
記録紙/リボン確認	●記録紙がつまっていませんか？ →つまった記録紙を取り除きます。 ●インクリボンがなくなっていませんか？ →インクリボンをセットします。	9-7 9-8～9-9
インクリボン点検	●インクリボンがなくなっていませんか？ →インクリボンをセットします。 ●インクリボンがたるんでいませんか？ →緑色のギヤをまわして、たるみをとります。	9-8～9-9
受信メモリー不足	●メモリー使用量を確認します。 →不要な録音メッセージを消去します。 →メモリー受信した内容をプリントします。	 5-7 4-24
カバーが開いています	●操作パネルは開いていませんか？ →操作パネルを閉めます。	―
メモリーオーバー	●メモリー使用量を確認します。 →不要な録音メッセージを消去します。 →メモリー受信した内容をプリントします。	 5-7 4-24

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ

●下記のメッセージが表示されたときは、お知らせランプは点灯しません。

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
ハンドコピー外れています 「ピピピピ」	●ハンドコピーが外れたまま原稿をセットしていませんか？ →正しく取り付けます。	3-10
外線自動応答中	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。	―
外線使用中　1 「ツーツー」音が聞こえる	●子機を使用中です。（子機番号を表示します。） →子機の使用が終わるまでお待ちください。	―

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ

●下記のメッセージが表示されたときは、お知らせランプは点灯しません。

「ツーツー」音が聞こえる

●増設電話機を使用中です。
→増設電話機の使用が終わるまでお待ちください。

参照ページ：—

件数が一杯です
画質　機能選択　受信FAX一覧　登録

●録音件数が30件になっていませんか？
→不要な録音メッセージを消去します。

参照ページ：5-7

Ｌモードを使っているとき

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ

緑色点灯

●Ｌモードゲートウェイに接続している間は、緑色に点灯しています。

参照ページ：—

●Ｌモードゲートウェイとの接続に失敗しました。
→もう一度操作をやり直してください。

参照ページ：—

●端末機器自動設定がうまく設定されていません。
→もう一度設定し直してください。

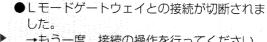
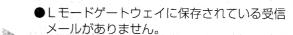
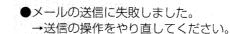
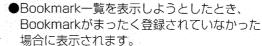
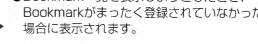
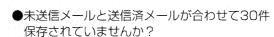
参照ページ：7-4

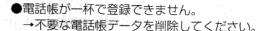
●ページがうまく取得できませんでした。
→ページの再読み込みを行ってください。

参照ページ：7-58

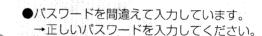
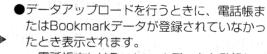
●接続先にこちらからの接続を拒否されました。
→接続先に確認して、接続可能にしてもらいます。

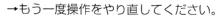
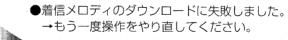
参照ページ：—

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
	●指定されたページが見つかりませんでした。 →正しいURL（アドレス）を指定し直してください。	7-59
	●Ｌモードゲートウェイとの接続が切断されました。 →もう一度、接続の操作を行ってください。	7-48
	●Ｌモードゲートウェイに保存されている受信メールがありません。	—
	●メールの送信に失敗しました。 →送信の操作をやり直してください。	7-8～7-9
	●Bookmark一覧を表示しようとしたとき、Bookmarkがまったく登録されていなかった場合に表示されます。	7-52
	●画面メモが登録されていません。 →画面メモを登録してください。	7-61
	●未送信メールと送信済メールが合わせて30件保存されていませんか？ →不要な未送信メールや送信済メールを削除してください。 ●受信メールが30件保存されていませんか？ →不要な受信メールを削除してください。	7-40～7-41、7-45 7-26、7-28
	●送信や保存するメールに宛先が入力されていません。 →宛先を入力してから送信や保存の操作をやり直してください。	7-8

ディスプレイ表示／アラーム音	●原因　→対応	参照ページ

●すでに15件のメールに保護機能がかけられていて、新しくメールに保護機能をかけることができません。
→必要の無い保護機能がかけられたメールを解除してください。
7-27

●電話帳が一杯で登録できません。
→不要な電話帳データを削除してください。
2-14

●すでに画面メモが3件登録されていて新しく登録できません。
→不要な画面メモを削除してください。
7-62

●パスワードを間違えて入力しています。
→正しいパスワードを入力してください。
—

●データアップロードを行うときに、電話帳またはBookmarkデータが登録されていなかったとき表示されます。
→電話帳またはBookmarkデータを登録してください。
2-12～2-13、7-52

●電話帳またはBookmarkのデータダウンロードに失敗しました。
→もう一度操作をやり直してください。
7-68～7-69

●着信メロディのダウンロードに失敗しました。
→もう一度操作をやり直してください。
7-51

●表示可能なサイズを超えるホームページを表示しようとしました。
—

子機を使っているとき

アラーム音	●原因　→対応	参照ページ
「ピーピー」	●親機や増設子機、増設電話機が使用中ではありませんか？ →親機や増設子機、増設電話機を確認します。	—
	●親機から離れすぎていませんか？ →電波が届く範囲で使います。	1-7
	●親機の電源コードがはずれていませんか？ →電源コードを接続します。	1-18
	●親機でハンドコピーして読み取ったデータやメモリー受信したデータを表示していませんか？	—
	●親機が「Ｌモード」を使用中ではありませんか？ →親機を確認します。	—
「ピピピピ」	●名前文字数やアラーム時刻の設定など登録範囲を超えていませんか？	—
「ピッピッピッ…」	●子機の電池パックの容量が少なくなっていませんか？ →充電器に子機をセットして充電します。	1-22～1-23
「ピッピッピッピッ」	●子機が使用範囲を超えていませんか？ →約20秒後に電話が切れますので速やかに使用範囲内に戻ってください。	1-7
子機で通話中に「ピーピー」と２回鳴ってすぐに切れる	●大きな雑音が聞こえる場所で長い時間使っていませんか？ →雑音の少ないところで使います。	1-7

停電になったときは

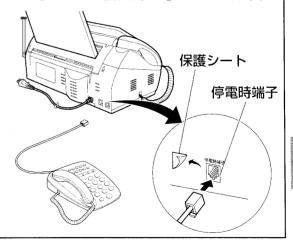
停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

電話機	●親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ●スピーカーホン機能は働きません。 ●子機を使用することはできません。通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。 ●各種サービスは働きません。
留守番	●留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ●外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ●停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	●停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ●送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ●メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。
コピー	●停電中は、通常のコピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。 ●ハンドコピーで読み取ってメモリーに記憶した内容は、電池パックの容量が残っている間は消えません。復旧後、コピーやファクス送信ができます。電池パックの容量がなくなったときは、復旧後、充電してからもう一度読み取りなおします。
登録した内容	●電話帳などに登録されている内容は、内蔵のリチウム電池で保持されていますので消えません。
ドアホン	●停電中は、使用することはできません。ドアホン通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。

停電中は停電時端子に電話機を接続して使うと「電話をかける」または「電話を受ける」ことができます。

●停電時端子に電源不要の電話機を接続しておくと、停電中でも接続した電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。

●ナンバー・ディスプレイをご利用時に停電になったときは、停電時端子に電話機を接続していると、はじめに少し短い呼出音が電話機で鳴ります。（このとき受話器を取ってもお話しできません。）このあと通常の呼出音が鳴りますので、このとき電話機の受話器を取ると、お話しできます。

お知らせ

● 停電などで電源が切れたときは、Ｌモードゲートウェイのアクセスポイント電話番号（センター番号）が消去されます。もう一度操作をして登録し直してください。（P.7-4）

電池パックの交換が必要になったときは

長時間充電しても通話できる時間が短いときや、ハンドコピーを使える時間が短いときは、新しい別売りの電池パックと交換してください。
ご購入の際はNTT-ME/DOパーツサービスセンタまたは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

NTT-ME パーツサービスセンタ
NTT-DO パーツサービスセンタ：0120-86-8289

電池パックを交換すると次の項目データが消えたり、初期状態に戻ったりします。これ以外の内容は変わりません。
- 時刻、アラーム設定、呼出音量、受話音量、再ダイヤル、優先呼出の表示

約1年程度で交換してください

子機やハンドコピーに内蔵している専用の電池パックは消耗品です。
使用頻度にもよりますが、約1年程度で電池パックの容量が減少していきます。
そのときは、いっぱいに充電された状態でも、続けて使用できる時間が、短くなってきます。長時間充電してもすぐに電池パックの容量がなくなるときには、新しい別売りの電池パック（P.10-2）に交換してください。

子機の電池パックを交換する

1 電池カバーを外して、電池パックを取り外す

2 新しい電池パックを入れる

3 電池カバーを取り付ける

電池パックのコードをはさまないように電池カバーを取り付ける
電池パックを交換したあとは、電池カバーをもとどおり取り付けて充電してください

10時間以上充電
してください。

ハンドコピーの電池パックを交換する

1 ハンドコピーの中央を押さえて引き出す

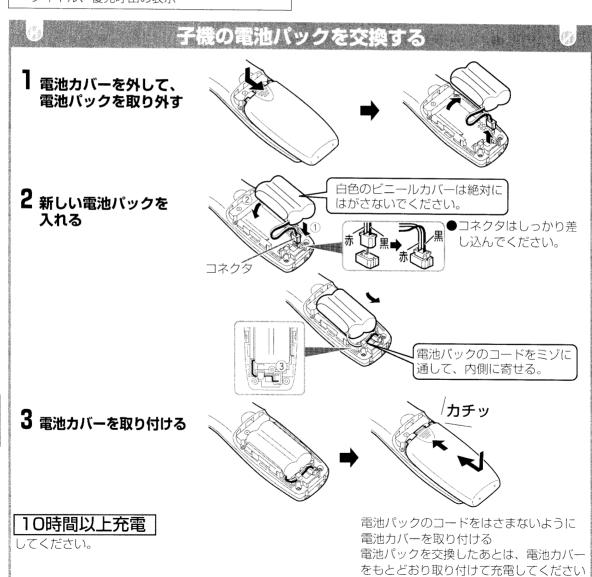
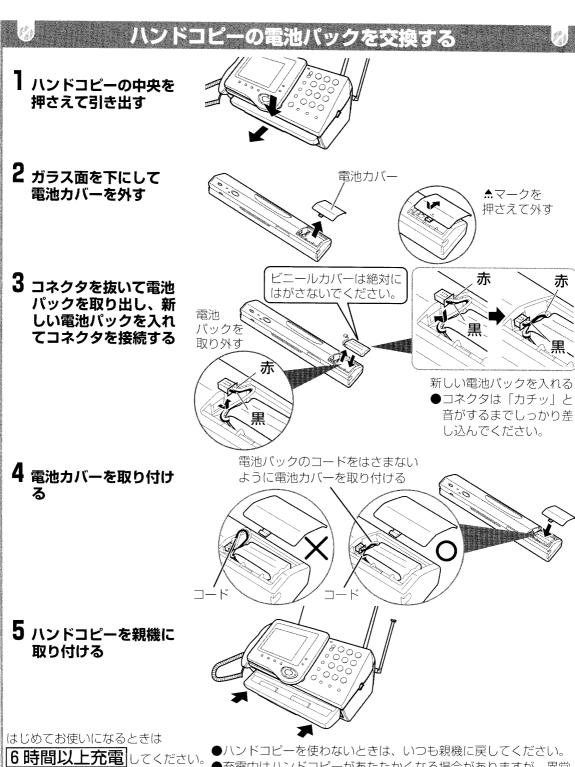
2 ガラス面を下にして電池カバーを外す

3 コネクタを抜いて電池パックを取り出し、新しい電池パックを入れてコネクタを接続する

4 電池カバーを取り付ける

5 ハンドコピーを親機に取り付ける

はじめてお使いになるときは

6時間以上充電してください。

親機に取り付けるだけで充電が始まります。

●ハンドコピーを使わないときは、いつも親機に戻してください。
●充電中はハンドコピーがあたたかくなる場合がありますが、異常ではありません。

■ 電池パックについて

- 電池パックは使わないで放置しておいても自己放電します。
  このため、新しい電池パックでもはじめから容量が少なくなっていたり、全くないことがあります。
  これは、電池パックの不良ではありません。
- 電池パックをはじめて使うときや、長時間使わなかったときは、必ず充電してください。
- 電池パックが自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。
  このようなときは、充電と通話または読み取り（充電・放電）を何回か繰り返すと通常の状態に戻ります。

■ 充電式電池のリサイクルご協力のお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。
  - この商品またはニッケル水素電池をお買い求めいただいた販売店または当社のサービス取扱所
  - （社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センター、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
    詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。
- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
  - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
  - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - 電池を分解しないでください。

お知らせ

- ハンドコピーで、読み取っているときや、動作中には電池パックを取り外さないでください。データを正しく記録できないことがあります。

故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）

・ディスプレイ表示が化けている。
・ボタンが全く効かない。
・電話帳リストなどをプリントするとデータがみだれている。
・コピーなど、プリントができない状態が続く。
・その他、誤動作する。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン（IC）を使用している機器が、大きな外来ノイズがあると誤動作するときに発生します。
修理やアフターサービスをお申しつけになる前に、

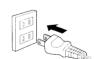
●まず差し込みプラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。これだけで症状が改善することがあります。
●また、電話帳以外クリアや電話帳初期化をすることで、症状が改善することもあります。（P.10-3～10-4）
（電話帳や登録設定した内容は消去されます。）

それでも症状が改善されないときは次の操作（強制リセット）をおこなってみてください。**【但し、強制リセットをおこなった場合、電話帳に登録した内容など、全てのデータが消えてお買い求め時の状態に戻りますのでご注意ください。（お買い求め時にあらかじめ登録されていた電話帳２件分が復活します。）】**（ハンドコピーで読み取った内容は消えません。）

また、強制リセットをおこなっても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所等（お買い求めの販売店）へお申しつけください。

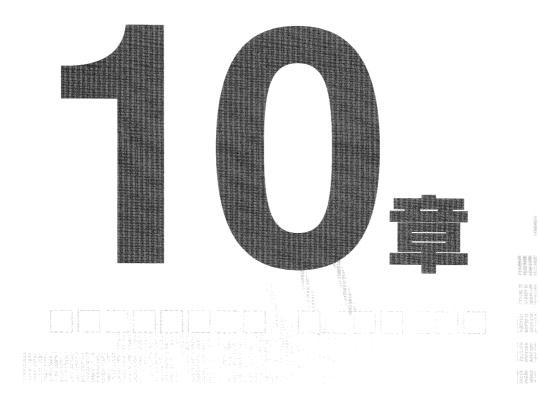
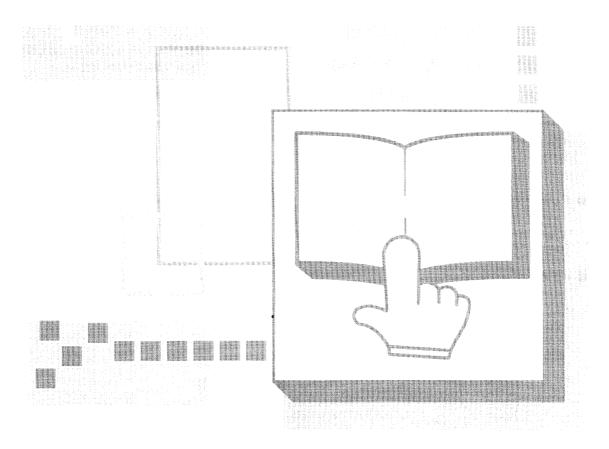
強制リセット操作方法

1 親機の差し込みプラグを電源コンセントから抜き取る

2 FAXスタート と 停止 を同時に押したまま、差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

3 ディスプレイに「Memory Clear」と表示されるまで FAXスタート と 停止 を約２秒間押したままにする

4 FAXスタート と 停止 から指を離す

●強制リセットをしたあと、自動的に回線種別の設定を行います。
電話をかけられるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。
●強制リセット後の主な登録内容は、P.10-5の表の「初期値」になります。

10章

ご参考に

別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。このファクシミリを長い間安心してお使いいただくためにも、当社指定品をお使いください。指定品以外の記録紙やインクリボンを使用されると印刷がかすれたり、薄く印刷されたりすることがあります。

■ **増設用コードレス電話機** ※

アナログコードレス電話機「S1」
コードレス電話機は、もう3台加えて最大4台まで使うことができます。増設用のコードレス電話機には、充電器と電池パックなどがセットされています。

■ **充電器／電源アダプタ** ※

●充電器
アナログコードレス電話機「S1」用充電器
●電源アダプタ
アナログコードレス電話機「S1」用充電器電源アダプタ

■ **ドアホン** ※

ドアホンは2台まで接続することができます。玄関や勝手口などで来客との応対ができる次のドアホンが使用できます。
E-ドアホンS、E-ドアホンD

■ **テレビドアホン** ※

シャープ（株）製テレビドアホンDZ-MH70を使用してください。テレビドアホンは1台しか接続できません。

■ **ドアホンボックス** ※

シャープ（株）製ターミナルボックスDZ-T20-WHを使用してください。
テレビドアホンを接続する場合は、シャープ（株）製テレビドアホン対応ターミナルボックスDZ-T30-W、ドアホンのみを接続する場合は、シャープ（株）製ターミナルボックスDZ-T20-WHを使用してください。

■ **記録紙**

ファクシミリ用P形A4記録紙（1）
A4サイズ（100枚1組）

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTTFAX P-752LC用記録紙以外はご使用にならないでください。
当社指定の記録紙については、NTT-ME/DOパーツサービスセンタ（ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ **インクリボン**

ファクシミリ用P形A4インクリボン（4）（約30m）
インクリボンについては、NTT-ME/DOパーツサービスセンタ（ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ **アナログコードレス電話機用電池パック**

電池パック-074
《アナログコードレス電話機「S1」用電池パック》
電池パックについては、NTT-ME/DOパーツサービスセンタ（ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ **ハンドコピー（ハンドスキャナ）用電池パック**

電池パック-075
《NTTFAX P-752LCハンドスキャナ用電池パック》
電池パックについては、NTT-ME/DOパーツサービスセンタ（ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

お知らせ

● ※印は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお申し付けください。

親機の登録・設定・電話帳の内容を初期化するときは

登録・設定した内容をお買い求め時に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。（ハンドコピーで読み取った内容は消えません。）
また、初期化をしても日付や時刻は変わりません。

電話帳以外をクリアすると登録・設定した内容の他に、留守録のメモ録音、メモリー受信データ、メール、Bookmark、画像メモのデータがすべてお買い求め時に戻ります。（消去されます。）

登録・設定した内容などをお買い求め時に戻すときは（電話帳以外を初期化）

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 または で「詳細設定」を選び、/決定 を押す

詳細設定 ?
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質 取消

3 または で「初期化」を選び、/決定 を押す

初期化 ?
1 電話帳以外クリア
2 電話帳初期化
画質 取消

4 「電話帳以外クリア」を選び、/決定 を押す

電話帳以外クリア ?
1 しない
2 する
画質 取消

5 または で「する」を選び、/決定 を押す

初期化
クリアしました
画質 取消

●電話帳の内容を除いてお買い求め時の設定に戻ります。（P.10-5）

6 停止 を押す

お知らせ

● 初期化したあと自動的に回線種別の設定を行います。電話などをかけられる時は、回線種別の設定（約20秒）が終わってからかけてください。

電話帳に登録した内容をすべて消去する（電話帳初期化）

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 登録 を押す

登録 ?
1 初期登録
2 音量調整
3 親機呼出音
画質 取消

2 または で「詳細設定」を選び、を押す

詳細設定 ?
1 液晶濃度調整
2 待機画面表示
3 留守録
画質 取消

3 または で「初期化」を選び、を押す

初期化 ?
1 電話帳以外クリア
2 電話帳初期化
画質 取消

4 または で「電話帳初期化」を選び、を押す

電話帳初期化 ?
1 しない
2 する
画質 取消

5 または で「する」を選び、を押す

初期化
クリアしました
画質 取消

●電話帳の登録件数が2件になります。（消去していたときでも再登録されます。）

6 停止 を押す

初期設定（お買い求め時）一覧表

お買い求め時の初期設定

分類	項目	初期値	選択項目	参照ページ
日時	日付・時刻の設定	親機：お買い求め時に設定済 子機：未登録	初期登録	1-30～1-33
	アラーム	解除（子機のみ）	解除／設定	6-6～6-7
音量・音の種類・音の回数	呼出音量	親機：3 子機：大	親機：5段階 子機：小／大	1-26～1-27
	受話音量	親機：2 子機：標準	親機：5段階 子機：標準／特大	1-26～1-27
	スピーカー音量	親機：3 子機：標準	親機：5段階 子機：標準／大	1-26～1-27
	呼出音の種類	親機：電話ベル音 子機：パターン1	親機：12種類 子機：12種類	1-28～1-29
	留守モード時のコール回数	4回	①トールセーバー ②回数選択（01～25回）	5-3
	在宅モード時のコール回数	無制限	①回数選択（01～25回） ②無制限呼出	4-17～4-18
	終了音の種類	鳥の声	①鳥の声／②アラーム音 ③なし	4-26
	親機キータッチ音	あり	①あり／②なし	4-28
	子機キータッチ音出力	設定	設定／解除	6-9
受信	おまかせ受信（親機／子機）	あり	①あり／②なし	4-26
留守録	お声拝聴	あり	①あり／②なし	5-10
送信	あなたの名前（発信元名）	未登録	初期登録	1-36～1-37
	あなたの番号（発信元番号）	未登録	初期登録	1-34～1-35

別途付加サービスが必要な機能				参照ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	する	利用設定 ①する／②しない	8-3
	キャッチホン・ディスプレイ	しない	利用設定 ①する／②しない	8-25

特別設定について

使用状況に応じて、次の 3 項目を親機で設定することができます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

お買い求め時は　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
発信音待ち時間 応答メッセージが流れ終わってから、録音開始音「ピーッ」音が流れるまでの時間を設定します。	登録 ▶ #を 4 回押す ▶ 決定 ▶ または で「**留守録**」を選ぶ ▶ 決定 ▶「**発信音待ち時間**」▶ 決定 ▶ または で 1：1秒 2：2秒 3：4秒 から選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
TA対応 ISDN回線（INSネット64）でターミナルアダプタ（TA）をご利用時に設定します。 （「TA接続」に設定すると、親機や子機で外線通話時の送受話音量を小さくすることができます。）	登録 ▶ #を 4 回押す ▶ 決定 ▶ または で「**TA対応**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：回線接続 2：TA接続 のどちらかを選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
キャッチホン切替時間 キャッチボタンを押したときに回線を開放する時間を設定します。 （交換機の種類などによりキャッチボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。）	登録 ▶ #を 4 回押す ▶ 決定 ▶ または で「**キャッチホン切替時間**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：0.4秒 2：0.6秒 3：0.8秒 から選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	NTTFAX P-752LC　送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線帯域、Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・独自圧縮
通信モード	G3　＊1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8本／mm（普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本／mm（普通字） 7.7本／mm（小さな字、写真） 15.4本／mm（精細）＊2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	バックライト付大型カラー液晶ディスプレイ　漢字表示
通信速度	9 600／7 200／4 800／2 400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約15秒　＊3
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙サイズ	A4サイズ
最大記録有効幅	205mm
最大送信原稿幅	257mm
読み取り有効幅	251mm

■ コードレスハンドコピー部

ハンドコピー メモリー容量	12Mbit DRAM A4標準原稿（A4判700字程度の原稿）　約36枚 または、A4写真原稿　約3枚	
ハンドコピー 充電時間	約6時間	
ハンドコピー 使用時間＊4	連続動作時間 動作待機時間	約1.5時間 約3時間

■ 留守録部

オリジナル 応答メッセージ	1件
用件録音時間	約12分（応答メッセージ1件、メモリー受信データ含む） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

■ コードレス部（子機）

充電完了時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時＊5 標準設定時：約200時間 長時間設定時：約240時間 通話時：約6時間（スピーカーホン通話を除く）
表示装置	液晶ディスプレイ　漢字表示
増設可能子機	アナログコードレス電話機「S1」

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS／20PPS） ／PB信号（DTMF）	
呼び出し方式	トーンリンガー（呼出音）呼び出し ／（音量切替式）	
電話番号の 記憶容量	電話帳：100人分 （32桁以内）×2番号 再ダイヤル：1局	電話帳：100人分 （16桁以内）×2番号 再ダイヤル：10局

■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法	338（幅）×217（奥行）×173（高さ）mm 受話器含む、カセット部、突起部、アンテナを除く	44（幅）×43（奥行）×180（高さ）mm	66（幅）×84.5（奥行）×81（高さ）mm
質量	約 3.8 kg ハンドコピー用電池パック、インクリボン、記録紙カセット含む	約145g 電池パック含む	約85g 電源アダプタ含まず
電源	AC100V±10V　50／60Hz	2.4V、600mAh （ニッケル水素電池）＊6	入力：AC100V±10V　50／60Hz 出力：DC7.5V　100mA
消費電力 （100VAC）	約2.0W（待機時）／ 約105W（動作時最大）	約1.0W（待機時） 約1.6W（充電中）	
使用環境	温度　5℃～35℃　　相対湿度　30%～85%RH		
直流抵抗値	282Ω		

＊1　本機で送受信できるのは、相手機もG3規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）
＊2　ITU-T(国際規格)準拠
＊3　A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本／mm）で高速モード（9600 bit／s）、独自圧縮で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊4　周囲温度約25℃で使用した場合の目安時間。使用条件により、使用時間は異なります。
＊5　待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信の呼出音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
＊6　電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。交換の際は、当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

区点コード一覧表

	0101
、	0102
。	0103
，	0104
．	0105
・	0106
：	0107
；	0108
？	0109
！	0110
゛	0111
゜	0112
´	0113
｀	0114
¨	0115
＾	0116
￣	0117
＿	0118
ヽ	0119
ヾ	0120
ゝ	0121
ゞ	0122
〃	0123
仝	0124
々	0125
〆	0126
〇	0127
ー	0128
―	0129
‐	0130
／	0131
＼	0132
～	0133
∥	0134
｜	0135
…	0136
‥	0137
‘	0138
’	0139
“	0140
”	0141
（	0142
）	0143
〔	0144
〕	0145
［	0146
］	0147
｛	0148
｝	0149
〈	0150
〉	0151
《	0152
》	0153
「	0154
」	0155
『	0156
』	0157
【	0158
】	0159
＋	0160
－	0161
±	0162

×	0163
÷	0164
＝	0165
≠	0166
＜	0167
＞	0168
≦	0169
≧	0170
∞	0171
∴	0172
♂	0173
♀	0174
°	0175
′	0176
″	0177
℃	0178
￥	0179
＄	0180
¢	0181
£	0182
％	0183
＃	0184
＆	0185
＊	0186
＠	0187
§	0188
☆	0189
★	0190
○	0191
●	0192
◎	0193
◇	0194
◆	0201
□	0202
■	0203
△	0204
▲	0205
▽	0206
▼	0207
※	0208
〒	0209
→	0210
←	0211
↑	0212
↓	0213
〓	0214
	0215
	0216
	0217
	0218
	0219
	0220
	0221
	0222
	0223
	0224
	0225
∈	0226
∋	0227
⊆	0228
⊇	0229

⊂	0230
⊃	0231
∪	0232
∩	0233
	0234
	0235
	0236
	0237
	0238
	0239
	0240
	0241
∧	0242
∨	0243
¬	0244
⇒	0245
⇔	0246
∀	0247
∃	0248
	0249
	0250
	0251
	0252
	0253
	0254
	0255
	0256
	0257
	0258
	0259
∠	0260
⊥	0261
⌒	0262
∂	0263
∇	0264
≡	0265
≒	0266
≪	0267
≫	0268
√	0269
∽	0270
∝	0271
∵	0272
∫	0273
∬	0274
	0275
	0276
	0277
	0278
	0279
	0280
	0281
Å	0282
‰	0283
♯	0284
♭	0285
♪	0286
†	0287
‡	0288
¶	0289
	0290
	0291

	0292
	0293
◯	0294
	0301
	0302
	0303
	0304
	0305
	0306
	0307
	0308
	0309
	0310
	0311
	0312
	0313
	0314
	0315
0	0316
1	0317
2	0318
3	0319
4	0320
5	0321
6	0322
7	0323
8	0324
9	0325
	0326
	0327
	0328
	0329
	0330
	0331
	0332
A	0333
B	0334
C	0335
D	0336
E	0337
F	0338
G	0339
H	0340
I	0341
J	0342
K	0343
L	0344
M	0345
N	0346
O	0347
P	0348
Q	0349
R	0350
S	0351
T	0352
U	0353
V	0354
W	0355
X	0356
Y	0357
Z	0358

	0359
	0360
	0361
	0362
	0363
	0364
a	0365
b	0366
c	0367
d	0368
e	0369
f	0370
g	0371
h	0372
i	0373
j	0374
k	0375
l	0376
m	0377
n	0378
o	0379
p	0380
q	0381
r	0382
s	0383
t	0384
u	0385
v	0386
w	0387
x	0388
y	0389
z	0390
	0391
	0392
	0393
	0394
ぁ	0401
あ	0402
ぃ	0403
い	0404
ぅ	0405
う	0406
ぇ	0407
え	0408
ぉ	0409
お	0410
か	0411
が	0412
き	0413
ぎ	0414
く	0415
ぐ	0416
け	0417
げ	0418
こ	0419
ご	0420
さ	0421
ざ	0422
し	0423
じ	0424
す	0425

ず	0426
せ	0427
ぜ	0428
そ	0429
ぞ	0430
た	0431
だ	0432
ち	0433
ぢ	0434
っ	0435
つ	0436
づ	0437
て	0438
で	0439
と	0440
ど	0441
な	0442
に	0443
ぬ	0444
ね	0445
の	0446
は	0447
ば	0448
ぱ	0449
ひ	0450
び	0451
ぴ	0452
ふ	0453
ぶ	0454
ぷ	0455
へ	0456
べ	0457
ぺ	0458
ほ	0459
ぼ	0460
ぽ	0461
ま	0462
み	0463
む	0464
め	0465
も	0466
ゃ	0467
や	0468
ゅ	0469
ゆ	0470
ょ	0471
よ	0472
ら	0473
り	0474
る	0475
れ	0476
ろ	0477
ゎ	0478
わ	0479
ゐ	0480
ゑ	0481
を	0482
ん	0483
	0484
	0485
	0486
	0487

	0488
	0489
	0490
	0491
	0492
	0493
	0494
ァ	0501
ア	0502
ィ	0503
イ	0504
ゥ	0505
ウ	0506
ェ	0507
エ	0508
ォ	0509
オ	0510
カ	0511
ガ	0512
キ	0513
ギ	0514
ク	0515
グ	0516
ケ	0517
ゲ	0518
コ	0519
ゴ	0520
サ	0521
ザ	0522
シ	0523
ジ	0524
ス	0525
ズ	0526
セ	0527
ゼ	0528
ソ	0529
ゾ	0530
タ	0531
ダ	0532
チ	0533
ヂ	0534
ッ	0535
ツ	0536
ヅ	0537
テ	0538
デ	0539
ト	0540
ド	0541
ナ	0542
ニ	0543
ヌ	0544
ネ	0545
ノ	0546
ハ	0547
バ	0548
パ	0549
ヒ	0550
ビ	0551
ピ	0552
フ	0553
ブ	0554

プ	0555
ヘ	0556
ベ	0557
ペ	0558
ホ	0559
ボ	0560
ポ	0561
マ	0562
ミ	0563
ム	0564
メ	0565
モ	0566
ャ	0567
ヤ	0568
ュ	0569
ユ	0570
ョ	0571
ヨ	0572
ラ	0573
リ	0574
ル	0575
レ	0576
ロ	0577
ヮ	0578
ワ	0579
ヰ	0580
ヱ	0581
ヲ	0582
ン	0583
ヴ	0584
ヵ	0585
ヶ	0586
	0587
	0588
	0589
	0590
	0591
	0592
	0593
	0594
Α	0601
Β	0602
Γ	0603
Δ	0604
Ε	0605
Ζ	0606
Η	0607
Θ	0608
Ι	0609
Κ	0610
Λ	0611
Μ	0612
Ν	0613
Ξ	0614
Ο	0615
Π	0616
Ρ	0617
Σ	0618
Τ	0619
Υ	0620
Φ	0621

Χ	0622
Ψ	0623
Ω	0624
	0625
	0626
	0627
	0628
	0629
	0630
	0631
	0632
α	0633
β	0634
γ	0635
δ	0636
ε	0637
ζ	0638
η	0639
θ	0640
ι	0641
κ	0642
λ	0643
μ	0644
ν	0645
ξ	0646
ο	0647
π	0648
ρ	0649
σ	0650
τ	0651
υ	0652
φ	0653
χ	0654
ψ	0655
ω	0656
	0657
	0658
	0659
	0660
	0661
	0662
	0663
	0664
	0665
	0666
	0667
	0668
	0669
	0670
	0671
	0672
	0673
	0674
	0675
	0676
	0677
	0678
	0679
	0680
	0681
	0682
	0683

	0684
	0685
	0686
	0687
	0688
	0689
	0690
	0691
	0692
	0693
	0694
А	0701
Б	0702
В	0703
Г	0704
Д	0705
Е	0706
Ё	0707
Ж	0708
З	0709
И	0710
Й	0711
К	0712
Л	0713
М	0714
Н	0715
О	0716
П	0717
Р	0718
С	0719
Т	0720
У	0721
Ф	0722
Х	0723
Ц	0724
Ч	0725
Ш	0726
Щ	0727
Ъ	0728
Ы	0729
Ь	0730
Э	0731
Ю	0732
Я	0733
	0734
	0735
	0736
	0737
	0738
	0739
	0740
	0741
	0742
	0743
	0744
	0745
	0746
	0747
	0748
а	0749
б	0750

в	0751
г	0752
д	0753
е	0754
ё	0755
ж	0756
з	0757
и	0758
й	0759
к	0760
л	0761
м	0762
н	0763
о	0764
п	0765
р	0766
с	0767
т	0768
у	0769
ф	0770
х	0771
ц	0772
ч	0773
ш	0774
щ	0775
ъ	0776
ы	0777
ь	0778
э	0779
ю	0780
я	0781
	0782
	0783
	0784
	0785
	0786
	0787
	0788
	0789
	0790
	0791
	0792
	0793
	0794
─	0801
│	0802
┌	0803
┐	0804
┘	0805
└	0806
├	0807
┬	0808
┤	0809
┴	0810
┼	0811
━	0812
┃	0813
┏	0814
┓	0815
┛	0816
┗	0817

┣	0818	0880	0947	1014	1076	1143	1210	1272	1339	1406	1468
┳	0819	0881	0948	1015	1077	1144	1211	1273	1340	1407	1469
┫	0820	0882	0949	1016	1078	1145	1212	1274	1341	1408	1470
┻	0821	0883	0950	1017	1079	1146	1213	1275	1342	1409	1471
╋	0822	0884	0951	1018	1080	1147	1214	1276	1343	1410	1472
┠	0823	0885	0952	1019	1081	1148	1215	1277	1344	1411	1473
┯	0824	0886	0953	1020	1082	1149	1216	1278	1345	1412	1474
┨	0825	0887	0954	1021	1083	1150	1217	1279	1346	1413	1475
┷	0826	0888	0955	1022	1084	1151	1218	1280	1347	1414	1476
┿	0827	0889	0956	1023	1085	1152	1219	1281	1348	1415	1477
┝	0828	0890	0957	1024	1086	1153	1220	1282	1349	1416	1478
┰	0829	0891	0958	1025	1087	1154	1221	1283	1350	1417	1479
┥	0830	0892	0959	1026	1088	1155	1222	1284	1351	1418	1480
┸	0831	0893	0960	1027	1089	1156	1223	1285	1352	1419	1481
╂	0832	0894	0961	1028	1090	1157	1224	1286	1353	1420	1482
	0833		0962	1029	1091	1158	1225	1287	1354	1421	1483
	0834	0901	0963	1030	1092	1159	1226	1288	1355	1422	1484
	0835	0902	0964	1031	1093	1160	1227	1289	1356	1423	1485
	0836	0903	0965	1032	1094	1161	1228	1290	1357	1424	1486
	0837	0904	0966	1033		1162	1229	1291	1358	1425	1487
	0838	0905	0967	1034	1101	1163	1230	1292	1359	1426	1488
	0839	0906	0968	1035	1102	1164	1231	1293	1360	1427	1489
	0840	0907	0969	1036	1103	1165	1232	1294	1361	1428	1490
	0841	0908	0970	1037	1104	1166	1233		1362	1429	1491
	0842	0909	0971	1038	1105	1167	1234	1301	1363	1430	1492
	0843	0910	0972	1039	1106	1168	1235	1302	1364	1431	1493
	0844	0911	0973	1040	1107	1169	1236	1303	1365	1432	1494
	0845	0912	0974	1041	1108	1170	1237	1304	1366	1433	
	0846	0913	0975	1042	1109	1171	1238	1305	1367	1434	1501
	0847	0914	0976	1043	1110	1172	1239	1306	1368	1435	1502
	0848	0915	0977	1044	1111	1173	1240	1307	1369	1436	1503
	0849	0916	0978	1045	1112	1174	1241	1308	1370	1437	1504
	0850	0917	0979	1046	1113	1175	1242	1309	1371	1438	1505
	0851	0918	0980	1047	1114	1176	1243	1310	1372	1439	1506
	0852	0919	0981	1048	1115	1177	1244	1311	1373	1440	1507
	0853	0920	0982	1049	1116	1178	1245	1312	1374	1441	1508
	0854	0921	0983	1050	1117	1179	1246	1313	1375	1442	1509
	0855	0922	0984	1051	1118	1180	1247	1314	1376	1443	1510
	0856	0923	0985	1052	1119	1181	1248	1315	1377	1444	1511
	0857	0924	0986	1053	1120	1182	1249	1316	1378	1445	1512
	0858	0925	0987	1054	1121	1183	1250	1317	1379	1446	1513
	0859	0926	0988	1055	1122	1184	1251	1318	1380	1447	1514
	0860	0927	0989	1056	1123	1185	1252	1319	1381	1448	1515
	0861	0928	0990	1057	1124	1186	1253	1320	1382	1449	1516
	0862	0929	0991	1058	1125	1187	1254	1321	1383	1450	1517
	0863	0930	0992	1059	1126	1188	1255	1322	1384	1451	1518
	0864	0931	0993	1060	1127	1189	1256	1323	1385	1452	1519
	0865	0932	0994	1061	1128	1190	1257	1324	1386	1453	1520
	0866	0933		1062	1129	1191	1258	1325	1387	1454	1521
	0867	0934	1001	1063	1130	1192	1259	1326	1388	1455	1522
	0868	0935	1002	1064	1131	1193	1260	1327	1389	1456	1523
	0869	0936	1003	1065	1132	1194	1261	1328	1390	1457	1524
	0870	0937	1004	1066	1133		1262	1329	1391	1458	1525
	0871	0938	1005	1067	1134	1201	1263	1330	1392	1459	1526
	0872	0939	1006	1068	1135	1202	1264	1331	1393	1460	1527
	0873	0940	1007	1069	1136	1203	1265	1332	1394	1461	1528
	0874	0941	1008	1070	1137	1204	1266	1333		1462	1529
	0875	0942	1009	1071	1138	1205	1267	1334	1401	1463	1530
	0876	0943	1010	1072	1139	1206	1268	1335	1402	1464	1531
	0877	0944	1011	1073	1140	1207	1269	1336	1403	1465	1532
	0878	0945	1012	1074	1141	1208	1270	1337	1404	1466	1533
	0879	0946	1013	1075	1142	1209	1271	1338	1405	1467	1534

文字	コード
	1535
	1536
	1537
	1538
	1539
	1540
	1541
	1542
	1543
	1544
	1545
	1546
	1547
	1548
	1549
	1550
	1551
	1552
	1553
	1554
	1555
	1556
	1557
	1558
	1559
	1560
	1561
	1562
	1563
	1564
	1565
	1566
	1567
	1568
	1569
	1570
	1571
	1572
	1573
	1574
	1575
	1576
	1577
	1578
	1579
	1580
	1581
	1582
	1583
	1584
	1585
	1586
	1587
	1588
	1589
	1590
	1591
	1592
	1593
	1594
【あ】	
亜	1601
唖	1602
娃	1603
阿	1604
哀	1605
愛	1606
挨	1607
姶	1608
逢	1609
葵	1610
茜	1611
穐	1612
悪	1613
握	1614
渥	1615
旭	1616
葦	1617
芦	1618
鯵	1619
梓	1620
圧	1621
斡	1622
扱	1623
宛	1624
姐	1625
虻	1626
飴	1627
絢	1628
綾	1629
鮎	1630
或	1631
粟	1632
袷	1633
安	1634
庵	1635
按	1636
暗	1637
案	1638
闇	1639
鞍	1640
杏	1641
【い】	
以	1642
伊	1643
位	1644
依	1645
偉	1646
囲	1647
夷	1648
委	1649
威	1650
尉	1651
惟	1652
意	1653
慰	1654
易	1655
椅	1656
為	1657
畏	1658
異	1659
移	1660
維	1661
緯	1662
胃	1663
萎	1664
衣	1665
謂	1666
違	1667
遺	1668
医	1669
井	1670
亥	1671
域	1672
育	1673
郁	1674
磯	1675
一	1676
壱	1677
溢	1678
逸	1679
稲	1680
茨	1681
芋	1682
鰯	1683
允	1684
印	1685
咽	1686
員	1687
因	1688
姻	1689
引	1690
飲	1691
淫	1692
胤	1693
蔭	1694
院	1701
陰	1702
隠	1703
韻	1704
吋	1705
【う】	
右	1706
宇	1707
烏	1708
羽	1709
迂	1710
雨	1711
卯	1712
鵜	1713
窺	1714
丑	1715
碓	1716
臼	1717
渦	1718
嘘	1719
唄	1720
欝	1721
蔚	1722
鰻	1723
姥	1724
厩	1725
浦	1726
瓜	1727
閏	1728
噂	1729
云	1730
運	1731
雲	1732
【え】	
荏	1733
餌	1734
叡	1735
営	1736
嬰	1737
影	1738
映	1739
曳	1740
栄	1741
永	1742
泳	1743
洩	1744
瑛	1745
盈	1746
穎	1747
頴	1748
英	1749
衛	1750
詠	1751
鋭	1752
液	1753
疫	1754
益	1755
駅	1756
悦	1757
謁	1758
越	1759
閲	1760
榎	1761
厭	1762
円	1763
園	1764
堰	1765
奄	1766
宴	1767
延	1768
怨	1769
掩	1770
援	1771
沿	1772
演	1773
炎	1774
焔	1775
煙	1776
燕	1777
猿	1778
縁	1779
艶	1780
苑	1781
薗	1782
遠	1783
鉛	1784
鴛	1785
塩	1786
【お】	
於	1787
汚	1788
甥	1789
凹	1790
央	1791
奥	1792
往	1793
応	1794
押	1801
旺	1802
横	1803
欧	1804
殴	1805
王	1806
翁	1807
襖	1808
鴬	1809
鴎	1810
黄	1811
岡	1812
沖	1813
荻	1814
億	1815
屋	1816
憶	1817
臆	1818
桶	1819
牡	1820
乙	1821
俺	1822
卸	1823
恩	1824
温	1825
穏	1826
音	1827
【か】	
下	1828
化	1829
仮	1830
何	1831
伽	1832
価	1833
佳	1834
加	1835
可	1836
嘉	1837
夏	1838
嫁	1839
家	1840
寡	1841
科	1842
暇	1843
果	1844
架	1845
歌	1846
河	1847
火	1848
珂	1849
禍	1850
禾	1851
稼	1852
箇	1853
花	1854
苛	1855
茄	1856
荷	1857
華	1858
菓	1859
蝦	1860
課	1861
嘩	1862
貨	1863
迦	1864
過	1865
霞	1866
蚊	1867
俄	1868
峨	1869
我	1870
牙	1871
画	1872
臥	1873
芽	1874
蛾	1875
賀	1876
雅	1877
餓	1878
駕	1879
介	1880
会	1881
解	1882
回	1883
塊	1884
壊	1885
廻	1886
快	1887
怪	1888
悔	1889
恢	1890
懐	1891
戒	1892
拐	1893
改	1894
魁	1901
晦	1902
械	1903
海	1904
灰	1905
界	1906
皆	1907
絵	1908
芥	1909
蟹	1910
開	1911
階	1912
貝	1913
凱	1914
劾	1915
外	1916
咳	1917
害	1918
崖	1919
慨	1920
概	1921
涯	1922
碍	1923
蓋	1924
街	1925
該	1926
鎧	1927
骸	1928
浬	1929
馨	1930
蛙	1931
垣	1932
柿	1933
蛎	1934
鈎	1935
劃	1936
嚇	1937
各	1938
廓	1939
拡	1940
撹	1941
格	1942
核	1943
殻	1944
獲	1945
確	1946
穫	1947
覚	1948
角	1949
赫	1950
較	1951
郭	1952
閣	1953
隔	1954
革	1955
学	1956
岳	1957
楽	1958
額	1959
顎	1960
掛	1961
笠	1962
樫	1963
橿	1964
梶	1965
鰍	1966
潟	1967
割	1968
喝	1969
恰	1970
括	1971
活	1972
渇	1973
滑	1974
葛	1975
褐	1976
轄	1977
且	1978
鰹	1979
叶	1980
椛	1981
樺	1982
鞄	1983
株	1984
兜	1985
竃	1986
蒲	1987
釜	1988
鎌	1989
噛	1990
鴨	1991
栢	1992
茅	1993
萱	1994
粥	2001
刈	2002
苅	2003
瓦	2004
乾	2005
侃	2006
冠	2007
寒	2008
刊	2009
勘	2010
勧	2011
巻	2012
喚	2013
堪	2014
姦	2015
完	2016
官	2017
寛	2018
干	2019
幹	2020
患	2021
感	2022
慣	2023
憾	2024
換	2025
敢	2026
柑	2027
桓	2028
棺	2029
款	2030
歓	2031
汗	2032
漢	2033
澗	2034
潅	2035
環	2036
甘	2037
監	2038
看	2039
竿	2040
管	2041
簡	2042
緩	2043
缶	2044
翰	2045
肝	2046
艦	2047
莞	2048
観	2049
諌	2050
貫	2051
還	2052
鑑	2053
間	2054
閑	2055
関	2056
陥	2057
韓	2058
館	2059
舘	2060
丸	2061
含	2062
岸	2063
巌	2064
玩	2065
癌	2066
眼	2067
岩	2068
翫	2069
贋	2070
雁	2071
頑	2072
顔	2073
願	2074
【き】	
企	2075
伎	2076
危	2077
喜	2078
器	2079
基	2080
奇	2081
嬉	2082
寄	2083
岐	2084
希	2085
幾	2086
忌	2087
揮	2088
机	2089
旗	2090
既	2091
期	2092
棋	2093
棄	2094
機	2101
帰	2102
毅	2103
気	2104
汽	2105
畿	2106
祈	2107
季	2108
稀	2109
紀	2110
徽	2111
規	2112
記	2113
貴	2114
起	2115
軌	2116
輝	2117
飢	2118
騎	2119
鬼	2120
亀	2121
偽	2122
儀	2123
妓	2124
宜	2125
戯	2126
技	2127
擬	2128
欺	2129
犠	2130
疑	2131
祇	2132
義	2133
蟻	2134
誼	2135
議	2136
掬	2137
菊	2138
鞠	2139
吉	2140
吃	2141
喫	2142
桔	2143
橘	2144
詰	2145
砧	2146
杵	2147
黍	2148
却	2149
客	2150
脚	2151
虐	2152
逆	2153
丘	2154
久	2155
仇	2156
休	2157
及	2158
吸	2159
宮	2160
弓	2161
急	2162
救	2163
朽	2164
求	2165
汲	2166
泣	2167
灸	2168
球	2169
究	2170
窮	2171
笈	2172
級	2173
糾	2174
給	2175
旧	2176
牛	2177
去	2178
居	2179
巨	2180
拒	2181
拠	2182
挙	2183
渠	2184
虚	2185
許	2186
距	2187
鋸	2188
漁	2189
禦	2190
魚	2191
亨	2192
享	2193
京	2194
供	2201
侠	2202
僑	2203
兇	2204
競	2205
共	2206
凶	2207
協	2208
匡	2209
卿	2210
叫	2211
喬	2212
境	2213
峡	2214
強	2215
彊	2216
怯	2217
恐	2218
恭	2219
挟	2220
教	2221
橋	2222
況	2223
狂	2224
狭	2225
矯	2226
胸	2227
脅	2228
興	2229
蕎	2230
郷	2231
鏡	2232
響	2233
饗	2234
驚	2235
仰	2236
凝	2237
尭	2238
暁	2239
業	2240
局	2241
曲	2242
極	2243
玉	2244

桐 2245
粁 2246
僅 2247
勤 2248
均 2249
巾 2250
錦 2251
斤 2252
欣 2253
欽 2254
琴 2255
禁 2256
禽 2257
筋 2258
緊 2259
芹 2260
菌 2261
衿 2262
襟 2263
謹 2264
近 2265
金 2266
吟 2267
銀 2268
【く】
九 2269
倶 2270
句 2271
区 2272
狗 2273
玖 2274
矩 2275
苦 2276
躯 2277
駆 2278
駈 2279
駒 2280
具 2281
愚 2282
虞 2283
喰 2284
空 2285
偶 2286
寓 2287
遇 2288
隅 2289
串 2290
櫛 2291
釧 2292
屑 2293
屈 2294

掘 2301
窟 2302
沓 2303
靴 2304
轡 2305
窪 2306
熊 2307
隈 2308
粂 2309
栗 2310
繰 2311
桑 2312
鍬 2313
勲 2314
君 2315
薫 2316
訓 2317
群 2318
軍 2319
郡 2320
【け】
卦 2321
袈 2322
祁 2323
係 2324
傾 2325
刑 2326
兄 2327
啓 2328
圭 2329
珪 2330
型 2331
契 2332
形 2333
径 2334
恵 2335
慶 2336
慧 2337
憩 2338
掲 2339
携 2340
敬 2341
景 2342
桂 2343
渓 2344
畦 2345
稽 2346
系 2347
経 2348
継 2349
繋 2350
罫 2351
茎 2352
荊 2353
蛍 2354
計 2355
詣 2356
警 2357
軽 2358
頚 2359
鶏 2360
芸 2361
迎 2362
鯨 2363
劇 2364
戟 2365
撃 2366
激 2367
隙 2368
桁 2369
傑 2370
欠 2371
決 2372
潔 2373
穴 2374
結 2375
血 2376
訣 2377
月 2378
件 2379
倹 2380
倦 2381
健 2382
兼 2383
券 2384
剣 2385
喧 2386
圏 2387
堅 2388
嫌 2389
建 2390
憲 2391
懸 2392
拳 2393
捲 2394

検 2401
権 2402
牽 2403
犬 2404
献 2405
研 2406
硯 2407
絹 2408
県 2409
肩 2410
見 2411
謙 2412
賢 2413
軒 2414
遣 2415
鍵 2416
険 2417
顕 2418
験 2419
鹸 2420
元 2421
原 2422
厳 2423
幻 2424
弦 2425
減 2426
源 2427
玄 2428
現 2429
絃 2430
舷 2431
言 2432
諺 2433
限 2434
【こ】
乎 2435
個 2436
古 2437
呼 2438
固 2439
姑 2440
孤 2441
己 2442
庫 2443
弧 2444
戸 2445
故 2446
枯 2447
湖 2448
狐 2449
糊 2450
袴 2451
股 2452
胡 2453
菰 2454
虎 2455
誇 2456
跨 2457
鈷 2458
雇 2459
顧 2460
鼓 2461
五 2462
互 2463
伍 2464
午 2465
呉 2466
吾 2467
娯 2468
後 2469
御 2470
悟 2471
梧 2472
檎 2473
瑚 2474
碁 2475
語 2476
誤 2477
護 2478
醐 2479
乞 2480
鯉 2481
交 2482
佼 2483
侯 2484
候 2485
倖 2486
光 2487
公 2488
功 2489
効 2490
勾 2491
厚 2492
口 2493
向 2494

后 2501
喉 2502
坑 2503
垢 2504
好 2505
孔 2506
孝 2507
宏 2508
工 2509
巧 2510
巷 2511
幸 2512
広 2513
庚 2514
康 2515
弘 2516
恒 2517
慌 2518
抗 2519
拘 2520
控 2521
攻 2522
昂 2523
晃 2524
更 2525
杭 2526
校 2527
梗 2528
構 2529
江 2530
洪 2531
浩 2532
港 2533
溝 2534
甲 2535
皇 2536
硬 2537
稿 2538
糠 2539
紅 2540
紘 2541
絞 2542
綱 2543
耕 2544
考 2545
肯 2546
肱 2547
腔 2548
膏 2549
航 2550
荒 2551
行 2552
衡 2553
講 2554
貢 2555
購 2556
郊 2557
酵 2558
鉱 2559
砿 2560
鋼 2561
閤 2562
降 2563
項 2564
香 2565
高 2566
鴻 2567
剛 2568
劫 2569
号 2570
合 2571
壕 2572
拷 2573
濠 2574
豪 2575
轟 2576
麹 2577
克 2578
刻 2579
告 2580
国 2581
穀 2582
酷 2583
鵠 2584
黒 2585
獄 2586
漉 2587
腰 2588
甑 2589
忽 2590
惚 2591
骨 2592
狛 2593
込 2594

此 2601
頃 2602
今 2603
困 2604
坤 2605
墾 2606
婚 2607
恨 2608
懇 2609
昏 2610
昆 2611
根 2612
梱 2613
混 2614
痕 2615
紺 2616
艮 2617
魂 2618
【さ】
些 2619
佐 2620
叉 2621
唆 2622
嵯 2623
左 2624
差 2625
査 2626
沙 2627
瑳 2628
砂 2629
詐 2630
鎖 2631
裟 2632
坐 2633
座 2634
挫 2635
債 2636
催 2637
再 2638
最 2639
哉 2640
塞 2641
妻 2642
宰 2643
彩 2644
才 2645
採 2646
栽 2647
歳 2648
済 2649
災 2650
采 2651
犀 2652
砕 2653
砦 2654
祭 2655
斎 2656
細 2657
菜 2658
裁 2659
載 2660
際 2661
剤 2662
在 2663
材 2664
罪 2665
財 2666
冴 2667
坂 2668
阪 2669
堺 2670
榊 2671
肴 2672
咲 2673
崎 2674
埼 2675
碕 2676
鷺 2677
作 2678
削 2679
咋 2680
搾 2681
昨 2682
朔 2683
柵 2684
窄 2685
策 2686
索 2687
錯 2688
桜 2689
鮭 2690
笹 2691
匙 2692
冊 2693
刷 2694

察 2701
拶 2702
撮 2703
擦 2704
札 2705
殺 2706
薩 2707
雑 2708
皐 2709
鯖 2710
捌 2711
錆 2712
鮫 2713
皿 2714
晒 2715
三 2716
傘 2717
参 2718
山 2719
惨 2720
撒 2721
散 2722
桟 2723
燦 2724
珊 2725
産 2726
算 2727
纂 2728
蚕 2729
讃 2730
賛 2731
酸 2732
餐 2733
斬 2734
暫 2735
残 2736
【し】
仕 2737
仔 2738
伺 2739
使 2740
刺 2741
司 2742
史 2743
嗣 2744
四 2745
士 2746
始 2747
姉 2748
姿 2749
子 2750
屍 2751
市 2752
師 2753
志 2754
思 2755
指 2756
支 2757
孜 2758
斯 2759
施 2760
旨 2761
枝 2762
止 2763
死 2764
氏 2765
獅 2766
祉 2767
私 2768
糸 2769
紙 2770
紫 2771
肢 2772
脂 2773
至 2774
視 2775
詞 2776
詩 2777
試 2778
誌 2779
諮 2780
資 2781
賜 2782
雌 2783
飼 2784
歯 2785
事 2786
似 2787
侍 2788
児 2789
字 2790
寺 2791
慈 2792
持 2793
時 2794

次 2801
滋 2802
治 2803
爾 2804
璽 2805
痔 2806
磁 2807
示 2808
而 2809
耳 2810
自 2811
蒔 2812
辞 2813
汐 2814
鹿 2815
式 2816
識 2817
鴫 2818
竺 2819
軸 2820
宍 2821
雫 2822
七 2823
叱 2824
執 2825
失 2826
嫉 2827
室 2828
悉 2829
湿 2830
漆 2831
疾 2832
質 2833
実 2834
蔀 2835
篠 2836
偲 2837
柴 2838
芝 2839
屡 2840
蕊 2841
縞 2842
舎 2843
写 2844
射 2845
捨 2846
赦 2847
斜 2848
煮 2849
社 2850
紗 2851
者 2852
謝 2853
車 2854
遮 2855
蛇 2856
邪 2857
借 2858
勺 2859
尺 2860
杓 2861
灼 2862
爵 2863
酌 2864
釈 2865
錫 2866
若 2867
寂 2868
弱 2869
惹 2870
主 2871
取 2872
守 2873
手 2874
朱 2875
殊 2876
狩 2877
珠 2878
種 2879
腫 2880
趣 2881
酒 2882
首 2883
儒 2884
受 2885
呪 2886
寿 2887
授 2888
樹 2889
綬 2890
需 2891
囚 2892
収 2893
周 2894

宗 2901
就 2902
州 2903
修 2904
愁 2905
拾 2906
洲 2907
秀 2908
秋 2909
終 2910
繍 2911
習 2912
臭 2913
舟 2914
蒐 2915
衆 2916
襲 2917
讐 2918
蹴 2919
輯 2920
週 2921
酋 2922
酬 2923
集 2924
醜 2925
什 2926
住 2927
充 2928
十 2929
従 2930
戎 2931
柔 2932
汁 2933
渋 2934
獣 2935
縦 2936
重 2937
銃 2938
叔 2939
夙 2940
宿 2941
淑 2942
祝 2943
縮 2944
粛 2945
塾 2946
熟 2947
出 2948
術 2949
述 2950
俊 2951
峻 2952
春 2953
瞬 2954
竣 2955
舜 2956

文字	コード
駿	2957
准	2958
循	2959
旬	2960
楯	2961
殉	2962
淳	2963
準	2964
潤	2965
盾	2966
純	2967
巡	2968
遵	2969
醇	2970
順	2971
処	2972
初	2973
所	2974
暑	2975
曙	2976
渚	2977
庶	2978
緒	2979
署	2980
書	2981
薯	2982
藷	2983
諸	2984
助	2985
叙	2986
女	2987
序	2988
徐	2989
恕	2990
鋤	2991
除	2992
傷	2993
償	2994
勝	3001
匠	3002
升	3003
召	3004
哨	3005
商	3006
唱	3007
嘗	3008
奨	3009
妾	3010
娼	3011
宵	3012
将	3013
小	3014
少	3015
尚	3016
庄	3017
床	3018
廠	3019
彰	3020
承	3021
抄	3022
招	3023
掌	3024
捷	3025
昇	3026
昌	3027
昭	3028
晶	3029
松	3030
梢	3031
樟	3032
樵	3033
沼	3034
消	3035
渉	3036
湘	3037
焼	3038
焦	3039
照	3040
症	3041
省	3042
硝	3043
礁	3044
祥	3045
称	3046
章	3047
笑	3048
粧	3049
紹	3050
肖	3051
菖	3052
蒋	3053
蕉	3054
衝	3055
裳	3056
訟	3057
証	3058
詔	3059
詳	3060
象	3061
賞	3062
醤	3063
鉦	3064
鍾	3065
鐘	3066
障	3067
鞘	3068
上	3069
丈	3070
丞	3071
乗	3072
冗	3073
剰	3074
城	3075
場	3076
壌	3077
嬢	3078
常	3079
情	3080
擾	3081
条	3082
杖	3083
浄	3084
状	3085
畳	3086
穣	3087
蒸	3088
譲	3089
醸	3090
錠	3091
嘱	3092
埴	3093
飾	3094
拭	3101
植	3102
殖	3103
燭	3104
織	3105
職	3106
色	3107
触	3108
食	3109
蝕	3110
辱	3111
尻	3112
伸	3113
信	3114
侵	3115
唇	3116
娠	3117
寝	3118
審	3119
心	3120
慎	3121
振	3122
新	3123
晋	3124
森	3125
榛	3126
浸	3127
深	3128
申	3129
疹	3130
真	3131
神	3132
秦	3133
紳	3134
臣	3135
芯	3136
薪	3137
親	3138
診	3139
身	3140
辛	3141
進	3142
針	3143
震	3144
人	3145
仁	3146
刃	3147
塵	3148
壬	3149
尋	3150
甚	3151
尽	3152
腎	3153
訊	3154
迅	3155
陣	3156
靭	3157
【す】	
笥	3158
諏	3159
須	3160
酢	3161
図	3162
厨	3163
逗	3164
吹	3165
垂	3166
帥	3167
推	3168
水	3169
炊	3170
睡	3171
粋	3172
翠	3173
衰	3174
遂	3175
酔	3176
錐	3177
錘	3178
随	3179
瑞	3180
髄	3181
崇	3182
嵩	3183
数	3184
枢	3185
趨	3186
雛	3187
据	3188
杉	3189
椙	3190
菅	3191
頗	3192
雀	3193
裾	3194
澄	3201
摺	3202
寸	3203
【せ】	
世	3204
瀬	3205
畝	3206
是	3207
凄	3208
制	3209
勢	3210
姓	3211
征	3212
性	3213
成	3214
政	3215
整	3216
星	3217
晴	3218
棲	3219
栖	3220
正	3221
清	3222
牲	3223
生	3224
盛	3225
精	3226
聖	3227
声	3228
製	3229
西	3230
誠	3231
誓	3232
請	3233
逝	3234
醒	3235
青	3236
静	3237
斉	3238
税	3239
脆	3240
隻	3241
席	3242
惜	3243
戚	3244
斥	3245
昔	3246
析	3247
石	3248
積	3249
籍	3250
績	3251
脊	3252
責	3253
赤	3254
跡	3255
蹟	3256
碩	3257
切	3258
拙	3259
接	3260
摂	3261
折	3262
設	3263
窃	3264
節	3265
説	3266
雪	3267
絶	3268
舌	3269
蝉	3270
仙	3271
先	3272
千	3273
占	3274
宣	3275
専	3276
尖	3277
川	3278
戦	3279
扇	3280
撰	3281
栓	3282
栴	3283
泉	3284
浅	3285
洗	3286
染	3287
潜	3288
煎	3289
煽	3290
旋	3291
穿	3292
箭	3293
線	3294
繊	3301
羨	3302
腺	3303
舛	3304
船	3305
薦	3306
詮	3307
賎	3308
践	3309
選	3310
遷	3311
銭	3312
銑	3313
閃	3314
鮮	3315
前	3316
善	3317
漸	3318
然	3319
全	3320
禅	3321
繕	3322
膳	3323
糎	3324
【そ】	
噌	3325
塑	3326
岨	3327
措	3328
曾	3329
曽	3330
楚	3331
狙	3332
疏	3333
疎	3334
礎	3335
祖	3336
租	3337
粗	3338
素	3339
組	3340
蘇	3341
訴	3342
阻	3343
遡	3344
鼠	3345
僧	3346
創	3347
双	3348
叢	3349
倉	3350
喪	3351
壮	3352
奏	3353
爽	3354
宋	3355
層	3356
匝	3357
惣	3358
想	3359
捜	3360
掃	3361
挿	3362
掻	3363
操	3364
早	3365
曹	3366
巣	3367
槍	3368
槽	3369
漕	3370
燥	3371
争	3372
痩	3373
相	3374
窓	3375
糟	3376
総	3377
綜	3378
聡	3379
草	3380
荘	3381
葬	3382
蒼	3383
藻	3384
装	3385
走	3386
送	3387
遭	3388
鎗	3389
霜	3390
騒	3391
像	3392
増	3393
憎	3394
臓	3401
蔵	3402
贈	3403
造	3404
促	3405
側	3406
則	3407
即	3408
息	3409
捉	3410
束	3411
測	3412
足	3413
速	3414
俗	3415
属	3416
賊	3417
族	3418
続	3419
卒	3420
袖	3421
其	3422
揃	3423
存	3424
孫	3425
尊	3426
損	3427
村	3428
遜	3429
【た】	
他	3430
多	3431
太	3432
汰	3433
詑	3434
唾	3435
堕	3436
妥	3437
惰	3438
打	3439
柁	3440
舵	3441
楕	3442
陀	3443
駄	3444
騨	3445
体	3446
堆	3447
対	3448
耐	3449
岱	3450
帯	3451
待	3452
怠	3453
態	3454
戴	3455
替	3456
泰	3457
滞	3458
胎	3459
腿	3460
苔	3461
袋	3462
貸	3463
退	3464
逮	3465
隊	3466
黛	3467
鯛	3468
代	3469
台	3470
大	3471
第	3472
醍	3473
題	3474
鷹	3475
滝	3476
瀧	3477
卓	3478
啄	3479
宅	3480
托	3481
択	3482
拓	3483
沢	3484
濯	3485
琢	3486
託	3487
鐸	3488
濁	3489
諾	3490
茸	3491
凧	3492
蛸	3493
只	3494
叩	3501
但	3502
達	3503
辰	3504
奪	3505
脱	3506
巽	3507
竪	3508
辿	3509
棚	3510
谷	3511
狸	3512
鱈	3513
樽	3514
誰	3515
丹	3516
単	3517
嘆	3518
坦	3519
担	3520
探	3521
旦	3522
歎	3523
淡	3524
湛	3525
炭	3526
短	3527
端	3528
箪	3529
綻	3530
耽	3531
胆	3532
蛋	3533
誕	3534
鍛	3535
団	3536
壇	3537
弾	3538
断	3539
暖	3540
檀	3541
段	3542
男	3543
談	3544
【ち】	
値	3545
知	3546
地	3547
弛	3548
恥	3549
智	3550
池	3551
痴	3552
稚	3553
置	3554
致	3555
蜘	3556
遅	3557
馳	3558
築	3559
畜	3560
竹	3561
筑	3562
蓄	3563
逐	3564
秩	3565
窒	3566
茶	3567
嫡	3568
着	3569
中	3570
仲	3571
宙	3572
忠	3573
抽	3574
昼	3575
柱	3576
注	3577
虫	3578
衷	3579
註	3580
酎	3581
鋳	3582
駐	3583
樗	3584
瀦	3585
猪	3586
苧	3587
著	3588
貯	3589
丁	3590
兆	3591
凋	3592
喋	3593
寵	3594
帖	3601
帳	3602
庁	3603
弔	3604
張	3605
彫	3606
徴	3607
懲	3608
挑	3609
暢	3610
朝	3611
潮	3612
牒	3613
町	3614
眺	3615
聴	3616
脹	3617
腸	3618
蝶	3619
調	3620
諜	3621
超	3622
跳	3623
銚	3624
長	3625
頂	3626
鳥	3627
勅	3628
捗	3629
直	3630
朕	3631
沈	3632
珍	3633
賃	3634
鎮	3635
陳	3636
【つ】	
津	3637
墜	3638
椎	3639
槌	3640
追	3641
鎚	3642
痛	3643
通	3644
塚	3645
栂	3646
掴	3647
槻	3648
佃	3649
漬	3650
柘	3651
辻	3652
蔦	3653
綴	3654
鍔	3655
椿	3656
潰	3657
坪	3658
壷	3659
嬬	3660
紬	3661
爪	3662
吊	3663
釣	3664
鶴	3665
【て】	
亭	3666

文字	コード
低	3667
停	3668
偵	3669
剃	3670
貞	3671
呈	3672
堤	3673
定	3674
帝	3675
底	3676
庭	3677
廷	3678
弟	3679
悌	3680
抵	3681
挺	3682
提	3683
梯	3684
汀	3685
碇	3686
禎	3687
程	3688
締	3689
艇	3690
訂	3691
諦	3692
蹄	3693
逓	3694
邸	3701
鄭	3702
釘	3703
鼎	3704
泥	3705
摘	3706
擢	3707
敵	3708
滴	3709
的	3710
笛	3711
適	3712
鏑	3713
溺	3714
哲	3715
徹	3716
撤	3717
轍	3718
迭	3719
鉄	3720
典	3721
填	3722
天	3723
展	3724
店	3725
添	3726
纏	3727
甜	3728
貼	3729
転	3730
顛	3731
点	3732
伝	3733
殿	3734
澱	3735
田	3736
電	3737
【と】	
兎	3738
吐	3739
堵	3740
塗	3741
妬	3742
屠	3743
徒	3744
斗	3745
杜	3746
渡	3747
登	3748
菟	3749
賭	3750
途	3751
都	3752
鍍	3753
砥	3754
砺	3755
努	3756
度	3757
土	3758
奴	3759
怒	3760
倒	3761
党	3762
冬	3763
凍	3764
刀	3765
唐	3766
塔	3767
塘	3768
套	3769
宕	3770
島	3771
嶋	3772
悼	3773
投	3774
搭	3775
東	3776
桃	3777
梼	3778
棟	3779
盗	3780
淘	3781
湯	3782
涛	3783
灯	3784
燈	3785
当	3786
痘	3787
祷	3788
等	3789
答	3790
筒	3791
糖	3792
統	3793
到	3794
董	3801
蕩	3802
藤	3803
討	3804
謄	3805
豆	3806
踏	3807
逃	3808
透	3809
鐙	3810
陶	3811
頭	3812
騰	3813
闘	3814
働	3815
動	3816
同	3817
堂	3818
導	3819
憧	3820
撞	3821
洞	3822
瞳	3823
童	3824
胴	3825
萄	3826
道	3827
銅	3828
峠	3829
鴇	3830
匿	3831
得	3832
徳	3833
涜	3834
特	3835
督	3836
禿	3837
篤	3838
毒	3839
独	3840
読	3841
栃	3842
橡	3843
凸	3844
突	3845
椴	3846
届	3847
鳶	3848
苫	3849
寅	3850
酉	3851
瀞	3852
噸	3853
屯	3854
惇	3855
敦	3856
沌	3857
豚	3858
遁	3859
頓	3860
呑	3861
曇	3862
鈍	3863
【な】	
奈	3864
那	3865
内	3866
乍	3867
凪	3868
薙	3869
謎	3870
灘	3871
捺	3872
鍋	3873
楢	3874
馴	3875
縄	3876
畷	3877
南	3878
楠	3879
軟	3880
難	3881
汝	3882
【に】	
二	3883
尼	3884
弐	3885
迩	3886
匂	3887
賑	3888
肉	3889
虹	3890
廿	3891
日	3892
乳	3893
入	3894
如	3901
尿	3902
韮	3903
任	3904
妊	3905
忍	3906
認	3907
【ぬ】	
濡	3908
【ね】	
禰	3909
祢	3910
寧	3911
葱	3912
猫	3913
熱	3914
年	3915
念	3916
捻	3917
撚	3918
燃	3919
粘	3920
【の】	
乃	3921
廼	3922
之	3923
埜	3924
嚢	3925
悩	3926
濃	3927
納	3928
能	3929
脳	3930
膿	3931
農	3932
覗	3933
蚤	3934
【は】	
巴	3935
把	3936
播	3937
覇	3938
杷	3939
波	3940
派	3941
琶	3942
破	3943
婆	3944
罵	3945
芭	3946
馬	3947
俳	3948
廃	3949
拝	3950
排	3951
敗	3952
杯	3953
盃	3954
牌	3955
背	3956
肺	3957
輩	3958
配	3959
倍	3960
培	3961
媒	3962
梅	3963
楳	3964
煤	3965
狽	3966
買	3967
売	3968
賠	3969
陪	3970
這	3971
蝿	3972
秤	3973
矧	3974
萩	3975
伯	3976
剥	3977
博	3978
拍	3979
柏	3980
泊	3981
白	3982
箔	3983
粕	3984
舶	3985
薄	3986
迫	3987
曝	3988
漠	3989
爆	3990
縛	3991
莫	3992
駁	3993
麦	3994
函	4001
箱	4002
硲	4003
箸	4004
肇	4005
筈	4006
櫨	4007
幡	4008
肌	4009
畑	4010
畠	4011
八	4012
鉢	4013
溌	4014
発	4015
醗	4016
髪	4017
伐	4018
罰	4019
抜	4020
筏	4021
閥	4022
鳩	4023
噺	4024
塙	4025
蛤	4026
隼	4027
伴	4028
判	4029
半	4030
反	4031
叛	4032
帆	4033
搬	4034
斑	4035
板	4036
氾	4037
汎	4038
版	4039
犯	4040
班	4041
畔	4042
繁	4043
般	4044
藩	4045
販	4046
範	4047
釆	4048
煩	4049
頒	4050
飯	4051
挽	4052
晩	4053
番	4054
盤	4055
磐	4056
蕃	4057
蛮	4058
【ひ】	
匪	4059
卑	4060
否	4061
妃	4062
庇	4063
彼	4064
悲	4065
扉	4066
批	4067
披	4068
斐	4069
比	4070
泌	4071
疲	4072
皮	4073
碑	4074
秘	4075
緋	4076
罷	4077
肥	4078
被	4079
誹	4080
費	4081
避	4082
非	4083
飛	4084
樋	4085
簸	4086
備	4087
尾	4088
微	4089
枇	4090
毘	4091
琵	4092
眉	4093
美	4094
鼻	4101
柊	4102
稗	4103
匹	4104
疋	4105
髭	4106
彦	4107
膝	4108
菱	4109
肘	4110
弼	4111
必	4112
畢	4113
筆	4114
逼	4115
桧	4116
姫	4117
媛	4118
紐	4119
百	4120
謬	4121
俵	4122
彪	4123
標	4124
氷	4125
漂	4126
瓢	4127
票	4128
表	4129
評	4130
豹	4131
廟	4132
描	4133
病	4134
秒	4135
苗	4136
錨	4137
鋲	4138
蒜	4139
蛭	4140
鰭	4141
品	4142
彬	4143
斌	4144
浜	4145
瀕	4146
貧	4147
賓	4148
頻	4149
敏	4150
瓶	4151
【ふ】	
不	4152
付	4153
埠	4154
夫	4155
婦	4156
富	4157
冨	4158
布	4159
府	4160
怖	4161
扶	4162
敷	4163
斧	4164
普	4165
浮	4166
父	4167
符	4168
腐	4169
膚	4170
芙	4171
譜	4172
負	4173
賦	4174
赴	4175
阜	4176
附	4177
侮	4178
撫	4179
武	4180
舞	4181
葡	4182
蕪	4183
部	4184
封	4185
楓	4186
風	4187
葺	4188
蕗	4189
伏	4190
副	4191
復	4192
幅	4193
服	4194
福	4201
腹	4202
複	4203
覆	4204
淵	4205
弗	4206
払	4207
沸	4208
仏	4209
物	4210
鮒	4211
分	4212
吻	4213
噴	4214
墳	4215
憤	4216
扮	4217
焚	4218
奮	4219
粉	4220
糞	4221
紛	4222
雰	4223
文	4224
聞	4225
【へ】	
丙	4226
併	4227
兵	4228
塀	4229
幣	4230
平	4231
弊	4232
柄	4233
並	4234
蔽	4235
閉	4236
陛	4237
米	4238
頁	4239
僻	4240
壁	4241
癖	4242
碧	4243
別	4244
瞥	4245
蔑	4246
箆	4247
偏	4248
変	4249
片	4250
篇	4251
編	4252
辺	4253
返	4254
遍	4255
便	4256
勉	4257
娩	4258
弁	4259
鞭	4260
【ほ】	
保	4261
舗	4262
鋪	4263
圃	4264
捕	4265
歩	4266
甫	4267
補	4268
輔	4269
穂	4270
募	4271
墓	4272
慕	4273
戊	4274
暮	4275
母	4276
簿	4277
菩	4278
倣	4279
俸	4280
包	4281
呆	4282
報	4283
奉	4284
宝	4285
峰	4286
峯	4287
崩	4288
庖	4289
抱	4290
捧	4291
放	4292
方	4293
朋	4294
法	4301
泡	4302
烹	4303
砲	4304
縫	4305
胞	4306
芳	4307
萌	4308
蓬	4309
蜂	4310
褒	4311
訪	4312
豊	4313
邦	4314
鋒	4315
飽	4316
鳳	4317
鵬	4318
乏	4319
亡	4320
傍	4321
剖	4322
坊	4323
妨	4324
帽	4325
忘	4326
忙	4327
房	4328
暴	4329
望	4330
某	4331
棒	4332
冒	4333
紡	4334
肪	4335
膨	4336
謀	4337
貌	4338
貿	4339
鉾	4340
防	4341
吠	4342
頬	4343
北	4344
僕	4345
卜	4346
墨	4347
撲	4348
朴	4349
牧	4350
睦	4351
穆	4352
釦	4353
勃	4354
没	4355
殆	4356
堀	4357
幌	4358
奔	4359
本	4360
翻	4361
凡	4362
盆	4363
【ま】	
摩	4364
磨	4365
魔	4366
麻	4367
埋	4368
妹	4369
昧	4370
枚	4371

文字	コード
毎	4372
哩	4373
槙	4374
幕	4375
膜	4376
枕	4377
鮪	4378
柾	4379
鱒	4380
桝	4381
亦	4382
俣	4383
又	4384
抹	4385
末	4386
沫	4387
迄	4388
侭	4389
繭	4390
麿	4391
万	4392
慢	4393
満	4394
漫	4401
蔓	4402
【み】	
味	4403
未	4404
魅	4405
巳	4406
箕	4407
岬	4408
密	4409
蜜	4410
湊	4411
蓑	4412
稔	4413
脈	4414
妙	4415
粍	4416
民	4417
眠	4418
【む】	
務	4419
夢	4420
無	4421
牟	4422
矛	4423
霧	4424
鵡	4425
椋	4426
婿	4427
娘	4428
【め】	
冥	4429
名	4430
命	4431
明	4432
盟	4433
迷	4434
銘	4435
鳴	4436
姪	4437
牝	4438
滅	4439
免	4440
棉	4441
綿	4442
緬	4443
面	4444
麺	4445
【も】	
摸	4446
模	4447
茂	4448
妄	4449
孟	4450
毛	4451
猛	4452
盲	4453
網	4454
耗	4455
蒙	4456
儲	4457
木	4458
黙	4459
目	4460
杢	4461
勿	4462
餅	4463
尤	4464
戻	4465
籾	4466
貰	4467
問	4468
悶	4469
紋	4470
門	4471
匁	4472
【や】	
也	4473
冶	4474
夜	4475
爺	4476
耶	4477
野	4478
弥	4479
矢	4480
厄	4481
役	4482
約	4483
薬	4484
訳	4485
躍	4486
靖	4487
柳	4488
薮	4489
鑓	4490
【ゆ】	
愉	4491
愈	4492
油	4493
癒	4494
諭	4501
輸	4502
唯	4503
佑	4504
優	4505
勇	4506
友	4507
宥	4508
幽	4509
悠	4510
憂	4511
揖	4512
有	4513
柚	4514
湧	4515
涌	4516
猶	4517
猷	4518
由	4519
祐	4520
裕	4521
誘	4522
遊	4523
邑	4524
郵	4525
雄	4526
融	4527
夕	4528
【よ】	
予	4529
余	4530
与	4531
誉	4532
輿	4533
預	4534
傭	4535
幼	4536
妖	4537
容	4538
庸	4539
揚	4540
揺	4541
擁	4542
曜	4543
楊	4544
様	4545
洋	4546
溶	4547
熔	4548
用	4549
窯	4550
羊	4551
耀	4552
葉	4553
蓉	4554
要	4555
謡	4556
踊	4557
遥	4558
陽	4559
養	4560
慾	4561
抑	4562
欲	4563
沃	4564
浴	4565
翌	4566
翼	4567
淀	4568
【ら】	
羅	4569
螺	4570
裸	4571
来	4572
莱	4573
頼	4574
雷	4575
洛	4576
絡	4577
落	4578
酪	4579
乱	4580
卵	4581
嵐	4582
欄	4583
濫	4584
藍	4585
蘭	4586
覧	4587
【り】	
利	4588
吏	4589
履	4590
李	4591
梨	4592
理	4593
璃	4594
痢	4601
裏	4602
裡	4603
里	4604
離	4605
陸	4606
律	4607
率	4608
立	4609
葎	4610
掠	4611
略	4612
劉	4613
流	4614
溜	4615
琉	4616
留	4617
硫	4618
粒	4619
隆	4620
竜	4621
龍	4622
侶	4623
慮	4624
旅	4625
虜	4626
了	4627
亮	4628
僚	4629
両	4630
凌	4631
寮	4632
料	4633
梁	4634
涼	4635
猟	4636
療	4637
瞭	4638
稜	4639
糧	4640
良	4641
諒	4642
遼	4643
量	4644
陵	4645
領	4646
力	4647
緑	4648
倫	4649
厘	4650
林	4651
淋	4652
燐	4653
琳	4654
臨	4655
輪	4656
隣	4657
鱗	4658
麟	4659
【る】	
瑠	4660
塁	4661
涙	4662
累	4663
類	4664
【れ】	
令	4665
伶	4666
例	4667
冷	4668
励	4669
嶺	4670
怜	4671
玲	4672
礼	4673
苓	4674
鈴	4675
隷	4676
零	4677
霊	4678
麗	4679
齢	4680
暦	4681
歴	4682
列	4683
劣	4684
烈	4685
裂	4686
廉	4687
恋	4688
憐	4689
漣	4690
煉	4691
簾	4692
練	4693
聯	4694
蓮	4701
連	4702
錬	4703
【ろ】	
呂	4704
魯	4705
櫓	4706
炉	4707
賂	4708
路	4709
露	4710
労	4711
婁	4712
廊	4713
弄	4714
朗	4715
楼	4716
榔	4717
浪	4718
漏	4719
牢	4720
狼	4721
篭	4722
老	4723
聾	4724
蝋	4725
郎	4726
六	4727
麓	4728
禄	4729
肋	4730
録	4731
論	4732
【わ】	
倭	4733
和	4734
話	4735
歪	4736
賄	4737
脇	4738
惑	4739
枠	4740
鷲	4741
亙	4742
亘	4743
鰐	4744
詫	4745
藁	4746
蕨	4747
椀	4748
湾	4749
碗	4750
腕	4751
	4752
	4753
	4754
	4755
	4756
	4757
	4758
	4759
	4760
	4761
	4762
	4763
	4764
	4765
	4766
	4767
	4768
	4769
	4770
	4771
	4772
	4773
	4774
	4775
	4776
	4777
	4778
	4779
	4780
	4781
	4782
	4783
	4784
	4785
	4786
	4787
	4788
	4789
	4790
	4791
	4792
	4793
	4794
弌	4801
丐	4802
丕	4803
个	4804
丱	4805
丶	4806
丼	4807
丿	4808
乂	4809
乖	4810
乘	4811
亂	4812
亅	4813
豫	4814
亊	4815
舒	4816
弍	4817
于	4818
亞	4819
亟	4820
亠	4821
亢	4822
亰	4823
亳	4824
亶	4825
从	4826
仍	4827
仄	4828
仆	4829
仂	4830
仗	4831
仞	4832
仭	4833
仟	4834
价	4835
伉	4836
佚	4837
估	4838
佛	4839
佝	4840
佗	4841
佇	4842
佶	4843
侈	4844
侏	4845
侘	4846
佻	4847
佩	4848
佰	4849
侑	4850
佯	4851
來	4852
侖	4853
儘	4854
俔	4855
俟	4856
俎	4857
俘	4858
俛	4859
俑	4860
俚	4861
俐	4862
俤	4863
俥	4864
倚	4865
倨	4866
倔	4867
倪	4868
倥	4869
倅	4870
伜	4871
俶	4872
倡	4873
倩	4874
倬	4875
俾	4876
俯	4877
們	4878
倆	4879
偃	4880
假	4881
會	4882
偕	4883
偐	4884
偈	4885
做	4886
偖	4887
偬	4888
偸	4889
傀	4890
傚	4891
傅	4892
傴	4893
傲	4894
僉	4901
僊	4902
傳	4903
僂	4904
僖	4905
僞	4906
僥	4907
僭	4908
僣	4909
僮	4910
價	4911
僵	4912
儉	4913
儁	4914
儂	4915
儖	4916
儕	4917
儔	4918
儚	4919
儡	4920
儺	4921
儷	4922
儼	4923
儻	4924
儿	4925
兀	4926
兒	4927
兌	4928
兔	4929
兢	4930
竸	4931
兩	4932
兪	4933
兮	4934
冀	4935
冂	4936
囘	4937
册	4938
冉	4939
冏	4940
冑	4941
冓	4942
冕	4943
冖	4944
冤	4945
冦	4946
冢	4947
冩	4948
冪	4949
冫	4950
决	4951
冱	4952
冲	4953
冰	4954
况	4955
冽	4956
凅	4957
凉	4958
凛	4959
几	4960
處	4961
凩	4962
凭	4963
凰	4964
凵	4965
凾	4966
刄	4967
刋	4968
刔	4969
刎	4970
刧	4971
刪	4972
刮	4973
刳	4974
刹	4975
剏	4976
剄	4977
剋	4978
剌	4979
剞	4980
剔	4981
剪	4982
剴	4983
剩	4984
剳	4985
剿	4986
剽	4987
劍	4988
劔	4989
劒	4990
剱	4991
劈	4992
劑	4993
辨	4994
辧	5001
劬	5002
劭	5003
劼	5004
劵	5005
勁	5006
勍	5007
勗	5008
勞	5009
勣	5010
勦	5011
飭	5012
勠	5013
勳	5014
勵	5015
勸	5016
勹	5017
匆	5018
匈	5019
甸	5020
匍	5021
匐	5022
匏	5023
匕	5024
匚	5025
匣	5026
匯	5027
匱	5028
匳	5029
匸	5030
區	5031
卆	5032
卅	5033
丗	5034
卉	5035
卍	5036
凖	5037
卞	5038
卩	5039
卮	5040
夘	5041
卻	5042
卷	5043
厂	5044
厖	5045
厠	5046
厦	5047
厥	5048
厮	5049
厰	5050
厶	5051
參	5052
簒	5053
雙	5054
叟	5055
曼	5056
燮	5057
叮	5058
叨	5059
叭	5060
叺	5061
吁	5062
吽	5063
呀	5064
听	5065
吭	5066
吼	5067
吮	5068
吶	5069
吩	5070
吝	5071
呎	5072
咏	5073
呵	5074
咎	5075

文字	区点
呟	5076
呱	5077
呷	5078
呰	5079
咒	5080
呻	5081
咀	5082
呶	5083
咄	5084
咐	5085
咆	5086
哇	5087
咢	5088
咸	5089
咥	5090
咬	5091
哄	5092
哈	5093
咨	5094
咫	5101
哂	5102
咤	5103
咾	5104
咼	5105
哘	5106
哥	5107
哦	5108
唏	5109
唔	5110
哽	5111
哮	5112
哭	5113
哺	5114
哢	5115
唹	5116
啀	5117
啣	5118
啌	5119
售	5120
啜	5121
啅	5122
啖	5123
啗	5124
唸	5125
唳	5126
啝	5127
喙	5128
喀	5129
咯	5130
喊	5131
喟	5132
啻	5133
啾	5134
喘	5135
喞	5136
單	5137
啼	5138
喃	5139
喩	5140
喇	5141
喨	5142
嗚	5143
嗅	5144
嗟	5145
嗄	5146
嗜	5147
嗤	5148
嗔	5149
嘔	5150
嗷	5151
嘖	5152
嗾	5153
嗽	5154
嘛	5155
嗹	5156
噎	5157
噐	5158
營	5159
嘴	5160
嘶	5161
嘲	5162
嘸	5163
噫	5164
噤	5165
嘯	5166
噬	5167
噪	5168
嚆	5169
嚀	5170
嚊	5171
嚠	5172
嚔	5173
嚏	5174
嚥	5175
嚮	5176
嚶	5177
嚴	5178
囂	5179
嚼	5180
囁	5181
囃	5182
囀	5183
囈	5184
囎	5185
囑	5186
囓	5187
囗	5188
囮	5189
囹	5190
圀	5191
囿	5192
圄	5193
圉	5194
圈	5201
國	5202
圍	5203
圓	5204
團	5205
圖	5206
嗇	5207
圜	5208
圦	5209
圷	5210
圸	5211
坎	5212
圻	5213
址	5214
坏	5215
坩	5216
埀	5217
垈	5218
坡	5219
坿	5220
垉	5221
垓	5222
垠	5223
垳	5224
垤	5225
垪	5226
垰	5227
埃	5228
埆	5229
埔	5230
埒	5231
埓	5232
堊	5233
埖	5234
埣	5235
堋	5236
堙	5237
堝	5238
塲	5239
堡	5240
塢	5241
塋	5242
塰	5243
毀	5244
塒	5245
堽	5246
塹	5247
墅	5248
墹	5249
墟	5250
墫	5251
墺	5252
壞	5253
墻	5254
墸	5255
墮	5256
壅	5257
壓	5258
壑	5259
壗	5260
壙	5261
壘	5262
壥	5263
壜	5264
壤	5265
壟	5266
壯	5267
壺	5268
壹	5269
壻	5270
壼	5271
壽	5272
夂	5273
夊	5274
夐	5275
夛	5276
梦	5277
夥	5278
夬	5279
夭	5280
夲	5281
夸	5282
夾	5283
竒	5284
奕	5285
奐	5286
奎	5287
奚	5288
奘	5289
奢	5290
奠	5291
奧	5292
奬	5293
奩	5294
奸	5301
妁	5302
妝	5303
佞	5304
侫	5305
妣	5306
妲	5307
姆	5308
姨	5309
姜	5310
妍	5311
姙	5312
姚	5313
娥	5314
娟	5315
娑	5316
娜	5317
娉	5318
娚	5319
婀	5320
婬	5321
婉	5322
娵	5323
娶	5324
婢	5325
婪	5326
媚	5327
媼	5328
媾	5329
嫋	5330
嫂	5331
媽	5332
嫣	5333
嫗	5334
嫦	5335
嫩	5336
嫖	5337
嫺	5338
嫻	5339
嬌	5340
嬋	5341
嬖	5342
嬲	5343
嫐	5344
嬪	5345
嬶	5346
嬾	5347
孃	5348
孅	5349
孀	5350
孑	5351
孕	5352
孚	5353
孛	5354
孥	5355
孩	5356
孰	5357
孳	5358
孵	5359
學	5360
斈	5361
孺	5362
宀	5363
它	5364
宦	5365
宸	5366
寃	5367
寇	5368
寉	5369
寔	5370
寐	5371
寤	5372
實	5373
寢	5374
寞	5375
寥	5376
寫	5377
寰	5378
寶	5379
寳	5380
尅	5381
將	5382
專	5383
對	5384
尓	5385
尠	5386
尢	5387
尨	5388
尸	5389
尹	5390
屁	5391
屆	5392
屎	5393
屓	5394
屐	5401
屏	5402
孱	5403
屬	5404
屮	5405
乢	5406
屶	5407
屹	5408
岌	5409
岑	5410
岔	5411
妛	5412
岫	5413
岻	5414
岶	5415
岼	5416
岷	5417
峅	5418
岾	5419
峇	5420
峙	5421
峩	5422
峽	5423
峺	5424
峭	5425
嶌	5426
峪	5427
崋	5428
崕	5429
崗	5430
嵜	5431
崟	5432
崛	5433
崑	5434
崔	5435
崢	5436
崚	5437
崙	5438
崘	5439
嵌	5440
嵒	5441
嵎	5442
嵋	5443
嵬	5444
嵳	5445
嵶	5446
嶇	5447
嶄	5448
嶂	5449
嶢	5450
嶝	5451
嶬	5452
嶮	5453
嶽	5454
嶐	5455
嶷	5456
嶼	5457
巉	5458
巍	5459
巓	5460
巒	5461
巖	5462
巛	5463
巫	5464
已	5465
巵	5466
帋	5467
帚	5468
帙	5469
帑	5470
帛	5471
帶	5472
帷	5473
幄	5474
幃	5475
幀	5476
幎	5477
幗	5478
幔	5479
幟	5480
幢	5481
幤	5482
幇	5483
幵	5484
并	5485
幺	5486
麼	5487
广	5488
庠	5489
廁	5490
廂	5491
廈	5492
廐	5493
廏	5494
廖	5501
廣	5502
廝	5503
廚	5504
廛	5505
廢	5506
廡	5507
廨	5508
廩	5509
廬	5510
廱	5511
廳	5512
廰	5513
廴	5514
廸	5515
廾	5516
弃	5517
弉	5518
彝	5519
彜	5520
弋	5521
弑	5522
弖	5523
弩	5524
弭	5525
弸	5526
彁	5527
彈	5528
彌	5529
彎	5530
弯	5531
彑	5532
彖	5533
彗	5534
彙	5535
彡	5536
彭	5537
彳	5538
彷	5539
徃	5540
徂	5541
彿	5542
徊	5543
很	5544
徑	5545
徇	5546
從	5547
徙	5548
徘	5549
徠	5550
徨	5551
徭	5552
徼	5553
忖	5554
忻	5555
忤	5556
忸	5557
忱	5558
忝	5559
悳	5560
忿	5561
怡	5562
恠	5563
怙	5564
怐	5565
怩	5566
怎	5567
怱	5568
怛	5569
怕	5570
怫	5571
怦	5572
怏	5573
怺	5574
恚	5575
恁	5576
恪	5577
恷	5578
恟	5579
恊	5580
恆	5581
恍	5582
恣	5583
恃	5584
恤	5585
恂	5586
恬	5587
恫	5588
恙	5589
悁	5590
悍	5591
惧	5592
悃	5593
悚	5594
悄	5601
悛	5602
悖	5603
悗	5604
悒	5605
悧	5606
悋	5607
惡	5608
悸	5609
惠	5610
惓	5611
悴	5612
忰	5613
悽	5614
惆	5615
悵	5616
惘	5617
慍	5618
愕	5619
愆	5620
惶	5621
惷	5622
愀	5623
惴	5624
惺	5625
愃	5626
愡	5627
惻	5628
惱	5629
愍	5630
愎	5631
慇	5632
愾	5633
愨	5634
愧	5635
慊	5636
愿	5637
愼	5638
愬	5639
愴	5640
愽	5641
慂	5642
慄	5643
慳	5644
慷	5645
慘	5646
慙	5647
慚	5648
慫	5649
慴	5650
慯	5651
慥	5652
慱	5653
慟	5654
慝	5655
慓	5656
慵	5657
憙	5658
憖	5659
憇	5660
憬	5661
憔	5662
憚	5663
憊	5664
憑	5665
憫	5666
憮	5667
懌	5668
懊	5669
應	5670
懷	5671
懈	5672
懃	5673
懆	5674
憺	5675
懋	5676
罹	5677
懍	5678
懦	5679
懣	5680
懶	5681
懺	5682
懴	5683
懿	5684
懽	5685
懼	5686
懾	5687
戀	5688
戈	5689
戉	5690
戍	5691
戌	5692
戔	5693
戛	5694
戞	5701
戡	5702
截	5703
戮	5704
戰	5705
戲	5706
戳	5707
扁	5708
扎	5709
扞	5710
扣	5711
扛	5712
扠	5713
扨	5714
扼	5715
抂	5716
抉	5717
找	5718
抒	5719
抓	5720
抖	5721
拔	5722
抃	5723
抔	5724
拗	5725
拑	5726
抻	5727
拏	5728
拿	5729
拆	5730
擔	5731
拈	5732
拜	5733
拌	5734
拊	5735
拂	5736
拇	5737
抛	5738
拉	5739
挌	5740
拮	5741
拱	5742
挧	5743
挂	5744
挈	5745
拯	5746
拵	5747
捐	5748
挾	5749
捍	5750
搜	5751
捏	5752
掖	5753
掎	5754
掀	5755
掫	5756
捶	5757
掣	5758
掏	5759
掉	5760
掟	5761
掵	5762
捫	5763
捩	5764
掾	5765
揩	5766
揀	5767
揆	5768
揣	5769
揉	5770
插	5771
揶	5772
揄	5773
搖	5774
搴	5775
搆	5776
搓	5777
搦	5778
搶	5779
攝	5780
搗	5781
搨	5782
搏	5783
摧	5784
摯	5785
摶	5786
摎	5787
攪	5788
撕	5789
撓	5790
撥	5791
撩	5792

字	コード
撈	5793
撼	5794
據	5801
擒	5802
擅	5803
擇	5804
撻	5805
擘	5806
擂	5807
擱	5808
擧	5809
舉	5810
擠	5811
擡	5812
抬	5813
擣	5814
擯	5815
攬	5816
擶	5817
擴	5818
擲	5819
擺	5820
攀	5821
擽	5822
攘	5823
攜	5824
攅	5825
攤	5826
攣	5827
攫	5828
攴	5829
攵	5830
攷	5831
收	5832
攸	5833
畋	5834
效	5835
敖	5836
敕	5837
敍	5838
敘	5839
敞	5840
敝	5841
敲	5842
數	5843
斂	5844
斃	5845
變	5846
斛	5847
斟	5848
斫	5849
斷	5850
旃	5851
旆	5852
旁	5853
旄	5854
旌	5855
旒	5856
旛	5857
旙	5858
无	5859
旡	5860
旱	5861
杲	5862
昊	5863
昃	5864
旻	5865
杳	5866
昵	5867
昶	5868
昴	5869
昜	5870
晏	5871
晄	5872
晉	5873
晁	5874
晞	5875
晝	5876
晤	5877
晧	5878
晨	5879
晟	5880
晢	5881
晰	5882
暃	5883
暈	5884
暎	5885
暉	5886
暄	5887
暘	5888
暝	5889
曁	5890
暹	5891
曉	5892
暾	5893
暼	5894
曄	5901
暸	5902
曖	5903
曚	5904
曠	5905
昿	5906
曦	5907
曩	5908
曰	5909
曵	5910
曷	5911
朏	5912
朖	5913
朞	5914
朦	5915
朧	5916
霸	5917
朮	5918
朿	5919
朶	5920
杁	5921
朸	5922
朷	5923
杆	5924
杞	5925
杠	5926
杙	5927
杣	5928
杤	5929
枉	5930
杰	5931
枩	5932
杼	5933
杪	5934
枌	5935
枋	5936
枦	5937
枡	5938
枅	5939
枷	5940
柯	5941
枴	5942
柬	5943
枳	5944
柩	5945
枸	5946
柤	5947
柞	5948
柝	5949
柢	5950
柮	5951
枹	5952
柎	5953
柆	5954
柧	5955
檜	5956
栞	5957
框	5958
栩	5959
桀	5960
桍	5961
栲	5962
桎	5963
梳	5964
栫	5965
桙	5966
档	5967
桷	5968
桿	5969
梟	5970
梏	5971
梭	5972
梔	5973
條	5974
梛	5975
梃	5976
檮	5977
梹	5978
桴	5979
梵	5980
梠	5981
梺	5982
椏	5983
梍	5984
桾	5985
椁	5986
棊	5987
椈	5988
棘	5989
椢	5990
椦	5991
棡	5992
椌	5993
棍	5994
棔	6001
棧	6002
棕	6003
椶	6004
椒	6005
椄	6006
棗	6007
棣	6008
椥	6009
棹	6010
棠	6011
棯	6012
椨	6013
椪	6014
椚	6015
椣	6016
椡	6017
棆	6018
楹	6019
楷	6020
楜	6021
楸	6022
楫	6023
楔	6024
楾	6025
楮	6026
椹	6027
楴	6028
椽	6029
楙	6030
椰	6031
楡	6032
楞	6033
楝	6034
榁	6035
楪	6036
榲	6037
榮	6038
槐	6039
榿	6040
槁	6041
槓	6042
榾	6043
槎	6044
寨	6045
槊	6046
槝	6047
榻	6048
槃	6049
榧	6050
樮	6051
榑	6052
榠	6053
榜	6054
榕	6055
榴	6056
槞	6057
槨	6058
樂	6059
樛	6060
槿	6061
權	6062
槹	6063
槲	6064
槧	6065
樅	6066
榱	6067
樞	6068
槭	6069
樔	6070
槫	6071
樊	6072
樒	6073
櫁	6074
樣	6075
樓	6076
橄	6077
樌	6078
橲	6079
樶	6080
橸	6081
橇	6082
橢	6083
橙	6084
橦	6085
橈	6086
樸	6087
樢	6088
檐	6089
檍	6090
檠	6091
檄	6092
檢	6093
檣	6094
檗	6101
蘗	6102
檻	6103
櫃	6104
櫂	6105
檸	6106
檳	6107
檬	6108
櫞	6109
櫑	6110
櫟	6111
檪	6112
櫚	6113
櫪	6114
櫻	6115
欅	6116
蘖	6117
櫺	6118
欒	6119
欖	6120
鬱	6121
欟	6122
欸	6123
欷	6124
盜	6125
欹	6126
飮	6127
歇	6128
歃	6129
歉	6130
歐	6131
歙	6132
歔	6133
歛	6134
歟	6135
歡	6136
歸	6137
歹	6138
歿	6139
殀	6140
殄	6141
殃	6142
殍	6143
殘	6144
殕	6145
殞	6146
殤	6147
殪	6148
殫	6149
殯	6150
殲	6151
殱	6152
殳	6153
殷	6154
殼	6155
毆	6156
毋	6157
毓	6158
毟	6159
毬	6160
毫	6161
毳	6162
毯	6163
麾	6164
氈	6165
氓	6166
气	6167
氛	6168
氤	6169
氣	6170
汞	6171
汕	6172
汢	6173
汪	6174
沂	6175
沍	6176
沚	6177
沁	6178
沛	6179
汾	6180
汨	6181
汳	6182
沒	6183
沐	6184
泄	6185
泱	6186
泓	6187
沽	6188
泗	6189
泅	6190
泝	6191
沮	6192
沱	6193
沾	6194
沺	6201
泛	6202
泯	6203
泙	6204
泪	6205
洟	6206
衍	6207
洶	6208
洫	6209
洽	6210
洸	6211
洙	6212
洵	6213
洳	6214
洒	6215
洌	6216
浣	6217
涓	6218
浤	6219
浚	6220
浹	6221
浙	6222
涎	6223
涕	6224
濤	6225
涅	6226
淹	6227
渕	6228
渊	6229
涵	6230
淇	6231
淦	6232
涸	6233
淆	6234
淬	6235
淞	6236
淌	6237
淨	6238
淒	6239
淅	6240
淺	6241
淙	6242
淤	6243
淕	6244
淪	6245
淮	6246
渭	6247
湮	6248
渮	6249
渙	6250
湲	6251
湟	6252
渾	6253
渣	6254
湫	6255
渫	6256
湶	6257
湍	6258
渟	6259
湃	6260
渺	6261
湎	6262
渤	6263
滿	6264
渝	6265
游	6266
溂	6267
溪	6268
溘	6269
滉	6270
溷	6271
滓	6272
溽	6273
溯	6274
滄	6275
溲	6276
滔	6277
滕	6278
溏	6279
溥	6280
滂	6281
溟	6282
潁	6283
漑	6284
灌	6285
滬	6286
滸	6287
滾	6288
漿	6289
滲	6290
漱	6291
滯	6292
漲	6293
滌	6294
漾	6301
漓	6302
滷	6303
澆	6304
潺	6305
潸	6306
澁	6307
澀	6308
潯	6309
潛	6310
濳	6311
潭	6312
澂	6313
潼	6314
潘	6315
澎	6316
澑	6317
濂	6318
潦	6319
澳	6320
澣	6321
澡	6322
澤	6323
澹	6324
濆	6325
澪	6326
濟	6327
濕	6328
濬	6329
濔	6330
濘	6331
濱	6332
濮	6333
濛	6334
瀉	6335
瀋	6336
濺	6337
瀑	6338
瀁	6339
瀏	6340
濾	6341
瀛	6342
瀚	6343
潴	6344
瀝	6345
瀘	6346
瀟	6347
瀰	6348
瀾	6349
瀲	6350
灑	6351
灣	6352
炙	6353
炒	6354
炯	6355
烱	6356
炬	6357
炸	6358
炳	6359
炮	6360
烟	6361
烋	6362
烝	6363
烙	6364
焉	6365
烽	6366
焜	6367
焙	6368
煥	6369
煕	6370
熈	6371
煦	6372
煢	6373
煌	6374
煖	6375
煬	6376
熏	6377
燻	6378
熄	6379
熕	6380
熨	6381
熬	6382
燗	6383
熹	6384
熾	6385
燒	6386
燉	6387
燔	6388
燎	6389
燠	6390
燬	6391
燧	6392
燵	6393
燼	6394
燹	6401
燿	6402
爍	6403
爐	6404
爛	6405
爨	6406
爭	6407
爬	6408
爰	6409
爲	6410
爻	6411
爼	6412
爿	6413
牀	6414
牆	6415
牋	6416
牘	6417
牴	6418
牾	6419
犂	6420
犁	6421
犇	6422
犒	6423
犖	6424
犢	6425
犧	6426
犹	6427
犲	6428
狃	6429
狆	6430
狄	6431
狎	6432
狒	6433
狢	6434
狠	6435
狡	6436
狹	6437
狷	6438
倏	6439
猗	6440
猊	6441
猜	6442
猖	6443
猝	6444
猴	6445
猯	6446
猩	6447
猥	6448
猾	6449
獎	6450
獏	6451
默	6452
獗	6453
獪	6454
獨	6455
獰	6456
獸	6457
獵	6458
獻	6459
獺	6460
珈	6461
玳	6462
珎	6463
玻	6464
珀	6465
珥	6466
珮	6467
珞	6468
璢	6469
琅	6470
瑯	6471
琥	6472
珸	6473
琲	6474
琺	6475
瑕	6476
琿	6477
瑟	6478
瑙	6479
瑁	6480
瑜	6481
瑩	6482
瑰	6483
瑣	6484
瑪	6485
瑶	6486
瑾	6487
璋	6488
璞	6489
璧	6490
瓊	6491
瓏	6492
瓔	6493
珱	6494
瓠	6501
瓣	6502
瓧	6503
瓩	6504
瓮	6505
瓲	6506
瓰	6507
瓱	6508
瓸	6509
瓷	6510
甄	6511
甃	6512
甅	6513
甌	6514

甎	6515
甍	6516
甕	6517
甓	6518
甞	6519
甦	6520
甬	6521
甼	6522
畄	6523
畍	6524
畊	6525
畉	6526
畛	6527
畆	6528
畚	6529
畩	6530
畤	6531
畧	6532
畫	6533
畭	6534
畸	6535
當	6536
疆	6537
疇	6538
畴	6539
疊	6540
疉	6541
疂	6542
疔	6543
疚	6544
疝	6545
疥	6546
疣	6547
痂	6548
疳	6549
痃	6550
疵	6551
疽	6552
疸	6553
疼	6554
疱	6555
痍	6556
痊	6557
痒	6558
痙	6559
痣	6560
痞	6561
痾	6562
痿	6563
痼	6564
瘁	6565
痰	6566
痺	6567
痲	6568
痳	6569
瘋	6570
瘍	6571
瘉	6572
瘟	6573
瘧	6574
瘠	6575
瘡	6576
瘢	6577
瘤	6578
瘴	6579
瘰	6580
瘻	6581
癇	6582
癈	6583
癆	6584
癜	6585
癘	6586
癡	6587
癢	6588
癨	6589
癩	6590
癪	6591
癧	6592
癬	6593
癰	6594
癲	6601
癶	6602
癸	6603
發	6604
皀	6605
皃	6606
皈	6607
皋	6608
皎	6609
皖	6610
皓	6611
皙	6612
皚	6613
皰	6614
皴	6615
皸	6616
皹	6617
皺	6618
盂	6619
盍	6620
盖	6621
盒	6622
盞	6623
盡	6624
盥	6625
盧	6626
盪	6627
蘯	6628
盻	6629
眈	6630
眇	6631
眄	6632
眩	6633
眤	6634
眞	6635
眥	6636
眦	6637
眛	6638
眷	6639
眸	6640
睇	6641
睚	6642
睨	6643
睫	6644
睛	6645
睥	6646
睿	6647
睾	6648
睹	6649
瞎	6650
瞋	6651
瞑	6652
瞠	6653
瞞	6654
瞰	6655
瞶	6656
瞹	6657
瞿	6658
瞼	6659
瞽	6660
瞻	6661
矇	6662
矍	6663
矗	6664
矚	6665
矜	6666
矣	6667
矮	6668
矼	6669
砌	6670
砒	6671
礦	6672
砠	6673
礪	6674
硅	6675
碎	6676
硴	6677
碆	6678
硼	6679
碚	6680
碌	6681
碣	6682
碵	6683
碪	6684
碯	6685
磑	6686
磆	6687
磋	6688
磔	6689
碾	6690
碼	6691
磅	6692
磊	6693
磬	6694
磧	6701
磚	6702
磽	6703
磴	6704
礇	6705
礒	6706
礑	6707
礙	6708
礬	6709
礫	6710
祀	6711
祠	6712
祗	6713
祟	6714
祚	6715
祕	6716
祓	6717
祺	6718
祿	6719
禊	6720
禝	6721
禧	6722
齋	6723
禪	6724
禮	6725
禳	6726
禹	6727
禺	6728
秉	6729
秕	6730
秧	6731
秬	6732
秡	6733
秣	6734
稈	6735
稍	6736
稘	6737
稙	6738
稠	6739
稟	6740
禀	6741
稱	6742
稻	6743
稾	6744
稷	6745
穃	6746
穗	6747
穉	6748
穡	6749
穢	6750
穩	6751
龝	6752
穰	6753
穹	6754
穽	6755
窈	6756
窗	6757
窕	6758
窘	6759
窖	6760
窩	6761
竈	6762
窰	6763
窶	6764
竅	6765
竄	6766
窿	6767
邃	6768
竇	6769
竊	6770
竍	6771
竏	6772
竕	6773
竓	6774
站	6775
竚	6776
竝	6777
竡	6778
竢	6779
竦	6780
竭	6781
竰	6782
笂	6783
笏	6784
笊	6785
笆	6786
笳	6787
笘	6788
笙	6789
笞	6790
笵	6791
笨	6792
笶	6793
筐	6794
筺	6801
笄	6802
筍	6803
笋	6804
筌	6805
筅	6806
筵	6807
筥	6808
筴	6809
筧	6810
筰	6811
筱	6812
筬	6813
筮	6814
箝	6815
箘	6816
箟	6817
箍	6818
箜	6819
箚	6820
箋	6821
箒	6822
箏	6823
筝	6824
箙	6825
篋	6826
篁	6827
篌	6828
篏	6829
箴	6830
篆	6831
篝	6832
篩	6833
簑	6834
簔	6835
篦	6836
篥	6837
籠	6838
簀	6839
簇	6840
簓	6841
篳	6842
篷	6843
簗	6844
簍	6845
篶	6846
簣	6847
簧	6848
簪	6849
簟	6850
簷	6851
簫	6852
簽	6853
籌	6854
籃	6855
籔	6856
籏	6857
籀	6858
籐	6859
籘	6860
籟	6861
籤	6862
籖	6863
籥	6864
籬	6865
籵	6866
粃	6867
粐	6868
粤	6869
粭	6870
粢	6871
粫	6872
粡	6873
粨	6874
粳	6875
粲	6876
粱	6877
粮	6878
粹	6879
粽	6880
糀	6881
糅	6882
糂	6883
糘	6884
糒	6885
糜	6886
糢	6887
鬻	6888
糯	6889
糲	6890
糴	6891
糶	6892
糺	6893
紆	6894
紂	6901
紜	6902
紕	6903
紊	6904
絅	6905
絋	6906
紮	6907
紲	6908
紿	6909
紵	6910
絆	6911
絳	6912
絖	6913
絎	6914
絲	6915
絨	6916
絮	6917
絏	6918
絣	6919
經	6920
綉	6921
絛	6922
綏	6923
絽	6924
綛	6925
綺	6926
綮	6927
綣	6928
綵	6929
緇	6930
綽	6931
綫	6932
總	6933
綢	6934
綯	6935
緜	6936
綸	6937
綟	6938
綰	6939
緘	6940
緝	6941
緤	6942
緞	6943
緻	6944
緲	6945
緡	6946
縅	6947
縊	6948
縣	6949
縡	6950
縒	6951
縱	6952
縟	6953
縉	6954
縋	6955
縢	6956
繆	6957
繦	6958
縻	6959
縵	6960
縹	6961
繃	6962
縷	6963
縲	6964
縺	6965
繧	6966
繝	6967
繖	6968
繞	6969
繙	6970
繚	6971
繹	6972
繪	6973
繩	6974
繼	6975
繻	6976
纃	6977
緕	6978
繽	6979
辮	6980
繿	6981
纈	6982
纉	6983
續	6984
纒	6985
纐	6986
纓	6987
纔	6988
纖	6989
纎	6990
纛	6991
纜	6992
缸	6993
缺	6994
罅	7001
罌	7002
罍	7003
罎	7004
罐	7005
网	7006
罕	7007
罔	7008
罘	7009
罟	7010
罠	7011
罨	7012
罩	7013
罧	7014
罸	7015
羂	7016
羆	7017
羃	7018
羈	7019
羇	7020
羌	7021
羔	7022
羞	7023
羝	7024
羚	7025
羣	7026
羯	7027
羲	7028
羹	7029
羮	7030
羶	7031
羸	7032
譱	7033
翅	7034
翆	7035
翊	7036
翕	7037
翔	7038
翡	7039
翦	7040
翩	7041
翳	7042
翹	7043
飜	7044
耆	7045
耄	7046
耋	7047
耒	7048
耘	7049
耙	7050
耜	7051
耡	7052
耨	7053
耿	7054
耻	7055
聊	7056
聆	7057
聒	7058
聘	7059
聚	7060
聟	7061
聢	7062
聨	7063
聳	7064
聲	7065
聰	7066
聶	7067
聹	7068
聽	7069
聿	7070
肄	7071
肆	7072
肅	7073
肛	7074
肓	7075
肚	7076
肭	7077
冐	7078
肬	7079
胛	7080
胥	7081
胙	7082
胝	7083
胄	7084
胚	7085
胖	7086
脉	7087
胯	7088
胱	7089
脛	7090
脩	7091
脣	7092
脯	7093
腋	7094
隋	7101
腆	7102
脾	7103
腓	7104
腑	7105
胼	7106
腱	7107
腮	7108
腥	7109
腦	7110
腴	7111
膃	7112
膈	7113
膊	7114
膀	7115
膂	7116
膠	7117
膕	7118
膤	7119
膣	7120
腟	7121
膓	7122
膩	7123
膰	7124
膵	7125
膾	7126
膸	7127
膽	7128
臀	7129
臂	7130
膺	7131
臉	7132
臍	7133
臑	7134
臙	7135
臘	7136
臈	7137
臚	7138
臟	7139
臠	7140
臧	7141
臺	7142
臻	7143
臾	7144
舁	7145
舂	7146
舅	7147
與	7148
舊	7149
舍	7150
舐	7151
舖	7152
舩	7153
舫	7154
舸	7155
舳	7156
艀	7157
艙	7158
艘	7159
艝	7160
艚	7161
艟	7162
艤	7163
艢	7164
艨	7165
艪	7166
艫	7167
舮	7168
艱	7169
艷	7170
艸	7171
艾	7172
芍	7173
芒	7174
芫	7175
芟	7176
芻	7177
芬	7178
苡	7179
苣	7180
苟	7181
苒	7182
苴	7183
苳	7184
苺	7185
莓	7186
范	7187
苻	7188
苹	7189
苞	7190
茆	7191
苜	7192
茉	7193
苙	7194
茵	7201
茴	7202
茖	7203
茲	7204
茱	7205
荀	7206
茹	7207
荐	7208
荅	7209
茯	7210
茫	7211
茗	7212
茘	7213
莅	7214
莚	7215
莪	7216
莟	7217
莢	7218
莖	7219
茣	7220
莎	7221
莇	7222
莊	7223
荼	7224
莵	7225
荳	7226
荵	7227
莠	7228
莉	7229
莨	7230
菴	7231

文字	コード
萓	7232
菫	7233
菎	7234
菽	7235
萃	7236
菘	7237
萋	7238
菁	7239
菷	7240
萇	7241
菠	7242
菲	7243
萍	7244
萢	7245
萠	7246
莽	7247
萸	7248
蔆	7249
菻	7250
葭	7251
萪	7252
萼	7253
蕚	7254
蒄	7255
葷	7256
葫	7257
蒭	7258
葮	7259
蒂	7260
葩	7261
葆	7262
萬	7263
葯	7264
葹	7265
萵	7266
蓊	7267
葢	7268
蒹	7269
蒿	7270
蒟	7271
蓙	7272
蓍	7273
蒻	7274
蓚	7275
蓐	7276
蓁	7277
蓆	7278
蓖	7279
蒡	7280
蔡	7281
蓿	7282
蓴	7283
蔗	7284
蔘	7285
蔬	7286
蔟	7287
蔕	7288
蔔	7289
蓼	7290
蕀	7291
蕣	7292
蕘	7293
蕈	7294
蕁	7301
蘂	7302
蕋	7303
蕕	7304
薀	7305
薤	7306
薈	7307
薑	7308
薊	7309
薨	7310
蕭	7311
薔	7312
薛	7313
藪	7314
薇	7315
薜	7316
蕷	7317
蕾	7318
薐	7319
藉	7320
薺	7321
藏	7322
薹	7323
藐	7324
藕	7325
藝	7326
藥	7327
藜	7328
藹	7329
蘊	7330
蘓	7331
蘋	7332
藾	7333
藺	7334
蘆	7335
蘢	7336
蘚	7337
蘰	7338
蘿	7339
虍	7340
乕	7341
虔	7342
號	7343
虧	7344
虱	7345
蚓	7346
蚣	7347
蚩	7348
蚪	7349
蚋	7350
蚌	7351
蚶	7352
蚯	7353
蛄	7354
蛆	7355
蚰	7356
蛉	7357
蠣	7358
蚫	7359
蛔	7360
蛞	7361
蛩	7362
蛬	7363
蛟	7364
蛛	7365
蛯	7366
蜒	7367
蜆	7368
蜈	7369
蜀	7370
蜃	7371
蛻	7372
蜑	7373
蜉	7374
蜍	7375
蛹	7376
蜊	7377
蜴	7378
蜿	7379
蜷	7380
蜻	7381
蜥	7382
蜩	7383
蜚	7384
蝠	7385
蝟	7386
蝸	7387
蝌	7388
蝎	7389
蝴	7390
蝗	7391
蝨	7392
蝮	7393
蝙	7394
蝓	7401
蝣	7402
蝪	7403
蠅	7404
螢	7405
螟	7406
螂	7407
螯	7408
蟋	7409
螽	7410
蟀	7411
蟐	7412
雖	7413
螫	7414
蟄	7415
螳	7416
蟇	7417
蟆	7418
螻	7419
蟯	7420
蟲	7421
蟠	7422
蠏	7423
蠍	7424
蟾	7425
蟶	7426
蟷	7427
蠎	7428
蟒	7429
蠑	7430
蠖	7431
蠕	7432
蠢	7433
蠡	7434
蠱	7435
蠶	7436
蠹	7437
蠧	7438
蠻	7439
衄	7440
衂	7441
衒	7442
衙	7443
衞	7444
衢	7445
衫	7446
袁	7447
衾	7448
袞	7449
衵	7450
衽	7451
袵	7452
衲	7453
袂	7454
袗	7455
袒	7456
袮	7457
袙	7458
袢	7459
袍	7460
袤	7461
袰	7462
袿	7463
袱	7464
裃	7465
裄	7466
裔	7467
裘	7468
裙	7469
裝	7470
裹	7471
褂	7472
裼	7473
裴	7474
裨	7475
裲	7476
褄	7477
褌	7478
褊	7479
褓	7480
襃	7481
褞	7482
褥	7483
褪	7484
褫	7485
襁	7486
襄	7487
褻	7488
褶	7489
褸	7490
襌	7491
褝	7492
襠	7493
襞	7494
襦	7501
襤	7502
襭	7503
襪	7504
襯	7505
襴	7506
襷	7507
襾	7508
覃	7509
覈	7510
覊	7511
覓	7512
覘	7513
覡	7514
覩	7515
覦	7516
覬	7517
覯	7518
覲	7519
覺	7520
覽	7521
覿	7522
觀	7523
觚	7524
觜	7525
觝	7526
觧	7527
觴	7528
觸	7529
訃	7530
訖	7531
訐	7532
訌	7533
訛	7534
訝	7535
訥	7536
訶	7537
詁	7538
詛	7539
詒	7540
詆	7541
詈	7542
詼	7543
詭	7544
詬	7545
詢	7546
誅	7547
誂	7548
誄	7549
誨	7550
誡	7551
誑	7552
誥	7553
誦	7554
誚	7555
誣	7556
諄	7557
諍	7558
諂	7559
諚	7560
諫	7561
諳	7562
諧	7563
諤	7564
諱	7565
謔	7566
諠	7567
諢	7568
諷	7569
諞	7570
諛	7571
謌	7572
謇	7573
謚	7574
諡	7575
謖	7576
謐	7577
謗	7578
謠	7579
謳	7580
鞫	7581
謦	7582
謫	7583
謾	7584
謨	7585
譁	7586
譌	7587
譏	7588
譎	7589
證	7590
譖	7591
譛	7592
譚	7593
譫	7594
譟	7601
譬	7602
譯	7603
譴	7604
譽	7605
讀	7606
讌	7607
讎	7608
讒	7609
讓	7610
讖	7611
讙	7612
讚	7613
谺	7614
豁	7615
谿	7616
豈	7617
豌	7618
豎	7619
豐	7620
豕	7621
豢	7622
豬	7623
豸	7624
豺	7625
貂	7626
貉	7627
貅	7628
貊	7629
貍	7630
貎	7631
貔	7632
豼	7633
貘	7634
戝	7635
貭	7636
貪	7637
貽	7638
貲	7639
貳	7640
貮	7641
貶	7642
賈	7643
賁	7644
賤	7645
賣	7646
賚	7647
賽	7648
賺	7649
賻	7650
贄	7651
贅	7652
贊	7653
贇	7654
贏	7655
贍	7656
贐	7657
齎	7658
贓	7659
賍	7660
贔	7661
贖	7662
赧	7663
赭	7664
赱	7665
赳	7666
趁	7667
趙	7668
跂	7669
趾	7670
趺	7671
跏	7672
跚	7673
跖	7674
跌	7675
跛	7676
跋	7677
跪	7678
跫	7679
跟	7680
跣	7681
跼	7682
踈	7683
踉	7684
跿	7685
踝	7686
踞	7687
踐	7688
踟	7689
蹂	7690
踵	7691
踰	7692
踴	7693
蹊	7694
蹇	7701
蹉	7702
蹌	7703
蹐	7704
蹈	7705
蹙	7706
蹤	7707
蹠	7708
踪	7709
蹣	7710
蹕	7711
蹶	7712
蹲	7713
蹼	7714
躁	7715
躇	7716
躅	7717
躄	7718
躋	7719
躊	7720
躓	7721
躑	7722
躔	7723
躙	7724
躪	7725
躡	7726
躬	7727
躰	7728
軆	7729
躱	7730
躾	7731
軅	7732
軈	7733
軋	7734
軛	7735
軣	7736
軼	7737
軻	7738
軫	7739
軾	7740
輊	7741
輅	7742
輕	7743
輒	7744
輙	7745
輓	7746
輜	7747
輟	7748
輛	7749
輌	7750
輦	7751
輳	7752
輻	7753
輹	7754
轅	7755
轂	7756
輾	7757
轌	7758
轉	7759
轆	7760
轎	7761
轗	7762
轜	7763
轢	7764
轣	7765
轤	7766
辜	7767
辟	7768
辣	7769
辭	7770
辯	7771
辷	7772
迚	7773
迥	7774
迢	7775
迪	7776
迯	7777
邇	7778
迴	7779
逅	7780
迹	7781
迺	7782
逑	7783
逕	7784
逡	7785
逍	7786
逞	7787
逖	7788
逋	7789
逧	7790
逶	7791
逵	7792
逹	7793
迸	7794
遏	7801
遐	7802
遑	7803
遒	7804
逎	7805
遉	7806
逾	7807
遖	7808
遘	7809
遞	7810
遨	7811
遯	7812
遶	7813
隨	7814
遲	7815
邂	7816
遽	7817
邁	7818
邀	7819
邊	7820
邉	7821
邏	7822
邨	7823
邯	7824
邱	7825
邵	7826
郢	7827
郤	7828
扈	7829
郛	7830
鄂	7831
鄒	7832
鄙	7833
鄲	7834
鄰	7835
酊	7836
酖	7837
酘	7838
酣	7839
酥	7840
酩	7841
酳	7842
酲	7843
醋	7844
醉	7845
醂	7846
醢	7847
醫	7848
醯	7849
醪	7850
醵	7851
醴	7852
醺	7853
釀	7854
釁	7855
釉	7856
釋	7857
釐	7858
釖	7859
釟	7860
釡	7861
釛	7862
釼	7863
釵	7864
釶	7865
鈞	7866
釿	7867
鈔	7868
鈬	7869
鈕	7870
鈑	7871
鉞	7872
鉗	7873
鉅	7874
鉉	7875
鉤	7876
鉈	7877
銕	7878
鈿	7879
鉋	7880
鉐	7881
銜	7882
銖	7883
銓	7884
銛	7885
鉚	7886
鋏	7887
銹	7888
銷	7889
鋩	7890
錏	7891
鋺	7892
鍄	7893
錮	7894
錙	7901
錢	7902
錚	7903
錣	7904
錺	7905
錵	7906
錻	7907
鍜	7908
鍠	7909
鍼	7910
鍮	7911
鍖	7912
鎰	7913
鎬	7914
鎭	7915
鎔	7916
鎹	7917
鏖	7918
鏗	7919
鏨	7920
鏥	7921
鏘	7922
鏃	7923
鏝	7924
鏐	7925
鏈	7926
鏤	7927
鐚	7928
鐔	7929
鐓	7930
鐃	7931
鐇	7932
鐐	7933
鐶	7934
鐫	7935
鐵	7936
鐡	7937
鐺	7938
鑁	7939
鑒	7940
鑄	7941
鑛	7942
鑠	7943
鑢	7944
鑞	7945
鑪	7946
鈩	7947
鑰	7948

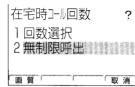
文字	区点コード
鑵	7949
鑷	7950
鑽	7951
鑚	7952
鑼	7953
鑾	7954
钁	7955
鑿	7956
閂	7957
閇	7958
閊	7959
閔	7960
閖	7961
閘	7962
閙	7963
閠	7964
閨	7965
閧	7966
閭	7967
閼	7968
閻	7969
閹	7970
閾	7971
闊	7972
濶	7973
闃	7974
闍	7975
闌	7976
闕	7977
闔	7978
闖	7979
關	7980
闡	7981
闥	7982
闢	7983
阡	7984
阨	7985
阮	7986
阯	7987
陂	7988
陌	7989
陏	7990
陋	7991
陷	7992
陜	7993
陞	7994
陝	8001
陟	8002
陦	8003
陲	8004
陬	8005
隍	8006
隘	8007
隕	8008
隗	8009
險	8010
隧	8011
隱	8012
隲	8013
隰	8014
隴	8015
隶	8016
隸	8017
隹	8018
雎	8019
雋	8020
雉	8021
雍	8022
襍	8023
雜	8024
霍	8025
雕	8026
雹	8027
霄	8028
霆	8029
霈	8030
霓	8031
霎	8032
霑	8033
霏	8034
霖	8035
霙	8036
霤	8037
霪	8038
霰	8039
霹	8040
霽	8041
霾	8042
靄	8043
靆	8044
靈	8045
靂	8046
靉	8047
靜	8048
靠	8049
靤	8050
靦	8051
靨	8052
勒	8053
靫	8054
靱	8055
靹	8056
鞅	8057
靼	8058
鞁	8059
靺	8060
鞆	8061
鞋	8062
鞏	8063
鞐	8064
鞜	8065
鞨	8066
鞦	8067
鞣	8068
鞳	8069
鞴	8070
韃	8071
韆	8072
韈	8073
韋	8074
韜	8075
韭	8076
齏	8077
韲	8078
竟	8079
韶	8080
韵	8081
頏	8082
頌	8083
頸	8084
頤	8085
頡	8086
頷	8087
頽	8088
顆	8089
顏	8090
顋	8091
顫	8092
顯	8093
顰	8094
顱	8101
顴	8102
顳	8103
颪	8104
颯	8105
颱	8106
颶	8107
飄	8108
飃	8109
飆	8110
飩	8111
飫	8112
餃	8113
餉	8114
餒	8115
餔	8116
餘	8117
餡	8118
餝	8119
餞	8120
餤	8121
餠	8122
餬	8123
餮	8124
餽	8125
餾	8126
饂	8127
饉	8128
饅	8129
饐	8130
饋	8131
饑	8132
饒	8133
饌	8134
饕	8135
馗	8136
馘	8137
馥	8138
馭	8139
馮	8140
馼	8141
駟	8142
駛	8143
駝	8144
駘	8145
駑	8146
駭	8147
駮	8148
駱	8149
駲	8150
駻	8151
駸	8152
騁	8153
騏	8154
騅	8155
駢	8156
騙	8157
騫	8158
騷	8159
驅	8160
驂	8161
驀	8162
驃	8163
騾	8164
驕	8165
驍	8166
驛	8167
驗	8168
驟	8169
驢	8170
驥	8171
驤	8172
驩	8173
驫	8174
驪	8175
骭	8176
骰	8177
骼	8178
髀	8179
髏	8180
髑	8181
髓	8182
體	8183
髞	8184
髟	8185
髢	8186
髣	8187
髦	8188
髯	8189
髫	8190
髮	8191
髴	8192
髱	8193
髷	8194
髻	8201
鬆	8202
鬘	8203
鬚	8204
鬟	8205
鬢	8206
鬣	8207
鬥	8208
鬧	8209
鬨	8210
鬩	8211
鬪	8212
鬮	8213
鬯	8214
鬲	8215
魄	8216
魃	8217
魏	8218
魍	8219
魎	8220
魑	8221
魘	8222
魴	8223
鮓	8224
鮃	8225
鮑	8226
鮖	8227
鮗	8228
鮟	8229
鮠	8230
鮨	8231
鮴	8232
鯀	8233
鯊	8234
鮹	8235
鯆	8236
鯏	8237
鯑	8238
鯒	8239
鯣	8240
鯢	8241
鯤	8242
鯔	8243
鯡	8244
鰺	8245
鯲	8246
鯱	8247
鯰	8248
鰕	8249
鰔	8250
鰉	8251
鰓	8252
鰌	8253
鰆	8254
鰈	8255
鰒	8256
鰊	8257
鰄	8258
鰮	8259
鰛	8260
鰥	8261
鰤	8262
鰡	8263
鰰	8264
鱇	8265
鰲	8266
鱆	8267
鰾	8268
鱚	8269
鱠	8270
鱧	8271
鱶	8272
鱸	8273
鳧	8274
鳬	8275
鳰	8276
鴉	8277
鴈	8278
鳫	8279
鴃	8280
鴆	8281
鴪	8282
鴦	8283
鶯	8284
鴣	8285
鴟	8286
鵄	8287
鴕	8288
鴒	8289
鵁	8290
鴿	8291
鴾	8292
鵆	8293
鵈	8294
鵝	8301
鵞	8302
鵤	8303
鵑	8304
鵐	8305
鵙	8306
鵲	8307
鶉	8308
鶇	8309
鶫	8310
鵯	8311
鵺	8312
鶚	8313
鶤	8314
鶩	8315
鶲	8316
鷄	8317
鷁	8318
鶻	8319
鶸	8320
鶺	8321
鷆	8322
鷏	8323
鷂	8324
鷙	8325
鷓	8326
鷸	8327
鷦	8328
鷭	8329
鷯	8330
鷽	8331
鸚	8332
鸛	8333
鸞	8334
鹵	8335
鹹	8336
鹽	8337
麁	8338
麈	8339
麋	8340
麌	8341
麒	8342
麕	8343
麑	8344
麝	8345
麥	8346
麩	8347
麸	8348
麪	8349
麭	8350
靡	8351
黌	8352
黎	8353
黏	8354
黐	8355
黔	8356
黜	8357
點	8358
黝	8359
黠	8360
黥	8361
黨	8362
黯	8363
黴	8364
黶	8365
黷	8366
黹	8367
黻	8368
黼	8369
黽	8370
鼇	8371
鼈	8372
皷	8373
鼕	8374
鼡	8375
鼬	8376
鼾	8377
齊	8378
齒	8379
齔	8380
齣	8381
齟	8382
齠	8383
齡	8384
齦	8385
齧	8386
齬	8387
齪	8388
齷	8389
齲	8390
齶	8391
龕	8392
龜	8393
龠	8394
堯	8401
槇	8402
遙	8403
瑤	8404
凜	8405
熙	8406
	8407
	8408
	8409
	8410
	8411
	8412
	8413
	8414
	8415
	8416
	8417
	8418
	8419
	8420
	8421
	8422
	8423
	8424
	8425
	8426
	8427
	8428
	8429
	8430
	8431
	8432
	8433
	8434
	8435
	8436
	8437
	8438
	8439
	8440
	8441
	8442
	8443
	8444
	8445
	8446
	8447
	8448
	8449
	8450
	8451
	8452
	8453
	8454
	8455
	8456
	8457
	8458
	8459
	8460
	8461
	8462
	8463
	8464
	8465
	8466
	8467
	8468
	8469
	8470
	8471
	8472
	8473
	8474
	8475
	8476
	8477
	8478
	8479
	8480
	8481
	8482
	8483
	8484
	8485
	8486
	8487
	8488
	8489
	8490
	8491
	8492
	8493
	8494

登録／設定早見表

親機では次の登録／設定、機能選択が行えます。

■登録／設定項目一覧表（親機）

登録ボタンを押したあと、ダイヤルボタンを押して登録・設定の項目を選ぶことができます。

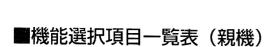
（例）「在宅時コール回数」の項目を選ぶには

「在宅時コール回数」の設定画面が表示されます。

機能名	機能の説明	参照ページ
1 初期登録		
1 日付・時刻	日付と時刻を登録します。	1-30～1-31
2 発信元番号	ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録します。	1-34～1-35
3 発信元名	ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録します。	1-36～1-37
4 回線種別選択	電話回線の種別を設定します。	1-19
5 サービス利用設定	ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイの利用を設定／解除します。	8-3、8-25、
2 音量調整		
1 親機送話音量切替	親機でお話し中に相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えます。	9-2
2 子機送話音量切替	子機でお話し中に相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えます。	9-2
3 子機受話音量切替	子機でお話し中にこちらに聞こえる相手の方の声の大きさを変えます。	9-2
3 親機呼出音		
1 **呼出回数**		
1 在宅時コール回数	在宅モード時の呼出音の回数を設定します。	4-17～4-18
2 留守モードコール回数	留守モードの呼出音の回数を設定します。	5-3
2 親機呼出音切替	親機の呼出音を選びます。	1-28
4 電子電話帳		
1 登録	親機の電話帳に登録します。	2-12～2-14
2 転送	親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーします。	2-25～2-26
5 詳細設定		
1 液晶濃度調整	親機のディスプレイのコントラストを調整します。	1-14
2 待機画面表示	親機の待機中に表示させる待機画面を選びます。	6-2～6-3
3 留守録	留守機能をもっと便利に使うときに設定します。	5-10

■登録／設定項目一覧表（親機）

登録ボタンを押したあと、ダイヤルボタンを押して登録・設定の項目を選ぶことができます。

機能名	機能の説明	参照ページ
⑤ **詳細設定**		
④ ナンバー・ディスプレイ		
① 着信鳴り分け	着信の種類に合わせて呼出音を鳴らします。	8-16
② 電話帳登録呼出音	電話帳の登録者の呼出音を設定します。	8-17
③ 非通知おことわり	「非通知おことわり」の動作の設定をします。	8-20
④ 公衆おことわり	「公衆電話おことわり」の動作の設定をします。	8-21
⑤ お断り番号登録	「お断り番号」の登録をします。	8-22~8-23
⑤ FAX／コピー		
① おまかせ受信	ファクスが自動送信で送られてきたときに自動的に受信をします。	4-26
② 終了音	コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音を選択します。	4-26
③ メモリー受信	メモリーで受信する設定をします。	4-26
④ 受信プリント	メモリーで受信した内容をプリントまたは画面で確認する方法を選択します。	4-27
⑤ 受信縮小率	ファクスの受信を縮小（縦方向に93%）または等倍に設定をします。	4-27
⑥ メモリー受信条件	メモリー受信をするためのメモリー残量を設定します。	4-27
⑦ 分割コピー	A4より長い原稿のときのプリント方法を設定します。	4-28
⑥ キータッチ音	親機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らす設定をします。	4-28
⑦ メッセージ着信音	メールを受信したときに、着信音を鳴らす設定をします。	7-22
⑧ 初期化	親機の電話帳や登録／設定を初期（お買い求め時）に戻します。	10-3~10-4
⑥ **Lモード設定**		
① 画像表示設定	サイトやメッセージに含まれている画像を読み込まないようにできます。	7-74
② 端末機器自動設定	Lモードサービスをはじめてご利用になる場合、設定センタからアクセスポイント電話番号を登録します。	7-74
③ センター番号確認	「端末機器自動設定」で登録されたアクセスポイント電話番号をディスプレイに表示することができます。	7-74
④ 電話帳データ送信	親機に登録した電話帳の内容を送信することができます。	7-66~7-67
⑤ Bookmarkデータ送信	親機に登録したBookmarkのデータを送信することができます。	7-66~7-67
⑥ 切り忘れ防止タイマー	回線が接続されたまま何も操作しなかった時に自動的に回線を切断できます。	7-75

■機能選択項目一覧表（親機）

機能選択ボタンを押したあと、ダイヤルボタンを押して登録・設定の項目を選ぶことができます。

機能名	機能の説明	参照ページ
① コピー設定	拡大／縮小／マルチ（複数枚）コピーします。	3-7
② ハンドコピー		
① ハンドコピー印刷	ハンドコピーのデータをプリントします。	3-16
② ハンドコピー消去	ハンドコピーのデータを消去します。	3-15
③ ハンドコピー画像表示	ハンドコピーのデータを画面に表示します。	3-17
④ ハンドコピープリント	ハンドコピーのプリント方法を選びます。	4-28
⑤ ハンドコピー設定	ハンドコピーの読み取り幅や倍率を設定します。	4-29
⑥ 詰込プリント	A4より短い原稿のとき詰めてプリントします。	4-29
③ 着信記録	着信記録を表示します。	8-6
④ 電話番号リスト	親機の電話帳に登録した電話番号や宛先のリストをプリントします。	2-14
⑤ お断り番号リスト	登録したお断りの番号のリストをプリントします。	8-23
⑥ メモリー使用量表示	親機のメモリーの使用量を表示します。	5-7
⑦ インクリボン使用量		
① 表示する	インクリボンの使用量を表示します。	9-9
② クリアする	インクリボンの使用量を０ｍに戻します。	9-9
⑧ 録音	通話内容を録音したり、メモ録音として使います。	6-4
⑨ 応答メッセージ	留守モード時の応答メッセージを録音・再生・消去します。	5-8～5-9
⓪ 原稿排出	セットしている原稿を排出します。	3-4

子機では次の機能を設定できます。

■機能項目一覧表（子機）

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

機能名		機能の説明	参照ページ
用件再生		親機に録音されている用件を再生します。	5-6
優先呼出		子機に優先呼出を設定します。	2-10
着信音色		呼出音を設定します。	1-29
メール		子機からメールの送信・受信ができます。	7-10、7-24
着信鳴り分け		着信の種類ごとに呼出音を設定します。	8-18
着信記録消去		着信記録をすべて消去します。	8-7
再ダイヤル消去		再ダイヤルをすべて消去します。	2-29
電話帳転送		子機に登録されている電話帳を親機に転送します。	2-27
アラーム		アラームの時刻、設定／解除、音色を設定します。	6-6~6-7
お好み設定			
	キータッチ音出力	ボタンやマルチファンクションキーの操作音を設定／解除します。	6-9
	クイック通話	クイック通話の使用を設定／解除します。	6-8
	待ち受け時間	待ち受け時間「標準」、「長時間」を設定します。	6-9
	LCDコントラスト	液晶コントラストを調整します。	6-9
システム設定			
	時計登録	時間を登録します。	1-32~1-33
	使用者表示	使う人の名前を表示します。	6-8
	登録初期化	登録内容を初期化します。	6-8

さくいん

【か】

【き】

【く】

【け】

【こ】

【さ】

【し】

【す】

【せ】

【そ】

【た】

【ち】

【つ】

【て】

【と】

【な】

【の】

【は】

【ひ】

【ふ】

【へ】

【ほ】

【ま】

【み】

【め】

【も】

【ゆ】

【よ】

【り】

【る】

【ろ】

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

■外出先から一般録音をリモート操作するには

1.電話をかける

2.応答メッセージが聞こえたら→[#] を押す

3.応答メッセージが止まったら

→□□□□ (暗証番号)と [#] を押す

4.応答メッセージにつづいてリモート操作番号を押す

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。 (ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

■外出先から一般録音をリモート操作するには

1.電話をかける

2.応答メッセージが聞こえたら→[#] を押す

3.応答メッセージが止まったら

→□□□□ (暗証番号)と [#] を押す

4.応答メッセージにつづいてリモート操作番号を押す

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。 (ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

■外出先から一般録音をリモート操作するには

1.電話をかける

2.応答メッセージが聞こえたら→[#] を押す

3.応答メッセージが止まったら

→□□□□ (暗証番号)と [#] を押す

4.応答メッセージにつづいてリモート操作番号を押す

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。 (ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

■外出先から一般録音をリモート操作するには

1.電話をかける

2.応答メッセージが聞こえたら→[#] を押す

3.応答メッセージが止まったら

→□□□□ (暗証番号)と [#] を押す

4.応答メッセージにつづいてリモート操作番号を押す

●リモート操作には暗証番号を使います。
●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。 (ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は電話をかけてからトーン信号に切り替えます。)
●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

リモート操作番号

操作	番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 # (早聞き) → 1 # (遅聞き) → 1 # (元に戻る)
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #

操作	番号
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済み録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

リモート操作番号

操作	番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 # (早聞き) → 1 # (遅聞き) → 1 # (元に戻る)
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #

操作	番号
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済み録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

リモート操作番号

操作	番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 # (早聞き) → 1 # (遅聞き) → 1 # (元に戻る)
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #

操作	番号
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済み録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

リモート操作番号

操作	番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 # (早聞き) → 1 # (遅聞き) → 1 # (元に戻る)
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #

操作	番号
今聞いている録音内容の1件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済み録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

〈NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120-109217〉

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えないように、ご注意願います。

本2258-1(2001.12)
G3-〈P752LC〉-FAXトリセツ
1L5.0Y-TINSJ4269SCJZ②